静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第229集

下高原遺跡

第二東名土－２地点他

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

富士宮市・富士市（旧富士川町）

２０１０

中日本高速道路株式会社東京支社

財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第229集

下高原遺跡

第二東名土－２地点他

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

富士宮市・富士市（旧富士川町）

２０１０

中日本高速道路株式会社東京支社

財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所

序

第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査は、静岡県の文化財保護行政の歴史の中において最大規模、期間で実施されています。

また、県内の各所において、旧石器時代から中・近世にわたる各時代の多種多様な遺構・遺物が発見され、これまでにない多くの成果もあげています。

富士市（旧富士川町含む）・富士宮市域では、第二東名建設工事範囲内において、埋蔵文化財の存在が予想された48地点で確認調査を実施し、その結果を踏まえ、５地点において本発掘調査を実施しています。

この発掘調査によって、富士山麓及び愛鷹山麓には、古く旧石器時代から人々の営みが地中に刻まれ続けてきたことを、改めて確認することができました。

中でも富士・富士宮市域における旧石器時代の人々の営みについては、この第二東名建設事業によってはじめて本格的な同時代の発掘調査が行われ、地域の歴史に新たな１ページを書き加えることができました。

本書で報告する第二東名土－２地点に該当する下高原遺跡では、旧石器～縄文時代を中心とした遺構・遺物が発掘調査されています。

発掘調査の開始当初は、下高原遺跡周辺に『今川分限帳』に記載されている「高原城」の所在や、すぐ南側に位置するNo.61地点の「鍛冶ヶ窪」という地名から中・近世に関わる遺跡を想定していましたが、調査の結果、旧石器時代及び縄文時代早期を中心とした遺跡であることが判明しました。

中でも旧石器時代の遺構・遺物の発見は、富士宮市内の同時代のあり方を考える上で貴重な成果となりました。

下高原遺跡が位置する富士宮市域は、旧石器時代後期に繰り返し発生した泥流のため、同時代の遺跡の検出は難しいと考えられてきました。そのような中、今回の調査は、富士宮市域では初の本格的な旧石器時代遺跡の調査となりました。下高原遺跡の調査成果は、当時の自然活動や生活の解明にとって、大変意義のあることと考えられます。

これらの発掘成果が、多くの研究者の方々のみならず、広く一般の方々の目に触れることにより、地域の歴史を考える材料のひとつとなれば幸いです。

最後になりましたが、現地調査及び資料整理、並びに本書の作成にあたり、中日本高速道路株式会社東京支社、静岡県教育委員会ほか、各関係機関のご理解とご協力をいただいたことに心から感謝申し上げます。また、調査にご理解いただいた地元の皆様、現地での発掘作業、地道な資料整理作業にあたられた方々に厚くお礼を申し上げます。

平成22年８月

財団法人　静岡県埋蔵文化財調査研究所
所　長　石　田　　彰

例　言

1　本書は富士宮市域および富士市域（旧富士川町域）における埋蔵文化財確認調査（第二東名№61～64地点）の概要と静岡県富士宮市山本字下高原753他に所在する下高原遺跡（第二東名土－２地点）の発掘調査報告書である。

2　調査は第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務として、中日本高速道路株式会社（旧日本道路公団静岡建設局）の委託を受け、静岡県教育委員会文化課の指導のもと、富士宮市・富士市（旧富士川町）の協力を得て、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が実施した。

3　各地点の現地調査・資料整理の期間と担当者は以下のとおりである。

№61地点確認調査　その１　平成11年９月～12月　　調査研究員：佐野暢彦

№62地点確認調査　その１　平成13年１月～２月　　主任調査研究員：鈴木良孝

№63地点確認調査　その１　平成14年２月～３月　　調査研究員：髙野穂多果

№64地点確認調査　その１　平成15年７月　　調査研究員：木崎道明

下高原遺跡（土－２地点）

確認調査　平成12年５月～６月　　調査研究員：髙野穂多果

本調査　平成12年７月～９月　　調査研究員：髙野穂多果

資料整理　平成17年５月～11月　　調査研究員：山下忠男　髙野穂多果

平成18年10月～11月　　調査研究員：髙野穂多果

平成21年４月～平成22年３月　　調査研究員：岩本　貴

平成22年４月～平成22年12月　　調査第二係長：岩本　貴

4　調査体制は以下のとおりである。

平成11年度（№61地点確認調査その１）

所長　斎藤　忠　　副所長　山下　晃　　常務理事兼総務部長　伊藤友雄

調査研究部長　佐藤達雄　　調査研究部次長　佐野五十三　　調査研究一課長　及川　司

主任調査研究員　前嶋秀張　　調査研究員　佐野暢彦

平成12年度（№62地点確認調査その１、土－２地点確認調査その１、土－２地点本発掘調査）

所長　斎藤　忠　　副所長　山下　晃　　常務理事兼総務部長　伊藤友雄

調査研究部長　佐藤達雄　　調査研究部次長兼調査研究一課長　及川　司

主任調査研究員　鈴木良孝（№62地点確認調査その１）　　調査研究員　髙野穂多果（土－２地点確認調査、土－２地点本発掘調査）

平成13年度（№63地点調査その１）

所長　斎藤　忠　　副所長　山下　晃　　常務理事兼総務部長　粂田徳幸

調査研究部長　佐藤達雄　　調査研究部次長兼調査研究一課長　及川　司

主任調査研究員　前嶋秀張　　調査研究員　髙野穂多果（№63地点確認調査その１）

平成15年度（№64地点確認調査その１）

所長　斎藤　忠　　副所長　飯田英夫　　常務理事兼総務部長　粂田徳幸

調査研究部長　山本昇平　　調査研究部次長兼調査研究一課長　中嶋郁夫

主任調査研究員　前嶋秀張　　調査研究員　木崎道昭（№64地点確認調査その１）

平成17年度（資料整理：土－２地点本発掘調査）

所長　斎藤　忠　　常務理事兼総務部長　平松公夫　　総務部次長兼総務課長　鈴木大二郎

調査研究部長　石川素久　　調査研究部次長兼調査研究一課長　中嶋郁夫
主任調査研究員　前嶋秀張　　調査研究員　山下忠男　髙野穂多果

平成18年度（資料整理：土－２地点本発掘調査）
所長　斎藤　忠　　常務理事兼総務部長　平松公夫　　総務部次長兼総務課長　鈴木大二郎
調査研究部長　石川素久　　調査研究部次長兼調査研究一課長　及川　司　　調査課係長　前嶋秀張
調査研究員　髙野穂多果

平成21年度（資料整理：№61～64地点確認調査）
所長兼常務理事　天野　忍　　次長兼事業係長　稲葉保幸　　次長兼総務課長　松村　享
次長兼調査課長　及川　司　　次長兼東部総括係長　中鉢賢治　　東部調査係長　笹原千賀子
調査研究員　岩本　貴

平成22年度（資料整理：№61～64地点確認調査）
所長兼常務理事　石田　彰　　次長兼総務課長　松村　享　　専門監兼事業係長　稲葉保幸
調査課長　中鉢賢治　　調査第二係長　岩本　貴

5　№64地点確認調査の掘削業務は平和建設株式会社に委託した。
下高原遺跡本調査における遺跡測量業務は株式会社フジヤマに、掘削業務は有限会社佐野建材に委託した。

6　整理作業における石器実測の一部を株式会社シン技術コンサルに委託した。

7　石器石材の同定は、㈲考古石材研究所の柴田徹氏と山本薫氏による石材標準資料を用い、当研究所技術員森嶋富士夫が行った。

8　出土黒曜石の産地同定は独立行政法人沼津工業高等専門学校名誉教授　望月明彦氏に委託した。その分析結果は附編に収録した。

9　調査の概要は当研究所の出版物などで一部公表されているが、内容において本書と相違がある場合は本報告をもって訂正する。

10　本書の執筆は当研究所職員が分担して行った。執筆分担は以下のとおりである。
Ⅰ章、Ⅱ章　岩本　貴
Ⅲ章第１節・２節・４節・６節　髙野穂多果
Ⅲ章第３節　柴田亮平
Ⅲ章第５節　杉山和徳

11　本書の編集は財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が行った。

12　整理作業では以下の方々に御指導、御助言を賜った。厚く御礼申し上げる。
池谷信之　池谷初恵　加藤勝仁　小崎　晋　佐藤祐樹　鈴木敏中　原田雄紀　渡井英誉（五十音順・敬称略）。

13　発掘調査の資料は、すべて静岡県教育委員会が保管している。

凡　例

本書の記載については、以下の基準に従い統一を図った。

1　本書で用いた遺構・遺物などの位置を表す座標は、すべて平面直角座標第Ⅷ系を用いた国土座標、日本測地系（改正前）による。

2　調査区の方眼設定は、上記の国土座標を基準に設定した。

No.61地点確認調査：（X，Y）＝（－89910.0，12120.0）＝（A，1）

No.62地点確認調査：（X，Y）＝（－90150.0，11600.0）＝（A，1）

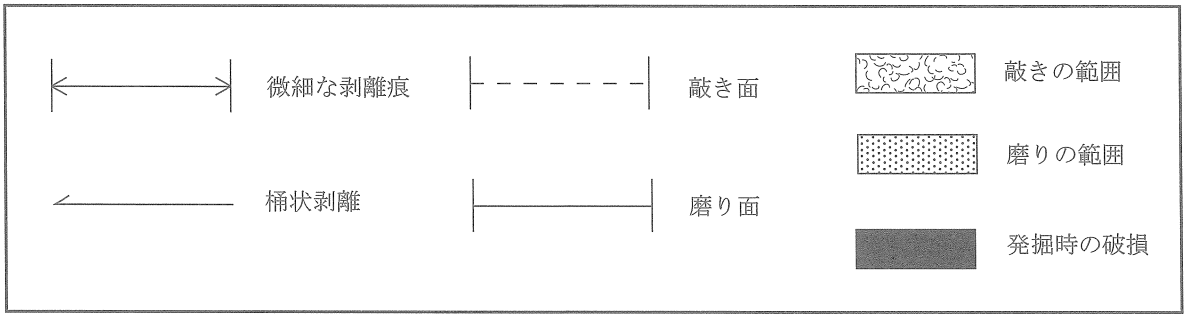
No.63地点確認調査：（X，Y）＝（－92250.0，9520.0）＝（A，1）

No.64地点確認調査：（X，Y）＝（－92450.0，9350.0）＝（A，1）

下高原遺跡：（X，Y）＝（－89840.0，12190.0）＝（A，1）

3　出土遺物は４桁の通し番号（＝遺物番号）を付して取り上げた。報告書中の挿図番号とは同一でない。なお、石器の挿図番号横に記載した４桁の番号は遺物番号である。

4　石器の実測は原則として第三角投影図法に準拠した。実測図中の指示記号及び表現は、以下のとおりである。



5　遺構図、遺物実測図の縮尺は遺構１／40、土器１／２、石器は小型石器４／５、中型石器２／３または１／２、大型石器１／４を原則とし、それぞれにスケールを付した。

6　色彩に関する用語・記号は、新版『標準土色帳』（農林水産省技術会議事務局監修1992）を使用した。

7　土層名は第Ⅲ章第２節の基本土層柱状図（第Ⅲ－４図）に表示した名称を用いる。

8　第Ⅰ章第１節の第Ⅰ－１図、第Ⅲ章第２節第Ⅲ－３図は国土地理院発行１：25,000地形図「富士宮」「入山瀬」を複写し加工・加筆した。

9　本文中の記載に関する略号・略語は特に指示のない限り以下のとおりである。

黒曜石原産地判別群略号

長　野	諏訪星ヶ台	SWHD	静　岡	天城柏峠	AGKT
	蓼科冷山	TSTY	神奈川	箱根畑宿	HNHJ
	蓼科双子山	TSHG	東　京	神津島恩馳島	KZOB
	和田鷹山	WDTY	その他	不明産地	XO
	和田芙蓉ライト	WDHY			

石材一覧

番号	和名	英名	標準資料略号	番号	和名	英名	標準資料略号
1	黒曜石	obsidian	Ob	16	粘板岩	slate	Sl
2	ホルンフェルス	hornfels	Hor	17	凝灰岩	tuff	Tu
3	ガラス質黒色安山岩	glassy black andesite	GAn	18	細粒凝灰岩	fine-grained tuff	FT
4	チャート	chert	Ch	19	硬質細粒凝灰岩	hard fine-grained tuff	HFT
5	チャート（灰色）	gray chert	Ch(Gy)	20	粗粒砂岩	corse-grained sandstone	CSS
6	チャート(暗灰色)	drak gray chert	Ch(DG)	21	細粒砂岩	fine-grained sandstone	FSS
7	玉髄	chalcedony	Cha	22	中粒砂岩	medium-grained sandstone	MSS
8	頁岩	shale	Sh	23	細礫岩	granule conglomerate	GC
9	赤色頁岩	ret shale	Sh(Re)	24	ひん岩	porphyry	Po
10	硬質頁岩	hard shale	HS	25	石英斑岩	quartz porphyry	QP
11	珪質頁岩	siliceous shale	SSh	26	閃緑岩	diorite	Di
12	珪質頁岩（黒色）	black siliceous shale	SSh(Bl)	27	輝石安山岩	pyroxene andesite	An(Py)
13	赤玉石（碧玉）	red jasper	RJa	28	角閃石安山岩	hornblede andesite	An(Ho)
14	結晶片岩	crystalline schist	CSc	29	細粒安山岩	fine-grained andesite	FAn
15	流紋岩	rhyolite	Rhy	30	玄武岩	basalt	Ba

目　次

第Ⅰ章　調査に至る経緯

第１節　第二東名建設に伴う埋蔵文化財の取り扱いの経緯……1

第Ⅱ章　№61～64地点の概要

第１節　調査の方法と経過

1　調査の方法……2

2　調査の経過……2

3　資料整理の方法と経過……2

第２節　各地点の概要

1　№61地点……4

2　№62地点……9

3　№63地点……10

4　№64地点……15

第３節　調査の成果とまとめ……17

第Ⅲ章　下高原遺跡　第二東名土－２地点

第１節　調査の方法と経過

1　調査の方法……18

2　調査の経過……18

3　資料整理の方法と経過……18

第２節　遺跡の概要

1　地理的環境……21

2　歴史的環境……24

3　遺跡の地形と土層堆積状況……25

第３節　旧石器時代の遺構と遺物

1　遺構……30

2　遺物……38

第４節　縄文時代の遺構と遺物

1　遺構と遺構出土の遺物……69

2　遺構外出土の土器……72

3　遺構外出土の石器……84

第５節　古墳時代以降の遺物……119

第６節　調査の成果とまとめ……121

附編　分析

下高原遺跡（第二東名　土－２）黒曜石製産地分析

独立行政法人沼津工業高等専門学校　名誉教授　望月明彦……127

写真図版／報告書抄録

挿　図　目　次

調査に至る経緯

第Ⅰ－１図　第二東名の路線と対象地点……３

各地点の概要

第Ⅱ－１図　№61・62地点　位置図……５
第Ⅱ－２図　№61地点　現地平・断面図……６
第Ⅱ－３図　№61地点　出土遺物実測図……７
第Ⅱ－４図　№62地点　現地平・断面図……９
第Ⅱ－５図　№63・64地点　位置図……11
第Ⅱ－６図　№63地点　現地平・断面図……12
第Ⅱ－７図　№63地点　出土遺物実測図……13
第Ⅱ－８図　№64地点　現地平・断面図……16
第Ⅱ－９図　新井和田氏宅墓地採集
五輪塔実測図……17

下高原遺跡

第Ⅲ－１図　調査区と遺跡の現地形……20
第Ⅲ－２図　遺跡周辺地質図……22
第Ⅲ－３図　周辺遺跡地図……23
第Ⅲ－４図　基本土層柱状図……27
第Ⅲ－５図　土層堆積状況……28
第Ⅲ－６図　愛鷹山南麓分布遺跡との
土層対比図……29
第Ⅲ－７図　旧石器時代遺物分布図……31
第Ⅲ－８図　旧石器時代礫群と礫分布図……32
第Ⅲ－９図　旧石器時代礫群……33
第Ⅲ－10図　旧石器時代石器
石材別分布図１……34
第Ⅲ－11図　旧石器時代石器
石材別分布図２……35
第Ⅲ－12図　旧石器時代石器集中部１……36
第Ⅲ－13図　旧石器時代石器集中部２……37
第Ⅲ－14図　旧石器時代　角錐状石器・
尖頭器・ナイフ形石器１……39
第Ⅲ－15図　旧石器時代　ナイフ形石器２
……40
第Ⅲ－16図　旧石器時代　ナイフ形石器３
……41
第Ⅲ－17図　旧石器時代　ナイフ形石器４
……42
第Ⅲ－18図　旧石器時代　スクレイパー１
……44
第Ⅲ－19図　旧石器時代　スクレイパー２
……45
第Ⅲ－20図　旧石器時代　スクレイパー３・
ドリル・グレイバー・楔形
石器……46
第Ⅲ－21図　旧石器時代　石核１……48
第Ⅲ－22図　旧石器時代　石核２……49
第Ⅲ－23図　旧石器時代　石核３……50
第Ⅲ－24図　旧石器時代　石核４……51
第Ⅲ－25図　旧石器時代　石核５……52
第Ⅲ－26図　旧石器時代　石核６……53
第Ⅲ－27図　旧石器時代　石核７……54
第Ⅲ－28図　旧石器時代　剥片類１……55
第Ⅲ－29図　旧石器時代　剥片類２……56
第Ⅲ－30図　旧石器時代　剥片類３……57
第Ⅲ－31図　縄文時代遺構配置図……70
第Ⅲ－32図　土坑・小穴・焼土跡と
土坑出土遺物……71
第Ⅲ－33図　縄文時代土器分布図……74
第Ⅲ－34図　第Ⅰ群土器分布図……75
第Ⅲ－35図　第Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ群土器分布図……77
第Ⅲ－36図　第Ⅰ群Ａ・Ｂ・Ｃ類土器……78
第Ⅲ－37図　第Ⅰ群Ｃ・Ｄ類土器……79
第Ⅲ－38図　第Ⅰ群Ｄ・Ｅ類　第Ⅱ群・
第Ⅲ群土器……80
第Ⅲ－39図　第Ⅳ群土器……81
第Ⅲ－40図　縄文時代石器器種別分布図……85
第Ⅲ－41図　縄文時代黒曜石産地別分布図
……86
第Ⅲ－42図　縄文時代その他の
石材別分布図……87
第Ⅲ－43図　縄文時代尖頭器・有茎尖頭器・
石鏃・使用痕のある剥片・
石錐……89
第Ⅲ－44図　縄文時代削器１……90
第Ⅲ－45図　縄文時代削器２……91

第Ⅲ－46図　縄文時代掻器１……92
第Ⅲ－47図　縄文時代掻器２・楔形石器・
石核１……94
第Ⅲ－48図　縄文時代石核２……95
第Ⅲ－49図　縄文時代石核３……96
第Ⅲ－50図　縄文時代石核４……97
第Ⅲ－51図　縄文時代石核５……98
第Ⅲ－52図　縄文時代石核６……99
第Ⅲ－53図　縄文時代石核７…… 100
第Ⅲ－54図　縄文時代石核８…… 101
第Ⅲ－55図　縄文時代石核９…… 102
第Ⅲ－56図　縄文時代石核10…… 103
第Ⅲ－57図　縄文時代石核11・
石匙・石錘…… 104
第Ⅲ－58図　縄文時代接合資料１…… 105
第Ⅲ－59図　縄文時代接合資料２…… 106
第Ⅲ－60図　縄文時代接合資料３…… 107
第Ⅲ－61図　縄文時代打製石斧１…… 108
第Ⅲ－62図　縄文時代打製石斧２…… 109
第Ⅲ－63図　縄文時代敲石・磨石類１…… 110
第Ⅲ－64図　縄文時代敲石・磨石類２…… 111
第Ⅲ－65図　縄文時代石皿・台石…… 112
第Ⅲ－66図　縄文時代石器集中…… 114
第Ⅲ－67図　古墳時代以降の出土遺物…… 120

挿　表　目　次

№61～64地点の概要
第Ⅱ－１表　対象地点一覧……３
第Ⅱ－２表　№61地点　出土遺物観察表……８
第Ⅱ－３表　№63地点　出土遺物観察表……14
下高原遺跡
第Ⅲ－１表　作業工程……19
第Ⅲ－２表　周辺遺跡の一覧……23
第Ⅲ－３表　旧石器時代礫群一覧表……33
第Ⅲ－４表　旧石器時代石器組成表……58
第Ⅲ－５表　旧石器時代石器観察表……59
第Ⅲ－６表　縄文時代遺構計測表……70
第Ⅲ－７表　縄文時代包含層出土土器
観察表……82
第Ⅲ－８表　縄文時代遺構外石器組成表… 115
第Ⅲ－９表　縄文時代石器集中組成表…… 115
第Ⅲ－10表　縄文時代石器観察表…… 116
第Ⅲ－11表　古墳時代以降の土器観察表… 119
第Ⅲ－12表　時代不明の金属製品…… 119

写　真　図　版　目　次

図版１　調査区遠景（西より）
段丘部縄文層完掘状況（北より）
図版２　旧石器時代遺物出土状況（北より）
旧石器時代遺物出土状況（北より）
１号礫群検出状況
２号礫群検出状況
３号礫群検出状況
図版３　１・２・３号土坑検出状況
縄文時代石器集中検出状況
１号焼土跡半截状況
１号土坑完掘状況
２号土坑完掘状況
３号土坑完掘状況
４号土坑完掘状況
図版４　旧石器時代石器１
図版５　旧石器時代石器２
図版６　旧石器時代石器３
図版７　第Ⅰ群土器
図版８　第Ⅱ群土器・第Ⅲ群土器・第Ⅳ群土器
図版９　尖頭器・石鏃・掻器・石錐・楔形石器・
加工痕のある剥片・削器１
図版10　削器２・石核１
図版11　石核２
図版12　石核３
図版13　石核４／石匙・石錘／接合資料
図版14　打製石斧／敲石・磨石類／石皿

第Ⅰ章　調査に至る経緯

第１節　第二東名建設に伴う埋蔵文化財の取り扱いの経緯

混雑する東名・名神高速道路の抜本的な対策として、昭和62年の道路審議会において、第二東名・第二名神の建設が建議された。その後、第四次全国総合開発計画の閣議決定、国土開発幹線自動車道路建設法の一部改正等を経て、平成元年１月に開催された第28回国土開発幹線自動車道建設審議会において、飛鳥村～神戸市間の第二名神とともに、横浜市から東海市に至る延長約270㎞の第二東名高速道路の基本計画が策定された。静岡県内においては、東西に貫く形となり、その延長は、約170㎞である。この基本計画策定を受けて静岡県は、平成元年12月、第二東名建設推進庁内連絡会議を設置したが、教育委員会文化課もメンバーとして協議に参加した。

その後、第二東名の基本計画については、文化財を含む環境影響調査等が行われ、ほかの公共事業や地域開発計画との調整を図った上、平成３年９月24日には静岡県長泉町～引佐町間の都市計画決定告示がなされた。

こうした環境影響調査と並行する形で、埋蔵文化財の分布状況の把握作業もなされた。第二東名建設に関する調査の指示を受けた日本道路公団は、平成４年２月17日付で文化庁へ通知を行うとともに、平成４年５月11日付で、日本道路公団東京第一建設局長から静岡県教育委員会教育長あてに、長泉町～引佐町間の埋蔵文化財分布調査の手続きの依頼を行った。また、平成４年８月27日付で日本道路公団東京建設第一建設局静岡調査事務所長から静岡県教育委員会教育長あてに、「第二東海自動車道の埋蔵文化財包蔵地の所在の有無について」の照会がなされている。これを受けて県教育委員会は、平成４年９月29日に関係市町村教育委員会を集めて、第二東名路線内の埋蔵文化財踏査連絡会を開催するとともに、第二東名路線内における埋蔵文化財の所在についての照会を行った。踏査結果については、各市町村教育委員会からの回答をもとに協議を行い、県教育委員会が取りまとめたものを平成５年３月18日付で静岡県教育委員会教育長から日本道路公団東京第一建設局静岡調査事務所長あてに回答がなされている。この時点での調査対象箇所は136箇所、調査対象総面積が1,453,518㎡となっている。

さらに平成６年度には、県教育委員会文化課職員が上記の調査対象箇所について、具体的な調査を進めるための状況調査を行うとともに、前年示されたパーキングエリア・サービスエリア予定地についての踏査を当該市町村教育委員会に依頼、年度末にはその報告・取りまとめがなされている。こうした状況調査やあらたな踏査結果をもとに見直しがなされた結果、この段階での調査対象地点は133箇所、調査対象面積は、1,286,759㎡となっている。

平成７年度後半には、路線の一部では幅杭の打設が開始されており、埋蔵文化財の調査の開始について見通しが出てきた。こうした状況の中で、第二東名建設に係る埋蔵文化財の取扱いを協議する場として、日本道路公団静岡建設所（平成６年２月設置）と県教育委員会文化課による「第二東名関連埋蔵文化財連絡調整会議」が設置され、第１回の協議が平成７年12月13日に行われている。これ以降、細かい埋蔵文化財の取扱いについては、この会議において協議していくこととなった。なお、日本道路公団静岡建設所は、平成８年７月１日をもって、日本道路公団静岡建設局に改組されている。

平成８年度には第二東名建設に係る埋蔵文化財の調査の実施が具体化し、日本道路公団静岡建設局と県教育委員会は、平成８年９月24日付で第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについての確認書を締結した。さらに、調査実施機関である財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所を入れた三者は、平成８年９月25日付で第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査実施方法等について定めた協定書を締結

し、平成８年度内に一部埋蔵文化財の調査に着手していくこととなった。年度後半には、掛川市倉真の№94地点、浜北市大平の№136地点、同市四大地の№137地点の確認調査が実施されている。その後、平成９年度からは、発掘調査も本格化し、県内各地において確認調査から順次着手していった。

なお、第二東名に係る埋蔵文化財の調査は、関係者協議の結果、基本的には本線及び、サービスエリア・パーキングエリア、排土処理場について財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所が調査を実施、工事用道路及び取付道路部分については、当該市町村教育委員会が対応することとしたが、調査の進展に伴う調査量の増大に財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所の体制が追いつかず、本線部分の一部について、沼津市や静岡市、浜北市、富士宮市、裾野市、富士市の各教育委員会に対応を依頼するとともに、特に東部地域を中心に民間の発掘調査支援機関の導入を図った。

このような経緯を通じて、富士・富士宮市域における第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査として平成11～15年度に№61～64地点、平成17年度に下高原遺跡（土－２地点）の調査が行われた。

第Ⅱ章　№61～64地点の概要

第１節　調査の方法と経過

１　調査の方法

遺跡の全体を把握するため、国家座標（日本測地系　平面直角座標第Ⅷ系）を用い、光波測定器を使用して試掘箇所、遺構・遺物検出箇所を記録した。遺物については、原則として１点ごとに土器＝Ｐ、石器＝Ｓ、礫＝Ｒの略号と遺物番号をつけ、出土層位も合わせ、Ｘ、Ｙ座標と標高値（Ｚ）を記録して取り上げている。現地の記録図面は、全体図は縮尺１／100、遺構図、土層断面図などは縮尺１／20を基本として保管している。現地記録写真は、作業工程撮影用と併行して35㎜判のカラーを用いて行い、必要に応じて35㎜判のリバーサルやモノクロ、ブローニー６×７判のモノクロを使用した。

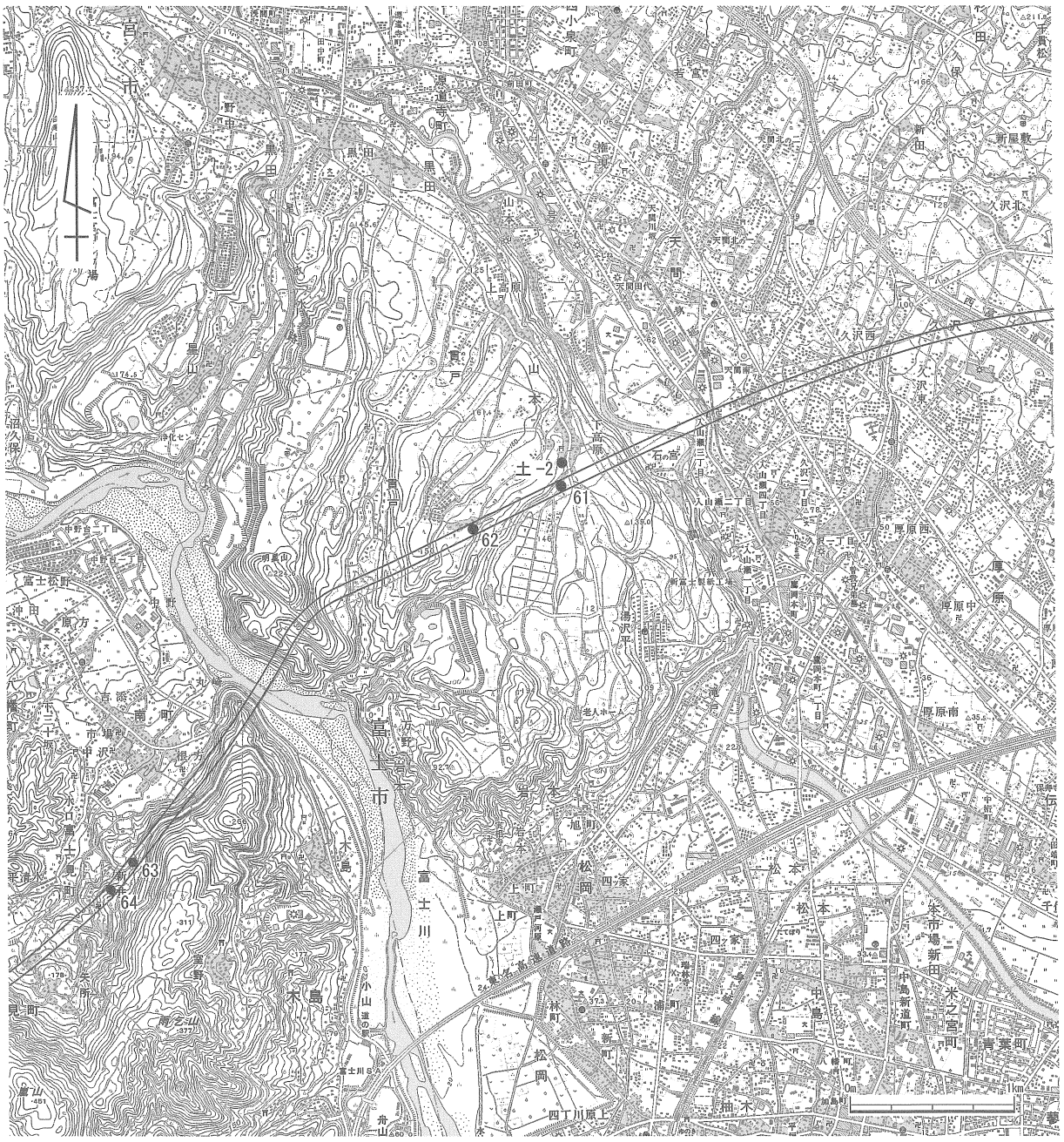
２　調査の経過

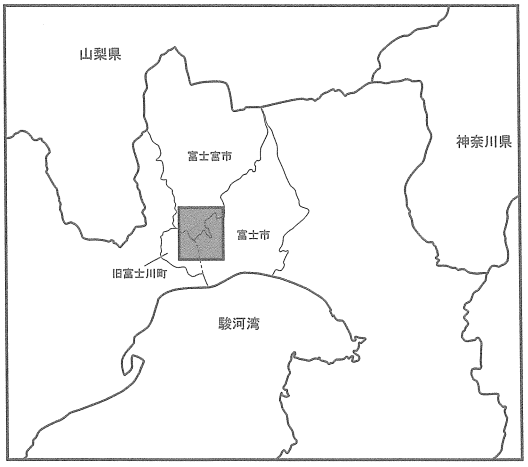
確認調査は、各地点全域を対象として、平成11年度から順次着手し、平成15年度まで実施した。調査対象地内に試掘坑を設定し、設定範囲内の工作物等と表土を重機で除去した後、人力により掘削を行い、遺構・遺物の確認を行った。掘削完了後、各試掘坑について写真と図面による記録保存を行い、重機による埋め戻しを行い確認調査は終了した。

３　資料整理の方法と経過

基礎整理として土器、石器、礫は、洗浄の後、遺物番号の注記作業を行った。また、資料整理は、平成21年４月から平成22年３月まで実施した。遺物は時期・層位ごとの分類を行い、あわせて接合作業も行った。土器は、時代を特定できる特徴的なもの、残存状況が良好なものを中心に、また、石器は、調整・加工が施されているものを中心に実測図を作成した。

報告書作成に先立ち、調査区全体図や試掘坑配置図、遺構図等の図版作成、出土状況の記録と台帳に基づく遺構・遺物一覧表の作成、拓本・実測図の図版作成、遺物写真撮影と遺構写真を含む写真図版の作成を行い、現地調査における所見、資料整理の成果を踏まえて報告書本文を執筆した。





第Ⅰ－１　第二東名の路線と対象地点

第Ⅱ－１表　対象地点一覧

対象地点	遺跡名
No.61	－
No.62	－
No.63	－
No.64	－
土－2	下高原

第２節　各地点の概要

１　No.61地点

⑴　地点の概要

No.61地点は、富士市境に近い岩本山の北、富士宮市山本字鍛冶ヶ久保に所在する。古富士火山から富士川方向に向かう放射谷は、大宮断層により分断されるが、断層活動により隆起して形成された星山丘陵にその痕跡をとどめている。本地点は、その谷最奥部、標高約110mに位置し、北側約50mには、旧石器～古墳時代の遺構・遺物が確認された下高原遺跡（土－２地点）が立地する。

本地点内には鍛冶ヶ井戸と呼ばれる昭和20年代まで使用されていたとされる素掘りの井戸が残されているため、井戸の使用時期の特定を含めて調査の対象とした。なお、井戸内にある径0.8m程度の礫の下には、伝説の宝が眠るとの地元伝承がある。また、今川分限帳にみえる高原城はこの近辺である可能性が考えられている。

⑵　調査の概要

発掘調査は、平成11年９月～12月まで行った。調査対象面積は、5,127㎡、試掘坑を18箇所設定し、遺構・遺物の確認を行った。実掘面積は、200㎡である。

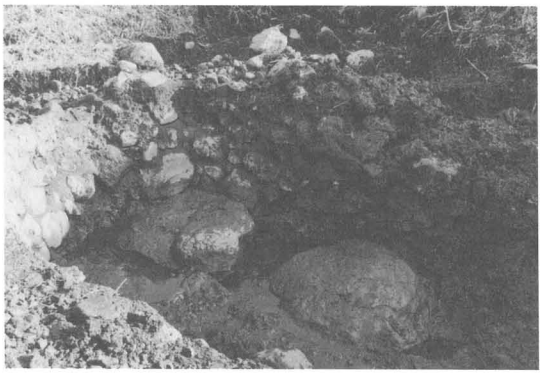
⑶　遺構と遺物

試掘坑５・６・10において、北東から南西にのびる幅0.6～0.8m程度、深さ0.2m程度（いずれも平面確認面での数値）の断面Ｕ字形の溝状遺構が検出されている。このうち、試掘坑５・６検出のものは、溝の方向が一致することから、一連の遺構である可能性が高い。谷筋と溝の方向が一致するため、谷部で行われた耕作等の排水溝と推測される。

溝底部は、淡黄色土（休場層相当層か）に達し、溝覆土は、暗褐色土となっている。ただし、TP５北壁の断面観察結果を考慮すると、平面確認面から約0.4m程度上の７層上面に溝覆土に類似した褐色土の落ち込みが確認される。よって、本来は、７層上面から掘り込まれた幅１m、深さ0.6～0.7m程度の溝であった可能性がある。

TP６の溝覆土からは、黄白色を呈し、白色粒子を多く含む土器片が１点出土している。内面にやや粗いハケ、外面に細かいハケを施す。胎土、調整痕から古墳後期の駿東型の甕と推測される。ただし、小破片１点だけの出土であり、溝の時期を決定するまでには至らない。

No.61地点全景　南西から撮影



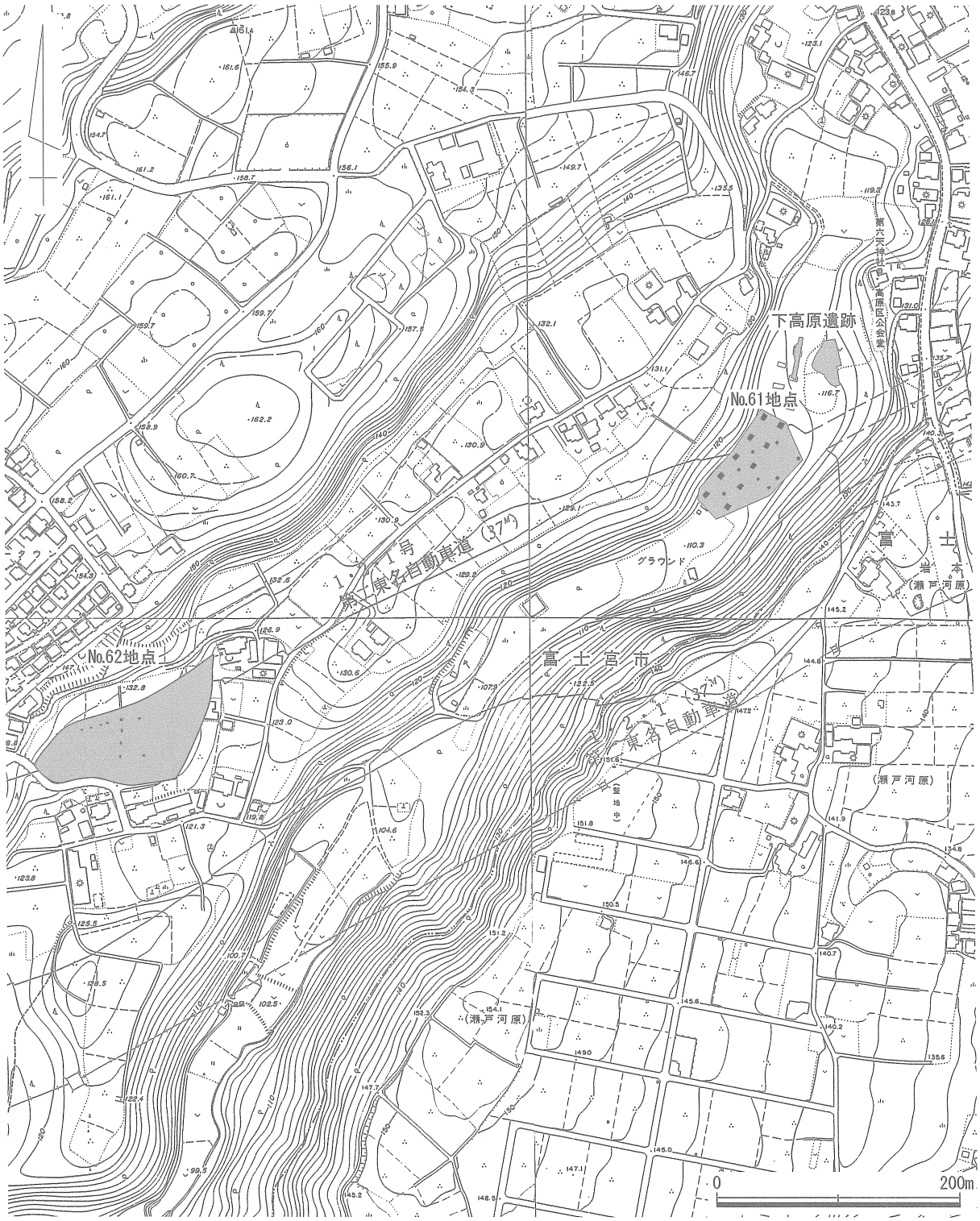
No.61地点　井戸内の礫検出状況

No.61地点　TP５溝完掘状況

TP８脇にある昭和時代まで使用されていたとされる直径３m、深さ50㎝程の素掘りの井戸は、覆土を除去しながら、使用時期を示す遺物の検出につとめた。現地表下１m程度の位置に径0.8m程度の礫が２点確認された。地元伝承によると、この礫の下には、伝説の宝が眠るとの伝えがあるため、念のため礫を除去したが、遺物等は一切出土しなかった。

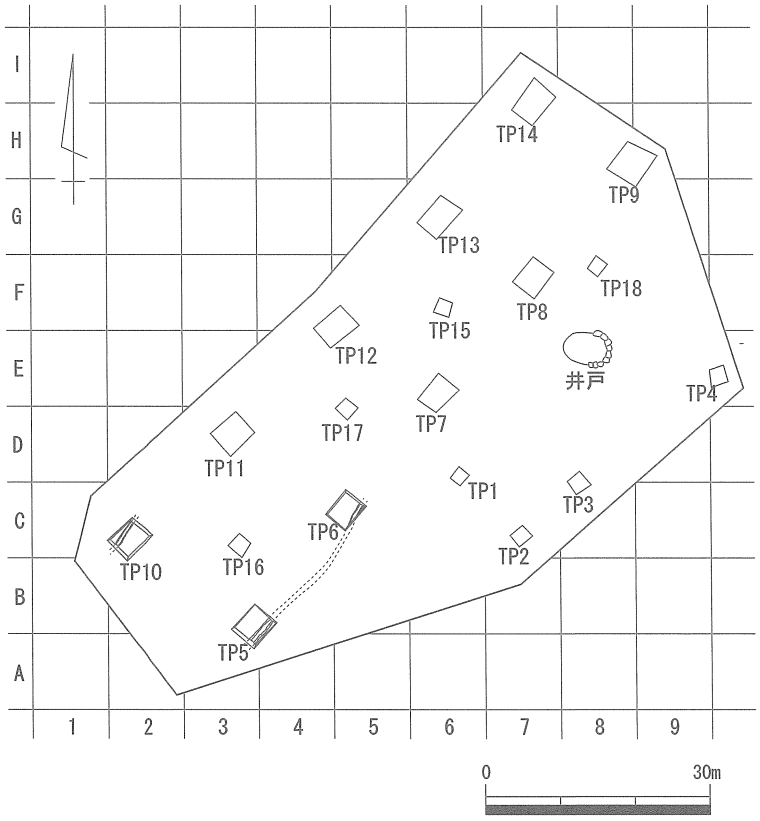
TP６～９・11・14～17から土器片、石器剥片等が合計40点ほど出土している（第Ⅱ－３図）。

いずれも細片となったものが多いため、残存状況が良好なもののみを図示した。

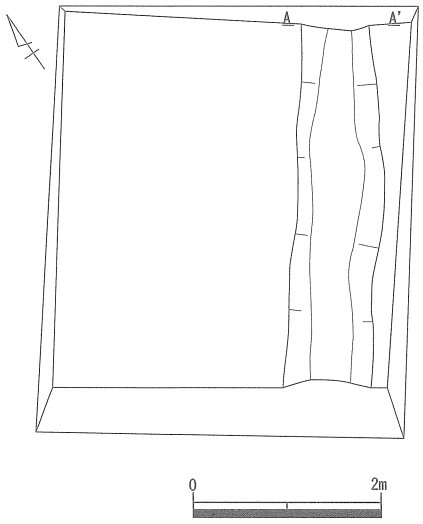


第Ⅱ－１図　No.61・62地点　位置図（富士宮市都市計画図に加筆）

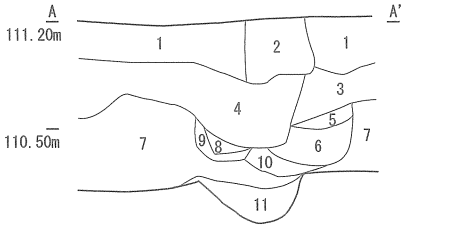
１～４は、縄文土器である。１は厚手の無文部分の破片で、早期後半に比定されるものであろう。２～４は外面に縄文（RLまたはLR）を施す破片である。２は底部の破片である。いずれも小片であり、時期は不明である。５～７は弥生後期～古墳前期の台付甕の破片である。５は口縁部破片で、口唇部を若干丸く収めるもので、刻みを施さないものと考えられる。６は頸部破片である。



試掘坑配置図

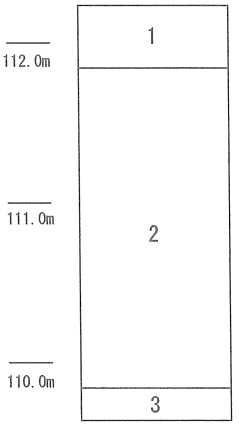


TP5 平面図



1　茶褐色土（表土）
2　茶褐色土（しまりがない）
3　暗茶褐色土
4　茶褐色土（ややしまりがない、ｽｺﾘｱを含み、部分的に砂礫状を呈する）
5　茶褐色土（赤褐色のｽｺﾘｱを少量含む）
6　茶褐色土（赤褐色のｽｺﾘｱを含む）
7　暗茶褐色土（橙色ｽｺﾘｱを少量含む）
8　茶褐色土（やや粘性がある）
9　茶褐色土（橙色ｽｺﾘｱを含む、ややしまりがない）
10　暗茶褐色土（層位下位に粘質土が堆積する、層位中位に橙色ｽｺﾘｱがレンズ状に堆積する。
11　暗茶褐色土（橙色ｽｺﾘｱを含む）

TP5溝状遺構土層断面図

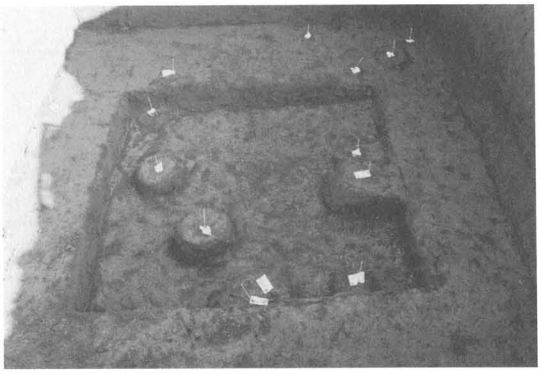


1　表土
2　黒色土　しまりがない。褐色ｽｺﾘｱを少し含む
3　黄褐色土　赤褐色、灰色、黄褐色ｽｺﾘｱを多量に含む

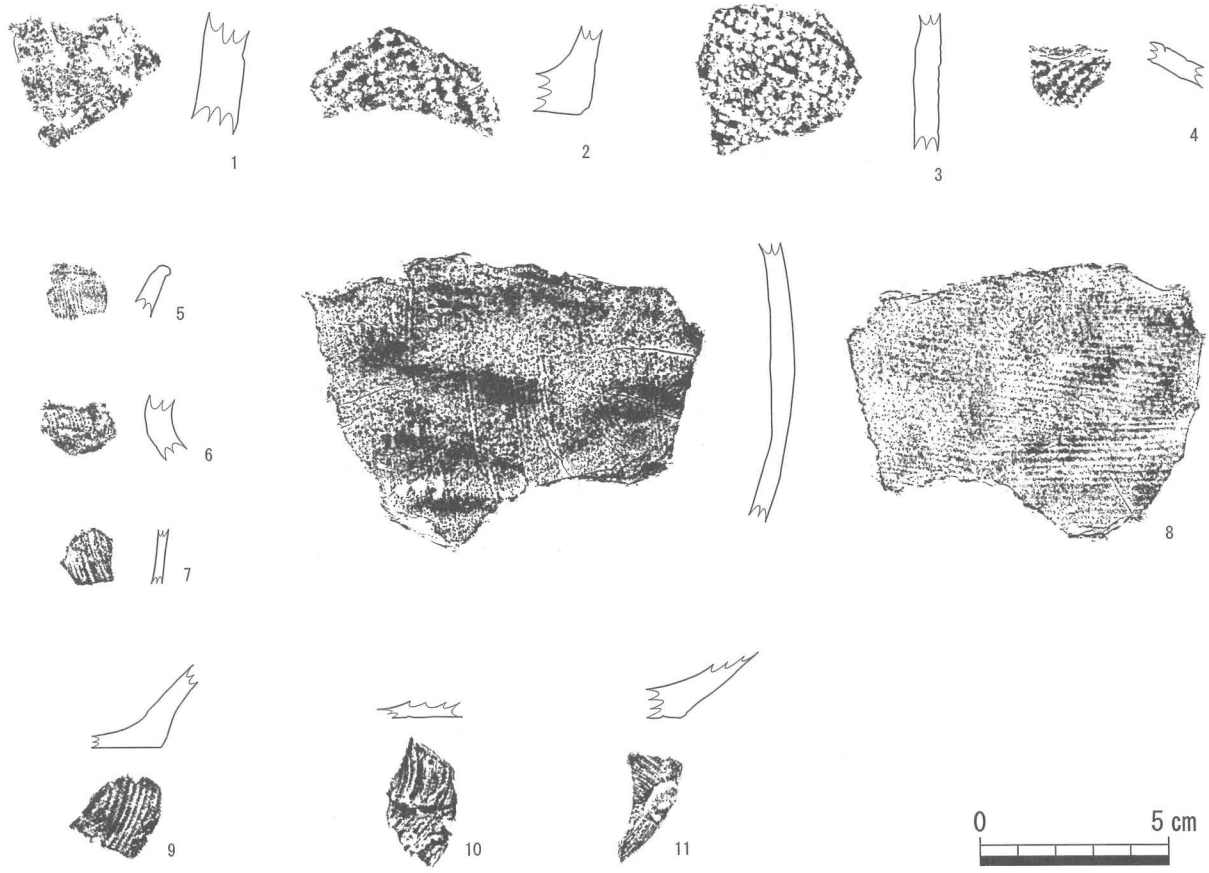
土層柱状図（TP9）

第Ⅱ－２図　No.61地点　現地平・断面図

７は、Ｓ字状口縁台付甕の胴部破片と考えられる。器壁が２～３㎜と薄く、胎土に雲母を含み、にぶい黄橙色を呈することから、駿河地域で製作されたものと考えられる。８は古墳後期の駿東型の甕の胴部破片である。外面をやや細かいタテハケ、内面をやや粗いヨコハケにより調整し、指頭による圧痕を残している。９～10はかわらけの底部破片である。いずれも底部に糸切り痕を残している。時期は判然としないが、15～16世紀頃に比定されよう。



No.61地点　TP８遺物出土状況



第Ⅱ－３図　No.61地点　出土遺物実測図

第Ⅱ－２表　No.61地点　出土遺物観察表

図版番号	試掘坑	層位	遺物名	時代	法量(cm)	胎土	焼成	色調	部位	備考（型式など）
1	14	13	縄文土器	縄文	厚さ1.1	密　0.5㎜の石英を多く含む。0.5㎜の黒色粒子を少し含む。	良	(外) 橙7.5YR6/6 (内) 橙7.5YR6/6	胴部	
2	11	5	縄文土器	縄文	厚さ1.0	密　0.5㎜の白色粒子を多く含む。0.5㎜の黒色粒子を少し含む。	良	(外) 明赤褐5YR5/6 (内) にぶい褐7.5YR5/4	底部	
3	11	8	縄文土器	縄文	厚さ0.7	密　0.5㎜の白色粒子を多く含む。0.5㎜の黒色粒子を少し含む。	良	(外) にぶい褐7.5YR5/4 (内) 灰褐7.5YR4/2	胴部	
4	8	3	縄文土器	縄文	厚さ0.5	密　0.5～1㎜の石英を含む。0.5㎜の黒色粒子、雲母を少し含む。	良	(外) 明赤褐5YR5/6 (内) にぶい橙7.5YR6/4	肩部	
5	8	3	台付甕	弥生後期～古墳前期	厚さ0.4	密　0.5㎜の灰色粒子少し含む。	良	(外) にぶい黄橙10YR7/3 (内) 橙5YR6/6	口縁部	
6	15	2	台付甕	弥生後期～古墳前期	厚さ0.6	密　0.5～1㎜の白色粒子を多く含む。	良	(外) 橙7.5YR6/6 (内) 橙7.5YR7/6	頸部	
7	8	3	台付甕	古墳前期	厚さ0.25	密　0.5㎜の白色粒子、赤色粒子、雲母を少し含む。	良	(外) にぶい黄橙10YR7/3 (内) にぶい黄橙10YR7/3	胴部	S字状口縁台付甕
8	11	5	甕	古墳後期	厚さ0.6	密　0.5㎜のは白色粒子を多く含む。0.5㎜の黒色粒子を少し含む。	良	(外) 灰黄褐10YR5/2 (内) 褐灰10YR6/1	胴部	駿東型
9	17	表土	カワラケ	中～近世	厚さ0.6	密　砂粒を含まない。	良	(外) にぶい黄橙10YR6/4 (内) にぶい黄橙10YR7/4	底部	
10	16	表土	カワラケ	中～近世	厚さ0.6	密　砂粒を含まない。	良	(外) 橙7.5YR6/6 (内) 橙7.5YR6/6	底部	
11	16	表土	カワラケ	中～近世	厚さ0.4	密　0.5㎜の雲母を少し含む。	良	(外) にぶい橙7.5YR6/4 (内) 灰褐7.5YR4/2	底部	内面煤付着、灯明皿として使用か

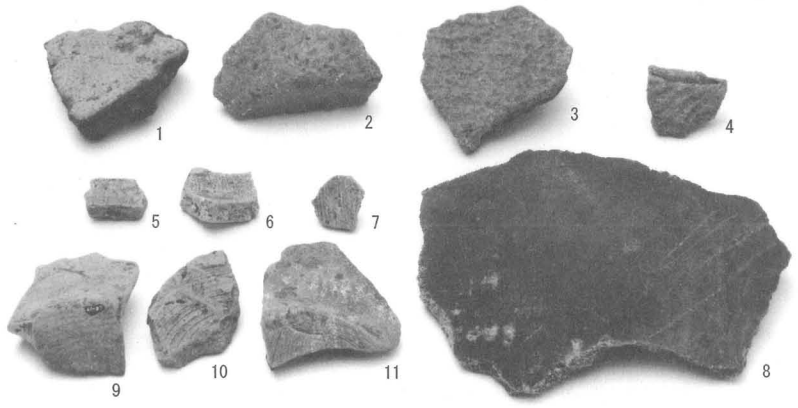


写真　No.61地点出土土器

２　No.62地点

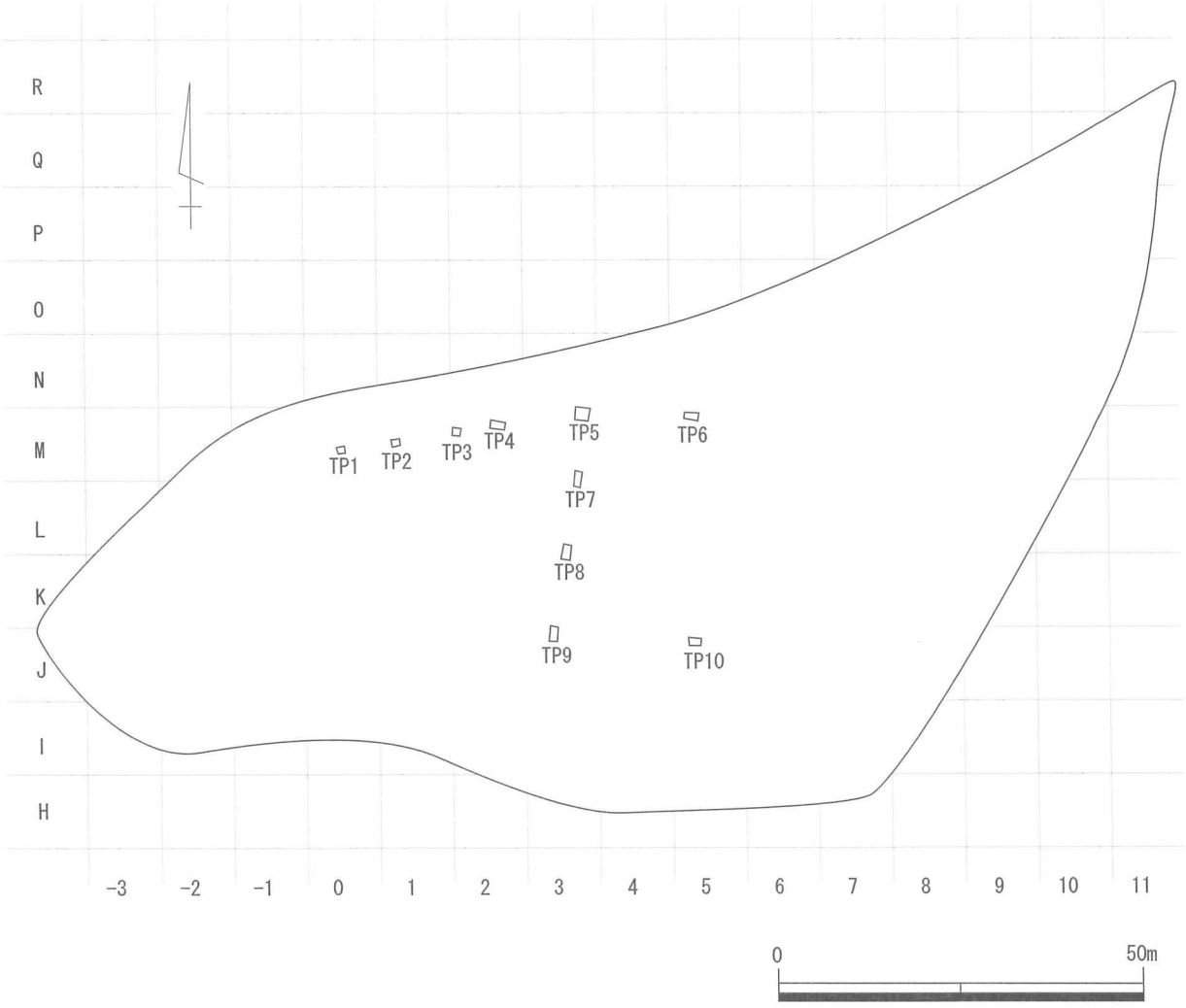
(1)　地点の概要

No.62地点は、富士市境に近い岩本山の北、富士宮市山本に所在する。前述のNo.61地点の立地する谷の一段上に形成された河岸段丘上、標高約130mに立地している。

古富士火山から富士川方向に向かう放射谷は、古富士泥流の堆積による河岸段丘を発達させている。この放射谷は、当該地が大宮断層により隆起して星山丘陵となった後も同丘陵を島状に分断している。北東約600mには、旧石器～古墳時代の遺構・遺物が確認された下高原遺跡（土－２地点）が立地する。

No.62地点全景　南西から撮影

No.62地点試掘坑掘削状況



第Ⅱ－４図　No.62地点　現地平・断面図

(2)　調査の概要

発掘調査は、平成13年１月～２月まで行った。調査対象面積は、6,943㎡、実掘面積は40㎡である。試掘坑を10箇所設定し、遺構・遺物の有無を確認した。本調査対応となった近隣の下高原遺跡と土層の堆積状況が類似していたが、遺構・遺物は検出されなかった。

No.62地点　TP６東壁土層堆積状況

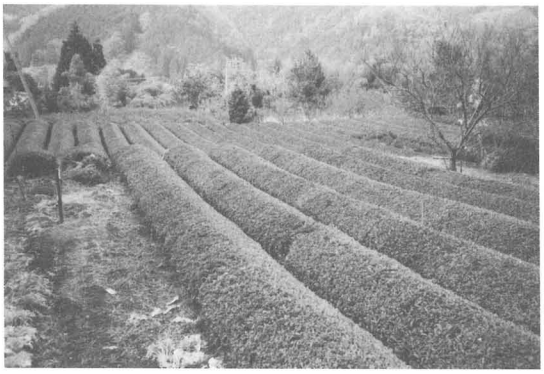
３　No.63地点

(1)　地点の概要

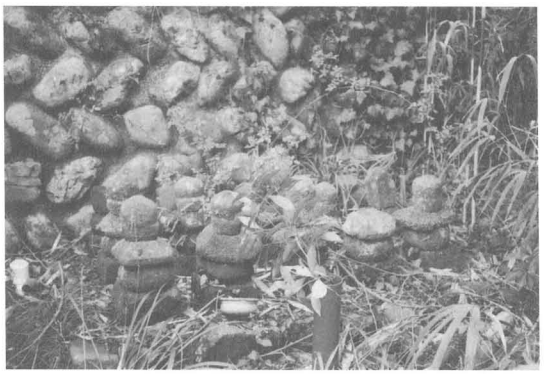
No.63地点は、富士川にそそぎ込む血流川の南側にある丘陵の北斜面の標高95～107m、富士市（旧富士川町）南松野字新井384－１外に所在する。この周辺は、南部フォッサマグナ最南部にあたり、富士川の浸食や開析作用を受けた河岸段丘が広がる。

本地点の北側約２㎞には縄文時代～中・近世の中野遺跡があり、五輪塔の出土も報告されている。また、東名富士川サービスエリア用地内には、北久保遺跡、破魔射場遺跡、谷津原古墳群などの遺跡が存在する。

なお、本地点の東端部には、16基ほどの五輪塔が３列に並べられている。この五輪塔は、本地点の周囲に建設されている農免道路の建設の際、和田氏が採集したものとされている（富士川町教委：1984）。よって、本地点の調査でも中・近世の遺構・遺物が発見される可能性が考えられた。



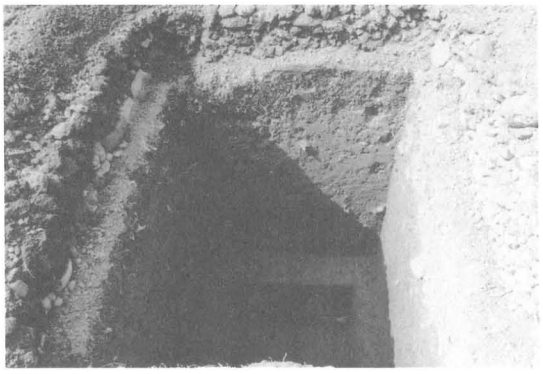
No.63地点全景　南西から撮影



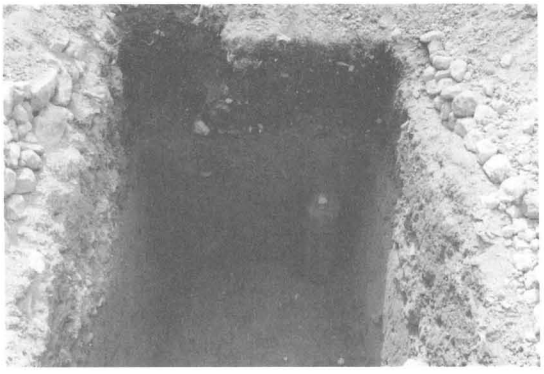
No.63地点近接地和田家墓地の隣に並べられた五輪塔

(2)　調査の概要

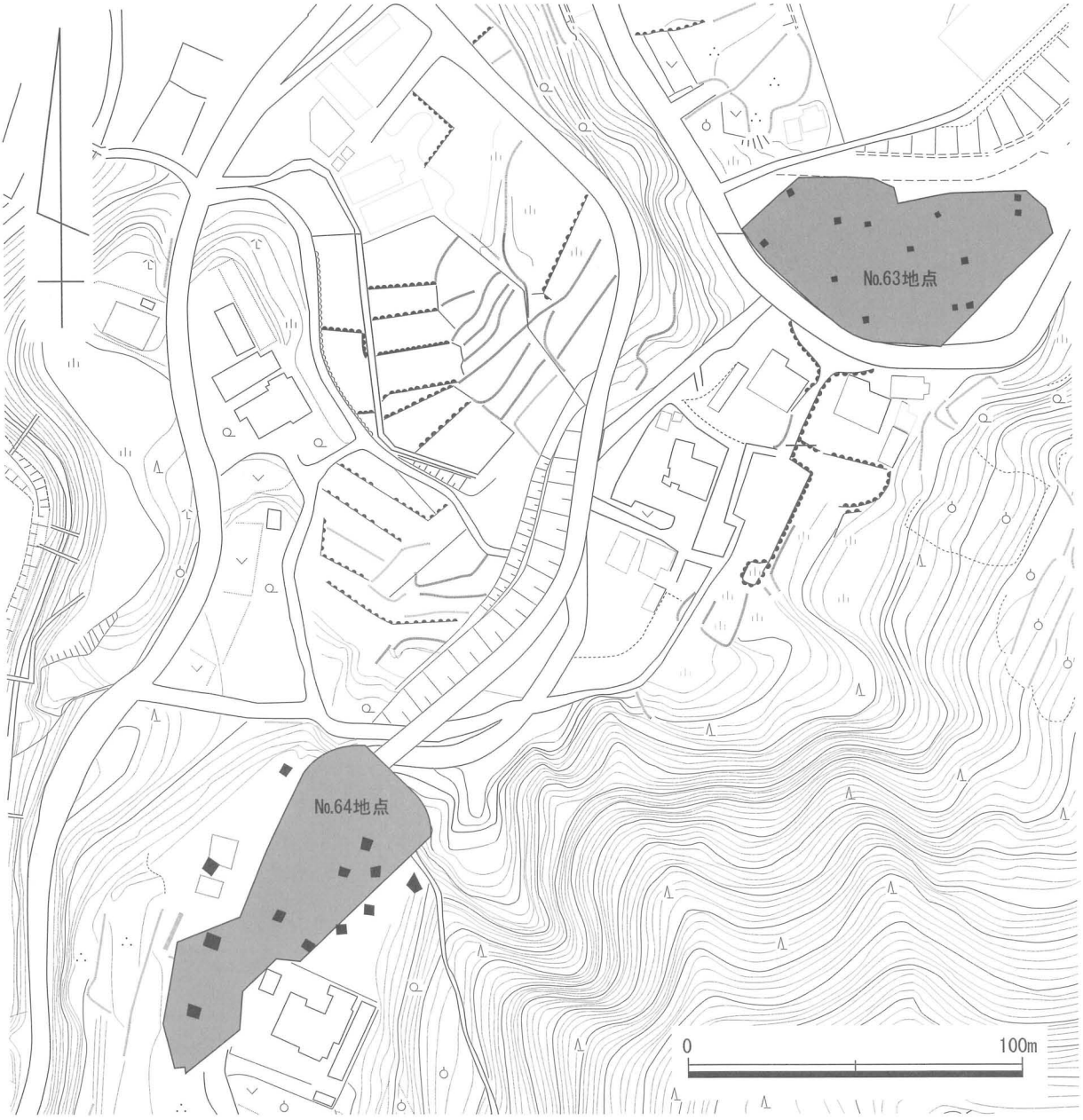
発掘調査は、平成14年２月～３月まで行った。２月７日に試掘坑の設定を行い、14日から調査準備を開始した。18日から試掘坑の掘削・精査を開始、遺構・遺物の有無を確認し、試掘坑土層の観察と記録、写真記録を行った後、３月12日に試掘坑の埋め戻しを行い調査を終了した。調査対象面積は、4,760㎡、試掘坑を13箇所設定し、実掘面積は48㎡である。調査の結果、遺構は確認されなかったが、TP３・６・７から縄文土器、弥生土器、石器剥片が出土した。また、この他に土器、陶器、石器剥片が表面採集されている。埋蔵文化財に係る土層の堆積状況は非常に悪く、特に発見が予想された中・近世に該当すると考えられる黒色土の堆積はTP４及びTP６に限られた。



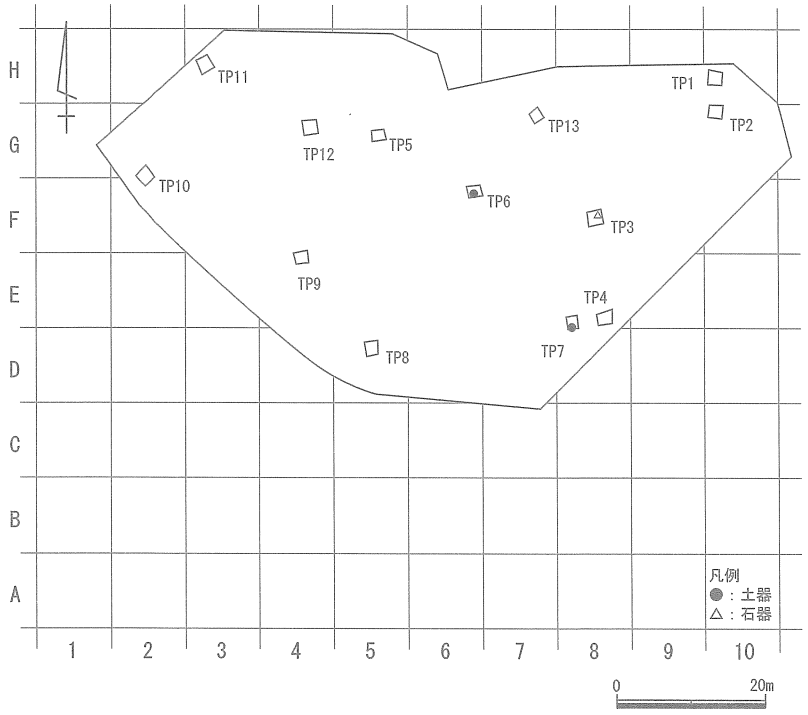
No.63地点　TP６完掘状況



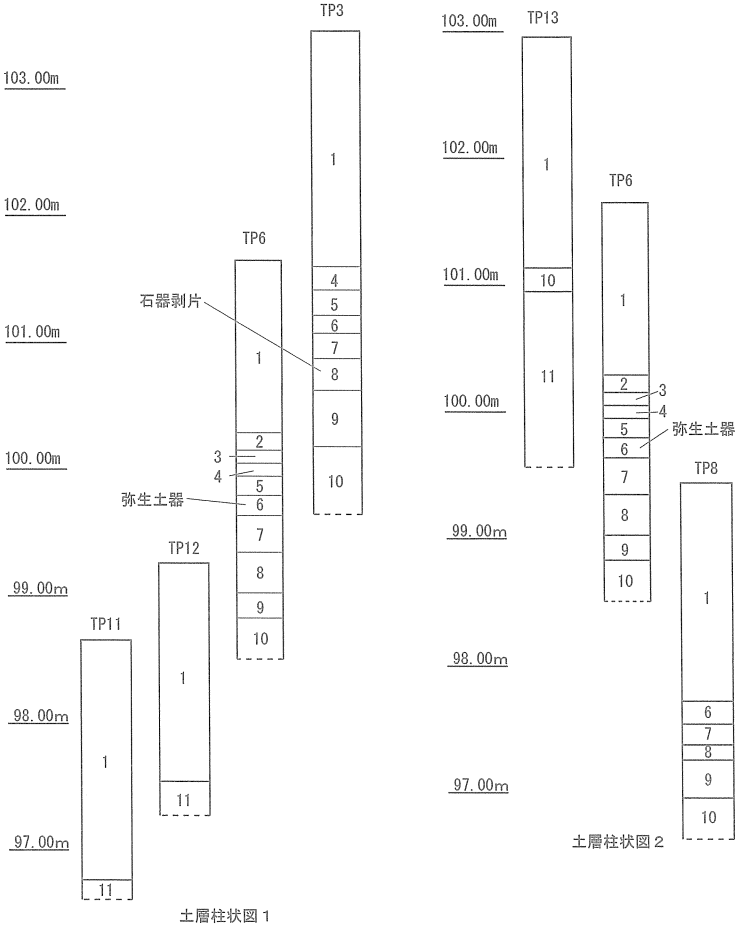
No.63地点　TP７完掘状況



第Ⅱ－５図　No.63・64地点位置図（富士市都市計画図をトレースし加筆）



試掘坑配置図

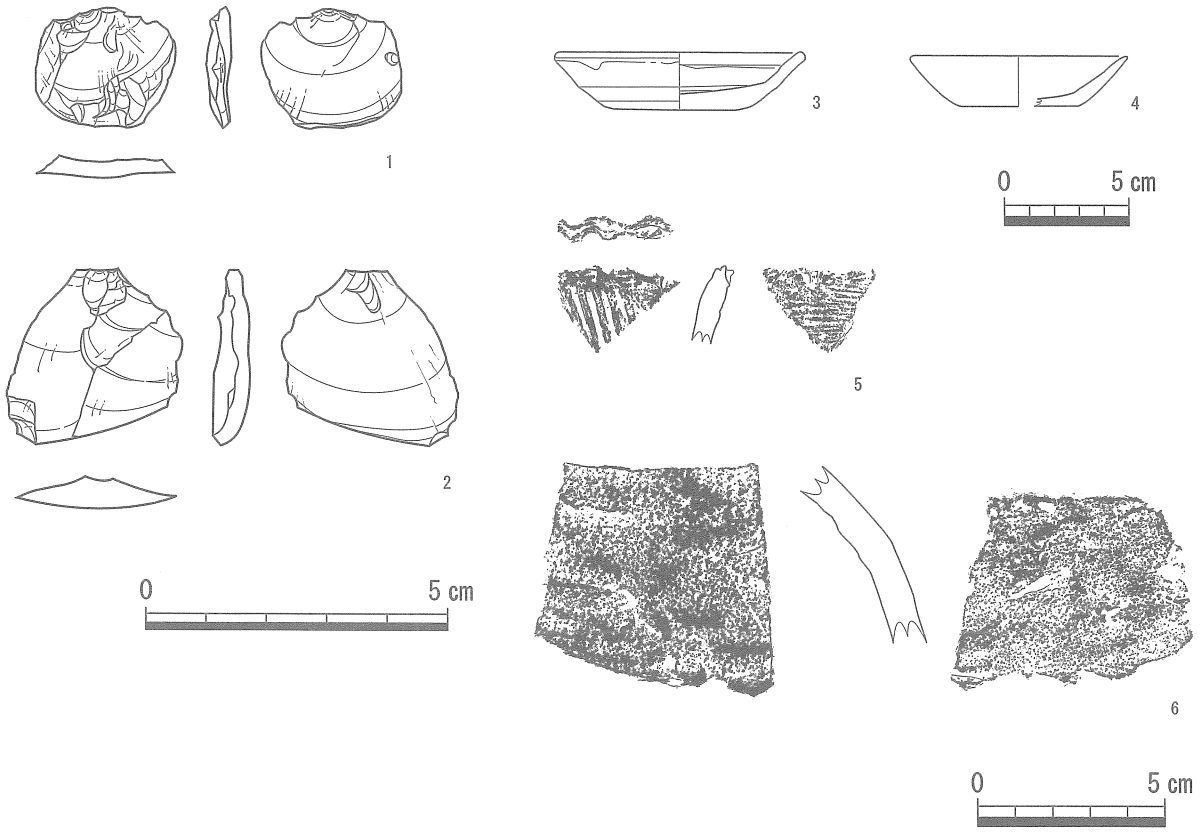


1　表土
2　黒色土層
（粘性あり、しまりややあり）
3　黒褐色土層
（径１cm弱の赤褐色スコリアを少量含む）
4　黒褐色土層
（径１～４mmの赤褐色スコリアを少量含む）
5　暗褐色土層
（径１～２mmの赤褐色スコリアを少量含む）
6　暗褐色土層
（径１～２mmの炭化物を少量含む）
7　暗褐色土層
（径１～５cmの小石を含む）
8　暗褐色土層
（径１～５cmの小石を多く含む）
9　暗褐色土層
（径１～３mmの炭化物を少量含む）
10　暗褐色土層
（粘性が強く径１～５cmの小石を多く含む）
11　地山層

第Ⅱ－６図　No.63地点　現地平・断面図

⑶　遺物

１は、黒曜石製のやや幅広の剥片である。水和層が未発達なことから、縄文時代のものと考えられる。２は、TP３の９層から出土したホルンフェルス製の剥片である。やや幅広の剥片素材である。時期は不明であるが、縄文時代以降のものであろうか。５は、TP６の６層から出土した弥生土器片である。口縁部破片で、口唇部内外面にハケ状工具によるキザミを施している。口縁部外面はやや粗い斜位のハケ、内面はやや細かな横方向のハケにより調整されている。以上の特徴から弥生中期後半の甕（深鉢）形土器と考えられる。３・４・６は、いずれもTP６付近で表面採集された土器、陶器である。３は、瀬戸美濃産の縁釉小皿である。表面採集されたものであり、欠損が全くない完形品である。やや丸みを帯びた体部を有し、口径10.0㎝、底径5.5㎝、器高2.4㎝を計る。口縁部内外面にのみ灰釉を施し、底部内面周辺は露胎である。古瀬戸後Ⅳ期（15世紀後半）に比定される。４は、カワラケである。摩滅が著しく、調整方法は不明である。浅黄橙色を呈し、口径約8.8㎝、底径約4.9㎝、器高2.0㎝を計る。時期は判然としないが、15～16世紀頃に比定されよう。６は、常滑産の甕肩部の破片である。時期は判然としない。



第Ⅱ－７図　No.63地点　出土遺物実測図

第Ⅱ－３表　№63地点　出土遺物観察表

図版番号	試掘坑	層位	遺物名	時代	法量（cm）	重量	胎土	焼成	色調	部位	備考（型式など）
1	－	表採	剥片（Ob）	縄文か	長さ1.98、幅2.31、厚さ0.42	1.48	－		－	－	
2	－	表採	剥片(Hor)	縄文か	長さ2.90、幅2.89、厚さ0.61	4.88	－	－	－	－	
3	TP6付近	表採	緑釉小皿	中世	口径10.0、底径5.5、器高2.4	－	密　1.5㎜の白色粒子を少し含む。	良	（外）灰白10Y8/1 （釉薬）オリーブ灰10Y6/2 （内）灰白10YR8/1	完形品	瀬戸美濃産（15世紀後半）
4	TP6付近	表採	カワラケ	中世か	口径8.8、底径4.9、器高2.0	－	密　砂粒を含まない。	良	（外）浅黄橙10YR8/4 （内）浅黄橙10YR8/4	口縁～底部	
5	TP6	6層	深鉢	弥生中期	厚さ0.6	－	密　0.5㎜の白色粒子を多く含む。0.5㎜の石英、赤色粒子を少し含む。	良	（外）灰褐5YR4/2 （内）にぶい橙7.5YR6/4	口縁部	
6	TP6付近	表採	甕	中世か	厚さ0.9	－	密　0.5～1㎜の白色粒子を含む。	良	（外）青灰5PB5/1 （内）灰褐7.5YR5/2	肩部	常滑産

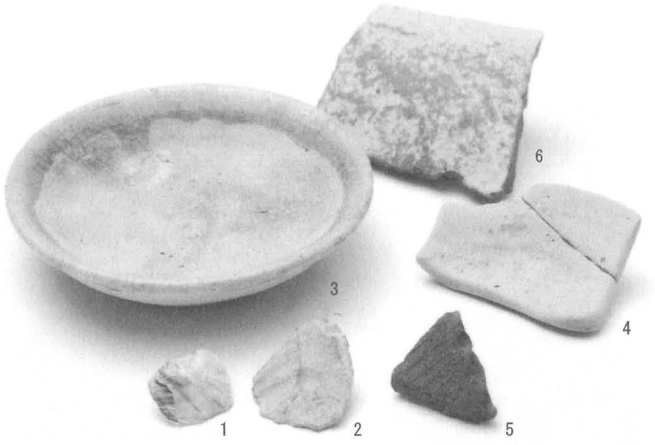


写真　№63地点出土遺物

４　No.64地点

⑴　地点の概要

No.64地点は、富士市（旧富士川町）南松野字新井地先、東名富士川サービスエリアから西北西方向、約２㎞に位置する。調査地点の標高は、約100～110mである。調査当時、対象地点の南側が宅地、北側が荒地となっており、旧地形が改変されている可能性が考えられた。

⑵　調査の概要

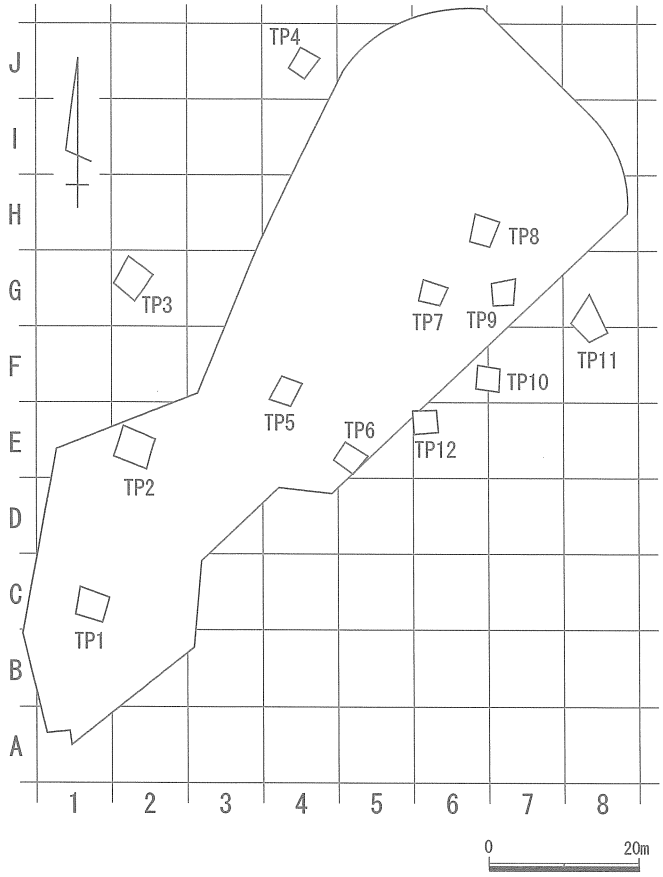
発掘調査は、平成15年７月１日から現地設営及び安全管理に関する諸作業を開始。第２週から重機による表土除去を行い、続いて人力による試掘坑の掘削を実施した。遺構・遺物の有無を確認し、試掘坑土層の観察と記録、写真記録を行った後、第５週に重機による埋め戻し作業を行い、７月31日に調査を終了した。調査対象面積は、2,720㎡、試掘坑を12箇所設定し、実掘面積は、108㎡である。調査の結果、土地造成に伴う地形改変が著しく、遺構・遺物ともに確認されなかった。

No.64地点　全景

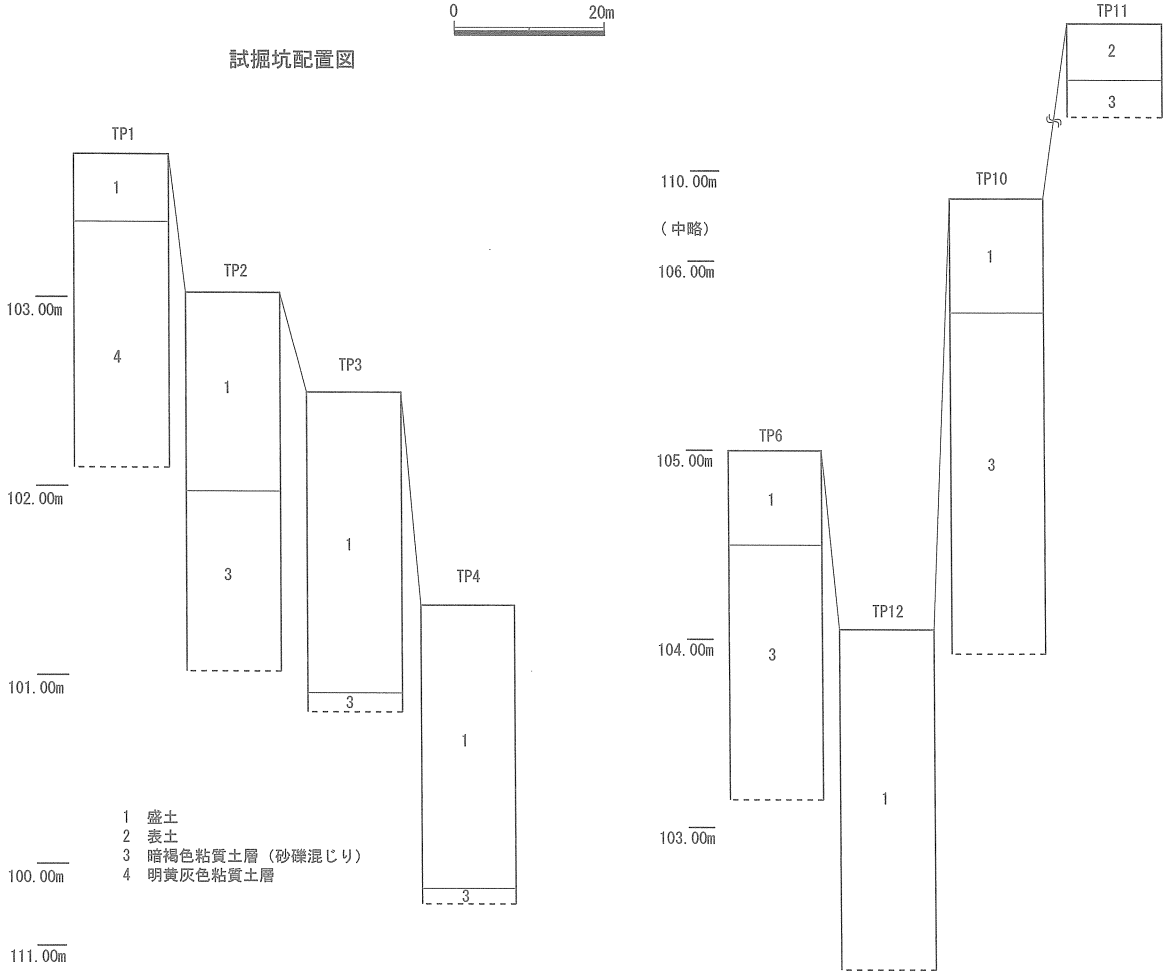
No.64地点　調査状況

No.64地点　TP１南壁土層堆積状況

No.64地点　TP７南壁土層堆積状況

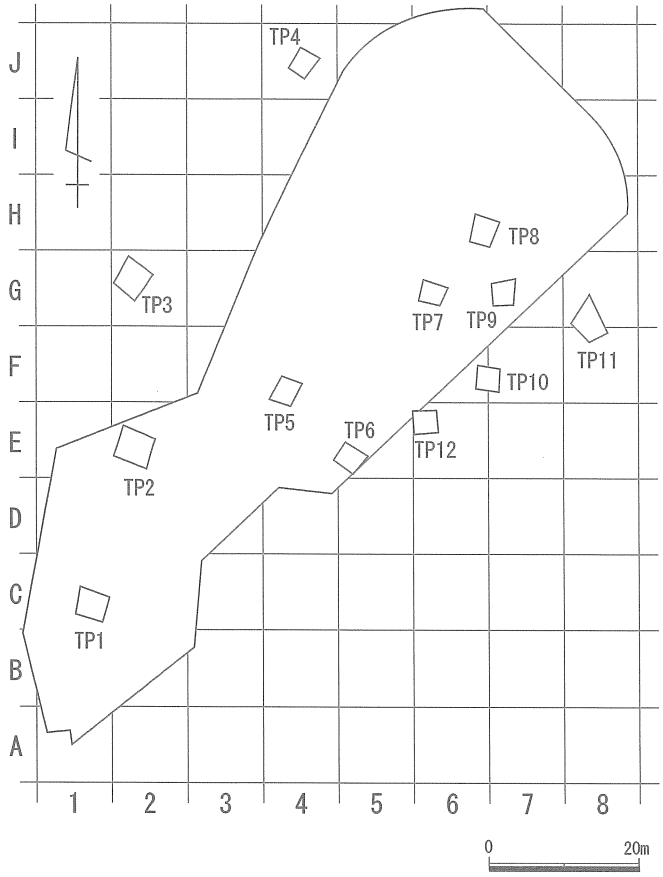


試掘坑配置図

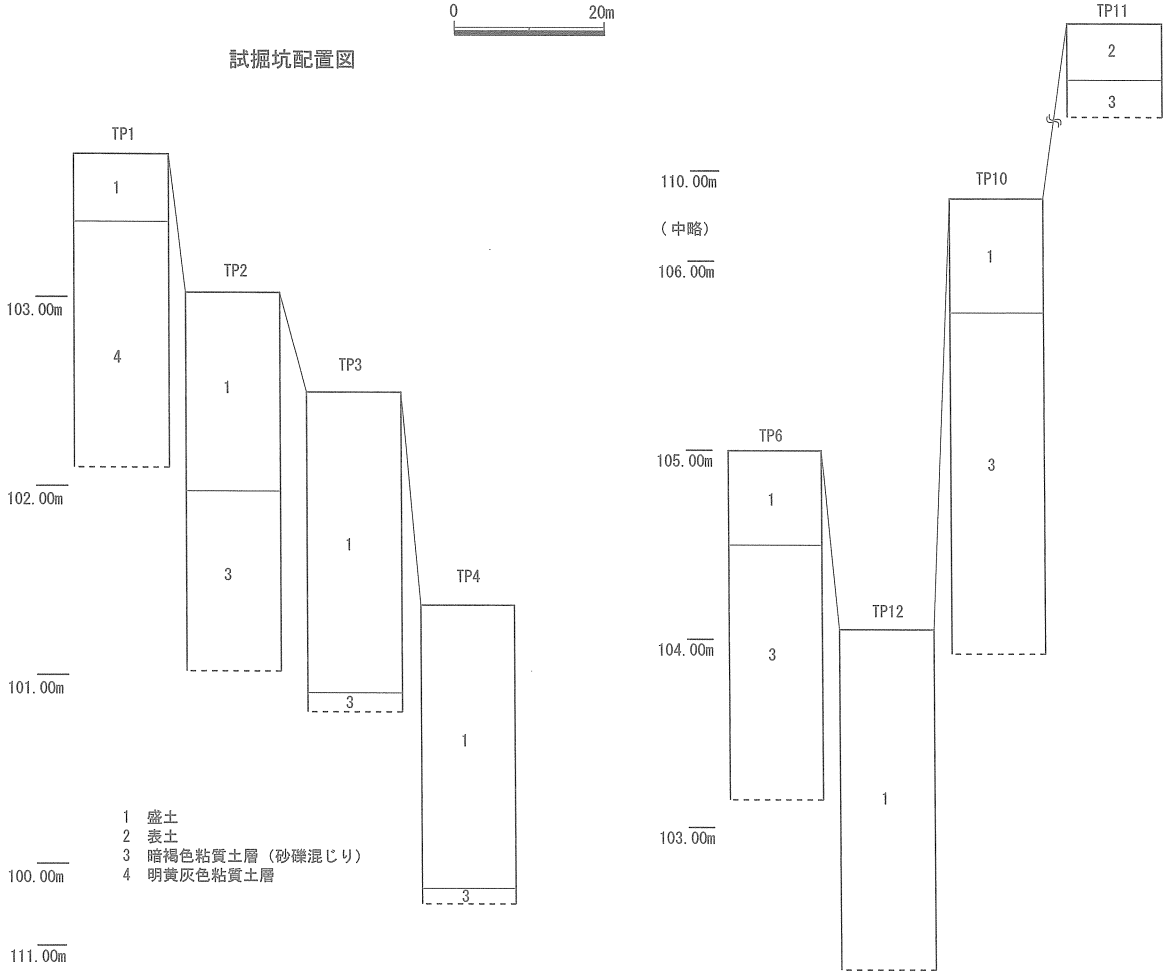


土層柱状図

第Ⅱ－８図　No.64地点　現地平・断面図



試掘坑配置図



土層柱状図

第Ⅱ－８図　No.64地点　現地平・断面図

第３節　調査の成果とまとめ

１　No.61地点

今川分限帳にみえる高原城がこの近くにあると考えられること、昭和20年代まで使用されていたとされる井戸が残されていること、鍛冶ヶ久保という地名などから、鍛冶または、中世城館に関連した遺構検出が予想されたが、井戸内からは、遺物が一切出土しておらず、井戸の使用時期の上限の特定には至らなかった上、井戸及び周辺からも中世に遡る遺構は確認されなかった。旧石器～古墳時代の遺構・遺物が確認された下高原遺跡に隣接する地点であるが、遺構・遺物のあり方も散漫で遺跡として捉えるまでには至らなかった。

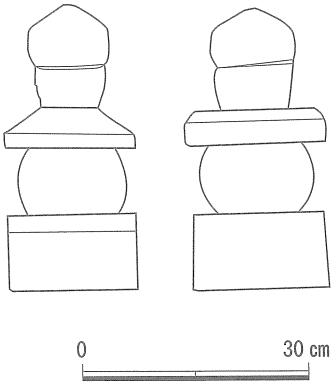
２　No.62地点

本調査対応となった近隣の下高原遺跡と土層の堆積状況が類似していたが、遺構・遺物は検出されなかった。

３　No.63地点

事業対象地内の調査では、茶畑の造成、茶樹の改植等によって表土直下の土層の残存範囲がごく限られた範囲であったことにも起因して、想定された中・近世をはじめとした遺構は確認されなかったものの、縄文～中世にわたる各時期の遺物が出土・採集された。

周囲の道路工事に伴い採取したとされる五輪塔のうち、富士川町教委により実測調査が行われた資料（富士川町教委：1984）はおおむね16世紀以降のものと考えられる（第Ⅱ－９図）。墓塔の詳細調査結果を待たなければならないが、今回の調査で表面採集された15世紀後半の瀬戸美濃産縁釉小皿の存在は、本地点周辺が遅くとも15世紀後半には墓域として利用されていたことを示唆しているのかもしれない。



第Ⅱ－９図　新井和田氏宅墓地採集五輪塔実測図
（富士川町教委：1984からトレース）

４　No.64地点

本地点では、遺構・遺物は確認されなかった。遺跡の範囲外と判断される。

５　まとめ

以上の調査結果から本対象地では、一部で遺構・遺物が検出されたものの、後世の土地改変等により残存状況が悪いこと、出土遺物の多くが周辺からの流れ込みであると判断された。

参考・引用文献

富士川町教育委員会　1984　中野遺跡　静岡県富士川町中野遺跡第２・３次調査報告書

第Ⅲ章　下高原遺跡

第１節　調査の方法と経過

１　調査の方法

遺跡の全体を把握するため、国家座標（日本測地系　平面直角座標第Ⅷ系）を用い、Ｘ＝－89840、Ｙ＝12190を原点（Ａ，１）として遺跡全体に10m方眼を設定、グリッドとした。グリッドのＸ軸方向（南－北）はアルファベット、Ｙ軸方向（西－東）はアラビア数字に設定している。遺物の取り上げは光波測定器を用いて実施した。原則として１点ごとに土器＝Ｐ、石器＝Ｓ、礫＝Ｒの略号と遺物番号を付け、出土層位も合わせ、Ｘ、Ｙ座標と標高地（Ｚ）を記録して取り上げ、コンピュータデータとして保管している。現地の記録図面は、全体図は縮尺１／100、遺構図、土層断面図などは縮尺１／20を基本として、確認調査時は手実測にて、本調査時は株式会社フジヤマが光波測定器を用いて実測、コンピュータ上にて図化した。ともに紙記録として保管している。現地記録写真は、作業工程撮影用と併行して35㎜判のカラーを用いて行い、必要に応じて35㎜判のリバーサルやモノクロ、ブローニー６×７判のモノクロを使用した。

２　調査の経過

下高原遺跡は第二東名高速道路の本線部に関連した調査ではなく、工事に伴う排土処理場の調査である。『今川分限帳』に記載されている「高原城」がこの付近にあったとの伝承があり、その関連より確認調査が行われた№61地点のすぐ北側に位置しているため、建設局、富士宮市教育委員会、文化課との協議の結果、平成12年度に当研究所が調査を実施した。

確認調査は平成12年５月～６月にかけて実施した。調査対象面積は3,440㎡、実掘表面積は178㎡である。対象地内には段丘状の平坦地と谷部が認められたため、段丘部に５ヶ所、谷部に６ヶ所、計11ヶ所のテストピットを設定し、それぞれ古富士集塊質泥流が侵食、堆積した層まで掘削を行った。その結果、高原城跡と関連する時代の遺構や遺物を検出することはできなかったが、段丘部南側とこれの直下となる谷部で土器や石器が確認され、旧石器時代や縄文時代早期にまで遡る遺跡であることが判明した。

確認調査の結果を受け、平成12年７月～９月にかけて本調査が実施された。本調査の範囲は、確認調査にて土層の残存状況が悪く、遺物包含層が存在していないことがわかった段丘部北側、および遺物の出土量が極端に少なかった谷部北側を除く890㎡が対象となった。作業は７月中旬より開始された。段丘部の調査は、重機の侵入が困難であったため、まず人力にて表土を除去した後、調査区を縦・横断するように２ヶ所のトレンチを設定、旧石器時代の遺物包含層上面までの掘削を行い、縄文時代の詳細な遺構、遺物の分布、土層の体堆積状況を把握した。その後、７月下旬より８月末日まで縄文時代の遺物包含層の全面調査を実施。９月より再度トレンチを設定し、旧石器時代の遺物包含層の調査を縄文時代と同様の方法にて実施し、中旬までに全ての作業を終了させた。谷部は土層の堆積状況が非常に良好であるため、表土および確認調査時に遺物が出土しなかった黒色土層（大沢スコリア層）を７月中旬より重機にて除去した後、人力にて全面調査を行い９月上旬には縄文時代、旧石器時代ともに調査を終了した。段丘部、谷部ともに、古富士集塊質泥流が侵食、堆積した層内に岩盤状の泥流面、もしくは礫が多量に含まれ掘削困難となる層位まで掘削を行い、可能な限り旧石器時代の遺物の検出を行うよう努めた。

３　資料整理の方法と経過

第二東名建設事業に伴う発掘調査については、現地調査を優先させるという方針から、資料整理は現地調査の多くが終了した段階で実施することとなっている。そのため、本遺跡においても５年間据え置

かれ、本格的な資料整理、報告書作成作業を再開したのは平成17年度に入ってからである。ただし、現地調査を実施しながらも行える基礎整理作業の一部（出土遺物の洗浄、注記、劣化遅延措置など）に関しては、発掘調査と並行して行った。また、整理作業も主な作業は平成17年度と18年度に実施、終了しているが、報告書の刊行に合わせて、平成21年度に遺物の写真撮影や報告書の編集、校正などの作業を実施したため、やや不規則的な工程となっている。

現地にて取得した遺物の基本データは㈱シン技術コンサルの「遺跡管理システム」にて管理し、遺物のドットマップや各種台帳作成はこれを用いて行っている。遺構図面については、調査時に委託業務として全体図や土層図、各遺構の個別図が作成されていたので、これをもとにしてIllustrator上で修正・編集作業を行った。遺物の分布図は、全体図に遺物のドットマップを重ねる形で作成している。

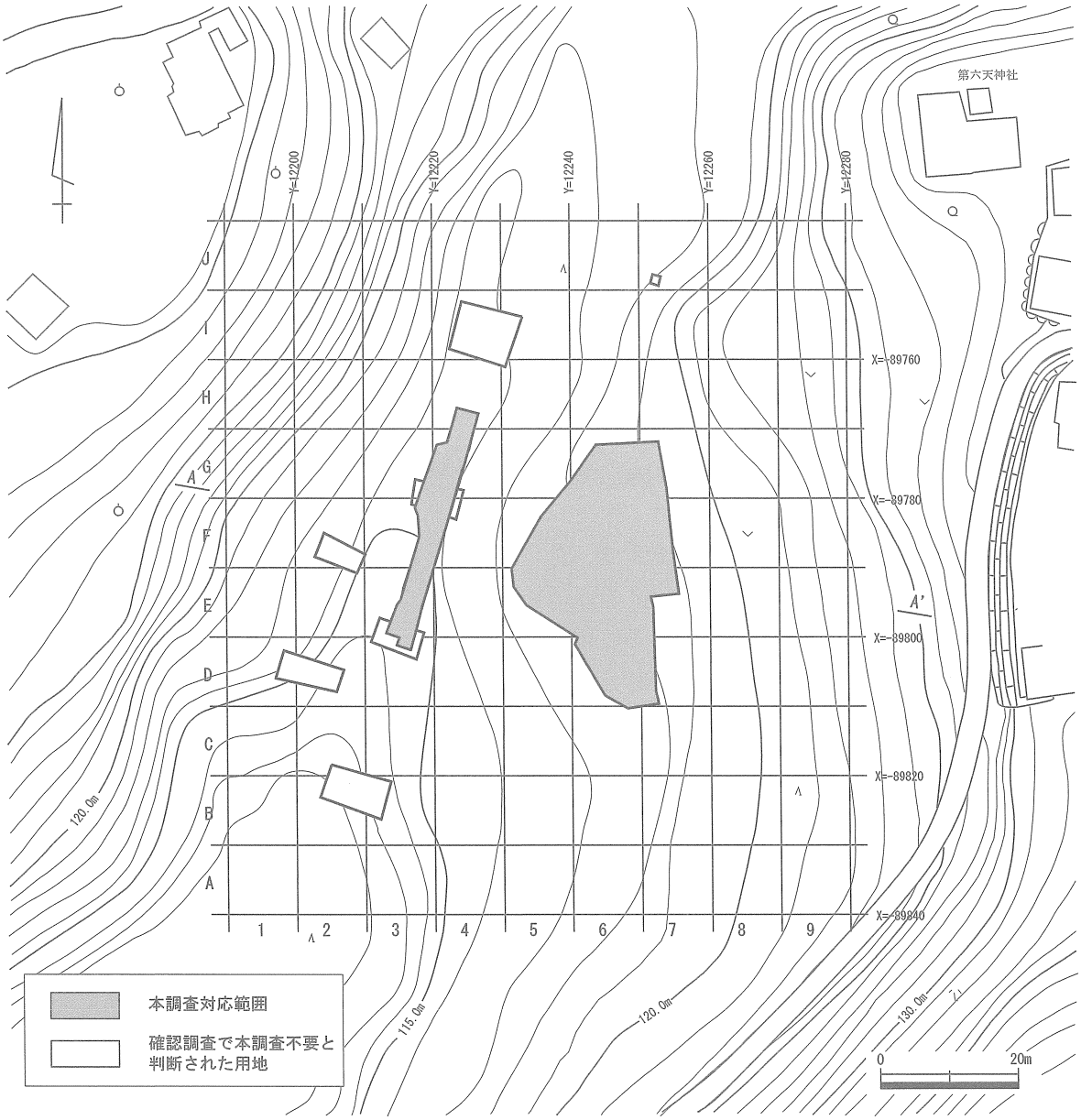
出土遺物の劣化遅延措置として、脆弱な土器については強化剤ワッカーOH100による含浸処理を、風化の激しいホルンフェルス製の石器に対しては、PARAROIDO B－72、ワッカーOH100による含浸処理を施した。

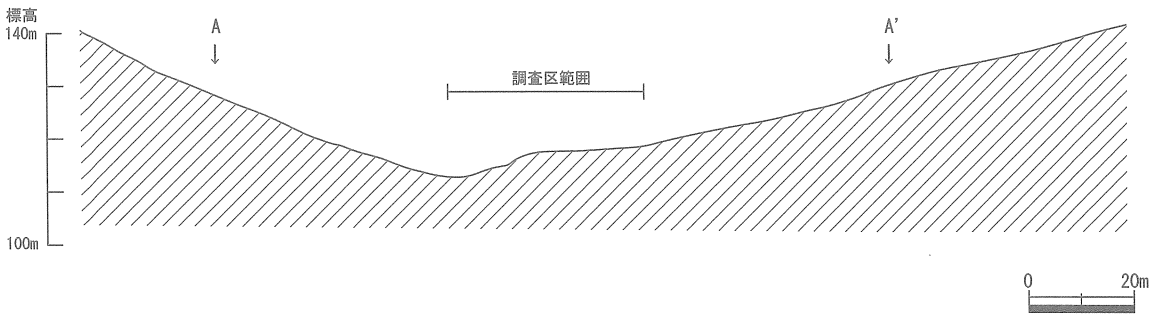
土器は文様などの特徴から分類を行った後、接合作業を実施。文様構成が明確なものを中心に、拓本および断面実測を行った。

石器は基礎整理終了後、石材分類や産地同定、母岩別分類などを行い、旧石器時代の遺物を中心に接合作業を実施した。旧石器時代、縄文時代の資料の分離については、まず出土層位をもって行い、７層黒褐色土以上を縄文時代、８層明褐色土以下を旧石器時代とした。ただし、同地点の同層位、同レベルから両時代の遺物が混在して出土するため、全ての遺物を出土層位により振り分けることは困難であった。そこで、層位から判断することが難しい石器に関しては、器種や技術形態、石材、接合関係、母岩別分類などを検討し分離を試みた。そのうえで、明確に区分できない石器については、出土層位をもって振り分けている。実測対象資料は調整・加工の施されているものを中心に旧石器時代は原則全点、縄文時代は残存状況の良好なものを抽出した。石器の実測およびトレースは、礫石器類（敲石・磨石類、石皿、台石など）と一部の剥片石器類を除き、㈱シン技術コンサルに委託した。また、黒曜石の産地同定については、独立行政法人沼津工業高等専門学校名誉教授　望月明彦氏に依頼して蛍光Ｘ線分析を行って頂いた。分析対象資料は旧石器時代の出土遺物は原則全点、縄文時代の石器については調整・加工のあるものを中心に抽出した。

第Ⅲ－１表　作業工程

	平成12年度	平成17年度	平成18年度	平成21年度	平成22年度
現地調査	確認調査 5月～6月 本調査 7月～9月				
資料整理		整理作業 5月～11月	整理作業 10月～11月	整理作業 4月～3月	 4月・7月





第Ⅲ－１図　調査区と遺跡の現地形

第２節　遺跡の概要

１　地理的環境

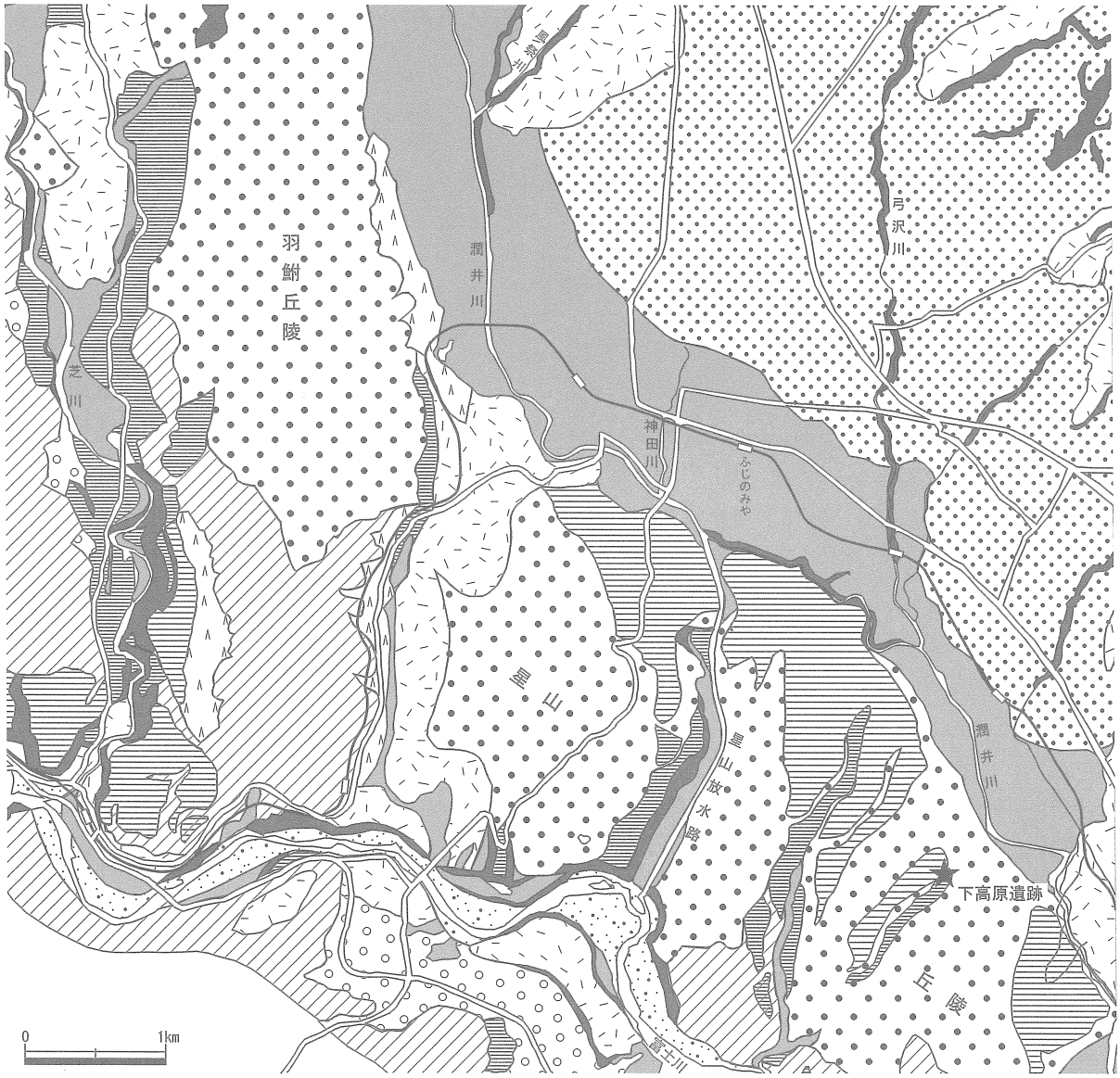
下高原遺跡の所在する富士宮市は富士山西南麓一帯に位置している。東から南側にかけては富士市と接し、北は富士山頂から西へ毛無山地を隔てて山梨県に連なり、西側は羽鮒丘陵や市域の西縁を南下する富士川を境に芝川町と接している。市域の地質は、新第三期の地層がみられる天守山地、新富士火山起源などの火山噴出物で覆われる富士山西南麓部、断層運動により富士山西南麓部と分断、隆起した星山・羽鮒丘陵、芝川や潤井川の河川活動によって形成された沖積地の４つに大きく分けることができる。このうち、市内の大部分は富士山西南麓部の斜面上に展開している。

富士山西南麓部の斜面上には、火山噴出物や浸食によって形成された雛段状に連続する丘陵地帯と放射谷を形成する幾本の小河川に起因する扇状地が広がる。その先端は富士山中腹より市内の中央を南流する潤井川に接している。潤井川は市内で２番目に大きい大型河川で、富士山の放射谷である風祭川や弓沢川、神田川などの各小河川を左岸に合流させながら駿河湾に流れ出ている。また、富士山西南麓部と星山・羽鮒丘陵とを分断する大宮断層の崖下に沿って流れているため、その両岸の景観は大きく異なり、地形環境の違いを示す指標ともなっている。

潤井川の左岸に広がるのは前述した富士山西南麓部の斜面地であるが、右岸側には河岸段丘と丘陵の発達した、標高180～260mの表面がやや平らで緩く西へ傾いた台地、星山・羽鮒丘陵が展開している。星山・羽鮒丘陵は、大宮断層により富士山西南麓部と分断されて成立した丘陵であるため、富士山の縁辺を弧状に走る独特の丘陵地形を示している。また、丘陵面には富士山西南麓部と同様、丘陵形成以前の古富士火山に伴う放射谷の痕跡が残っている。星山丘陵には北東～南西方向に走る４本の大きな放射谷（貫戸谷、星山谷、沼久保谷、安居山谷）が確認されており、これら谷によって島状に分断された丘陵の南東部にあたる高原丘陵に下高原遺跡は位置している。

富士山は小御岳、古富士、新富士火山などの火山体が積み重なる重層構造を呈する火山である。古富士火山の活動については諸説存在するが、約25,000年前以降に起こった大規模な噴火活動の際に、泥流を多発したようである。これが古富士（集塊質）泥流と呼ばれるもので、溶岩破片や火山岩辺、火山灰などが氷河の氷（水分）を含んで泥流として押し出したものである。その後、約17,000年前以降に起こった大規模な噴火活動を経て小康状態に入り、約14,000年前以降に再び激しい噴火活動が開始される。これが新富士火山の旧期活動で、この活動は古富士火山とは異なり多量の溶岩流と火山砂礫などを繰り返し噴出して、小御岳、古富士火山を幾重にも覆うとともに、愛鷹山を始めとする周辺の山麓部にも火山噴出物が厚く堆積する結果となった。新富士火山の活動による火山噴出物の大部分は西風により東側の地域に運ばれたため、西南麓方面の堆積は少ない。星山丘陵は古富士火山の噴出した集塊質泥流を基盤としているが、これは古富士火山の活動以後、新富士火山が活動するまでの間に起こった大宮断層や西富士断層などの断層運動により隆起して微高地化した丘陵であるため、新富士火山の溶岩流が及ばなかったためである。

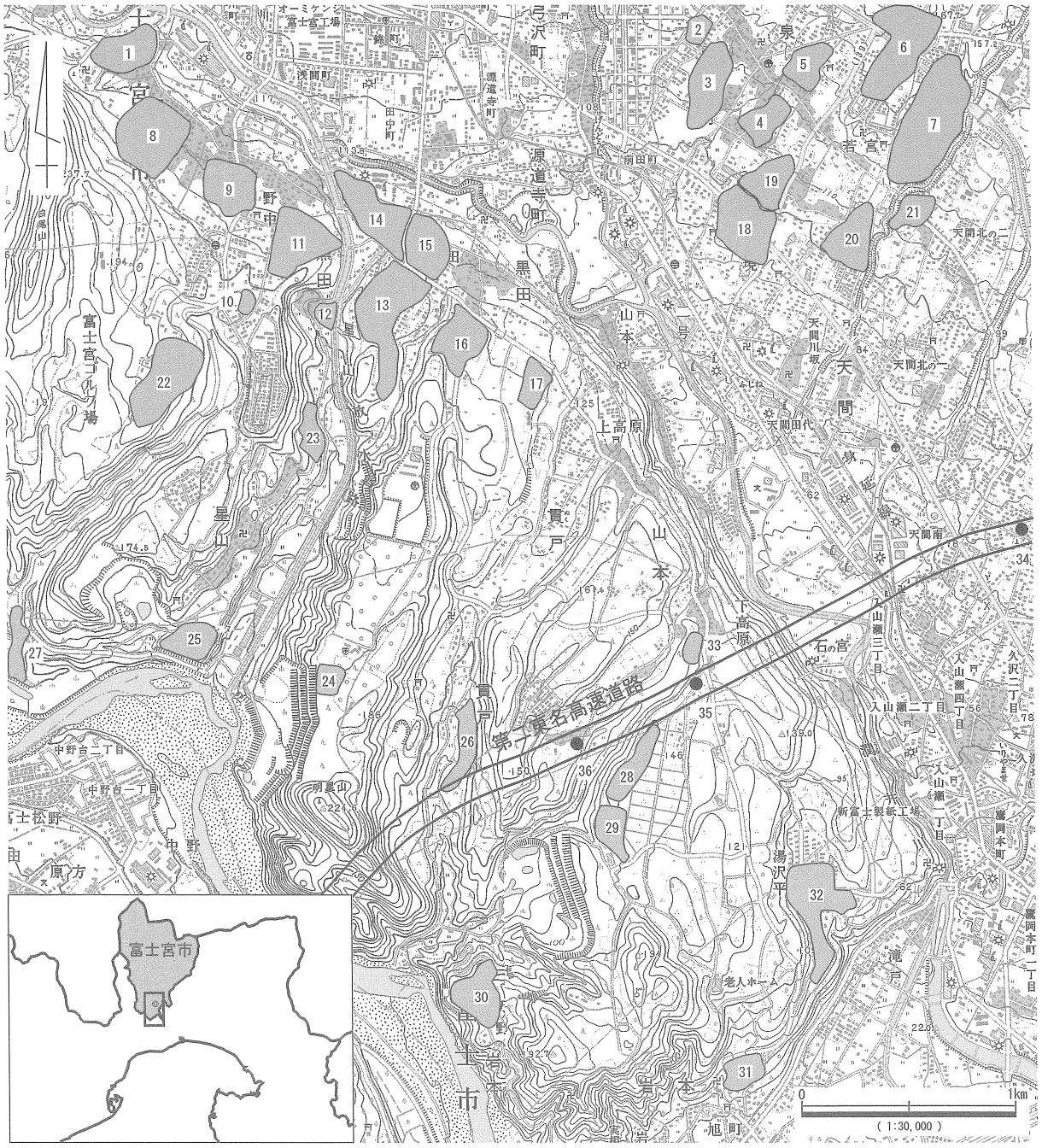
古富士火山の集塊質泥流は透水性が悪く、新富士火山起源の火山噴出物は透水性に富むため、境界面が地下水脈層となり、古富士火山の基盤面が地表に露呈した部分などでは湧水が確認できる。古富士集塊質泥流を基盤とする星山丘陵や羽鮒丘陵、旧富士根村地域に湧水地が多いのはこのためで、安定した平坦面が確保できる優位性も加わり、星山丘陵の北西側と富士根地区は遺跡の２大密集地となっている。このことは、同じ星山丘陵内でも、下高原遺跡の位置する高原や山本など比高差が大きく、平坦面の少ない南東側においては、遺跡分布がやや散逸的なことからも窺える。



原図　国土地理院 2003『富士山』1:50,000 火山土地条件図より引用・加筆

古富士泥流堆積地
火山麓扇状地
旧期溶岩流
河岸段丘
（段丘のうち、特に古富士泥流堆積物上の段丘）
河岸段丘
（かつての河床面がその後の河床低下により
地表に取り残されて生じた平坦面）
急崖
崖錐
谷底平野・氾濫原
扇状地・緩扇状地
その他の山地
河川敷・浜

第Ⅲ－２図　遺跡周辺地質図



第Ⅲ－３図　周辺遺跡地図

第Ⅲ－２表　周辺遺跡の一覧　＊33～36は第二東名建設に伴う埋蔵文化財発掘調査

No.	遺跡名	時　代	No.	遺跡名	時　代
1	滝戸遺跡	縄文・弥生・古墳	19	上宿遺跡	縄文（早・中）・古墳
2	上石敷遺跡	縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世	20	蟹入越遺跡	縄文（中・後）・弥生・古墳
3	石敷遺跡	縄文・弥生・古墳（前）・奈良・中世	21	ジンゲン沢遺跡	縄文（早・中・後）・古墳
4	荻間遺跡	縄文（中）	22	スギナクボ遺跡	縄文（中）・平安・中世
5	中ノ土手遺跡	縄文（前）・古墳（前）	23	倭文神社遺跡	縄文（早）・古墳（前）
6	代官屋敷遺跡	縄文（早・中・後）	24	明星山遺跡	縄文（中）
7	若宮遺跡	縄文（早）	25	外谷戸遺跡	縄文（早）
8	野中向原遺跡	縄文（中・後）	26	貫戸下谷遺跡	縄文・古墳・奈良・平安
9	野中中村遺跡	縄文（中）・弥生・古墳（前）	27	沼久保坂上遺跡	縄文（早）
10	黒田向林遺跡	縄文（早）	28	羽渕平遺跡	縄文（中）
11	坊地上遺跡	縄文（早・中）・弥生・古墳	29	奥の原A遺跡	縄文（中）
12	月の輪平遺跡	縄文・古墳	30	万野遺跡	縄文（早）
13	月の輪上遺跡	縄文・弥生・古墳・中世・近世	31	念信園遺跡	縄文（早・中・後）
14	南部谷戸遺跡	縄文・古墳	32	高徳坊遺跡	縄文（早）
15	五反田遺跡	縄文（中）・古墳	33	下高原遺跡	縄文・旧石器
16	奥山地遺跡	縄文（早・前）	34	No.60	
17	上高原遺跡	縄文（中）	35	No.61	
18	権現遺跡	縄文（前・中）・古墳・奈良	36	No.62	

２　歴史的環境

富士山西南麓における遺跡は、富士山の噴火に影響されながら盛衰を繰り返している。起伏が激しいため遺跡の分布は地形に大きく規制されることとなり、多くは時間的変遷の中で変化していくが、同時期の遺跡でもその性格の違いから立地環境を違えることもある。遺跡の分布は各時代を通じて南部に集中しており、その大半が星山丘陵一帯と富士根地区に展開している。これは古富士集塊質泥流の分布に合致するほか、湧水地の粗密ともほぼ重なっている。ここでは、本遺跡の主要な遺構、遺物が出土した旧石器時代、縄文時代を、富士宮市域を中心に富士山西南麓の主要な遺跡を取り上げながら概観する。

富士宮市をはじめとする富士山西南麓における旧石器時代の遺跡は、下高原遺跡が調査されるまで確認されていなかった。これは、本地域が後期旧石器時代の遺跡が展開する時期に泥流が多発し、大地を覆い尽くしたことに起因するが、少なくとも下高原遺跡と同様に、約17,000年前以降に起こった大規模な噴火活動以降は、泥流や溶岩流の影響を直接的に受けなかった古富士集塊質泥流を基盤とする場所に、未発見の旧石器時代の遺跡が存在する可能性は高い。このことは、旧石器時代の遺物が皆無というわけではなく、古富士集塊質泥流を基盤とする千居遺跡や富士市の天間沢遺跡、やや外れるが羽鮒丘陵の西端に接する芝川町の小塚Ａ遺跡などの包含層から、ナイフ形石器や石核、剥片が出土していることからも窺える。

縄文時代草創期に入ると、羽鮒丘陵西側で芝川に面して位置する芝川町の大鹿窪遺跡において、縄文時代草創期の爪形文土器や隆線文、押圧縄文土器群などを伴う集落が営まれるようになる。しかし、当該期の遺構は大鹿窪遺跡のみで、他は有茎尖頭器などの石器が月の輪平遺跡や滝戸遺跡、上石敷遺跡、南部谷戸遺跡などから出土する程度で、詳細な様相は不明である。

早期に入ると早期前半の撚糸文土器～押型文土器にかけての集落が若宮遺跡に営まれるのを始め、多くの遺跡が星山丘陵一帯や富士根地区に造営されるようになる。押型文土器やそれに続く貝殻沈線文土器、条痕文土器を伴う竪穴住居跡をもつ遺跡としては、星山丘陵に位置する黒田向林遺跡や星山丘陵の富士川沿いに位置する小松原Ａ遺跡、沼久保坂上遺跡、富士山南麓（富士根地区）に位置する上石敷遺跡、石敷遺跡、丸塚遺跡、また、富士市の天間沢遺跡やジンゲン沢遺跡などもあげられる。

前期になると若宮遺跡の西側にある代官屋敷遺跡や富士山南麓標高330m付近にあるワラビ平遺跡、星山丘陵と羽鮒丘陵の間に位置する滝戸遺跡などで、木島式土器や諸磯式土器、北白川下層式土器、十三菩提式土器期の集落が営まれている。遺跡の分布域は早期とはやや異なり、広域的な分布を示していた羽鮒・星山丘陵一帯で確認できる遺跡は滝戸遺跡や芝川町の小塚遺跡のみとなり激減するのに対し、富士根地区では寺内遺跡、三ツ室遺跡、出水遺跡、峯石遺跡、峰ケ谷戸遺跡、新梨遺跡をはじめ多くの遺跡が分布域を広げながら展開するようになる。

縄文時代中期から後期にかけては、弓沢川や潤井川流域を中心として遺跡数が急増する。縄文中期初頭の五領ヶ台式土器の段階では、上石敷遺跡や代官屋敷遺跡など単独で分布する遺跡も存在するが、勝坂式土器段階以降は、滝戸遺跡、大中里坂下遺跡の周辺と箕輪Ａ遺跡、大室遺跡の分布域に集中して遺構や遺物の分布が確認できるようになる。中期中葉以降になると、この分布域に加え富士市天間沢遺跡から滝ノ上遺跡の一帯が加わる。いずれも、時代が長期間継続するものの、広範囲の広がりを見せず小規模な範囲で遺跡が構築されているのが大きな特徴である。

後期は縄文中期後半から継続する遺跡が多いが、後期後半になると遺跡数は激減し、星山丘陵と羽鮒丘陵の境に位置し、加曽利Ｂ式土器や安行式土器が出土した大中里坂下遺跡や滝戸遺跡、箕輪Ｂ遺跡などが挙げられる程度で、いずれも遺物のみの出土となる。晩期に入ると減少傾向はさらに顕著となり、富士山南麓の標高210m付近に位置する辰野遺跡から清水天王山式土器が確認されている他、滝戸遺跡などで少量の遺物が出土するに留まっている。晩期以降は富士山西南麓において遺跡の造営は確認されず、

長い空白期をおくことになり、新たな遺跡の造営が開始されるのは弥生時代中期前葉の渋沢遺跡からである。これは、縄文時代晩期の遺物が出土する黒ボク土層の上部に、約2,800年前以降に降下した大沢ラピリが厚く堆積していることなどから、新富士火山の活動が活発化したことが、要因のひとつになっていると考えられる。

３　遺跡の地形と土層堆積状況

⑴　地形の概要

下高原遺跡は、高原丘陵から南西方向に富士川に向かってのびる比較的幅の狭い谷の源頭部に位置する。この谷は古富士火山の活動が終息した後に形成された浸食谷で、谷の右岸は急峻な斜面、左岸は河岸段丘状の緩斜面となっている。両岸の尾根最上部の標高は約140mを測り、本遺跡の主体となる段丘部との比高差は22mを測る。段丘部と谷底部との比高差は３m程である。

谷の形成後新富士火山の活動が活発化するが、本遺跡が新富士火山の溶岩流の影響を直接受けることはなく、火山噴出物が堆積するにとどまった。その際、谷を開析した水の流れは埋没したと考えられ、現在、谷内に自然流水を常時見ることはできない。しかし、遺跡の前面谷側には湧水地が現在でも確認できるとともに、約400～500m下流には降雨時のみ流れの見える涸れ川が存在すること、大雨の際には谷部に水が川のように流れることなどから、不浸透層である古富士泥流と浸透性に富む新富士火山由来の堆積物との間に潜流が存在している可能性が高い。

⑵　基本層序

下高原遺跡の地質的基盤は古富士集塊質泥流で、その上に新富士火山噴出現世腐食質風化火山灰層が堆積しており、富士山西南麓の標準的な土層にほぼ対応している。堆積状況は地形によって異なり、調査区東側の段丘部は薄く、西側の谷部では厚く堆積するが、いずれも比較的安定した堆積を示す（第Ⅲ－５図）。

10層に分層が可能であった。２層は所謂大沢スコリア層に相当すると考えられる。段丘部ではほとんど確認することができず、谷部でのみ厚い堆積が確認できる。この層に本来伴うと考えられる弥生時代以降の遺物はこの層からは出土せず、表土からの出土である。３～６層は愛鷹山標準土層の暗褐色土層、栗色土層、富士黒土層にそれぞれ相当しており、主に縄文時代早期～後期の遺構や遺物が出土している。４層褐色土（栗色土層相当）と６層黒褐色土（富士黒土層相当）は色調差が大きいが、層の境目で色調が劇的に変化するわけではなく、30～40㎝の厚さをかけ漸位的に変化している。そのため、本来は１層で扱うべき層であるかもしれないが、６層の漸位的に変化する部位と黒褐色の安定した部位を分層して、５層黒褐色土（富士黒土層相当）を設定した。７層は６層黒褐色土から８層明褐色土へ漸位的に変化する層で、愛鷹山標準土層の漸位層に類似する。８、９層は所謂黄色ローム層で、主に旧石器時代の遺構や遺物が出土している層である。段丘部においてこの層は、10層褐色土にて岩盤状の古富士泥流面が露出する北側から西側にかけては堆積が乱れ判然としないが、河原のような様相を示す東側から南側にかけては安定した堆積を示す。堆積順や色調を考えると愛鷹山標準土層の休場層に相当すると考えられるが、含有するスコリアや土質などが異なるため整合しているとは言い難い（注１）。下高原遺跡から出土する石器の大半が休場層直下黒色帯（BB０）から出土する愛鷹第３期の石器群であることから、８、９層は休場層～休場層直下黒色帯に対応する旧石器時代の層と考えられる。各層位の特徴は以下のとおりである。

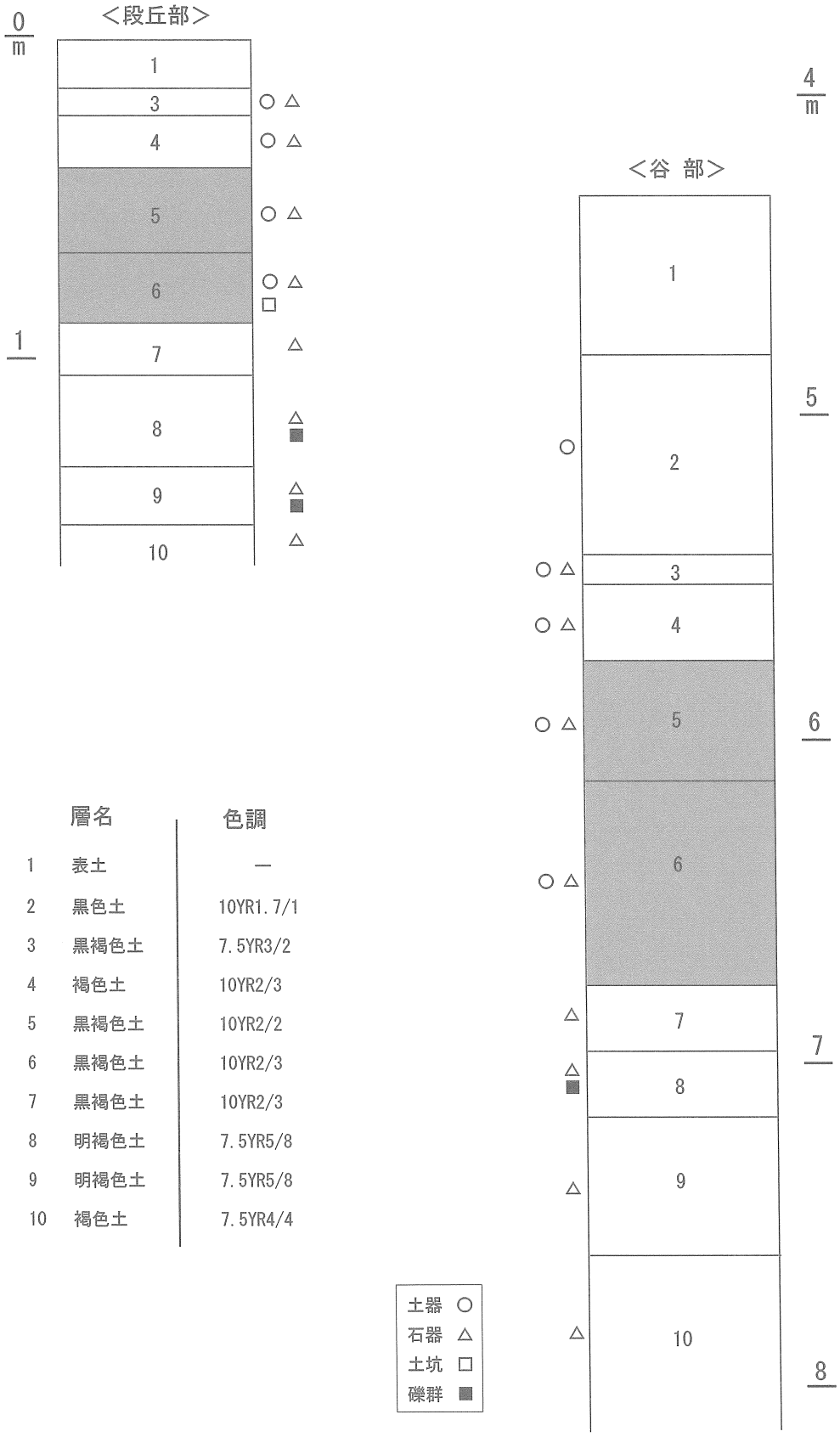
注１）　愛鷹山南麓一帯は、愛鷹ロームと呼ばれる主に古富士火山を起源とするテフラが厚く堆積する地域である。愛鷹ロームは３期に大別され、下位から堆積順に下・中・上部ローム層の順に命名されている。人類遺跡が確認されるのは上部ローム層からで、関東ローム層の立川ローム層とも対比されている。また、上部ローム層は愛鷹ローム団研グループにより火山灰層序学的区分に準拠して考古学的基本層序（愛鷹山標準土層）が定義されている。下高原遺跡と愛鷹山南麓に分布している遺跡の土層対応関係は、第Ⅲ－６図「愛鷹山南麓分布遺跡との土層対比図」参照。

第１層　表土　黒色有機質土からなる。
第２層　黒色土層　直径１～２㎜の赤褐色スコリアを含み、白色パミスを少量含む。段丘部ではほとんど確認することはできない。谷部では赤褐色スコリアの量により４層に細分することが可能である。上位は砂質の黒色土粒を多く含むため粘性が弱くしまりもないが、下位に行くほど含有量が減り、粘性、しまり共に強くなる。乾燥すると白っぽく変色し堅固となる。
第３層　黒褐色土層　直径２～３㎜の赤色スコリアを少量含む。谷部では小砂礫を含む。
第４層　褐色土層　本地域で縄文時代の鍵層となる栗色土層に相当すると考えられる層である。直径２㎜以下の赤色スコリアをごく少量含み、黒褐色土がパッチ状に入る。谷部では拳大以下の亜円礫ないし円礫を含む。
第５層　黒褐色土層　富士黒土層に相当すると考えられる層である。直径２㎜以下の赤色スコリアをごく少量含む。上層の褐色土層から下層の黒褐色土層へ漸位的に変化する。谷部では、下位に行くほど色調が暗くなる。
第６層　黒褐色土層　富士黒土層に相当すると考えられる層である。直径１～４㎜の赤色スコリアを含む。谷部では段丘部に比べスコリアの量が多く、特に層の中位にはスコリアが非常に多く含まれている。
第７層　黒褐色土層　上層の黒褐色土層から下層の明褐色土層へ漸位的に変化する層である。直径２～３㎜の赤褐色スコリアと赤色スコリアを含む。谷部では亜円礫ないし円礫を含む。この層から、愛鷹標準土層との関係が不整合となる。
第８層　明褐色土層　直径２～３㎜の赤褐色スコリアを少量含み、直径３～７㎜の発砲の進んだ暗赤褐色スコリアを含む。他層に比べ粘性が非常に強い。谷部では亜円礫ないし円礫を含む。
第９層　明褐色土層　スコリアをほとんど含まない。谷部では下位に行くほど色調がやや暗くなり、粘性が弱くなる。
第10層　褐色土層　古富士集塊質泥流が侵食、堆積した層である。粘性が弱く、非常にボロボロしている。黄灰色の火山灰質物によりコーティングされた、直径５～30㎝大の玄武岩の亜円礫ないし円礫を多く含む。段丘部北側から西側にかけては、古富士泥流の岩盤状の泥流面がむき出しているような状況であるが、南側は河原のような様相を示す。谷部では下位に行くほど含まれる礫が大きくなり、量も増える。また、下位になると100㎝を超す大きな礫が含まれるようになり、河原のような様相を示す。

＜参考文献＞

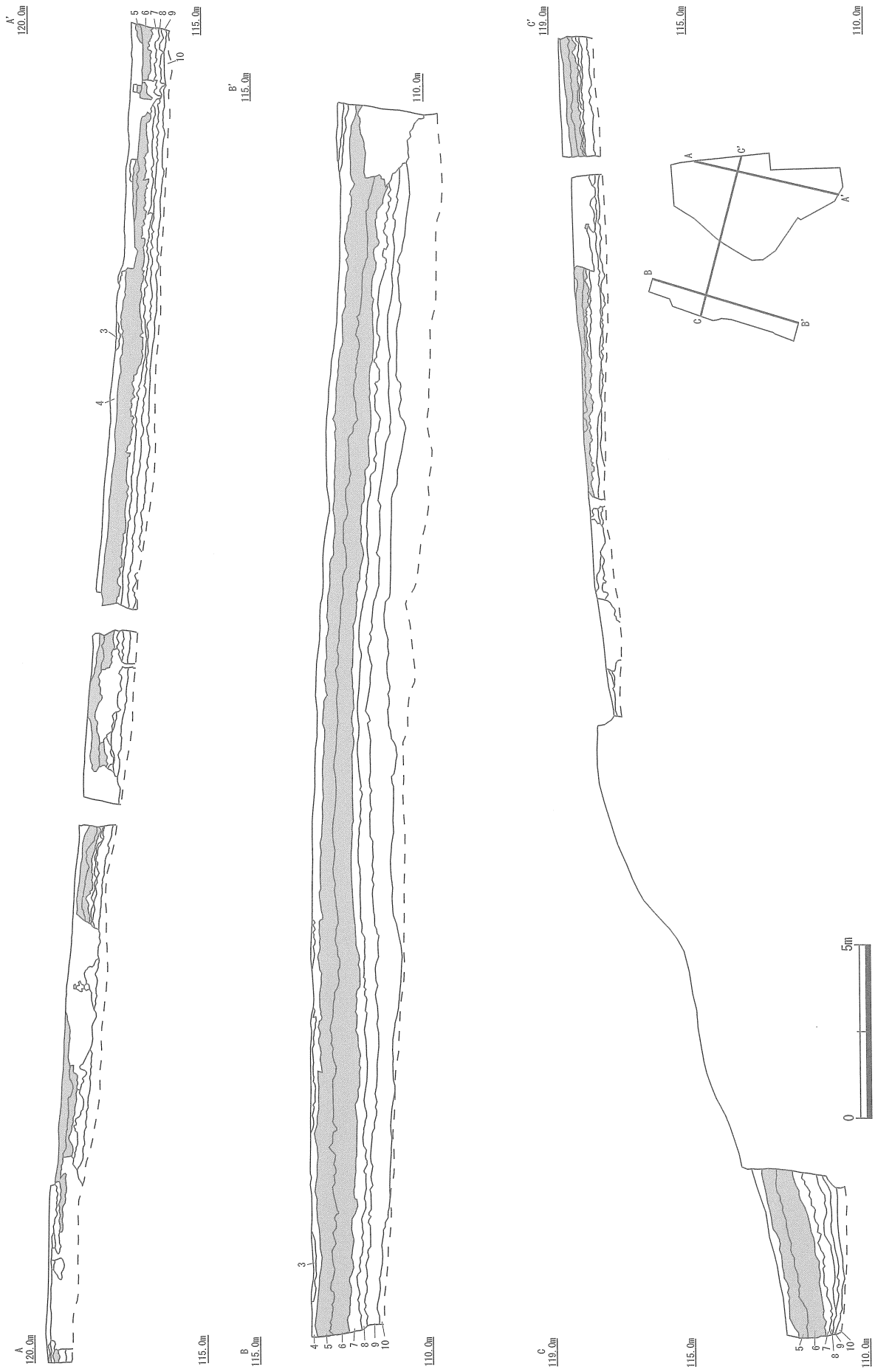
国土地理院　2003『富士山』　１：50000火山土地条件図
国土交通省中部地方整備局　富士砂防工事事務所　2002『富士山の自然と社会』
富士宮市教育委員会　2007『富士宮市の遺跡Ⅳ』富士宮市文化財調査報告書　第39集
富士宮市教育委員会　2006『滝戸遺跡Ⅱ』富士宮市文化財調査報告書　第36集
富士宮市教育委員会　2004『塚本古墳』富士宮市文化財調査報告書　第32集
富士宮市教育委員会　2003『富士宮市の遺跡Ⅱ－富士宮市遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ』富士宮市文化財調査報告書　第30集
富士宮市教育委員会　2001『丸ヶ谷戸遺跡Ⅱ』富士宮市文化財調査報告書　第27集
富士宮市教育委員会　1994『月の輪遺跡群Ⅳ』富士宮市文化財調査報告書　第19集
富士市教育委員会　他　1982『横沢古墳・中原１号墳・伝法遺跡群（伝法Ａ～Ｅ地区）天間地区』
西富士道路（富士地区）・岳南広域都市計画道路田子浦臨港線埋蔵文化財発掘調査報告書
富士宮市　1971『富士宮市史』上巻

紙面の都合上、当研究所発行の調査報告書は割愛した。

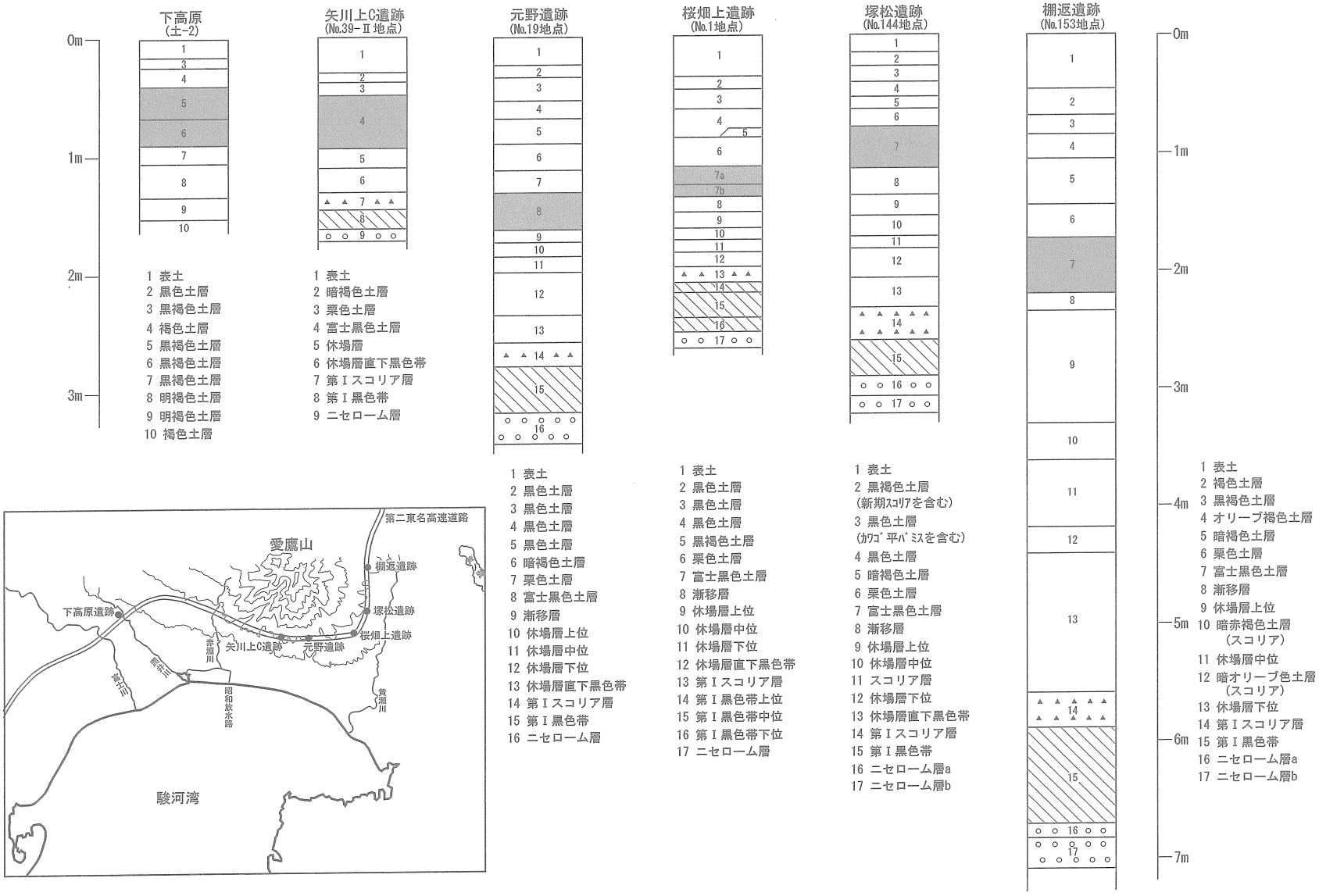


	層名	色調
1	表土	—
2	黒色土	10YR1.7/1
3	黒褐色土	7.5YR3/2
4	褐色土	10YR2/3
5	黒褐色土	10YR2/2
6	黒褐色土	10YR2/3
7	黒褐色土	10YR2/3
8	明褐色土	7.5YR5/8
9	明褐色土	7.5YR5/8
10	褐色土	7.5YR4/4

第Ⅲ－４図　基本土層柱状図


A'
120.0m
115.0m
B'
115.0m
110.0m
C'
119.0m
115.0m
110.0m
A
120.0m
115.0m
B
115.0m
110.0m
C
119.0m
115.0m
110.0m
A
A'
B
B'
C
C'
5m
0

第Ⅲ－５図　土層堆積状況



第Ⅲ－６図　愛鷹山南麓分布遺跡との土層対比図

第３節　旧石器時代の遺構と遺物

８層明褐色土以下から検出された遺構、遺物を旧石器時代に分類した。検出されたピークは８層～10層褐色土にかけてであるが、上部層から旧石器時代のTool類が確認され、また接合によって上部層出土の遺物との接合関係が確認されるなど、層位による区分は明確には出来なかった。

また、10層内には古富士泥流による岩盤状の泥流面がむき出しになっており、遺跡の南側を中心に古富士泥流によって運ばれたと考えられる礫が多数確認されている。一部の資料に関しては、そうした中から検出されており、泥流の影響を受けている可能性も考えられる。

上記のような理由から、旧石器時代は文化層を区分せずに報告を行った。

また、分析可能な黒曜石については蛍光Ｘ線による産地分析を行った（詳細は附編を参照）。

１　遺構

⑴　礫群（第Ⅲ－９図）

本遺跡から出土した礫の点数は69点と少なく、分布も散漫である。礫は輝石安山岩をはじめ、多孔質安山岩や多孔質玄武岩、玄武岩など各種の石材が用いられており、うち77％の礫に比熱の痕跡が認められた。密集率は低いものの礫が比較的集中している地点を礫群とした。

１号礫群

段丘部南側、Ｄ－６グリッドに位置しており、８層～９層にかけて検出された。５点の赤化した完形の礫で構成されるが、分布はやや散漫である。使用されている石材は輝石安山岩２点、多孔質玄武岩２点、玄武岩１点で、総重量は6,115.7ｇ（平均重量1,223.1ｇ）である。

２号礫群

段丘部東側、Ｆ－６、７グリッドに位置しており、検出層位は９層である。10点の赤化礫と１点の非赤化礫からなる。割れ面が赤化した破損礫が３点のみ出土しているが接合関係はない。使用されている石材は輝石安山岩４点、多孔質玄武岩４点、玄武岩２点、多孔質安山岩１点で、総重量は7,605.3ｇ（平均重量691.4ｇ）である。

３号礫群

段丘部東側、Ｅ－７グリッドに位置しており、８層～９層にかけて検出された。６点の赤化した礫で構成される。割れ面の赤化、非赤化した破損礫が各１点出土しているが接合関係はない。使用されている石材は輝石安山岩３点、玄武岩２点、多孔質玄武岩１点で、総重量は8,242.2ｇ（平均重量1,373.3ｇ）である。

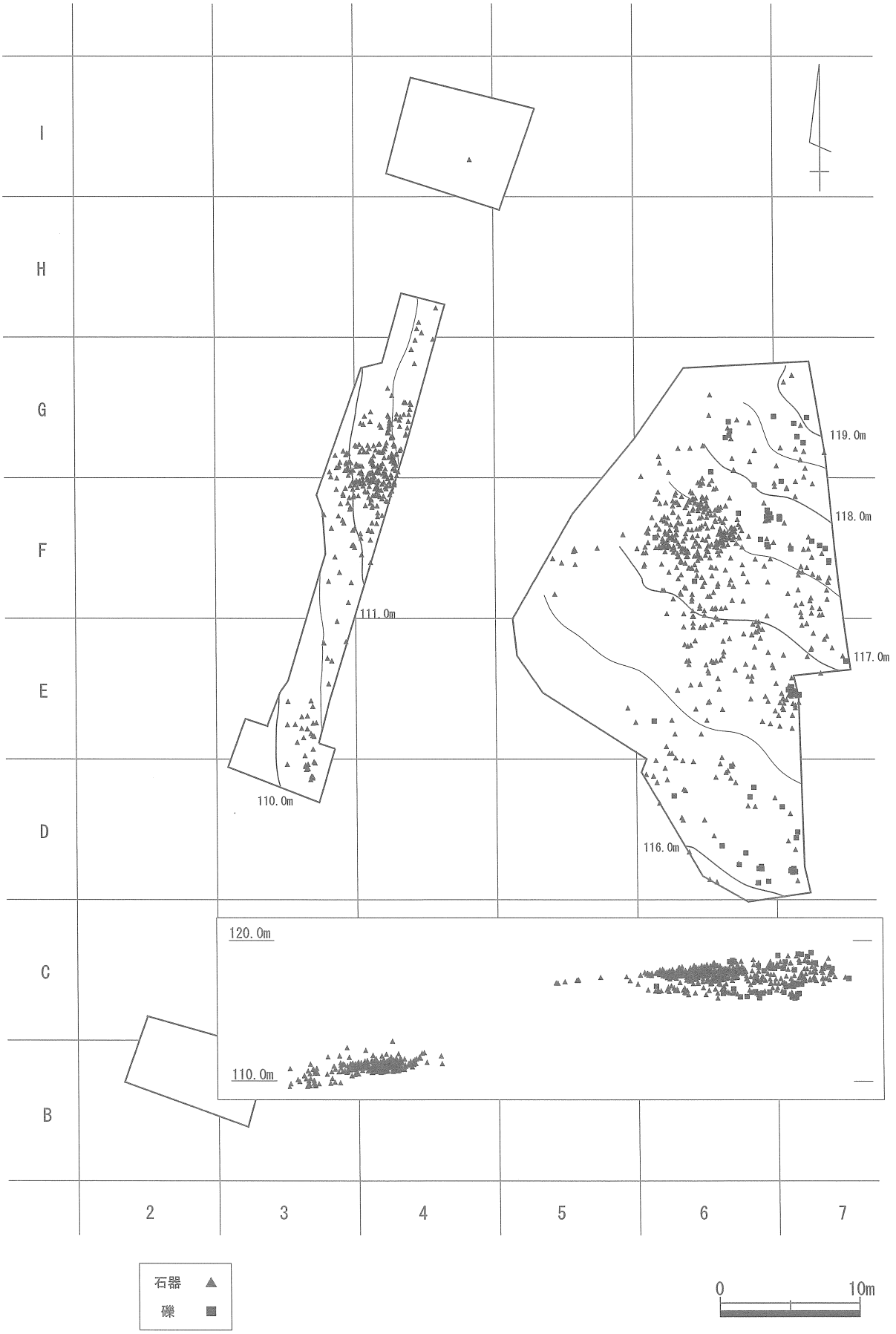
⑵　石器集中部

旧石器時代の遺物は段丘部中央付近と谷部中央付近を中心に広がっている。しかし、分布は一面に広がる様相を見せており、石器ブロックを設定することは困難であった。そのため、段丘部と谷部の石器が集中している箇所を設定した。

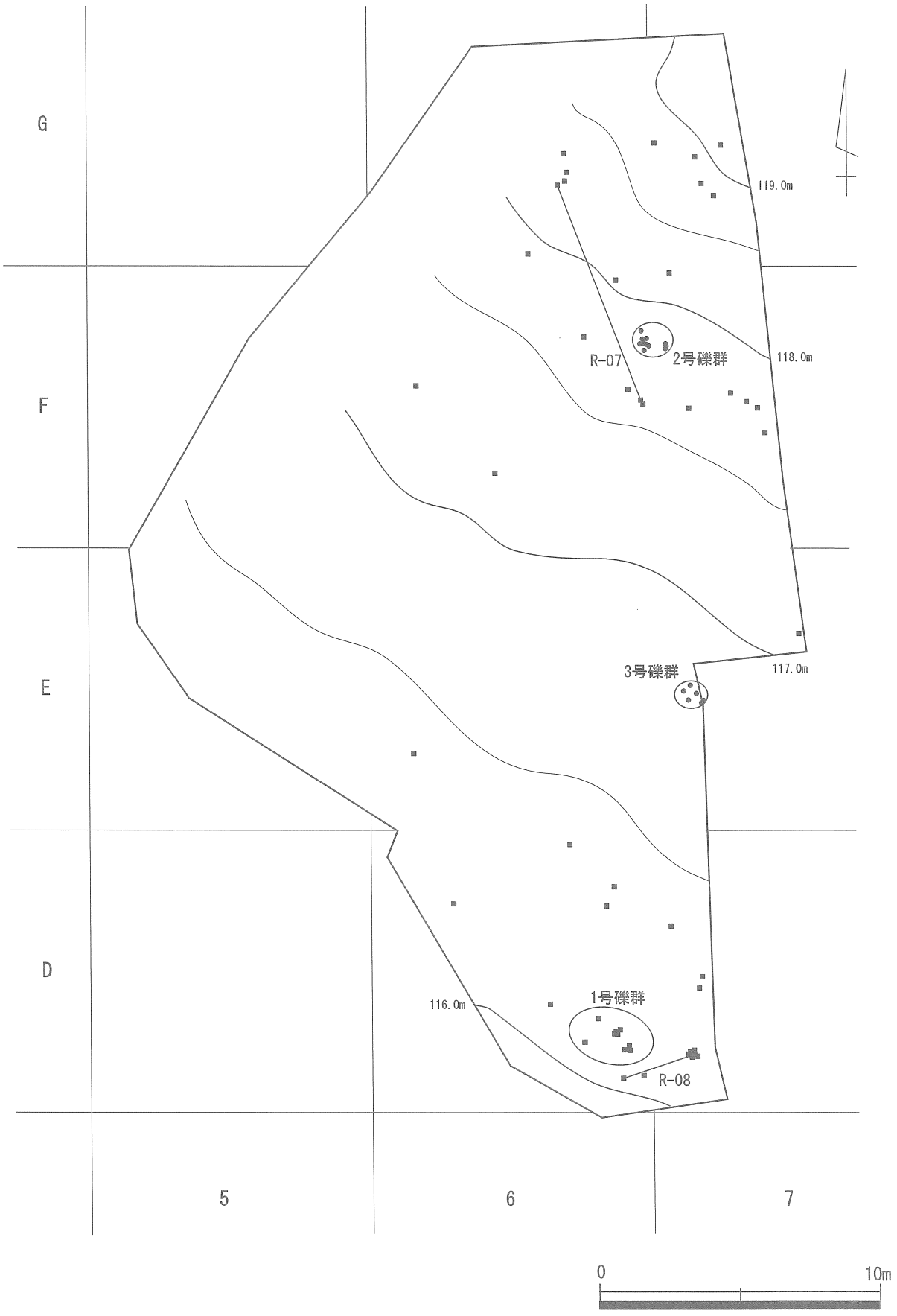
石器集中部１（第Ⅲ－12図）

谷部のＦ－４～Ｇ－４グリッドを中心に、北東から南西にかけて分布している。ナイフ形石器が12点出土しており、角錐状石器１点、スクレイパー７点、ドリル１点、グレイバー１点、楔形石器１点が確認できる。石核は２点しか確認できず、接合資料もほとんど確認できなかった。しかし、１点のみ石器集中部２との接合関係が確認されている。

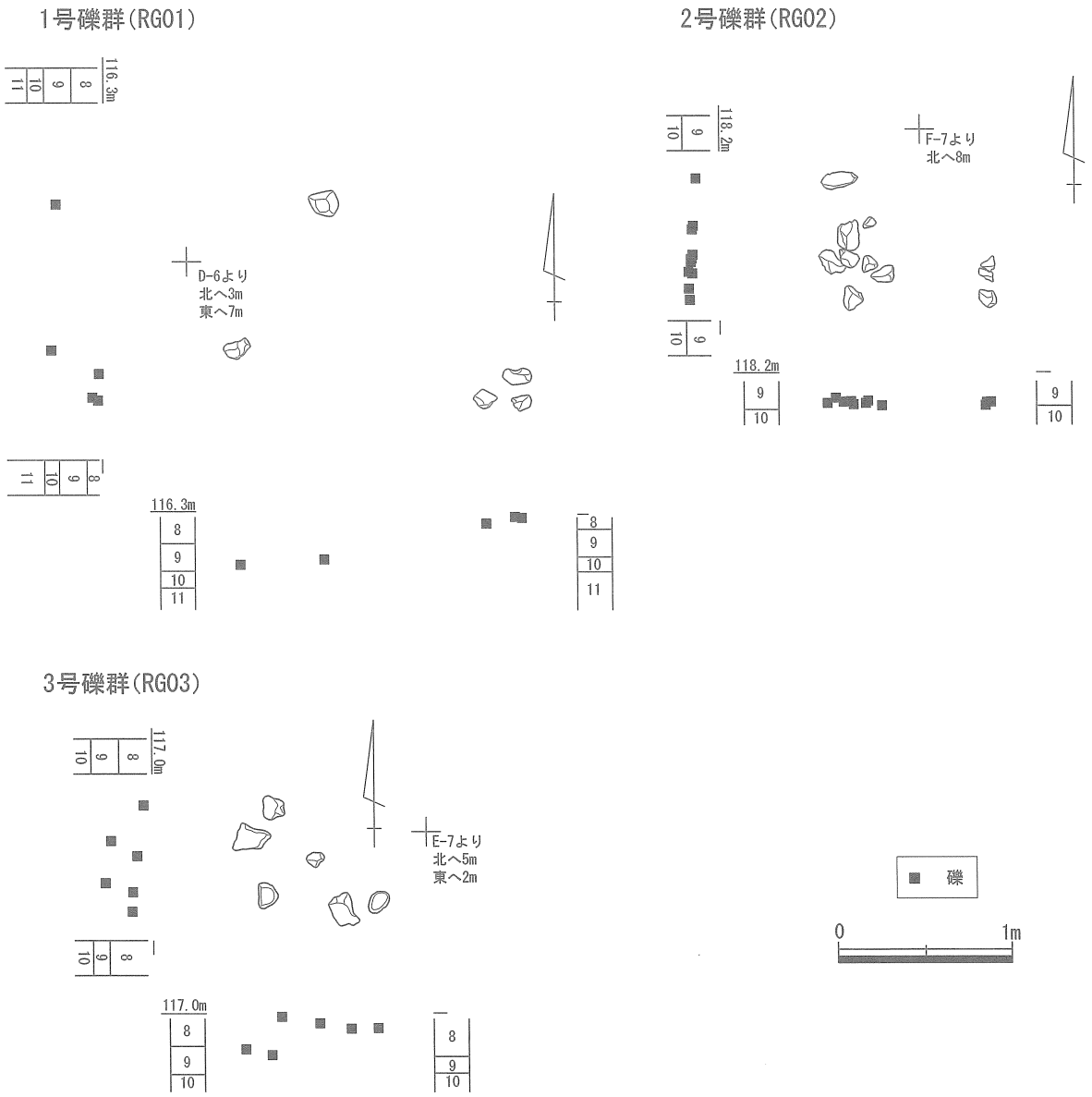
石材は黒曜石諏訪星ヶ台群、ホルンフェルスを中心に分布している。ホルンフェルスが集中部の東側に多いのに対して、黒曜石諏訪星ヶ台群は若干、西へ分布がずれている。



第Ⅲ－７図　旧石器時代遺物分布図



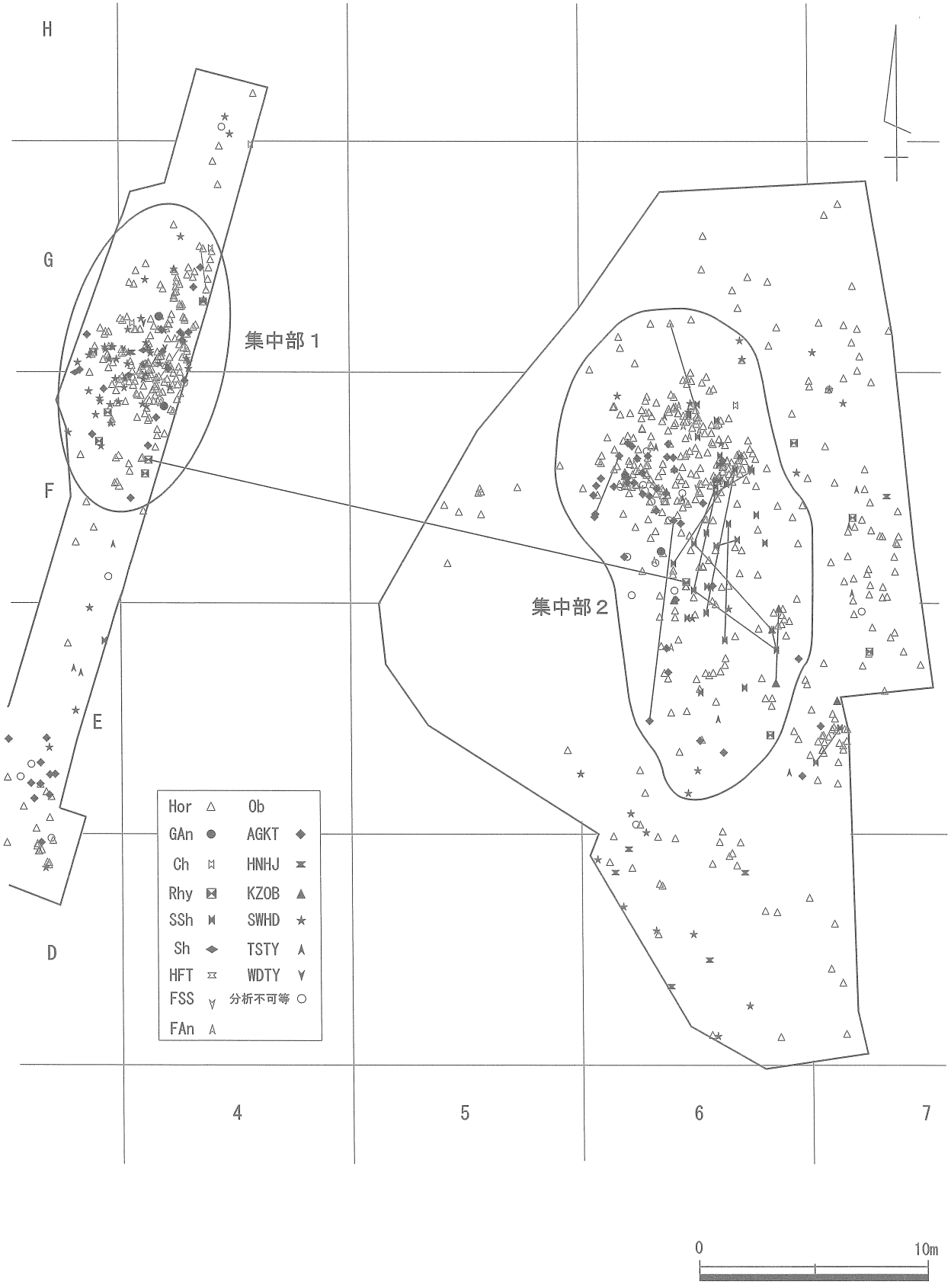
第Ⅲ－８図　旧石器時代礫群と礫分布図



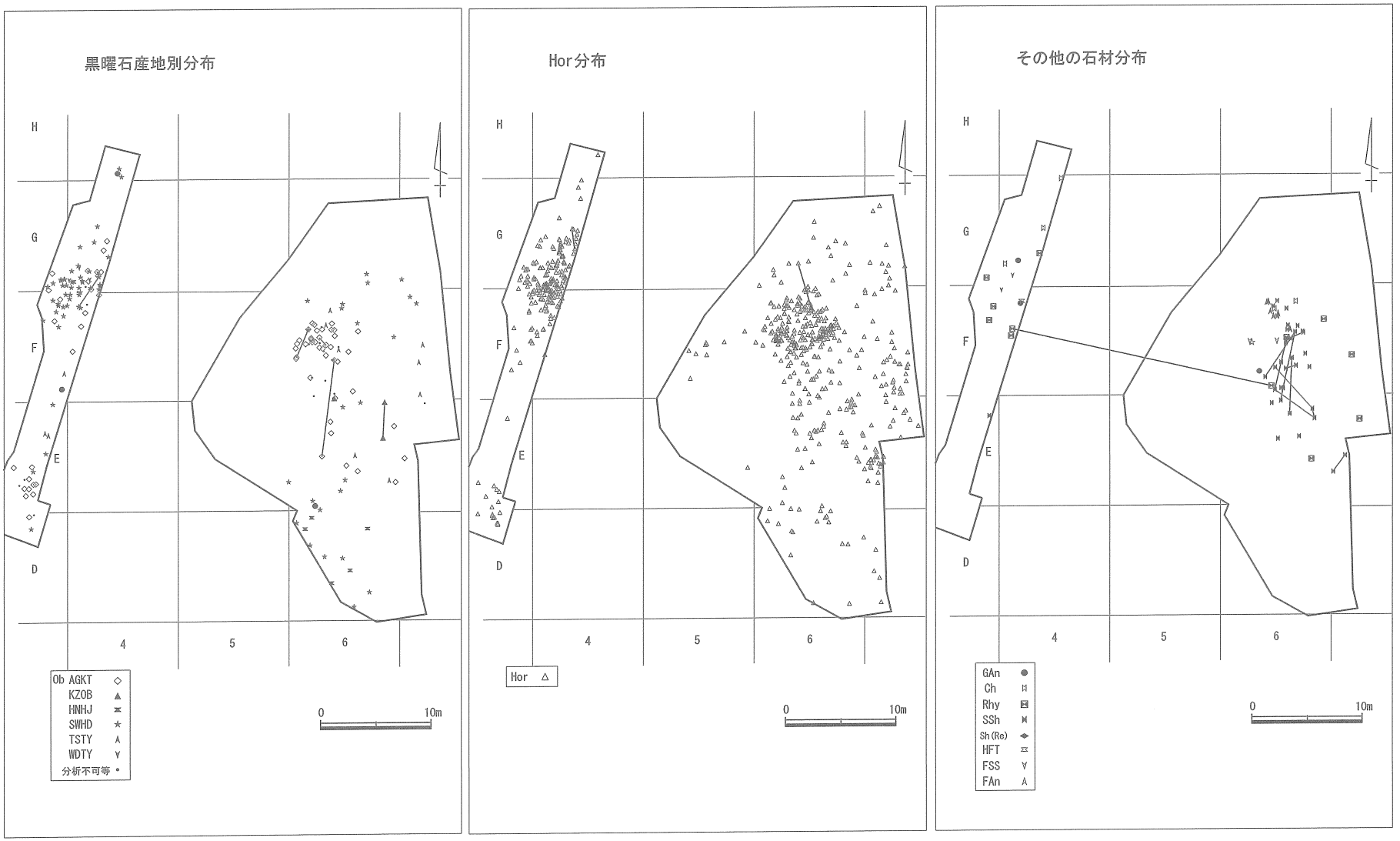
第Ⅲ－９図　旧石器時代礫群

第Ⅲ－３表　旧石器時代　礫群一覧表

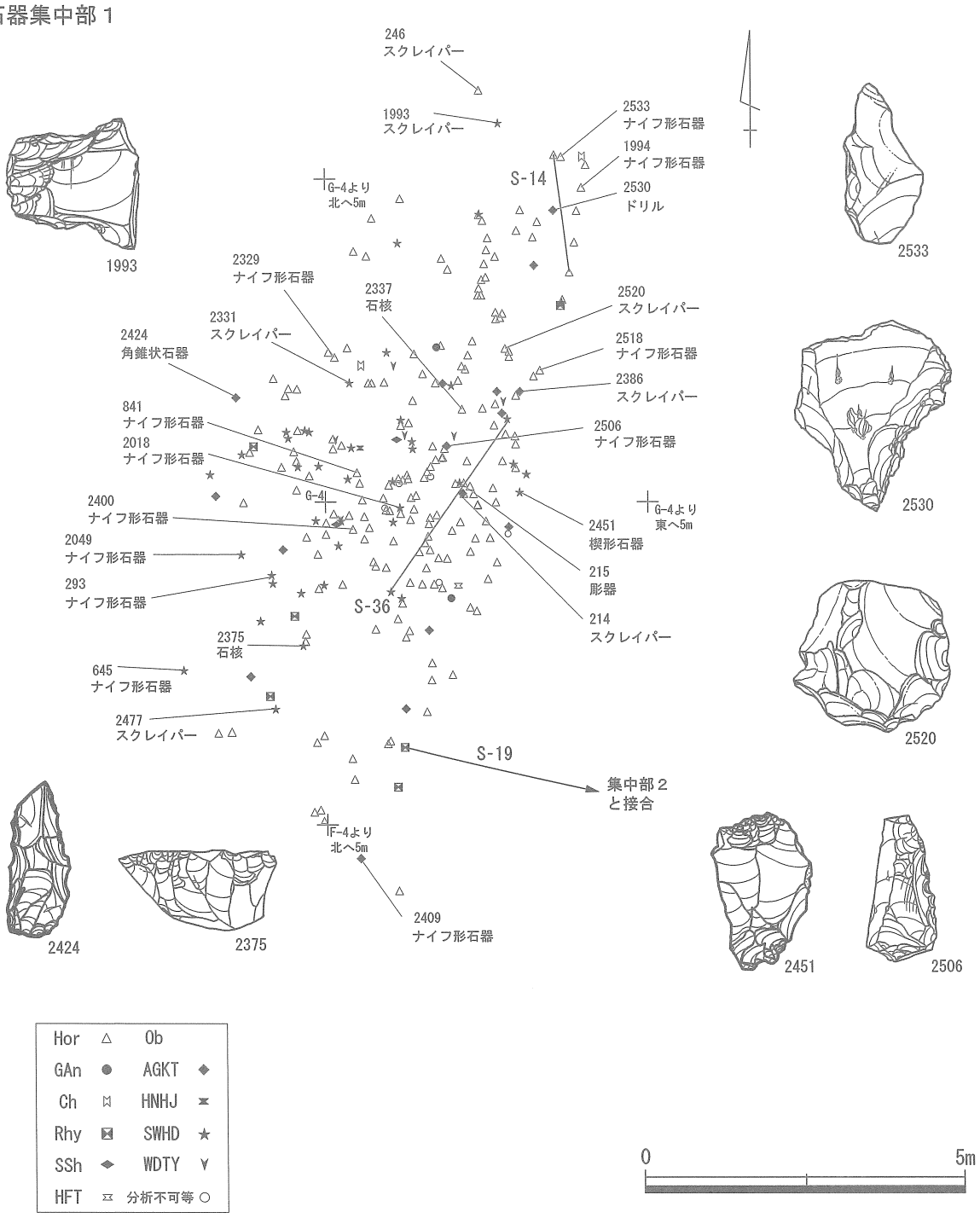
遺構名	総重量（g）	平均重量（g）	構成礫（個）	石材				重量別（g）									グリッド	長径（m）	短径（m）
				An (Py)	VAn	Ba	VBa	100～	200～	300～	400～	500～	700～	800～	1000～	2000～			
1号礫群	6115.7	1223.1	5	2		1	2							3	1	1	D－6	1.8	1.2
2号礫群	7605.3	691.4	11	4	1	2	4	2	2	1	1		1		4		F－6～7	1.2	0.9
3号礫群	8242.2	1373.7	6	3		1	2					1			4	1	E－7	1.1	0.8



第Ⅲ－10図　旧石器時代石器石材別分布図１



第Ⅲ－11図　旧石器時代石器石材別分布図２



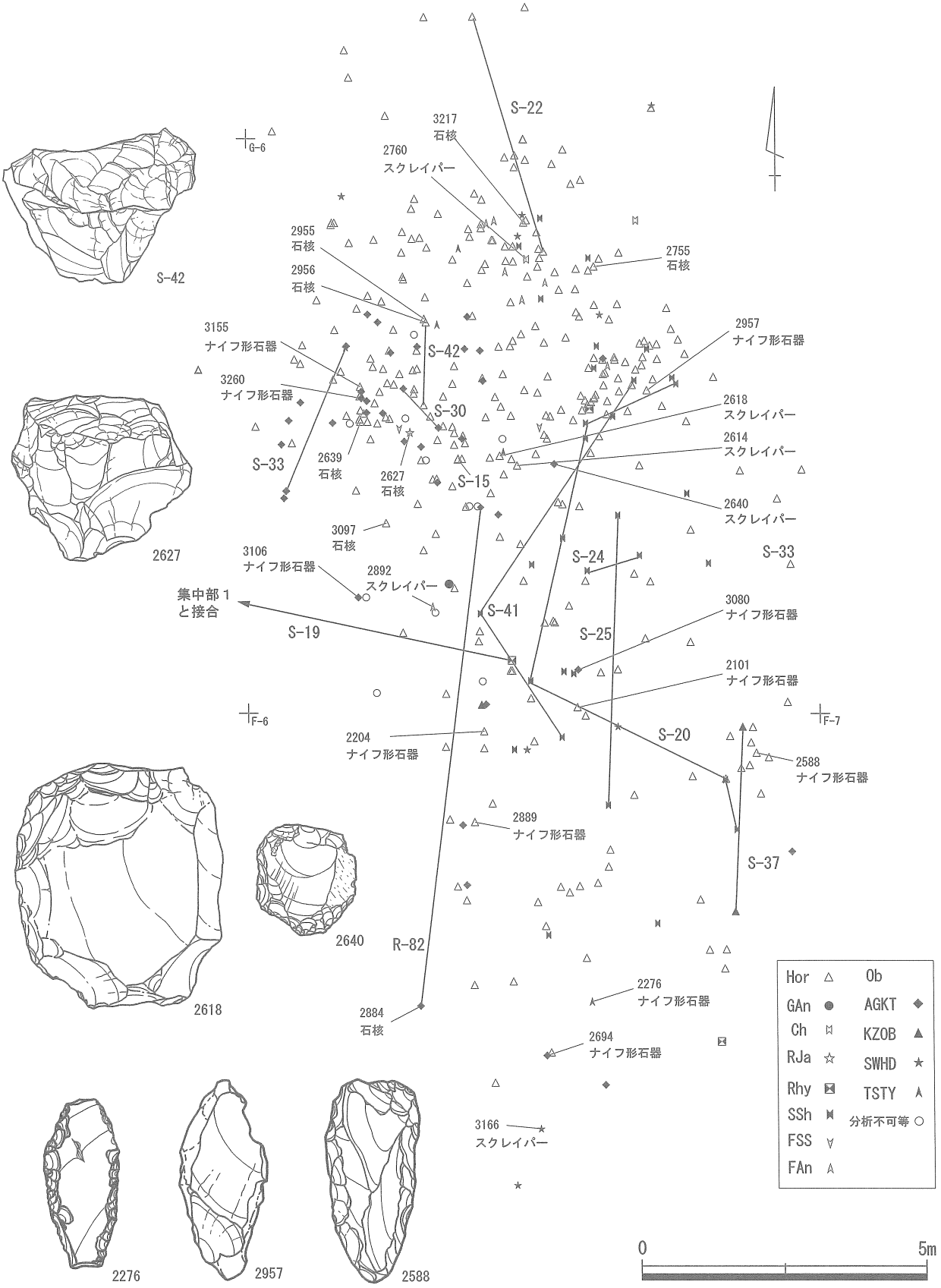
第Ⅲ－12図　旧石器時代石器集中部１

石器集中部２（第Ⅲ－13図）

段丘部のＥ－６～Ｆ－６グリッドを中心に一面に広がるように分布している。ナイフ形石器が11点、スクレイパーが５点、石核が７点確認されている。Toolの種類は少ないが、ホルンフェルス製の石核が多数確認されている。

石材は黒曜石天城柏峠群、ホルンフェルス、珪質頁岩を中心に分布している。黒曜石天城柏峠群、ホルンフェルスが集中部の北西側を中心に分布しているのに対して、珪質頁岩は南東側を中心に分布している。また、黒曜石、ホルンフェルスは接合関係がほとんど確認されないのに対して、珪質頁岩は複数の接合関係が確認される。さらに、南東部から出土した流紋岩は集中部１との接合関係が確認されている。

石器集中部２



第Ⅲ－13図　旧石器時代石器集中部２

２　遺物

角錐状石器（第Ⅲ－14図１）

１点出土した。厚みのある横長剥片を素材としており、打点部は加工によって除去されている。周縁に施された加工によって尖端部を作り出している。加工は二種類確認されており、粗く大きな加工を施した後に、細かな加工を施している。加工は背面の中央にまで及んでおり、素材剥片の元の面はほとんど確認できない。基部は折損しているが、折断面を打面にして、器体の上部に向かって数回の剥離を行っている。そのため、器体上部の横断面形が三角形であるのに対して、下部は台形となっている。石材は黒曜石（天城柏峠群）である。

尖頭器（第Ⅲ－14図１）

１点出土した。縦長剥片（石刃）を素材としている。周縁加工の尖頭器であり、素材剥片の打面部を除く全ての縁辺に、加工が施されている。右側縁は比較的大きな加工が施されているのに対して、左側縁は加工が小さい。また、右側縁は先端付近の加工は小さい。素材剥片の打点部側を基部に用いており、打点部は残存している。尖端部は折損している。石材はホルンフェルスである。

ナイフ形石器（第Ⅲ－14図１～第Ⅲ－17図43）

43点出土した。その中で素材や形状、加工部位によって６形態に分類した。石材は黒曜石19点（天城柏峠群６点、箱根畑宿群２点、諏訪星ヶ台群７点、蓼科冷山群４点）、ホルンフェルス24点である。

Ａ－Ⅰ類：二側縁加工のナイフ形石器で素材剥片の打点を除去しているもの（第Ⅲ－14図１～９）

器体の両側縁にブランティングを施し、素材剥片の打点部を除去しているものをＡ－Ⅰ類として９点分類した。全て縦長剥片を素材としており、打点部を先端側に用いているものと（１、４、６、９）、基部側に用いているもの（２、３、５、７、８）に区分される。また、厚みを持った大型のもの（６、８、９）と比較的平坦な小型のもの（１～４）の二種類が認められる。３を除いて、腹面の基部に平坦剥離は認められなかった。８、９は加工によって、基部につまみ部に近いような平面形状を作っている。５は左側縁の全体と右側縁の尖端部にのみ、加工が確認される。２は先端部の加工のみ、背面から行っている。石材は黒曜石４点（箱根畑宿群１点、諏訪星ヶ台群２点、蓼科冷山群１点）、ホルンフェルス５点である。

Ａ－Ⅱ類：二側縁加工のナイフ形石器で素材剥片の打点を残しているもの（第Ⅲ－15図10～15）

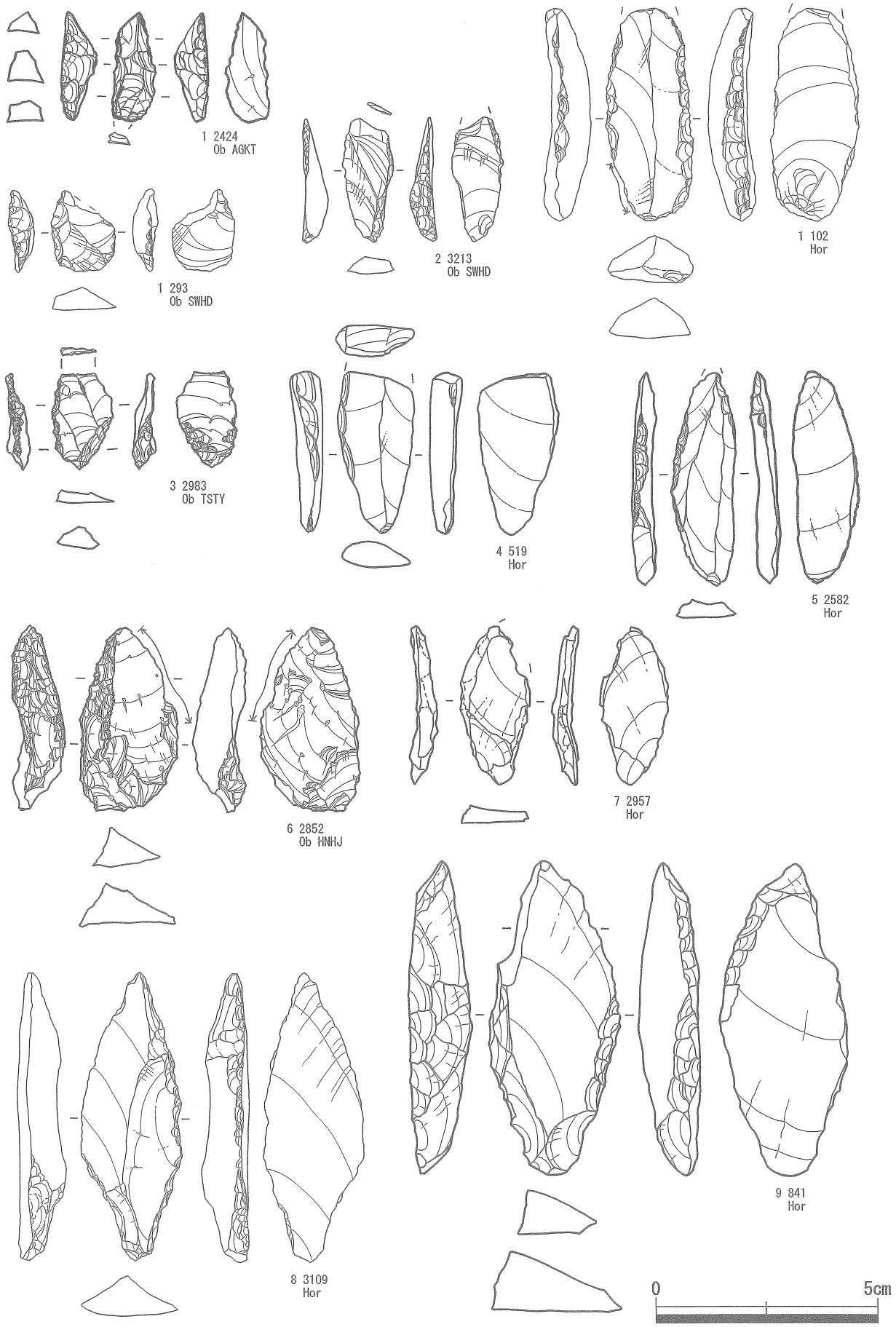
器体の両側縁にブランティングを施し、素材剥片の打点部を残しているものをＡ－Ⅱ類として６点分類した。素材剥片は13を除いて、全て縦長剥片を用いている。15を除いて、すべて素材剥片の打点を残している。10は左側縁の基部、右側縁の先端にのみ加工を施し、12は左側縁の基部、右側縁の基部と尖端部にのみ加工を施し、側縁全体に加工がわたっていない。14、15は、それぞれ片方の側縁にしか加工が施されていないが、未加工の縁辺が鈍角のため、加工の代わりになっていると判断した。13はブランティングに錯交剥離を用いている。素材剥片が横長剥片に近く、その他のＡ－Ⅱ類と区分される可能性も考えられる。石材は黒曜石（天城柏峠群）１点、ホルンフェルス５点である。

Ｂ類：基部加工のナイフ形石器（第Ⅲ－15図16、17）

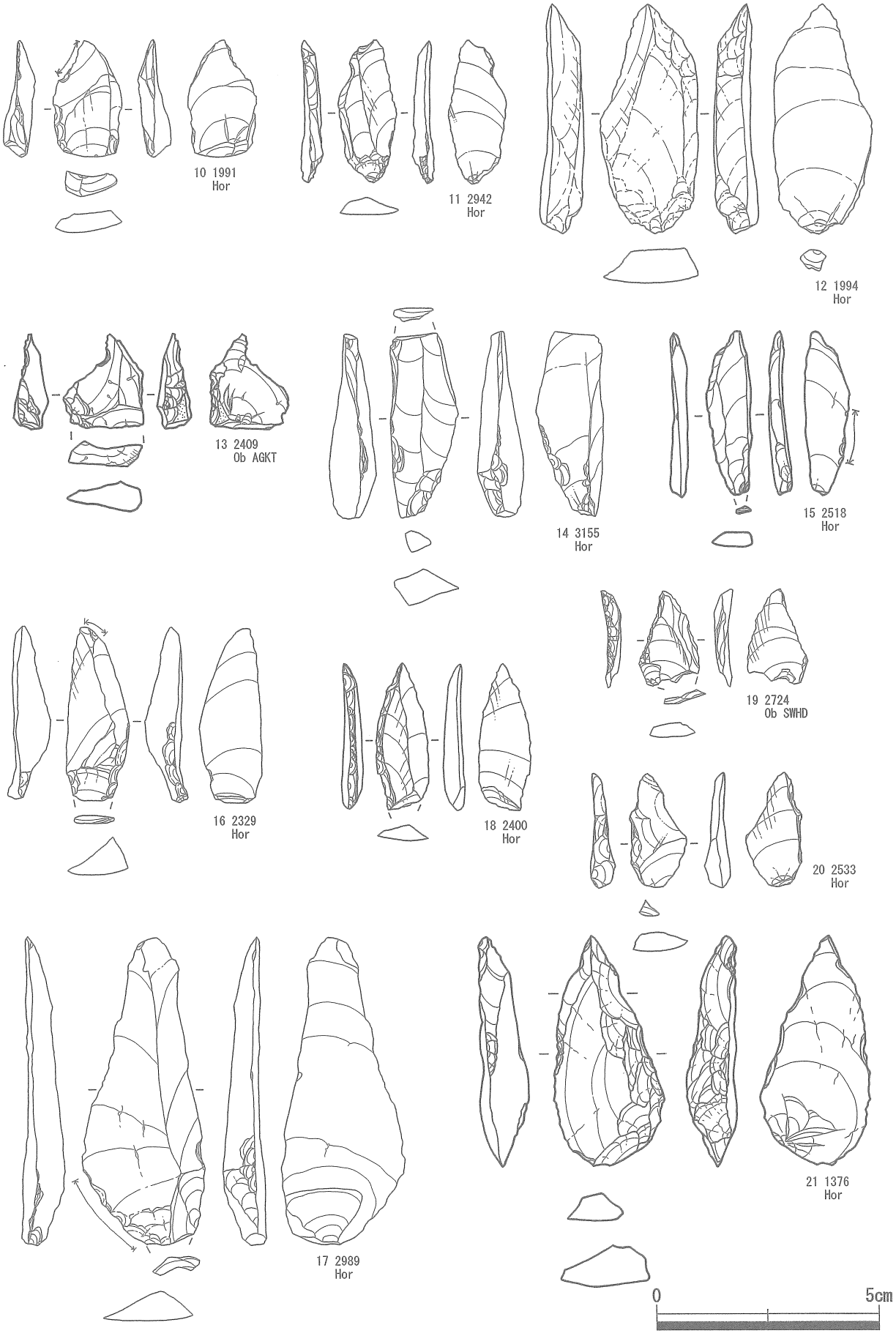
素材剥片の打点部周辺にのみ加工を施したものを、基部加工のナイフ形石器として２点分類した。２点とも縦長剥片を素材として、両側に加工を施している。16は素材剥片の打点部を加工によって除去している。基部は折損している。17は素材剥片の加工を残している。また、右側の加工に比べて左側の加工は小さい。石材はホルンフェルス２点である。

Ｃ類：一側縁加工のナイフ形石器（第Ⅲ－15図18～第Ⅲ－16図24）

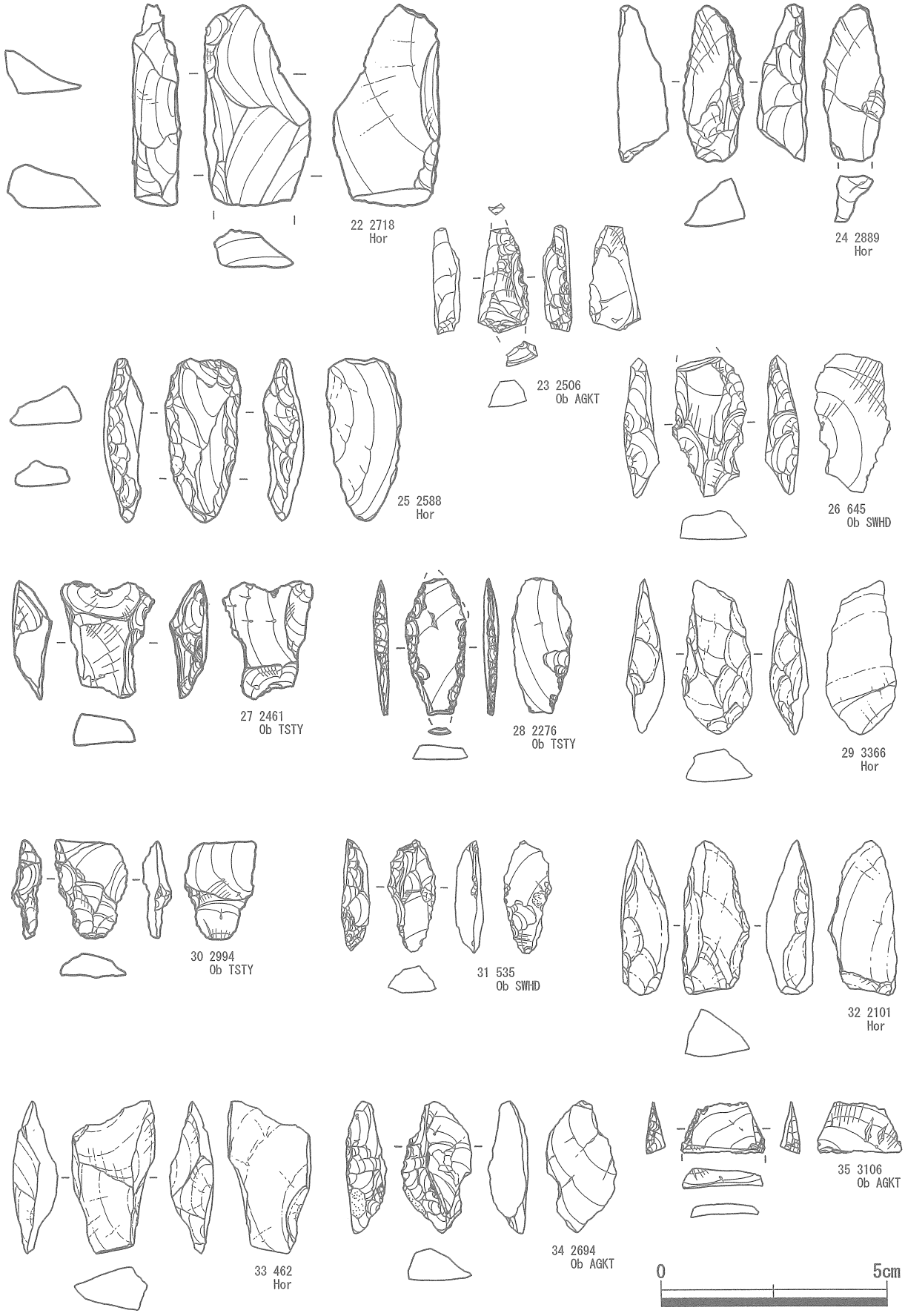
器体の一側縁にブランティングを施しているものを、一側縁加工のナイフ形石器として７点分類した。素材剥片には縦長剥片と横長剥片の両方を用いている。横長剥片素材のうち、23は打点部を加工によっ



第Ⅲ－14図　旧石器時代　角錐状石器・尖頭器・ナイフ形石器１



第Ⅲ－15図　旧石器時代　ナイフ形石器２



第Ⅲ－16図　旧石器時代　ナイフ形石器３

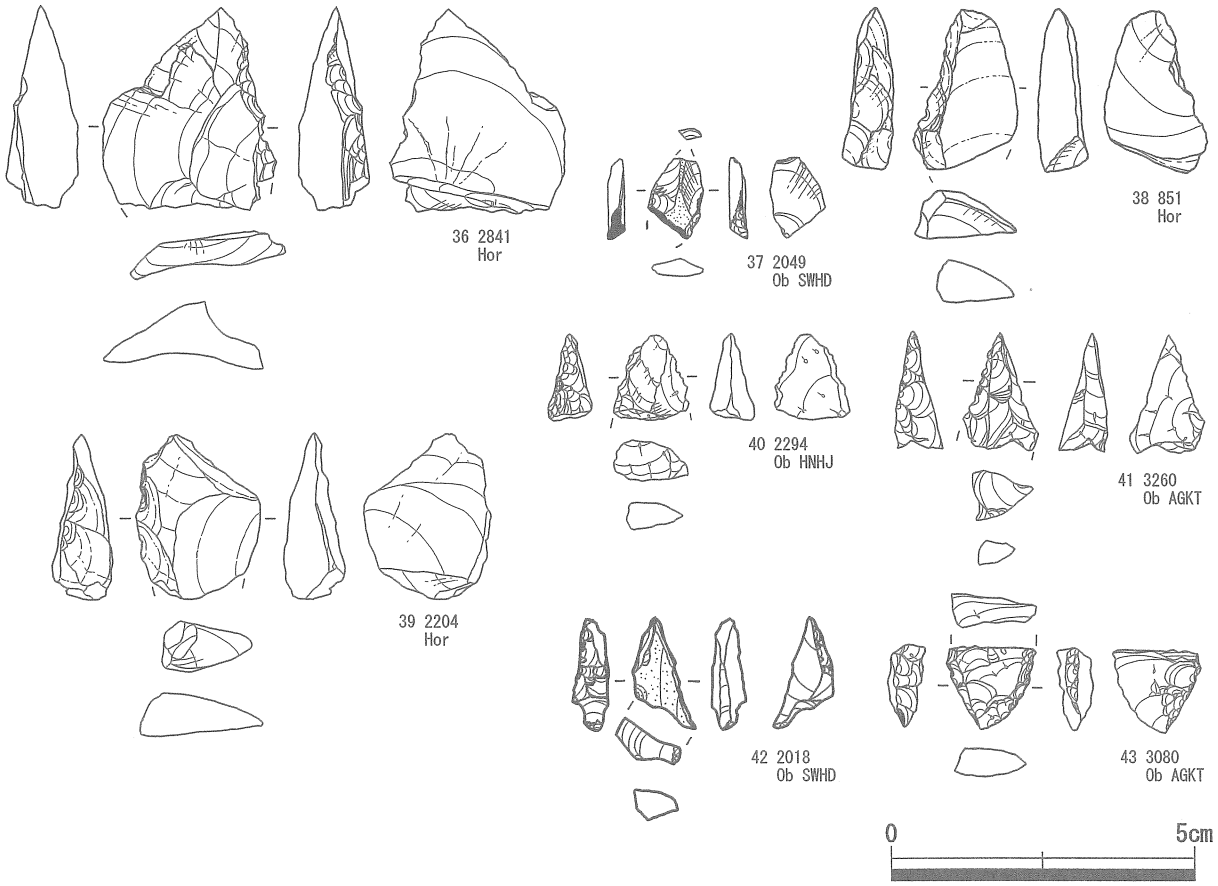
て除去している。先端の未加工部分から、折断を行った後に加工を施していることが確認できる。24は背面から加工を施している。縦長剥片は全て打点部側を基部にしているが、20は打点を残しているのに対して、22は加工によって打点部を除去している。21は縦長と横長の中間のような剥片を素材としているが、打点部を加工によって除去している。また加工は背面から施されている。18、19は基部を折損しているため詳細は不明である。しかし、折損部分が小さく加工の痕跡が見られないため、Ｃ類と判断した。石材は黒曜石２点（天城柏峠群１点、諏訪星ヶ台群１点）、ホルンフェルス５点である。

Ｄ類：切出形石器（第Ⅲ－16図25～34）

器体の両側縁にブランティングを施し、上部に切出状の刃部を作出したものを、切出形石器として10点分類した。全て横長剥片を素材としており、加工によって打点を除去している。刃部は器体の長軸に対して直交するもの（25、27、30）と斜行するもの（32、33、34、29）に区分される。斜行する３点は尖端部を有する。27は刃部にノッチ状の加工を施している。31の刃部は長軸に対して、直交に近くなっている。26、28は刃部が折損している。全体的に厚さを持った資料が多いが、28のような薄い資料も確認できる。また、34は一側縁のみにしか加工が施されていないが、未加工の側縁の基部側が鈍角であるため、加工の代わりとなっていると判断した。石材は黒曜石６点（天城柏峠群１点、諏訪星ヶ台群２点、蓼科冷山群３点）、ホルンフェルス４点である。

Ｅ類：その他のナイフ形石器（第Ⅲ－16図35～第Ⅲ－17図43）

折損等によって形状が不明なナイフ形石器を９点分類した。36、39はそれぞれ片方の側縁に加工が確認できるが、基部が折損しているため、全体の形状が不明である。35、37、38、40～42は先端部である。37、38、40～42はそれぞれ片側の側縁に加工が確認できる。35は両側縁に加工が確認できる。刃部が長



第Ⅲ－17図　旧石器時代　ナイフ形石器４

軸に対して直交、もしくは斜行していることから、切出形石器の可能性も考えられる。43は基部である。両側縁に加工が見られ、腹面の平坦剥離によって打点を除去していることから、二側縁加工のナイフ形石器であることが推定される。石材は黒曜石６点（天城柏峠群３点、箱根畑宿群１点、諏訪星ヶ台群２点）、ホルンフェルス３点である。

スクレイパー（第Ⅲ－18図１～第Ⅲ－20図19）

22点出土して、そのうち20点を図示した。その中で素材や形状、加工部位によって４形態に分類した。石材は黒曜石10点（天城柏峠群２点、箱根畑宿群１点、諏訪星ヶ台群５点、蓼科冷山群１点、推定不可１点）、ホルンフェルス７点、珪質頁岩２点、チャート１点である。

Ａ類：エンド・スクレイパー（第Ⅲ－18図１～８）

剥片の末端部に加工の入ったスクレイパーを中心に、加工に厚さのあるスクレイパーを、エンド・スクレイパーとして８点図示した。資料の大半は厚みのある不定型な縦長剥片を素材としている。平坦な資料は確認できなかった。５は石刃の末端部に加工を施しており、いわゆる先刃形掻器に分類される資料である。３は右側縁部に頭部調整と考えられる加工が確認され、石核を素材にしていると考えられる。１は表裏両面に礫面が確認できることから、石核を素材にした可能性が考えられる。８はエンド・スクレイパーから剥離されたと考えられる剥片である。石材は黒曜石６点（天城柏峠群１点、箱根畑宿群１点、諏訪星ヶ台群２点、蓼科冷山群１点、推定不可１点）、ホルンフェルス２点である。

Ｂ類：ラウンド・スクレイパー（第Ⅲ－19図９～14）

平面形状が円形に近く、剥片の周縁に加工の入ったスクレイパーを、ラウンド・スクレイパーとして６点図示した。11は左側縁のみ背面から剥離を行っている。この剥離は平坦に近く、刃部を切るようにして剥離を行っていることから、石核として再利用されていた可能性も考えられる。９、13、14は折損している。石材は黒曜石２点（天城柏峠群１点、諏訪星ヶ台群１点）、ホルンフェルス３点、チャート１点である。

Ｃ類：サイド・スクレイパー（第Ⅲ－19図15、16）

剥片の側縁に加工の入ったスクレイパーを、サイド・スクレイパーとして３点図示した。15は接合して、１個体のスクレイパーとなっている。縦長剥片を素材として、左側縁に加工を施している。16は厚みのある縦長剥片の素材として、左側縁に加工を施している。加工の施されている箇所から、サイド・スクレイパーと判断したが、石材はホルンフェルス１点、珪質頁岩２点である。

Ｄ類：ノッチド・スクレイパー（第Ⅲ－20図17～19）

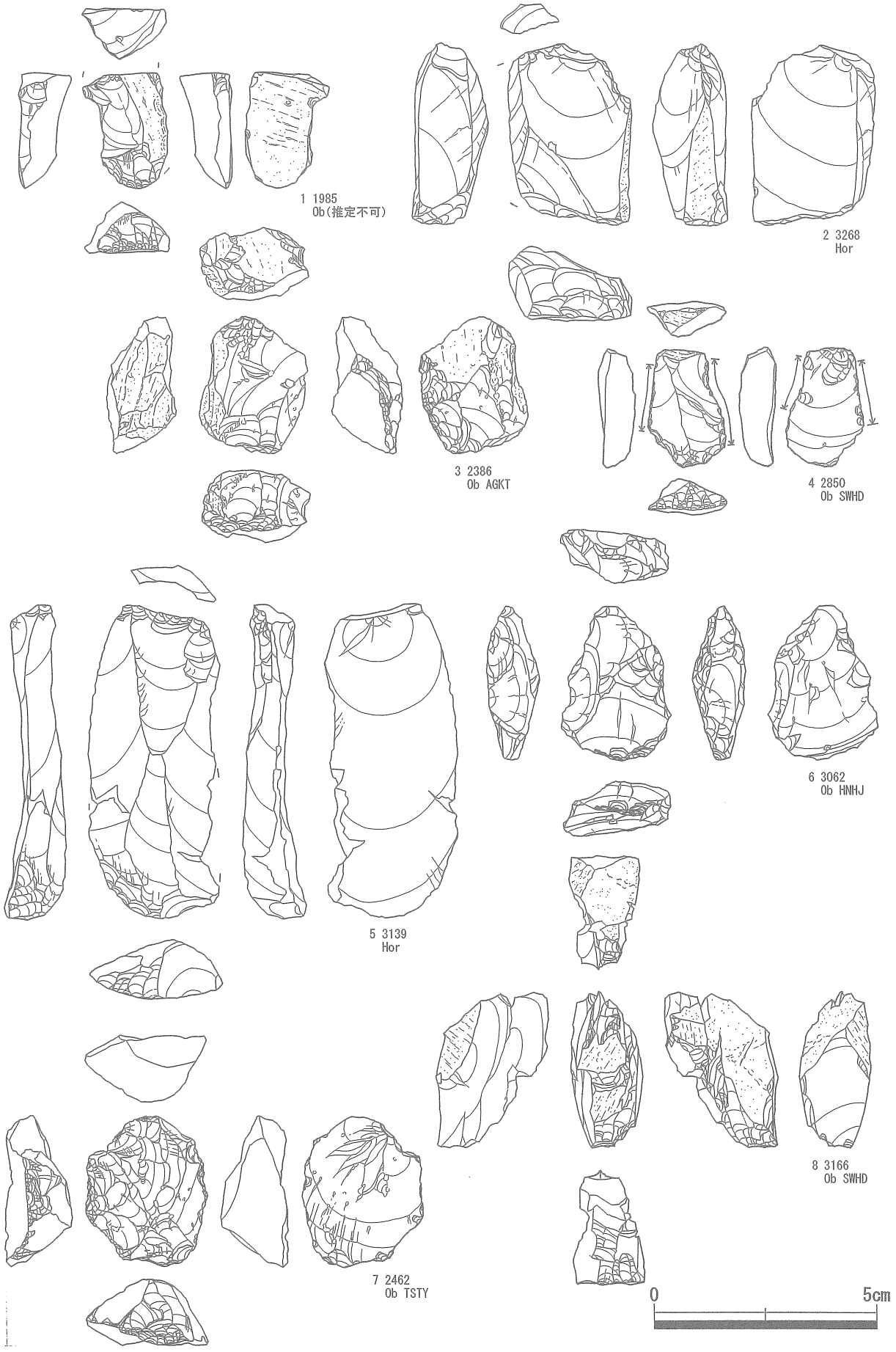
抉りの入った加工を施したスクレイパーを、ノッチド・スクレイパーとして３点図示した。17は厚みを持った縦長剥片の両側縁に、抉りの入った加工を施している。18は横長剥片の周縁に加工を施しており、素材剥片の打点部も加工によって失われている。19は横長剥片を素材として、打点部とその反対側に加工を施しているが、下部の加工のみノッチ状を呈する。石材は黒曜石諏訪星ヶ台群２点、ホルンフェルス１点である。

ドリル（第Ⅲ－20図１）

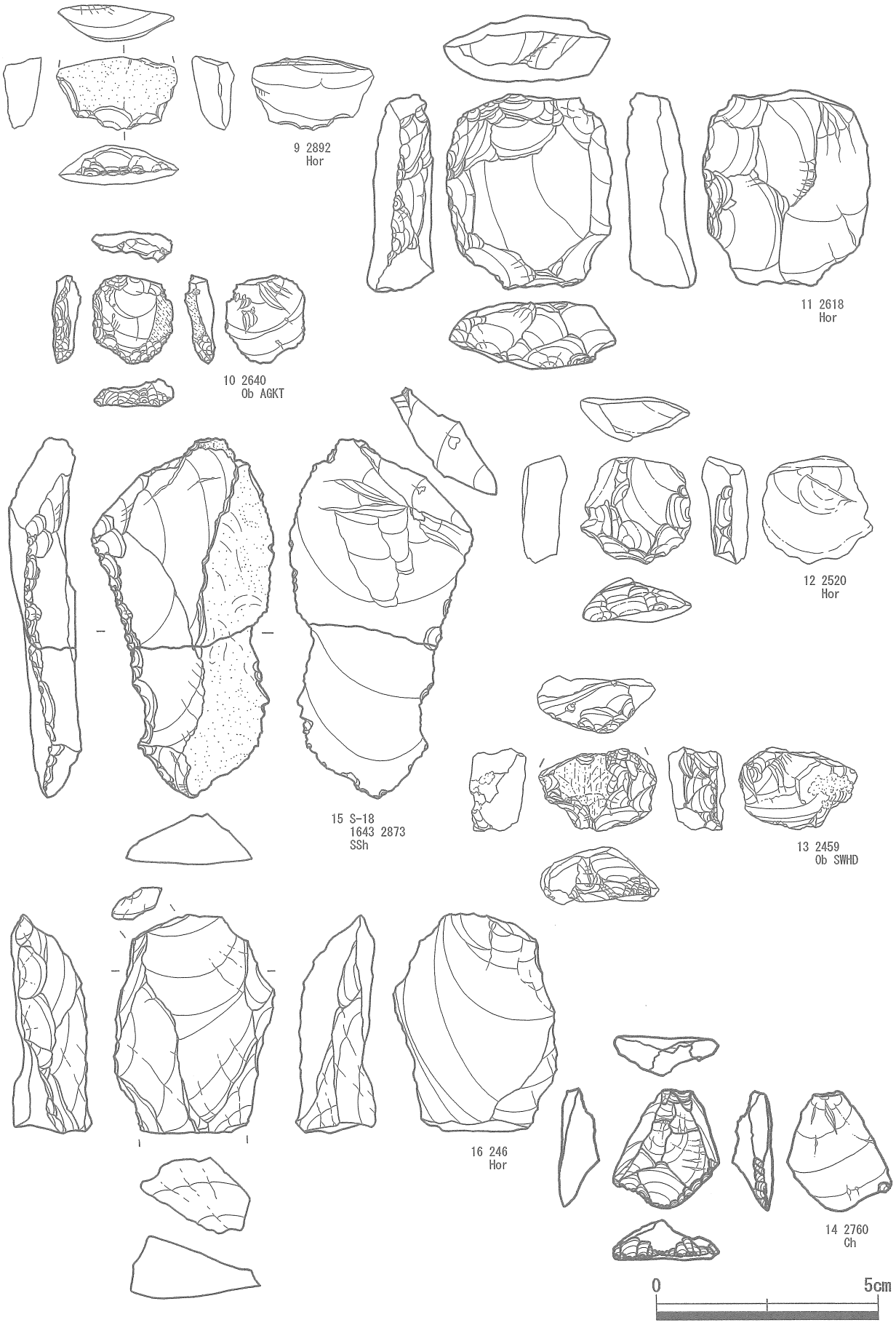
１点出土した。エンド・スクレイパーを素材としており、上部に腹面から刃部を作出した加工が見られる。ドリルとしての加工は、それを切るようにして背面側から行われている。両側縁に高さのある加工を施して、尖端部を作出している。加工は鋸歯状を呈している。尖端部が太いため、他の器種である可能性も考えられるが、尖端部を作出しているという事実からドリルと判断した。石材は黒曜石天城柏峠群である。

グレイバー（第Ⅲ－20図１、２）

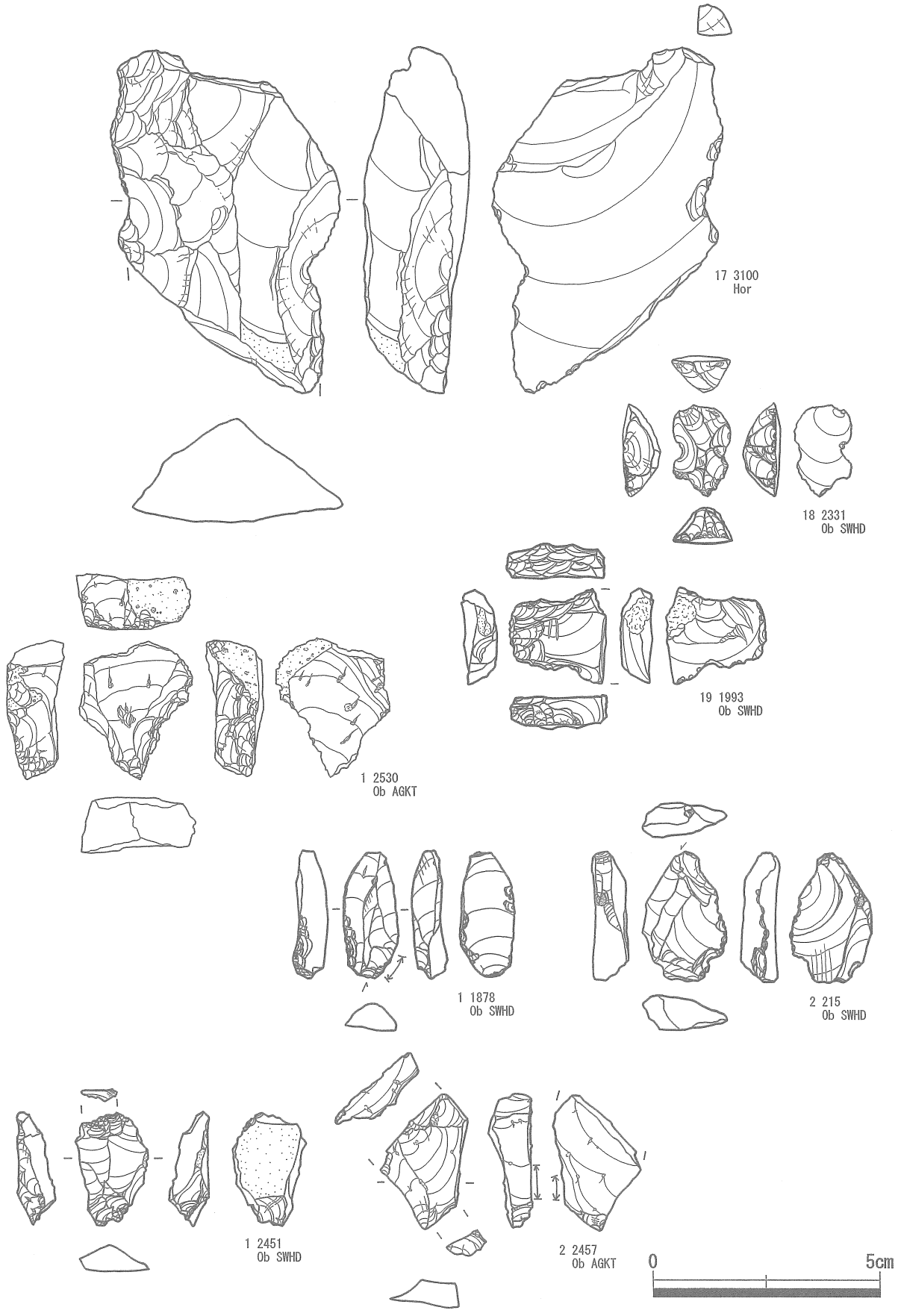
２点出土した。１は折断したナイフ形石器を素材としている。折断面を打面として、数回の樋状剥離



第Ⅲ－18図　旧石器時代　スクレイパー１



第Ⅲ－19図　旧石器時代　スクレイパー２



第Ⅲ－20図　旧石器時代　スクレイパー３・ドリル・グレイバー・楔形石器

を行っており、彫刀面の縁辺には微細な剥離痕が確認できる。２はエンド・スクレイパーを素材としている。スクレイパー刃部と逆側の、素材剥片の打点付近に加工を施して、樋状剥離の打面にしている。彫刀面の先には逆方向からの剥離面が確認できるため、樋状剥離を両極打法で行っていた可能性も考えられる。石材は黒曜石（諏訪星ヶ台群）２点である。

楔形石器（第Ⅲ－20図１、２）

２点出土した。２は折断した縦長剥片を素材として、両極剥離を行っている。１は、素材剥片は不明である。器体の長軸に平行して、両極剥離を行っている。右側縁下部にスクレイパー刃部のような加工が確認できる。石材は黒曜石２点（天城柏峠群１点、諏訪星ヶ台群１点）である。

石核（第Ⅲ－21図１～第Ⅲ－27図14）

16点出土して、そのうち14点を図示した。その中で素材や形状、調整の有無によって３形態に分類した。石材は黒曜石５点（天城柏峠群３点、諏訪星ヶ台群１点、和田鷹山群１点）、ホルンフェルス９点、珪質頁岩１点、赤玉石（碧玉）１点である。

Ａ類：単設打面石核（第Ⅲ－21図１～第Ⅲ－22図５）

打面転移を行っていない石核を、Ａ類として５点分類した。４、５は上部に打面を作成し、そこから剥離を行っている。作業面はあまり移さずに同一の面に剥離が集中するため、裏面には礫面を残している。５は左面に違う方向からの剥離が確認できるが、剥離面が小さいため調整と判断した。２は作業面を作成する剥離と剥片剥離の２回しか、剥離を行った痕跡が見られない。そのため、素材となったホルンフェルスの亜角礫の形状が、そのまま残っている。１は上部に打面を作成し、そこから剥離を行っている。形状は不格好な船底状を呈する。剥離されている剥片が小型の縦長剥片であるため、細石核の可能性も考えられるが、剥離された剥片がやや不定形なこと、本遺跡で細石器の資料が全く確認されていないことから、通常の石核と判断した。石材は黒曜石２点（天城柏峠群１点、諏訪星ヶ台群１点）、ホルンフェルス３点である。

Ｂ類：両設打面石核（第Ⅲ－22図６～第Ⅲ－24図10）

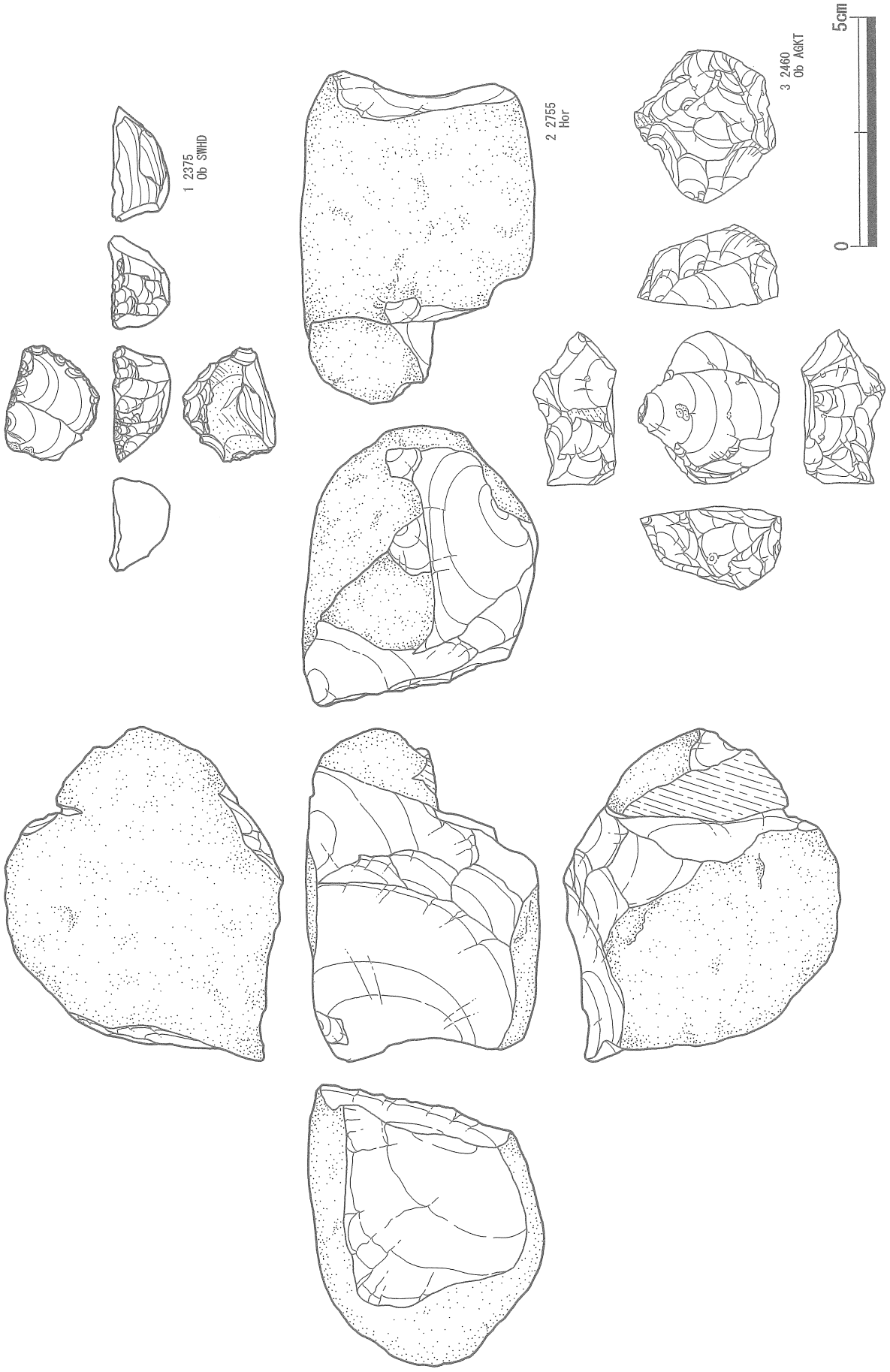
１回の打面転移を行っている石核を、Ｂ類として５点分類した。７、９、10上部に打面を作成し、そこから剥離を行っている。形状は不格好な船底状、角柱状を呈し、Ａ類の１、４、５に似ている。しかし、Ａ類とは異なり、別方向からの剥離も確認されている。８は上部と下部に打面を作成し、上下両方から剥離を行っている。最終剥離面は下部の打面部となっているが、打面の作成に失敗したか、新たな作業面を作ろうとして失敗し、廃棄されたと考えられる。６は作業面とは逆の面に横方向から剥離を行っている。おそらくは新たな作業面を作成しようとしたが、うまくいかず廃棄されたと考えられる。石材は黒曜石天城柏峠群１点、ホルンフェルス４点である。

Ｃ類：複設打面石核（第Ⅲ－25図11～第Ⅲ－27図14）

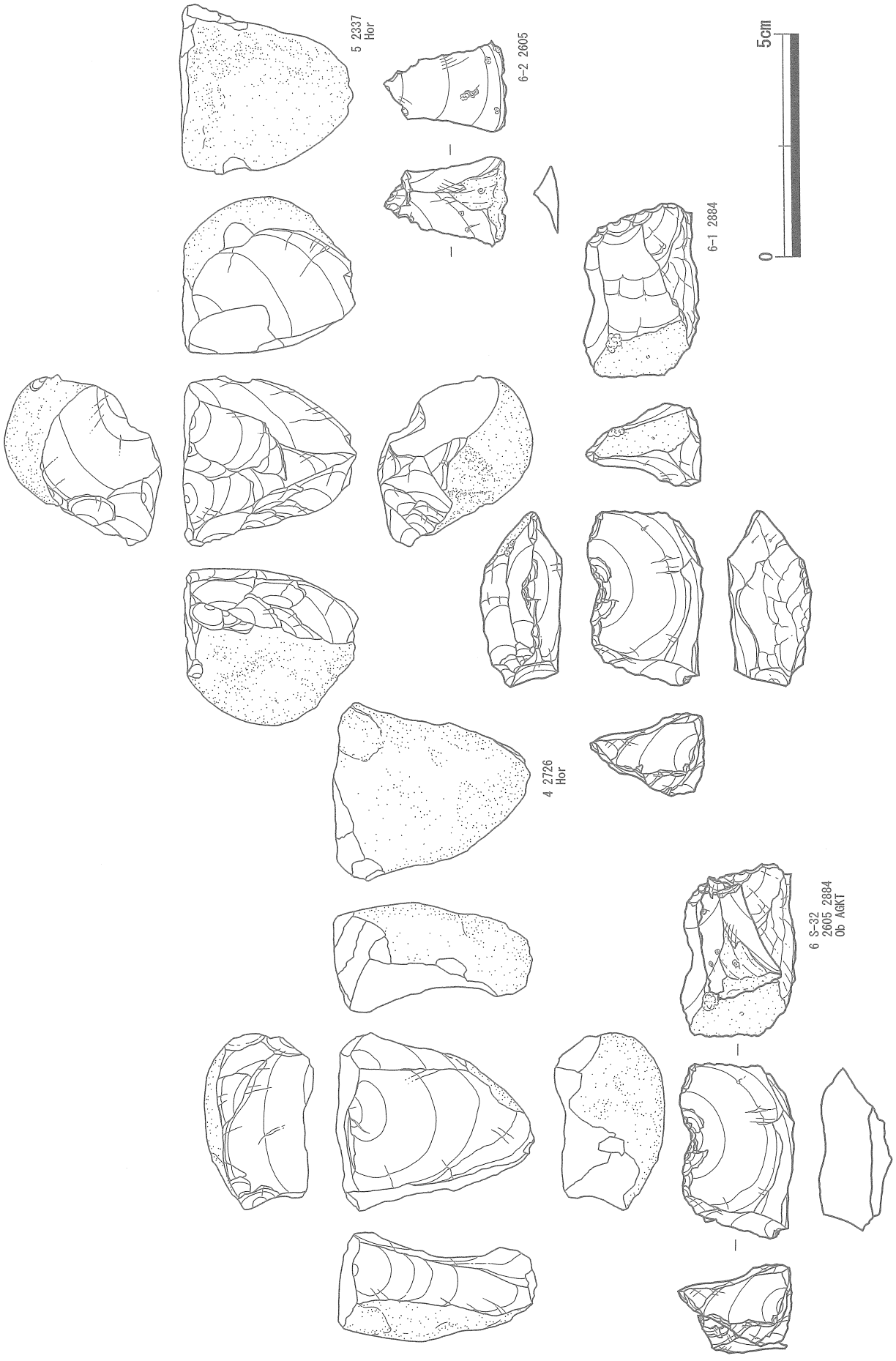
２回以上の打面転移を行っている石核をＣ類として、４点分類した。複数の打面転移を繰り返しているが、剥離可能な状況で残されている資料が多い。11、13を除いて礫面を残している。11、12は剥離を繰り返した結果、サイコロ状に近くなっている。剥離されている剥片は、不定型な縦長剥片か、縦と横の長さが同程度の剥片である。13は上下から交互剥離を繰り返しながら、寸詰まりの剥片を剥離している。14は、元は４、５のような角錐状の石核だったと考えられるが、複数回の打面転移を繰り返している。石材は黒曜石天城柏峠群１点、ホルンフェルス１点、珪質頁岩１点、赤玉石（碧玉）１点である。

剥片類（第Ⅲ－28図１～第Ⅲ－30図15）

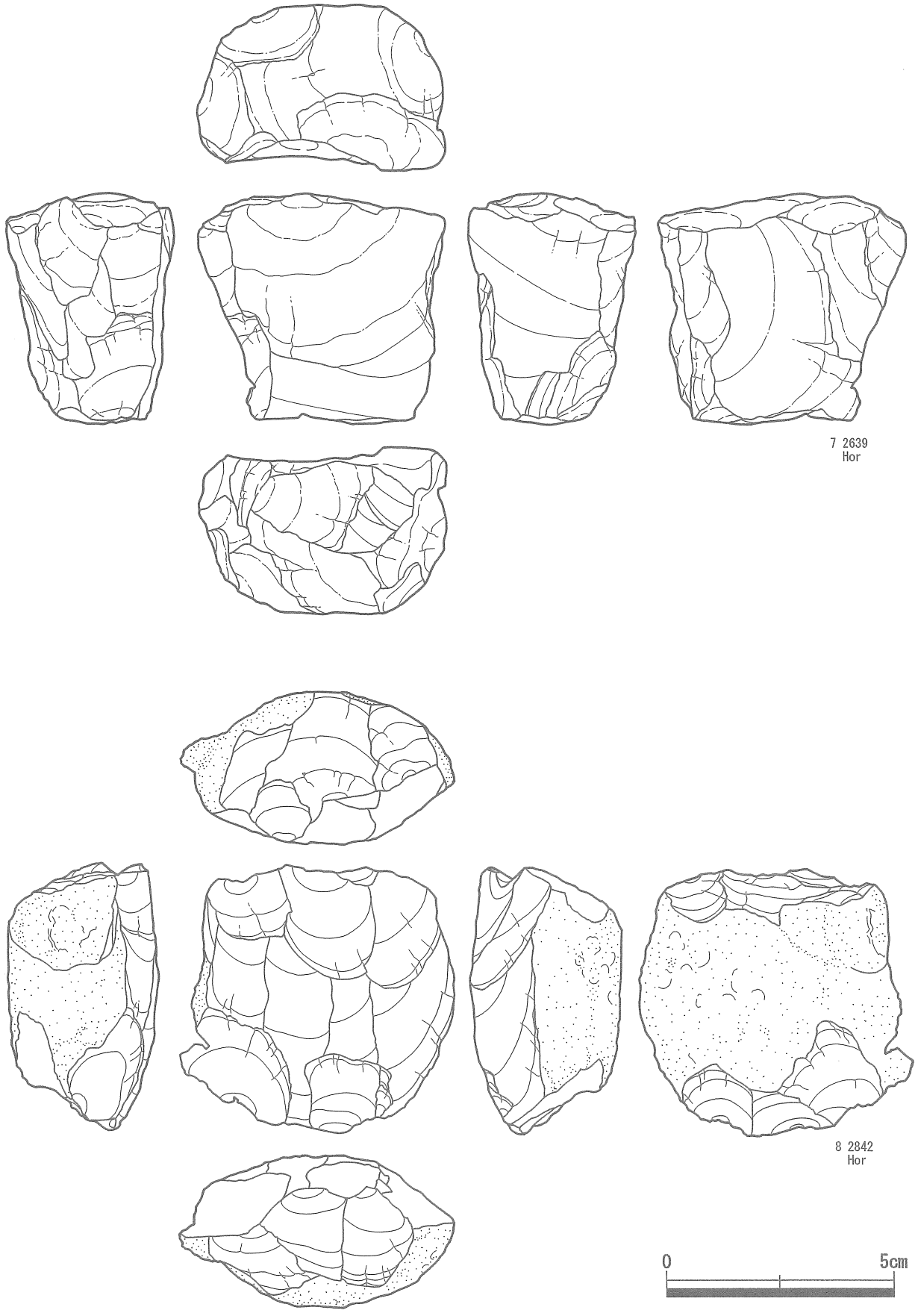
15母岩を図示した。１～８は石刃状の縦長剥片である。基本的に同方向からの剥離を繰り返して、剥がされている。１～５、７、８はホルンフェルス製の厚みを持った資料であり、ナイフ形石器の素材剥片としても用いられている。９～15は横長剥片や縦と横の幅が同程度の幅広な剥片である。９、12～14



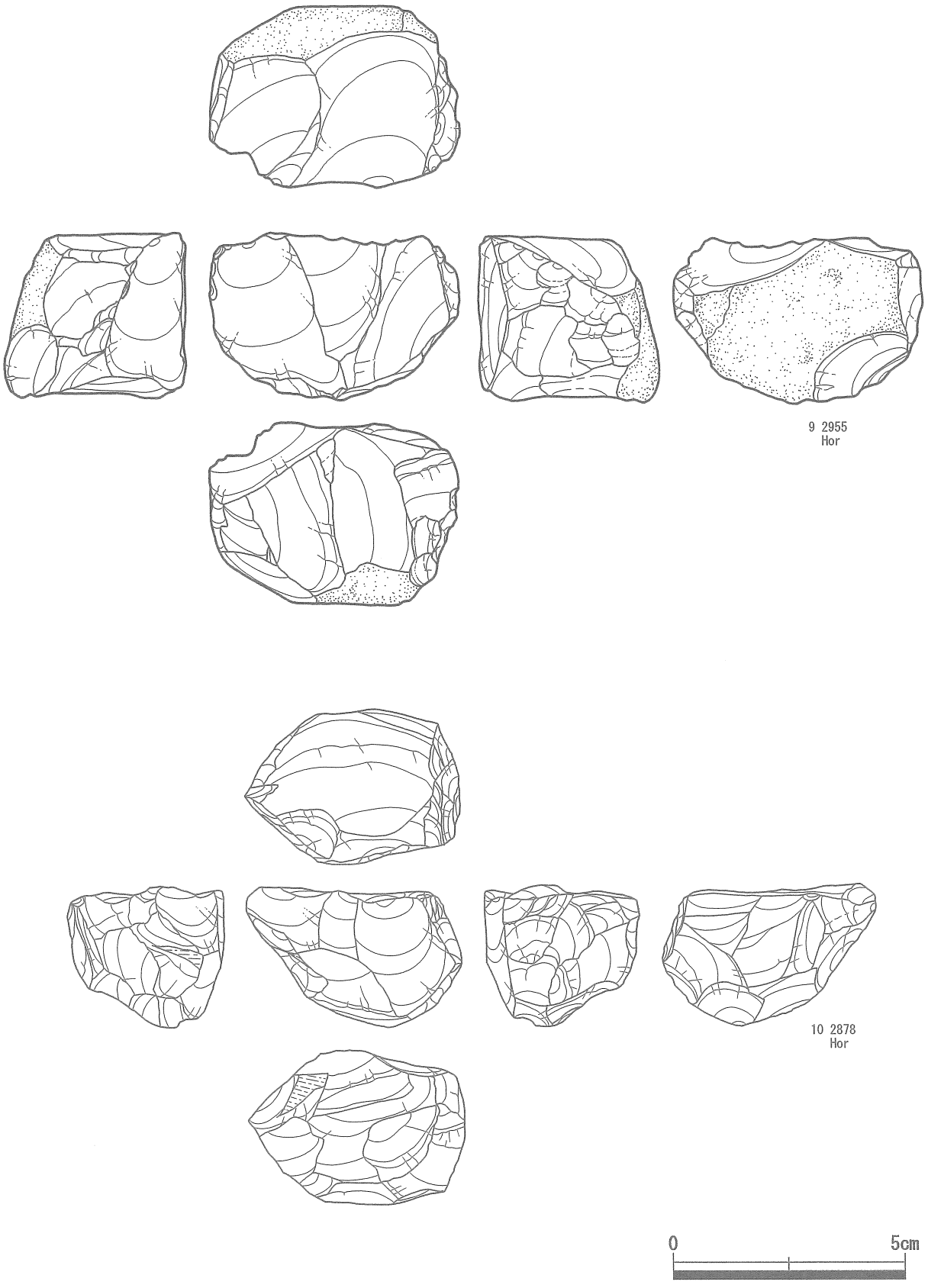
第Ⅲ－21図　旧石器時代　石核１



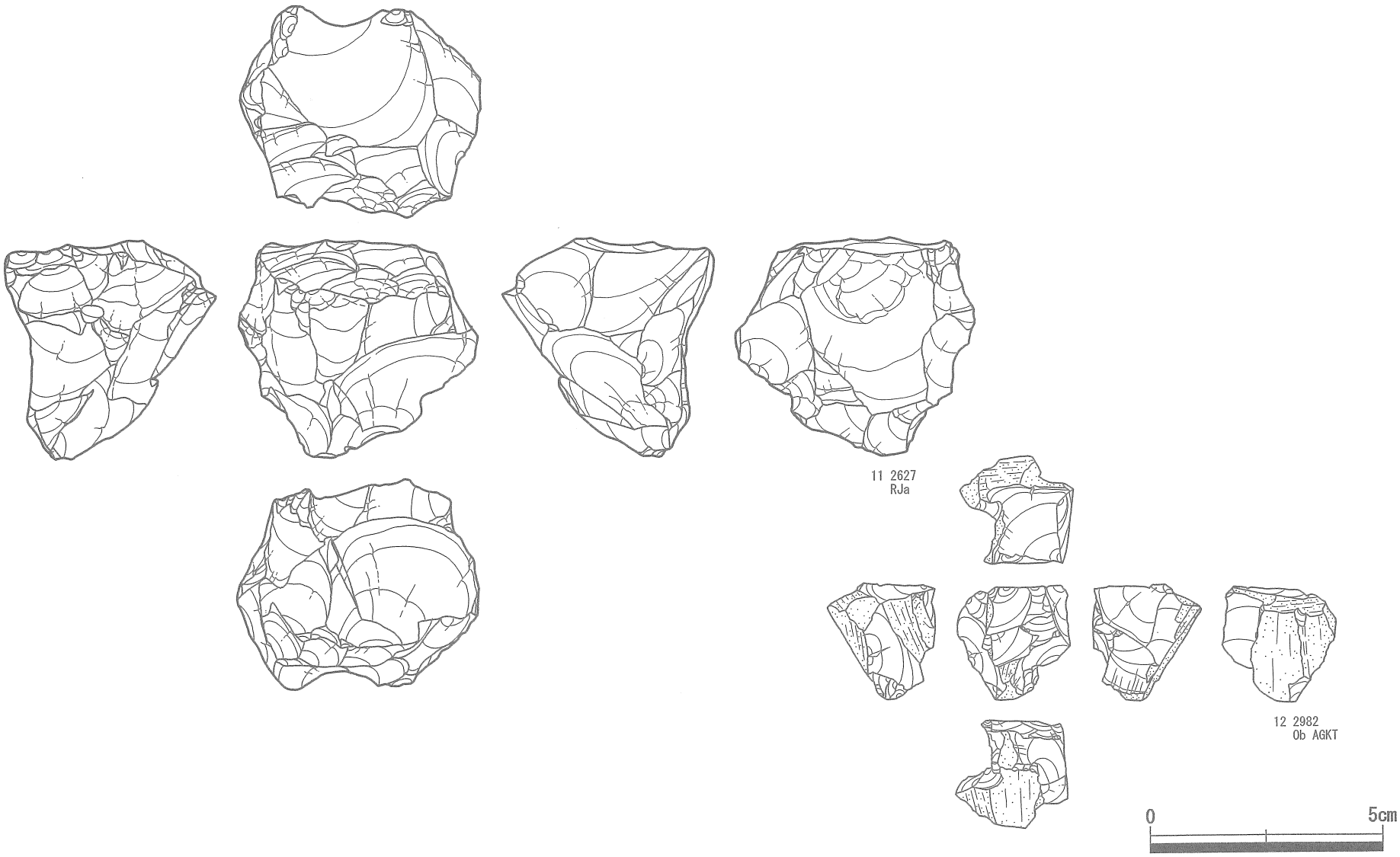
第Ⅲ－22図　旧石器時代　石核２



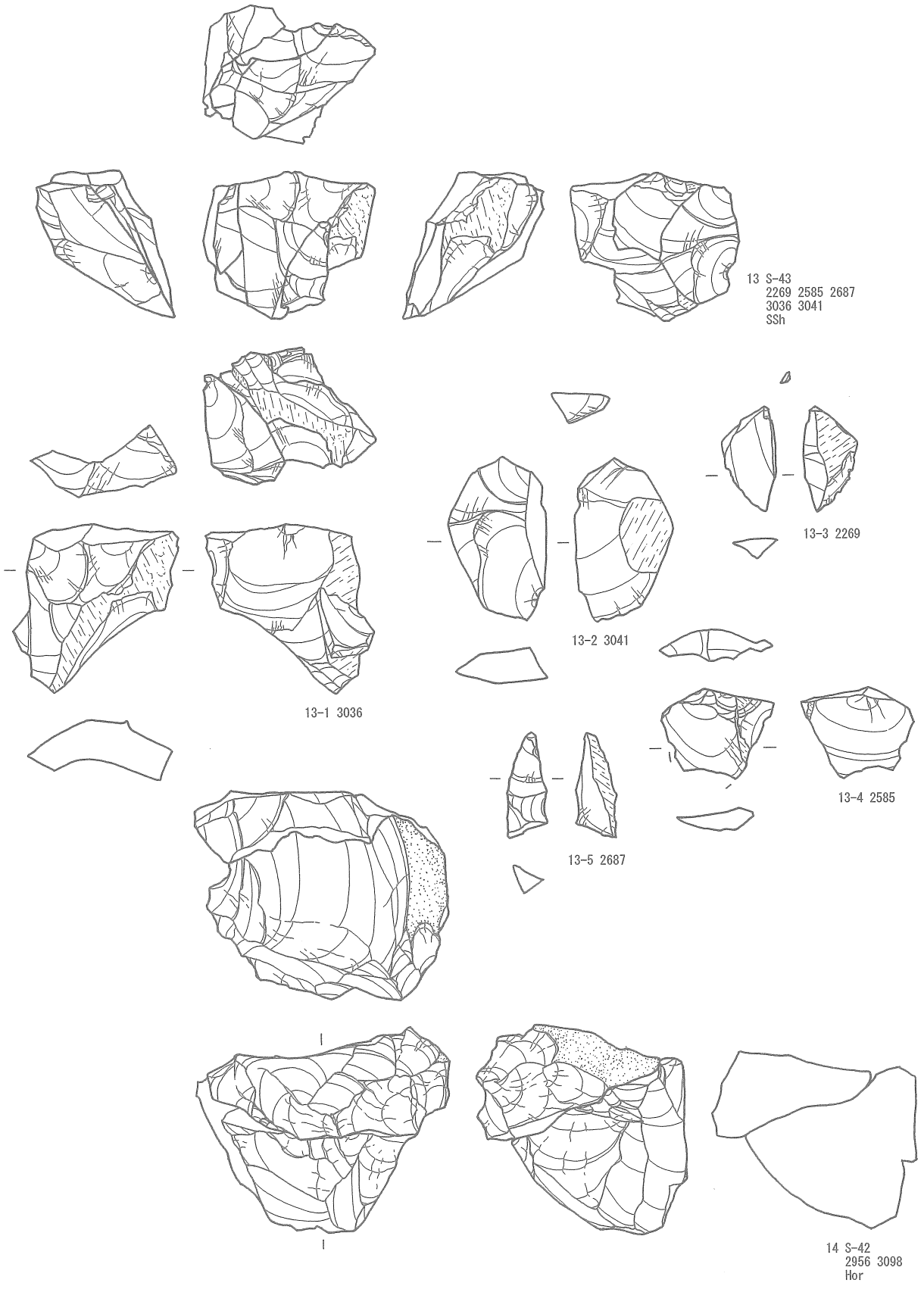
第Ⅲ－23図　旧石器時代　石核３



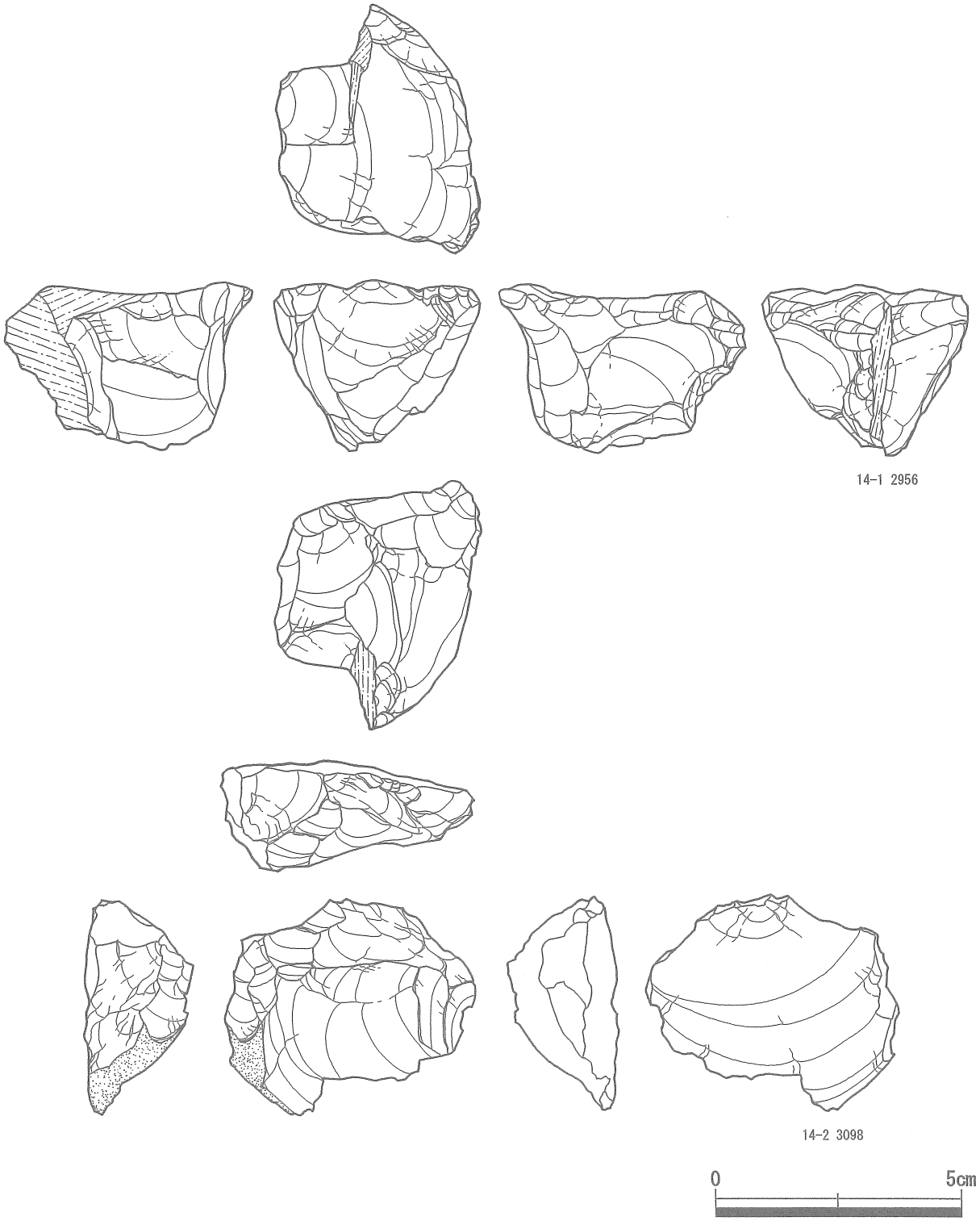
第Ⅲ－24図　旧石器時代　石核４



第Ⅲ－25図　旧石器時代　石核５

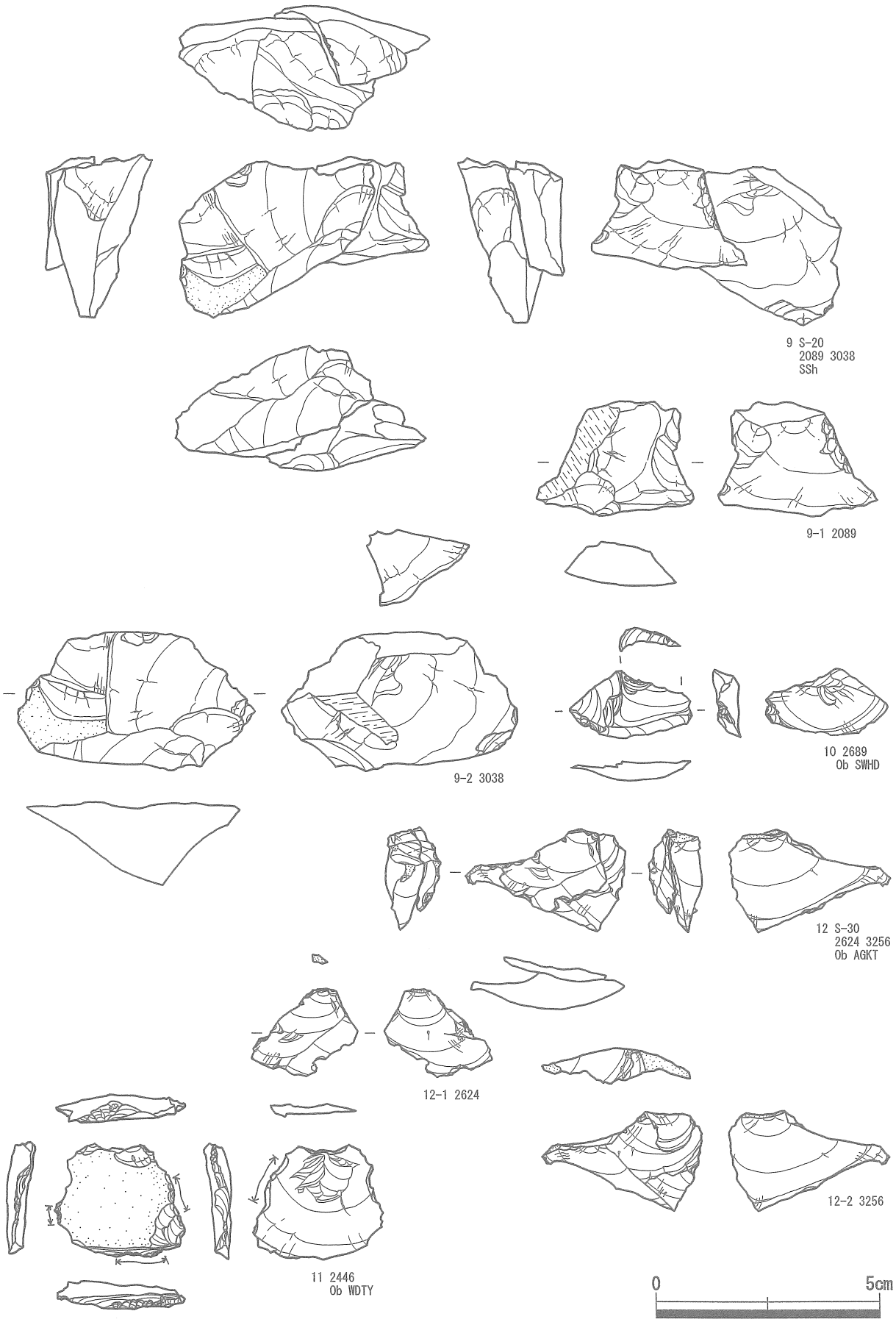


第Ⅲ－26図　旧石器時代　石核６

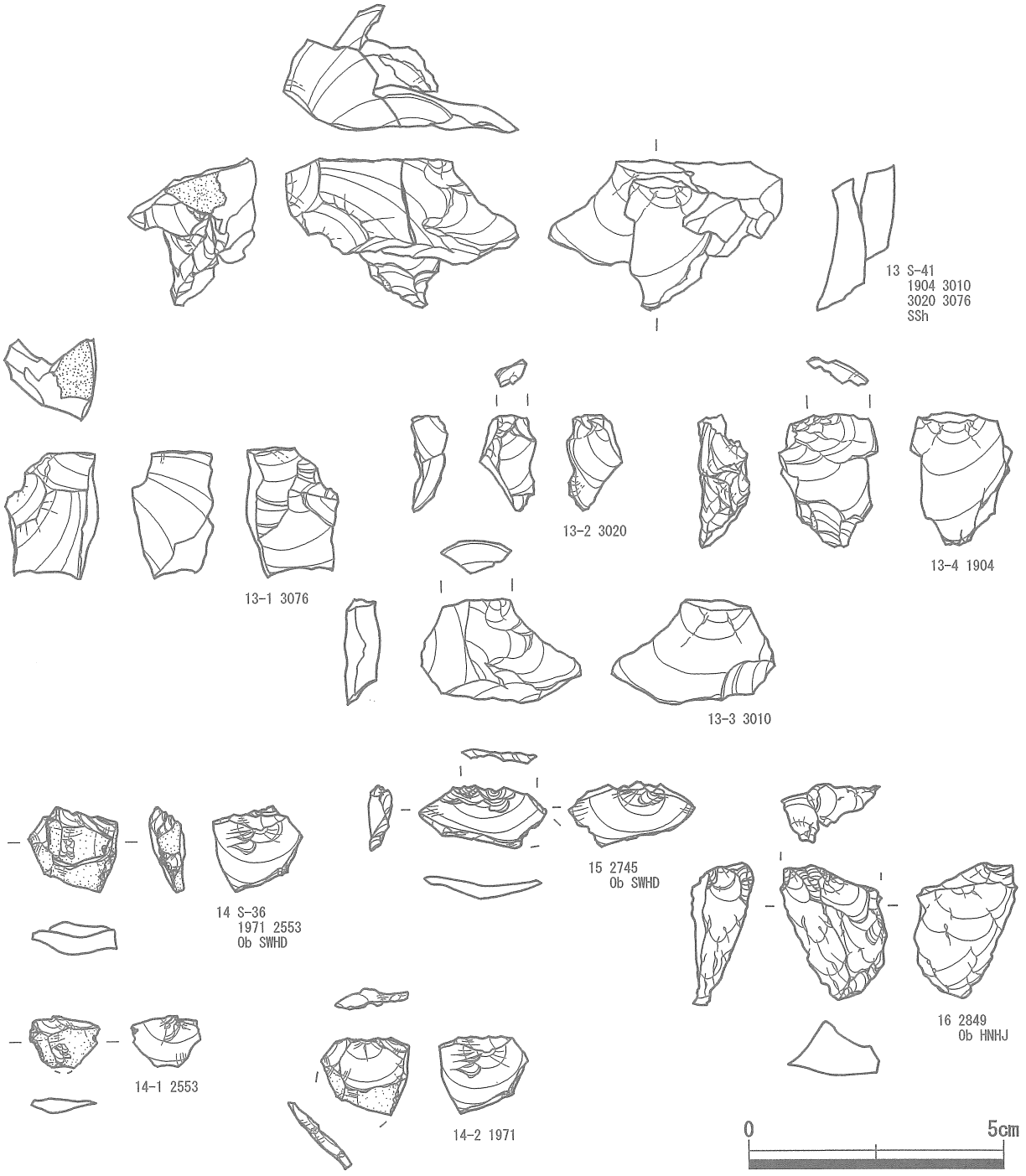


第Ⅲ－27図　旧石器時代　石核７

第Ⅲ－28図　旧石器時代　剥片類１



第Ⅲ－29図　旧石器時代　剥片類２



第Ⅲ－30図　旧石器時代　剥片類３

など、接合資料が確認されている。剥片剥離は打面転移を繰り返しながら行われている。11は剥片の末端部に微細な剥離痕が確認できる。１～８の石刃状の縦長剥片とは異なり、黒曜石や珪質頁岩なども用いている。

３　位置付けと問題点

刺突具は角錐状石器、周縁加工の尖頭器が１点ずつ確認された。また、ナイフ形石器は43点検出されているが、二側縁加工、切出形石器を主体として、一側縁加工が続いている。ナイフ形石器の素材は縦長剥片、横長剥片の両方が用いられているが、縦長剥片はホルンフェルスを中心とした厚みをもった資料と、黒曜石を中心とした小型の資料に分けられる。黒曜石、とりわけ諏訪星ヶ台群を中心とした細身

の二側縁加工のナイフ形石器は、いわゆる砂川期の特徴を有している。厚みを持ったナイフ形石器とは文化層が異なる可能性が考えられる。また、厚みを持った資料の中でも６㎝を超える大型のものは、さらに文化層が異なる可能性が考えられる。

加工具は肉厚のエンド・スクレイパーやラウンド・スクレイパーが多く見つかっている。黒曜石を素材とした小型の資料が中心だが、中にはホルンフェルスを使用した大型の例や、石刃の末端部に加工を施したスクレイパーも確認されている。グレイバーは黒曜石諏訪星ヶ台群を素材とした資料であり、二側縁加工のナイフを素材としていることなどから、いわゆる砂川期以降の資料であると推定される。

石核と剥片類は接合資料が確認されており、ホルンフェルスや珪質頁岩を中心に遺跡内で剥片剥離が行われていたと考えられる。剥離された剥片は幅広な剥片や横長剥片が中心である。剥片剥離は180°の打面展開を基本として、打面転移を繰り返しながら行っている。また、一部に確認できるような石刃状の縦長剥片の接合例はなく、それを剥離したと考えられる石核は確認できなかった。遺跡の外から剥離された状態で持ち込まれたか、剥片剥離を行ったのちに遺跡の外へ石核を持ち出したと推定される。

石材はToolに使用しているのは黒曜石とホルンフェルスに、ほぼ限定されている。刺突具には角錐状石器に黒曜石天城柏峠群を、周縁加工の尖頭器にホルンフェルスを、ナイフ形石器の半数以上にホルンフェルスを用いるなど、在地の石材、もしくは伊豆・箱根系の黒曜石を主体としているようである。加工具にはホルンフェルス、黒曜石の両方を用いている。剥片はホルンフェルス、黒曜石が中心だが、明確な石刃はホルンフェルスにほぼ限定されている。

（柴田亮平）

第Ⅲ－４表　旧石器時代　石器組成表

			器種										合計
			角錐状石器	尖頭器	ナイフ形石器	スクレイパー	彫器	ドリル	グレイバー	楔形石器	石核	剥片類	
黒曜石（Ob）	天城柏峠	AGKT	1		6	4		1		1	3	51	67
	箱根畑宿	HNHJ			2	1						3	6
	神津島恩馳島	KZOB										3	3
	諏訪星ケ台	SWHD			7	7	1		1	1	2	55	74
	蓼科冷山	TSTY			4	1						6	11
	和田鷹山	WDTY									1	4	5
	分析不可等					1						23	24
ホルンフェルス		Hor		1	24	8					10	589	632
ガラス質黒色安山岩		GAn										3	3
チャート		Ch				1						4	5
珪質頁岩		SSh				2						32	34
赤玉石（碧玉）		RJa									1		1
細粒安山岩		FAn										6	6
細粒砂岩		FSS										2	2
硬質細粒凝灰岩		HFT										1	1
流紋岩		Rhy										12	12
頁岩		Sh										2	2
合計			1	1	43	25	1	1	1	2	17	796	888

第Ⅲ－５表　旧石器時代　石器観察表

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
Ⅲ－14－1	293	ナイフ形石器	05a	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	1.1	18.7	14.6	5.7	－89781.12	12219.15	112.399	
Ⅲ－14－1	2424	角錐状石器	05b	G－003	Ob	AGKT	石器集中部1	1.5	25.5	10.0	8.1	－89778.38	12218.61	111.813	
Ⅲ－14－1	102	尖頭器	6	E－007	Hor			9.9	48.9	20.1	11.0	－89792.59	12250.59	117.479	
Ⅲ－14－2	3213	ナイフ形石器	9	F－007	Ob	SWHD		1.2	28.5	11.8	6.1	－89780.72	12250.92	118.429	
Ⅲ－14－3	2983	ナイフ形石器	10	E－006	Ob	TSTY		1.2	22.3	14.2	5.3	－89797.32	12249.05	116.414	
Ⅲ－14－4	519	ナイフ形石器	5	E－006	Hor			4.6	36.8	17.7	7.9	－89795.53	12249.27	117.693	
Ⅲ－14－5	2582	ナイフ形石器	8	E－007	Hor			4.3	48.7	15.3	6.0	－89794.98	12251.06	117.121	
Ⅲ－14－6	2852	ナイフ形石器	8	D－006	Ob	HNHJ		8.1	42.0	22.7	13.3	－89806.59	12243.58	116.164	
Ⅲ－14－7	2957	ナイフ形石器	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.5	36.3	15.6	5.4	－89784.38	12247.00	117.822	
Ⅲ－14－8	3109	ナイフ形石器	10	F－007	Hor			12.9	66.4	23.1	11.2	－89787.43	12253.83	117.723	
Ⅲ－14－9	841	ナイフ形石器	06a	G－004	Hor		石器集中部1	27.1	71.2	29.4	13.2	－89779.54	12220.48	112.211	
Ⅲ－15－10	1991	ナイフ形石器	09a	H－004	Hor			2.3	26.7	15.9	6.9	－89767.91	12225.89	111.805	
Ⅲ－15－11	2942	ナイフ形石器	9	D－006	Hor			1.7	32.5	13.5	5.0	－89802.14	12243.37	116.297	
Ⅲ－15－12	1994	ナイフ形石器	8	G－004	Hor		石器集中部1	13.4	52.6	22.4	10.2	－89775.12	12224.00	111.543	
Ⅲ－15－13	2409	ナイフ形石器	09a	F－004	Ob	AGKT	石器集中部1	1.8	21.5	18.1	8.2	－89785.46	12220.46	111.224	
Ⅲ－15－14	3155	ナイフ形石器	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.1	42.2	15.9	10.5	－89784.32	12241.98	117.617	
Ⅲ－15－15	2518	ナイフ形石器	09b	G－004	Hor		石器集中部1	1.5	37.3	10.7	4.8	－89777.95	12223.34	111.079	
Ⅲ－15－16	2329	ナイフ形石器	8	G－004	Hor		石器集中部1	4.0	39.6	14.5	9.8	－89777.76	12220.14	111.122	
Ⅲ－15－17	2989	ナイフ形石器	8	E－007	Hor			13.0	70.5	28.5	9.9	－89795.44	12251.69	117.046	
Ⅲ－15－18	2400	ナイフ形石器	09a	F－004	Hor		石器集中部1	1.8	33.4	12.0	4.7	－89780.42	12220.42	110.970	
Ⅲ－15－19	2724	ナイフ形石器	7	G－006	Ob	SWHD		0.7	22.1	13.8	4.3	－89778.61	12247.01	118.494	
Ⅲ－15－20	2533	ナイフ形石器	09b	G－004	Hor		石器集中部1	1.2	26.2	13.1	5.5	－89774.65	12223.68	111.272	
Ⅲ－15－21	1376	ナイフ形石器	8	F－005	Hor			13.1	52.3	25.4	11.5	－89785.16	12235.72	117.217	
Ⅲ－16－22	2718	ナイフ形石器	9	G－006	Hor			11.8	45.3	24.1	10.9	－89775.87	12247.37	118.539	
Ⅲ－16－23	2506	ナイフ形石器	09b	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	1.5	23.7	11.6	6.4	－89779.13	12221.88	110.917	
Ⅲ－16－24	2889	ナイフ形石器	9	E－006	Hor		石器集中部2	4.6	35.5	14.1	11.4	－89791.89	12243.95	117.312	
Ⅲ－16－25	2588	ナイフ形石器	7	E－006	Hor		石器集中部2	6.0	36.7	17.3	9.3	－89790.69	12248.88	117.452	
Ⅲ－16－26	645	ナイフ形石器	05b	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	2.9	31.5	17.2	7.9	－89782.60	12217.78	111.741	
Ⅲ－16－27	2461	ナイフ形石器	11b	E－003	Ob	TSTY		3.7	26.5	21.0	8.5	－89793.01	12218.28	109.947	
Ⅲ－16－28	2276	ナイフ形石器	6	E－006	Ob	TSTY	石器集中部2	1.1	30.6	13.7	3.6	－89795.01	12245.97	117.219	
Ⅲ－16－29	3366	ナイフ形石器	表土		Hor			4.5	34.8	15.9	8.7	－	－	－	
Ⅲ－16－30	2994	ナイフ形石器	9	F－007	Ob	TSTY		1.5	22.2	16.1	6.3	－89785.08	12252.08	118.007	
Ⅲ－16－31	535	ナイフ形石器	5	F－006	Ob	SWHD		1.3	25.1	11.2	6.5	－89784.33	12249.46	118.528	
Ⅲ－16－32	2101	ナイフ形石器	7	F－006	Hor		石器集中部2	5.7	34.6	15.2	10.9	－89789.90	12245.75	117.559	
Ⅲ－16－33	462	ナイフ形石器	4	D－006	Hor			5.5	34.6	18.8	9.7	－89808.68	12245.18	116.938	
Ⅲ－16－34	2694	ナイフ形石器	7	E－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.9	29.9	15.6	9.0	－89795.95	12245.17	117.047	
Ⅲ－16－35	3106	ナイフ形石器	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.7	11.5	18.8	4.1	－89787.99	12241.93	117.478	
Ⅲ－17－36	2841	ナイフ形石器	9	F－007	Hor			7.1	33.9	29.3	12.3	－89785.05	12252.43	118.189	
Ⅲ－17－37	2049	ナイフ形石器	7	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	13.2	9.1	2.9	－89780.81	12218.68	111.311	
Ⅲ－17－38	851	ナイフ形石器	05b	E－003	Hor			2.9	26.9	17.3	8.5	－89797.54	12215.08	110.895	
Ⅲ－17－39	2204	ナイフ形石器	7	E－006	Hor		石器集中部2	4.6	27.5	20.8	10.1	－89790.31	12244.12	117.527	
Ⅲ－17－40	2294	ナイフ形石器	6	D－006	Ob	HNHJ		0.8	14.4	12.5	7.1	－89805.44	12245.52	116.572	
Ⅲ－17－41	3260	ナイフ形石器	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.9	19.4	12.9	7.9	－89784.52	12242.00	117.703	
Ⅲ－17－42	2018	ナイフ形石器	7	F－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.5	18.9	10.2	5.7	－89780.08	12221.15	111.554	
Ⅲ－17－43	3080	ナイフ形石器	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	1.0	13.9	15.1	5.8	－89789.24	12245.77	117.237	
Ⅲ－18－1	1985	スクレイパー	8	H－004	Ob	不可		4.5	26.5	19.5	12.0	－89769.38	12224.51	112.009	
Ⅲ－18－2	3268	スクレイパー	10	D－006	Hor			22.8	41.6	28.3	17.5	－89800.09	12241.39	116.528	
Ⅲ－18－3	2386	スクレイパー	8	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	10.8	30.2	24.5	15.8	－89778.28	12223.03	111.581	
Ⅲ－18－4	2850	スクレイパー	9	D－006	Ob	SWHD		3.1	26.2	16.9	8.7	－89803.12	12241.63	116.439	
Ⅲ－18－5	3139	スクレイパー	10	F－007	Hor			25.3	71.0	29.9	14.4	－89789.62	12252.61	117.249	
Ⅲ－18－6	3062	スクレイパー	9	D－006	Ob	HNHJ		9.2	35.3	25.2	12.3	－89800.64	12242.05	116.501	
Ⅲ－18－7	2462	スクレイパー	11b	E－003	Ob	TSTY		11.1	33.2	27.4	14.9	－89792.81	12217.97	109.866	
Ⅲ－18－8	3166	スクレイパー	10	E－006	Ob	SWHD	石器集中部2	11.5	35.7	16.5	26.0	－89797.22	12245.06	116.471	
Ⅲ－19－9	2892	スクレイパー	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.3	16.9	28.1	9.9	－89788.15	12243.24	117.569	
Ⅲ－19－10	2640	スクレイパー	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.0	19.8	17.8	6.0	－89785.67	12245.37	117.669	
Ⅲ－19－11	2618	スクレイパー	9	F－006	Hor		石器集中部2	31.5	44.4	38.0	14.8	－89785.52	12244.43	117.573	
Ⅲ－19－12	2520	スクレイパー	09b	G－004	Hor		石器集中部1	6.9	24.2	24.5	10.5	－89777.62	12222.80	110.922	
Ⅲ－19－13	2459	スクレイパー	11b	E－003	Ob	SWHD		6.6	18.6	18.0	12.7	－89796.24	12216.89	109.684	
Ⅲ－19－14	2760	スクレイパー	9	F－006	Ch		石器集中部2	4.3	26.2	23.2	9.8	－89782.10	12244.91	118.156	
Ⅲ－19－15	1643	スクレイパー	6	E－007	SSh			13.0	32.4	41.0	10.5	－89796.88	12250.21	117.312	S－18
Ⅲ－19－15	2873	スクレイパー	9	E－007	SSh			27.1	41.7	49.1	12.4	－89795.41	12251.28	116.875	S－18
Ⅲ－19－16	246	スクレイパー	3	G－004	Hor		石器集中部1	37.1	49.8	37.2	18.4	－89773.62	12222.40	112.858	
Ⅲ－20－17	3100	スクレイパー	10	F－007	Hor			83.3	76.3	51.5	23.6	－89789.74	12253.18	117.290	
Ⅲ－20－18	2331	スクレイパー	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	1.7	20.3	12.4	8.2	－89778.15	12220.37	111.260	
Ⅲ－20－19	1993	スクレイパー	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	3.2	21.2	21.8	7.5	－89774.12	12222.70	111.579	
Ⅲ－20－1	2530	ドリル	09b	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	8.2	29.9	25.0	12.5	－89775.48	12223.56	111.167	
Ⅲ－20－1	1878	グレイバー	7	F－007	Ob	SWHD		2.1	28.3	12.5	7.8	－89781.33	12251.51	118.655	
Ⅲ－20－2	215	グレイバー	09b	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	3.3	29.0	19.2	8.8	－89779.69	12222.08	111.037	
Ⅲ－20－1	2451	楔形石器	09a	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	2.5	25.2	16.6	8.9	－89779.84	12223.02	111.522	
Ⅲ－20－2	2457	楔形石器	11b	E－003	Ob	AGKT		4.1	29.9	2.0	9.8	－89797.41	12217.14	109.830	
Ⅲ－21－1	2375	石核	8	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	6.2	20.3	24.5	13.3	－89782.22	12219.64	111.158	
Ⅲ－21－2	2755	石核	9	F－006	Hor		石器集中部2	270.7	52.8	74.2	62.5	－89782.23	12246.08	117.972	
Ⅲ－21－3	2460	石核	11b	E－003	Ob	AGKT		17.3	32.0	34.0	18.6	－89795.85	12216.78	109.871	
Ⅲ－22－4	2726	石核	9	F－006	Hor			51.5	45.9	40.9	25.5	－89781.78	12249.27	118.199	
Ⅲ－22－5	2337	石核	8	G－004	Hor		石器集中部1	57.0	40.3	39.0	36.4	－89778.56	12222.12	111.248	
Ⅲ－22－6－1	2884	石核	9	E－006	Ob	AGKT	石器集中部2	17.0	26.4	39.8	18.8	－89795.09	12242.98	117.027	S－32
Ⅲ－22－6－2	2605	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.3	28.1	20.5	6.6	－89786.42	12244.09	117.686	S－32
Ⅲ－23－7	2639	石核	9	F－006	Hor		石器集中部2	141.0	51.6	55.9	37.5	－89784.93	12241.99	117.569	
Ⅲ－23－8	2842	石核	9	F－007	Hor			145.6	59.4	61.3	33.7	－89780.61	12250.04	118.184	
Ⅲ－24－10	2878	石核	9	E－007	Hor			55.9	30.7	47.1	34.1	－89794.60	12250.04	116.972	
Ⅲ－24－9	2955	石核	9	F－006	Hor		石器集中部2	99.3	36.4	54.9	39.8	－89783.14	12243.12	117.694	
Ⅲ－25－11	2627	石核	9	F－006	RJa		石器集中部2	102.6	48.2	52.7	46.0	－89785.12	12242.86	117.586	
Ⅲ－25－12	2982	石核	9	E－006	Ob	AGKT		10.4	25.6	25.1	23.6	－89797.48	12249.61	116.646	
Ⅲ－26－13－1	3036	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	15.8	44.0	31.7	14.7	－89785.22	12245.92	117.616	S－43
Ⅲ－26－13－2	3041	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	6.9	21.5	35.9	11.8	－89784.27	12247.51	117.681	S－43
Ⅲ－26－13－3	2269	剥片	6	E－006	SSh		石器集中部2	1.2	22.4	11.0	4.9	－89791.15	12248.33	117.556	S－43
Ⅲ－26－13－4	2585	剥片	7	E－006	SSh		石器集中部2	3.0	20.4	24.5	5.9	－89792.02	12248.53	117.372	S－43
Ⅲ－26－13－5	2687	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	0.7	22.3	10.0	6.8	－89789.44	12244.94	117.493	S－43

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
Ⅲ－27－14－1	2956	石核	9	F－006	Hor		石器集中部2	64.8	35.4	43.1	51.4	－89783.20	12243.15	117.705	S－42
Ⅲ－27－14－2	3098	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	40.5	45.0	51.7	20.0	－89784.64	12243.10	117.673	S－42
Ⅲ－28－1	3001	剥片	9	F－007	Hor			52.4	87.3	46.1	18.9	－89783.20	12250.72	117.980	
Ⅲ－28－2	3248	剥片	10	F－007	Hor			8.8	37.1	23.2	8.0	－89788.53	12252.58	117.398	
Ⅲ－28－3	2362	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	10.3	47.9	23.0	10.0	－89780.20	12220.36	111.063	
Ⅲ－28－4	1260	剥片	8	F－006	Hor			11.3	64.7	24.6	11.0	－89784.58	12249.94	118.371	
Ⅲ－28－5	3090	剥片	9	E－007	Hor			8.3	47.1	22.3	8.0	－89792.70	12252.29	117.289	
Ⅲ－28－6	2358	剥片	8	G－004	Ob	WDTY	石器集中部1	0.6	22.2	13.1	2.6	－89779.04	12220.15	111.335	
Ⅲ－28－7	3102	剥片	10	F－007	Hor			25.4	60.0	31.5	13.0	－89788.22	12250.94	117.307	
Ⅲ－28－8	3003	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	26.7	70.6	34.8	12.0	－89781.99	12242.72	117.753	
Ⅲ－29－9－1	2089	剥片	7	F－006	SSh		石器集中部2	9.5	38.0	30.4	12.5	－89787.42	12244.97	117.735	S－20
Ⅲ－29－9－2	3038	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	27.2	54.5	31.6	18.2	－89784.96	12245.92	117.575	S－20
Ⅲ－29－10	2689	剥片	9	E－006	Ob	SWHD	石器集中部2	1.8	15.3	28.2	6.3	－89790.23	12246.45	117.413	
Ⅲ－29－11	2446	剥片	8	G－004	Ob	WDTY	石器集中部1	3.6	25.0	28.5	6.2	－89778.98	12222.00	111.474	
Ⅲ－29－12－1	2624	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	1.0	19.9	24.2	3.1	－89785.04	12243.36	117.633	S－30
Ⅲ－29－12－2	3256	剥片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	4.0	22.7	36.6	8.4	－89784.36	12242.75	117.557	S－30
Ⅲ－30－13－1	3076	剥片	9	E－006	SSh		石器集中部2	6.3	25.2	21.0	16.1	－89790.42	12245.48	117.205	S－41
Ⅲ－30－13－2	3020	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	0.9	12.0	18.4	6.5	－89789.31	12245.69	117.305	S－41
Ⅲ－30－13－3	3010	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	3.8	20.4	32.0	7.2	－89784.21	12246.77	117.795	S－41
Ⅲ－30－13－4	1904	剥片	7	F－006	SSh		石器集中部2	4.2	26.1	19.6	10.1	－89788.27	12244.07	117.639	S－41
Ⅲ－30－14－1	2553	剥片	09b	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.4	10.2	13.9	3.4	－89778.70	12222.83	110.766	S－36
Ⅲ－30－14－2	1971	剥片	06c	F－004	Ob	SWHD	石器集中部1	1.4	15.3	17.5	4.9	－89781.38	12221.00	111.856	S－36
Ⅲ－30－15	2745	剥片	9	G－007	Ob	SWHD		0.9	13.3	25.2	4.6	－89779.13	12250.18	118.501	
Ⅲ－30－16	2849	剥片	9	D－006	Ob	HNHJ		4.7	27.0	21.2	12.7	－89801.66	12241.46	116.407	
	214	スクレイパー	8	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	1.0	13.1	27.5	3.0	－89779.86	12222.13	111.339	
	2058	スクレイパー	09a	E－003	Ob	SWHD		4.6	15.1	35.1	10.2	－89794.64	12218.04	110.689	
	2477	スクレイパー	11a	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	3.4	19.8	24.4	8.0	－89783.20	12219.20	110.673	
	2614	スクレイパー	9	F－006	Hor		石器集中部2	25.8	51.9	29.0	20.9	－89785.69	12244.73	117.566	
	2411	石核	09a	G－004	Ob	WDTY	石器集中部1	1.6	12.2	26.2	7.0	－89777.89	12221.06	111.015	
	2864	石核	9	D－006	Ob	SWHD		5.5	18.4	26.9	12.4	－89804.31	12244.83	116.173	
	3097	石核	9	F－006	Hor		石器集中部2	25.0	36.0	44.0	15.6	－89786.69	12242.43	117.401	
	3217	石核	10	F－006	Hor		石器集中部2	38.2	37.5	37.0	23.7	－89781.47	12244.86	118.125	
	123	剥片	8	F－004	Ob	WDTY		0.9	16.4	13.4	6.0	－89780.30	12222.83	111.962	
	124	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.5	19.5	19.9	5.0	－89779.86	12222.30	111.746	
	145	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	14.1	49.7	24.1	10.0	－89779.86	12222.15	111.541	
	146	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	2.5	197.0	23.4	7.0	－89780.04	12222.36	111.569	
	147	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	7.6	36.0	22.5	10.0	－89780.55	12222.32	111.661	
	149	剥片	8	D－007	Hor			3.5	26.4	18.2	6.0	－89808.64	12251.47	116.215	
	169	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	4.7	38.4	16.1	8.0	－89779.70	12222.15	111.433	
	170	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.7	18.9	12.7	5.0	－89779.71	12222.02	111.442	
	171	剥片	8	G－004	Ob	SWHD		3.1	22.2	2.2	1.0	－89779.64	12221.77	111.393	
	173	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	11.3	51.2	21.2	10.0	－89779.89	12221.40	111.339	
	174	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.2	15.8	12.9	4.0	－89779.92	12221.32	111.337	
	175	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	0.8	9.0	18.9	5.0	－89780.27	12221.31	111.330	
	176	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	5.4	29.6	35.4	6.0	－89780.62	12221.54	111.391	
	177	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	0.9	13.6	14.2	6.0	－89780.23	12221.62	111.324	
	178	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	6.4	27.5	25.7	7.0	－89780.10	12221.37	111.221	
	179	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	2.1	16.5	17.7	7.0	－89780.52	12221.59	111.290	
	180	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	0.6	16.7	13.1	3.0	－89780.76	12221.45	111.167	
	181	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	2.1	26.8	11.1	6.0	－89781.26	12221.68	111.351	
	182	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	14.6	30.3	46.4	10.6	－89780.86	12221.88	111.276	
	183	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	0.5	9.0	14.9	3.0	－89780.76	12222.24	111.473	
	184	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	10.1	26.7	34.1	12.8	－89780.30	12222.09	111.290	
	185	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	0.4	13.2	10.0	2.0	－89779.99	12222.64	111.435	
	186	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	37.9	51.3	46.7	20.1	－89780.43	12221.96	111.228	
	187	剥片	09b	F－004	Ob	SWHD		0.3	12.5	13.8	2.0	－89780.65	12222.19	111.292	
	188	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	30.5	55.7	27.9	17.0	－89781.18	12222.51	111.150	
	189	剥片	09b	F－004	HFT		石器集中部1	1.5	19.5	21.6	7.0	－89781.29	12222.05	111.081	
	191	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	4.6	30.0	20.7	7.0	－89780.86	12221.75	111.097	
	199	剥片	8	D－003	Ob	AGKT		0.3	9.0	13.0	3.0	－89800.37	12216.53	111.230	
	200	剥片	8	D－003	Ob	SWHD		1.9	17.8	19.7	6.7	－89801.44	12216.72	110.870	
	201	剥片	8	D－003	Hor			0.9	14.3	16.9	4.0	－89801.24	12216.86	110.723	
	202	剥片	8	D－003	Hor			4.0	29.5	14.5	9.0	－89801.34	12216.85	110.586	
	203	剥片	8	D－003	Hor			0.6	13.5	20.4	3.0	－89800.42	12216.36	110.743	
	204	剥片	09a	D－003	Ob	不可		1.2	15.8	25.0	3.0	－89800.19	12216.96	110.621	
	205	剥片	09a	D－003	Hor			13.2	54.6	23.9	12.3	－89800.27	12217.04	110.578	
	207	剥片	09a	I－004	Hor			2.4	18.0	21.8	6.0	－89757.36	12228.36	112.422	
	208	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	56.4	68.3	46.8	31.8	－89779.75	12222.24	111.270	
	209	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	2.1	26.2	13.4	6.0	－89779.63	12221.28	111.129	
	210	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	3.2	26.2	22.6	6.0	－89780.33	12221.60	111.025	
	211	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	0.9	21.4	13.9	3.0	－89780.60	12221.05	110.894	
	212	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	2.5	21.3	15.6	6.0	－89780.92	12222.66	111.280	
	213	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	0.5	20.1	6.0	4.0	－89780.19	12221.72	111.311	
	216	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	22.5	43.7	36.9	12.3	－89780.03	12222.36	111.031	
	217	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	1.7	29.4	13.2	4.0	－89779.52	12221.58	111.161	
	239	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	3.8	27.9	19.8	8.0	－89779.61	12221.53	110.947	
	240	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	0.5	16.0	12.8	2.0	－89780.28	12222.49	110.920	
	309	剥片	8	F－006	Hor		石器集中部2	5.7	37.9	20.0	8.0	－89785.49	12245.05	117.841	
	574	剥片	8	E－006	Ob	KZOB	石器集中部2	2.2	25.3	14.0	7.0	－89790.23	12248.64	118.093	S－37
	864	剥片	06c	E－003	SSh			51.2	59.0	52.9	20.0	－89791.64	12219.30	111.717	
	1374	剥片	8	F－005	Hor			21.6	42.8	40.3	13.6	－89784.98	12237.30	117.389	
	1375	剥片	8	F－005	Hor			29.1	44.5	56.2	8.0	－89785.03	12235.66	117.171	
	1377	剥片	8	F－005	Hor			17.3	49.0	39.2	10.6	－89785.22	12235.60	117.193	
	1378	剥片	8	F－005	Hor			2.9	16.2	19.7	6.0	－89786.15	12235.71	117.205	
	1379	剥片	8	F－005	Hor			49.8	57.4	40.1	24.9	－89786.04	12234.75	117.078	
	1380	剥片	8	F－005	Hor			5.0	23.0	32.8	8.0	－89785.75	12234.11	116.993	
	1381	剥片	8	F－005	Hor			8.8	28.0	32.9	10.5	－89788.26	12234.24	116.992	
	1441	剥片	09b	F－004	Ob	AGKT	石器集中部1	1.6	10.5	19.1	7.0	－89780.38	12222.84	111.239	
	1747	剥片	7	F－006	SSh		石器集中部2	8.4	32.5	37.6	14.6	－89786.18	12247.69	117.856	
	1782	剥片	6	F－006	SSh		石器集中部2	1.1	20.8	13.1	3.0	－89786.96	12245.51	117.849	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	1785	剥片	6	F－006	SSh		石器集中部2	1.3	13.1	16.8	9.0	－89787.52	12245.93	117.838	S－24
	1893	剥片	8	G－006	Hor			14.0	54.1	25.0	12.2	－89777.21	12246.94	118.525	
	1940	剥片	8	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.3	21.8	8.0	2.0	－89786.14	12240.68	117.686	S－33
	1941	剥片	8	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	9.8	21.4	38.6	15.5	－89786.26	12240.64	117.677	
	1967	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	1.1	10.3	24.4	7.0	－89782.66	12221.96	111.937	
	1976	剥片	8	F－003	Hor			31.3	56.5	33.5	15.7	－89786.71	12218.87	111.229	
	1978	剥片	8	E－003	Hor			1.5	21.4	14.6	5.0	－89798.17	12216.76	110.845	
	1986	剥片	8	H－004	Ob	SWHD		1.6	20.3	13.1	8.0	－89768.93	12224.67	112.042	
	1992	剥片	8	G－004	Hor			4.8	35.1	22.7	5.0	－89771.87	12224.34	111.737	
	1995	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	14.6	37.4	34.2	12.0	－89775.97	12223.88	111.456	
	1996	剥片	8	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	0.6	23.6	6.0	4.0	－89776.33	12223.26	111.598	
	1997	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	4.3	31.1	22.8	6.0	－89776.19	12222.65	111.546	
	1998	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	3.1	30.0	13.5	11.0	－89776.30	12222.48	111.534	
	1999	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	0.8	14.0	14.0	4.0	－89776.09	12222.51	111.505	
	2000	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	0.7	9.0	26.1	3.0	－89775.90	12222.53	111.425	
	2001	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	0.5	16.8	8.4	2.8	－89775.64	12222.45	111.520	
	2008	剥片	8	G－004	GAn		石器集中部1	17.3	27.0	38.6	17.1	－89777.60	12221.73	111.500	
	2009	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	5.2	30.3	32.6	6.0	－89777.57	12221.80	111.503	
	2010	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	41.2	46.0	44.8	20.0	－89777.89	12222.12	111.507	
	2012	剥片	8	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	0.6	14.0	12.9	3.0	－89778.28	12222.67	111.673	
	2013	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	9.8	23.2	42.4	10.3	－89778.34	12222.96	111.632	
	2014	剥片	8	G－004	Ch		石器集中部1	3.0	13.5	20.1	9.0	－89777.88	12220.56	111.381	
	2020	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	2.3	18.1	15.5	8.0	－89779.65	12221.20	111.382	
	2021	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	6.0	20.5	35.2	10.0	－89779.57	12221.26	111.289	
	2022	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.0	15.7	22.8	3.0	－89779.73	12220.98	111.390	
	2023	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	3.5	21.7	22.7	5.0	－89779.93	12220.89	111.449	
	2025	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	2.0	12.7	29.6	5.0	－89780.12	12220.93	111.468	
	2026	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	0.7	19.8	7.0	4.0	－89780.13	12220.99	111.454	
	2027	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	0.4	15.3	6.0	4.0	－89780.17	12221.16	111.447	
	2028	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	1.2	13.5	18.2	5.0	－89780.22	12220.60	111.484	
	2030	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	11.4	25.0	38.0	9.0	－89779.96	12220.56	111.349	
	2038	剥片	8	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.6	12.9	10.8	5.0	－89778.91	12219.74	111.266	
	2039	剥片	8	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.4	9.0	11.3	4.0	－89779.01	12219.42	111.236	
	2040	剥片	8	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.9	13.0	20.0	5.0	－89778.91	12219.39	111.249	
	2041	剥片	8	G－003	Hor		石器集中部1	1.8	13.5	23.7	6.0	－89778.88	12218.95	111.192	
	2042	剥片	8	G－003	Rhy		石器集中部1	0.5	16.5	12.0	2.0	－89779.14	12218.88	111.199	
	2043	剥片	8	G－003	Hor		石器集中部1	3.4	25.6	19.8	7.0	－89779.23	12218.82	111.199	
	2044	剥片	8	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.5	18.7	10.3	3.0	－89779.26	12218.70	111.134	
	2045	剥片	8	G－003	Hor		石器集中部1	1.3	18.3	18.0	5.0	－89779.81	12219.54	111.299	
	2056	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	2.9	26.6	15.4	5.0	－89782.48	12221.64	111.810	
	2057	剥片	8	E－003	Hor			44.1	34.2	62.1	18.1	－89791.73	12217.72	110.514	
	2060	剥片	8	E－003	Ob	AGKT		0.4	20.8	8.0	3.0	－89797.83	12216.50	110.545	
	2061	剥片	09a	E－003	Hor			3.4	36.4	29.1	4.0	－89797.85	12216.50	110.541	
	2062	剥片	8	E－003	Hor			1.8	13.5	21.0	8.0	－89798.38	12216.97	110.927	
	2063	剥片	8	E－003	Ob	AGKT		1.0	10.1	22.5	5.0	－89797.80	12216.09	110.417	
	2064	剥片	8	E－003	Ob	不可		0.4	16.6	12.3	3.0	－89797.52	12215.64	110.126	
	2091	剥片	7	F－006	SSh		石器集中部2	11.8	42.3	21.6	15.4	－89786.56	12246.48	117.819	S－25
	2100	剥片	7	F－006	SSh		石器集中部2	1.8	27.9	13.8	5.0	－89789.27	12245.52	117.585	
	2130	剥片	6	E－006	SSh		石器集中部2	0.2	11.0	9.0	2.0	－89793.65	12247.12	117.418	
	2132	剥片	6	E－006	Ob	KZOB	石器集中部2	2.4	22.5	21.3	6.0	－89793.44	12248.49	117.596	S－37
	2263	剥片	7	E－006	SSh		石器集中部2	5.4	18.3	31.0	10.0	－89790.63	12244.65	117.488	
	2271	剥片	7	E－006	SSh		石器集中部2	8.4	30.9	28.3	11.6	－89791.60	12246.28	117.410	S－25
	2275	剥片	7	E－006	SSh		石器集中部2	3.1	15.8	30.6	10.0	－89793.86	12245.22	117.211	
	2280	剥片	8	E－006	Hor			0.8	12.0	16.2	3.0	－89799.88	12246.12	116.760	
	2330	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	2.8	27.2	17.5	5.0	－89777.61	12220.34	111.054	
	2332	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	0.9	20.2	11.0	5.0	－89777.70	12221.38	111.106	
	2333	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	0.9	22.5	12.6	4.0	－89778.42	12221.36	111.136	
	2335	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	22.8	54.4	31.7	10.7	－89777.50	12222.29	111.227	
	2336	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	0.7	10.9	18.1	3.0	－89777.72	12222.22	111.166	
	2338	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	14.6	25.6	36.0	14.0	－89778.94	12222.80	111.400	
	2339	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	11.9	46.3	28.5	10.0	－89778.97	12222.95	111.384	
	2340	剥片	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	17.7	7.4	3.6	－89776.90	12223.69	111.425	
	2341	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	0.7	9.0	17.1	3.0	－89776.39	12221.91	111.292	
	2342	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	18.3	23.9	39.3	16.3	－89776.22	12221.81	111.344	
	2344	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.2	14.5	14.0	6.0	－89776.19	12220.64	111.263	
	2345	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.1	24.4	11.0	4.0	－89775.30	12221.17	111.361	
	2346	剥片	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	3.7	24.9	21.0	9.0	－89775.53	12222.40	111.317	
	2348	剥片	09a	G－004	Hor			3.6	29.1	27.5	4.0	－89770.86	12224.12	111.604	
	2349	剥片	09a	G－004	Hor			2.5	26.1	18.8	4.0	－89770.20	12224.40	111.663	
	2350	剥片	8	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	11.5	13.0	2.0	－89779.57	12218.20	111.084	
	2351	剥片	09a	F－003	Hor		石器集中部1	3.8	38.0	15.8	6.0	－89780.00	12218.72	110.952	
	2352	剥片	09a	G－003	Hor		石器集中部1	1.6	25.3	12.5	5.0	－89779.45	12219.31	110.964	
	2353	剥片	09a	G－003	Hor		石器集中部1	0.9	10.1	18.9	4.0	－89779.22	12219.50	110.935	
	2355	剥片	8	G－003	Hor		石器集中部1	5.0	22.3	23.1	8.0	－89779.59	12219.74	111.093	
	2357	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	2.0	17.4	20.1	7.0	－89779.17	12220.11	111.145	
	2360	剥片	09a	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	1.2	13.6	15.4	6.0	－89779.64	12220.34	111.005	
	2361	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	1.2	17.1	12.7	6.0	－89779.70	12220.53	111.026	
	2364	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	3.9	27.2	26.5	6.0	－89780.18	12220.12	111.211	
	2366	剥片	8	F－003	Hor		石器集中部1	8.9	37.7	21.8	14.3	6.00	12219.70	111.081	
	2367	剥片	8	F－003	Ob	AGKT	石器集中部1	1.7	20.5	20.3	5.0	－89780.74	12219.33	111.039	
	2368	剥片	09a	F－003	Hor		石器集中部1	3.8	27.9	24.3	5.0	－89780.80	12219.87	110.936	
	2370	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	6.3	42.0	17.7	10.7	－89780.57	12220.60	111.045	
	2371	剥片	09a	F－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	11.5	4.0	1.0	－89781.48	12221.17	111.251	
	2372	剥片	8	F－004	Ob	AGKT	石器集中部1	4.3	22.0	27.0	8.0	－89783.19	12221.23	111.607	
	2373	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	7.3	30.7	23.6	7.0	－89784.29	12220.42	111.439	
	2374	剥片	8	F－003	Hor		石器集中部1	7.5	27.8	25.0	9.0	－89783.57	12218.31	110.896	
	2376	剥片	8	F－003	Hor		石器集中部1	19.0	43.2	25.0	15.5	－89782.15	12219.67	111.163	
	2377	剥片	09a	F－003	Hor		石器集中部1	2.3	21.9	22.0	4.0	－89782.04	12219.68	110.959	
	2378	剥片	09a	F－003	Rhy		石器集中部1	4.1	20.5	28.4	10.2	－89781.76	12219.50	110.903	
	2379	剥片	8	F－003	Hor		石器集中部1	5.2	24.1	31.0	9.0	－89781.33	12219.88	111.264	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	2381	剥片	8	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.4	15.6	11.9	2.0	－89781.25	12219.17	111.125	
	2382	剥片	09a	F－003	Hor			1.9	18.8	21.0	4.0	－89785.61	12218.55	110.678	
	2387	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	3.9	16.8	27.9	10.0	－89776.86	12223.70	111.335	
	2388	剥片	09a	G－004	Ch		石器集中部1	2.3	24.8	11.2	11.4	－89774.64	12224.01	111.279	
	2389	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	3.3	26.6	16.7	7.0	－89774.77	12224.06	111.278	
	2391	剥片	8	G－004	Ob	HNHJ	石器集中部1	1.5	10.2	16.1	18.9	－89779.16	12220.54	111.210	
	2392	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	9.2	27.7	35.0	9.0	－89779.02	12220.11	111.085	
	2393	剥片	8	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	1.3	18.7	10.8	7.0	－89778.89	12219.68	111.130	
	2394	剥片	8	G－003	Hor		石器集中部1	3.6	37.4	16.7	7.0	－89778.89	12219.56	111.207	
	2397	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	9.9	28.4	45.9	10.4	－89779.63	12221.13	111.331	
	2401	剥片	09a	F－004	Sh(Re)		石器集中部1	4.5	34.9	17.8	12.5	－89780.28	12220.23	110.967	
	2402	剥片	09a	F－004	Hor		石器集中部1	11.6	18.8	51.2	12.4	－89780.32	12220.00	111.078	
	2403	剥片	09a	F－003	Hor		石器集中部1	0.4	15.2	5.0	5.0	－89780.49	12220.00	110.951	
	2405	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	0.4	13.0	8.0	2.0	－89779.12	12220.25	110.941	
	2407	剥片	09a	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.4	9.0	17.0	3.0	－89781.84	12218.98	110.788	
	2408	剥片	09a	F－003	Ob	AGKT	石器集中部1	0.9	19.3	12.2	4.0	－89782.70	12218.82	110.696	
	2410	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	1.1	23.4	13.6	3.0	－89777.93	12222.18	111.350	
	2412	剥片	09a	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	17.4	12.3	2.0	－89777.68	12220.95	111.027	
	2413	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	0.7	12.3	10.9	6.0	－89778.14	12220.91	111.002	
	2414	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	7.5	40.1	40.0	6.0	－89778.15	12220.72	110.982	
	2415	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	1.2	16.0	15.9	4.0	－89776.11	12220.45	111.092	
	2416	剥片	09a	G－004	Rhy		石器集中部1	0.5	13.2	16.0	3.0	－89776.95	12223.67	111.254	
	2417	剥片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	3.3	27.4	16.2	9.0	－89775.60	12220.73	111.109	
	2421	剥片	8	E－003	Hor			5.1	29.7	24.5	7.0	－89799.29	12216.90	110.720	
	2440	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	0.5	9.0	10.8	3.0	－89786.01	12221.10	111.250	
	2441	剥片	09b	D－003	Hor			18.7	47.2	28.0	10.5	－89801.22	12216.79	110.079	
	2442	剥片	8	E－003	Hor			1.0	14.4	15.7	3.0	－89798.80	12215.77	109.988	
	2443	剥片	09b	D－003	Hor			5.0	42.6	16.8	5.0	－89800.68	12216.55	110.186	
	2444	剥片	09b	D－003	Hor			2.1	20.5	23.9	5.0	－89800.73	12216.41	110.032	
	2445	剥片	8	G－004	Hor		石器集中部1	3.0	16.3	27.2	5.0	－89779.09	12222.96	111.645	
	2447	剥片	09b	D－003	Hor			24.8	43.8	32.2	19.2	－89800.73	12216.44	109.764	
	2452	剥片	09a	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	5.0	22.8	3.0	－89779.56	12223.12	111.308	
	2453	剥片	11a	D－003	Hor			0.7	13.7	15.8	2.0	－89800.36	12215.05	109.621	
	2454	剥片	11a	D－003	Hor			0.8	19.7	0.7	5.0	－89800.52	12216.35	109.729	
	2455	剥片	11a	E－003	Hor			0.6	16.1	12.5	2.0	－89799.75	12216.32	109.649	
	2456	剥片	11a	E－003	Ob	AGKT		0.7	17.8	16.0	4.0	－89798.31	12216.89	109.771	
	2458	剥片	11b	E－003	Ob	AGKT		9.2	37.4	21.8	11.0	－89796.92	12216.52	109.677	
	2463	剥片	11b	E－003	Ob	SWHD		1.4	21.7	18.2	8.1	－89790.20	12218.67	109.899	
	2465	剥片	11a	F－003	Ob	TSTY		2.8	32.7	14.4	0.5	－89787.44	12219.71	110.488	
	2466	剥片	11a	F－003	Hor			15.4	37.9	40.0	10.1	－89787.35	12218.09	110.204	
	2467	剥片	11b	F－003	Hor		石器集中部1	8.7	37.7	20.6	10.6	－89784.94	12219.97	110.527	
	2468	剥片	11a	F－003	Hor		石器集中部1	12.2	43.3	25.5	10.0	－89784.76	12219.89	110.664	
	2469	剥片	11a	F－003	Hor		石器集中部1	14.0	45.7	29.8	10.3	－89784.79	12219.79	110.825	
	2470	剥片	11a	F－004	Rhy		石器集中部1	0.4	13.3	10.0	2.0	－89784.40	12221.10	110.690	
	2471	剥片	11a	F－004	Rhy		石器集中部1	9.5	34.8	30.2	11.3	－89783.79	12221.21	110.791	S－19
	2472	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	31.2	56.0	33.2	16.4	－89783.73	12220.94	110.740	
	2473	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	0.4	7.0	11.0	4.0	－89783.96	12220.39	111.013	
	2476	剥片	09b	F－003	Hor		石器集中部1	1.1	20.1	16.3	3.0	－89783.71	12219.84	110.947	
	2478	剥片	11a	F－003	Rhy		石器集中部1	2.2	14.4	29.1	7.0	－89783.00	12219.12	110.647	
	2479	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	1.2	25.0	10.0	4.0	－89783.24	12221.56	110.687	
	2480	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	1.7	25.4	15.6	3.0	－89782.75	12221.63	111.199	
	2481	剥片	09b	F－004	Ob	AGKT	石器集中部1	0.5	18.5	16.1	2.0	－89781.98	12221.60	111.248	
	2482	剥片	09b	F－004	GAn		石器集中部1	9.7	39.4	28.5	10.3	－89781.48	12221.94	111.301	
	2483	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	13.2	26.5	37.1	11.6	－89781.62	12222.24	111.286	
	2484	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	3.2	31.1	15.2	7.0	－89781.68	12222.34	111.281	
	2485	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	0.3	9.0	10.4	3.0	－89781.24	12221.30	111.152	
	2486	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	0.6	24.7	0.7	3.0	－89782.08	12221.23	111.120	
	2487	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	2.3	13.6	27.5	8.0	－89781.80	12221.11	111.002	
	2488	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	11.2	28.7	36.7	11.0	－89781.96	12220.76	111.031	
	2489	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	9.0	34.7	20.3	16.6	－89781.27	12220.25	110.787	
	2490	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	14.5	47.5	21.8	18.0	－89780.98	12220.77	110.939	
	2491	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	0.8	24.7	10.2	3.0	－89781.32	12221.80	110.838	
	2492	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	8.7	37.7	27.0	6.0	－89780.39	12220.67	110.787	
	2493	剥片	09b	G－003	Hor		石器集中部1	2.3	16.5	23.1	7.0	－89779.37	12219.54	110.932	
	2494	剥片	09b	G－003	Hor		石器集中部1	0.5	21.0	0.9	2.0	－89778.35	12219.37	110.816	
	2495	剥片	09b	G－003	Hor		石器集中部1	3.2	27.2	20.3	6.0	－89778.25	12219.56	110.844	
	2496	剥片	09b	G－003	Hor		石器集中部1	2.9	31.0	13.1	8.0	－89778.24	12219.42	110.841	
	2497	剥片	09b	G－003	Hor		石器集中部1	9.6	55.6	16.6	14.6	－89778.08	12219.19	110.866	
	2498	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	4.6	25.3	23.8	7.0	－89778.15	12220.67	110.756	
	2499	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	1.3	13.3	19.6	5.0	－89778.81	12221.17	110.716	
	2500	剥片	11a	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.4	13.8	10.0	3.0	－89778.72	12221.17	110.697	
	2501	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	3.2	30.3	13.1	6.0	－89778.77	12221.29	110.701	
	2502	剥片	11a	G－004	Sh(Re)		石器集中部1	0.9	11.6	22.5	3.0	－89778.96	12221.23	110.777	
	2503	剥片	09b	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	1.6	19.5	21.2	4.0	－89779.17	12221.35	110.776	
	2504	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	0.9	19.5	11.2	4.0	－89779.13	12221.67	110.800	
	2505	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	7.1	34.5	29.5	8.0	－89779.44	12221.63	110.893	
	2507	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	3.9	40.0	16.9	5.0	－89779.30	12221.82	110.962	
	2508	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.5	9.0	12.4	4.0	－89779.36	12222.20	110.983	
	2509	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	4.1	20.2	22.9	9.0	－89779.77	12222.60	110.894	
	2510	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	11.1	48.5	27.3	1.0	－89780.54	12222.55	110.893	
	2511	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	11.0	28.3	48.8	9.0	－89779.36	12222.75	110.757	
	2512	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	2.5	24.1	27.0	4.0	－89779.46	12222.95	110.873	
	2513	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	9.2	28.0	33.4	10.0	－89778.80	12222.62	110.786	
	2515	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	2.8	20.1	26.7	5.0	－89778.11	12222.07	110.735	
	2516	剥片	09b	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	1.9	22.6	18.8	5.2	－89778.19	12221.96	110.783	
	2517	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	1.2	14.2	17.3	3.0	－89778.15	12221.71	110.783	
	2519	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	8.6	26.9	39.7	9.0	－89777.66	12222.86	110.926	
	2521	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	2.4	27.7	13.0	5.0	－89777.14	12222.72	111.104	
	2522	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	2.7	30.0	18.0	4.0	－89777.16	12222.66	111.093	
	2523	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	1.9	19.4	17.5	6.0	－89777.06	12222.65	111.096	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（mm）	幅（mm）	厚さ（mm）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	2524	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	8.3	20.5	31.0	16.0	－89776.79	12222.38	110.995	
	2525	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	4.4	37.7	29.0	7.0	－89776.55	12222.43	111.033	
	2526	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	2.8	35.6	14.8	6.0	－89775.54	12222.39	111.105	
	2527	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	3.3	27.6	12.0	7.0	－89775.79	12222.98	111.144	
	2528	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	10.5	37.7	17.8	14.9	－89775.47	12223.04	111.062	
	2529	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	6.9	23.6	24.4	10.3	－89775.65	12223.31	111.175	
	2531	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.5	10.2	13.2	2.0	－89775.48	12223.92	111.208	
	2532	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	35.1	39.9	44.6	23.2	－89776.43	12223.81	111.039	S－14
	2534	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	11.4	28.0	31.7	13.7	－89774.62	12223.57	111.289	S－14
	2535	剥片	09b	H－004	Ob	SWHD		0.8	15.6	18.5	3.0	－89769.67	12224.86	111.353	
	2536	剥片	11b	G－004	Ch			4.9	30.2	16.1	10.9	－89770.14	12225.95	111.256	
	2538	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	4.2	21.6	31.4	6.0	－89778.01	12221.52	110.700	
	2542	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	1.4	14.2	23.8	4.0	－89783.69	12220.98	110.646	
	2543	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	4.4	33.2	15.6	9.0	－89781.98	12221.29	110.940	
	2544	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	19.1	38.1	34.0	16.5	－89781.56	12221.18	110.995	
	2545	剥片	09b	F－004	Hor		石器集中部1	5.4	18.0	26.1	12.3	－89780.92	12220.73	110.916	
	2546	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	0.7	14.5	13.2	2.0	－89781.26	12221.49	110.689	
	2547	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	2.5	24.8	19.2	4.0	－89781.01	12221.56	110.641	
	2548	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	5.2	19.7	30.7	8.0	－89779.31	12221.81	110.775	
	2549	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.6	11.2	10.3	4.0	－89779.16	12221.85	110.829	
	2550	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	7.2	28.2	17.5	11.9	－89779.34	12221.71	110.669	
	2552	剥片	11a	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.3	13.3	10.1	4.0	－89779.40	12222.92	110.854	
	2555	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	19.6	48.0	22.3	22.5	－89778.47	12222.64	110.764	
	2556	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	6.2	30.4	30.5	9.0	－89778.54	12222.44	110.711	
	2557	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	1.7	31.5	12.0	4.0	－89778.04	12223.24	110.983	
	2558	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.6	18.2	9.0	3.0	－89777.74	12222.86	110.798	
	2559	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.7	12.0	14.6	2.0	－89777.07	12222.76	111.031	
	2560	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.7	19.1	10.1	3.0	－89776.79	12222.43	110.775	
	2561	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.5	14.4	8.0	2.0	－89776.68	12222.39	110.782	
	2562	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	2.7	16.0	26.7	6.0	－89776.51	12222.50	110.787	
	2563	剥片	11b	G－004	Hor		石器集中部1	2.7	32.5	15.9	4.0	－89775.89	12223.24	110.844	
	2564	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	3.0	19.9	20.2	7.0	－89781.01	12220.93	110.629	
	2565	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	10.3	28.8	30.0	10.3	－89780.73	12221.62	110.753	
	2596	剥片	8	F－006	Hor		石器集中部2	1.8	24.7	12.1	5.0	－89789.26	12244.60	117.573	
	2597	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	29.4	33.6	30.6	25.9	－89788.42	12245.19	117.562	
	2600	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.5	14.2	18.1	4.0	－89787.70	12244.83	117.631	
	2602	剥片	9	F－006	GAn		石器集中部2	2.1	20.0	19.0	5.0	－89787.75	12243.53	117.588	
	2603	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	11.9	9.0	2.0	－89787.16	12243.08	117.587	
	2604	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.5	9.0	18.8	4.0	－89786.55	12244.40	117.682	
	2608	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.5	24.9	41.2	8.0	－89786.05	12243.60	117.753	
	2609	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	15.1	32.6	40.8	11.7	－89785.99	12243.33	117.654	
	2610	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.0	0.8	13.7	6.0	－89785.93	12243.25	117.649	
	2612	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.5	19.4	21.0	1.0	－89786.17	12244.26	117.723	
	2613	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.1	18.8	31.1	5.0	－89785.85	12244.49	117.713	
	2615	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.9	26.4	40.1	11.1	－89785.58	12244.63	117.668	
	2616	剥片	9	F－006	Ob	TSTY	石器集中部2	0.4	10.5	15.0	2.0	－89785.46	12244.49	117.614	
	2619	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	9.1	42.5	26.5	7.0	－89785.55	12244.25	117.607	
	2620	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.0	37.0	21.2	6.0	－89785.17	12243.78	117.646	
	2621	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.0	27.1	23.1	10.1	－89785.57	12243.77	117.648	
	2622	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.7	14.2	18.5	6.0	－89785.33	12243.63	117.679	
	2623	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	34.6	41.2	46.7	22.0	－89785.02	12243.60	117.573	
	2625	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	17.2	34.4	31.2	12.6	－89785.25	12243.34	117.563	
	2626	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.0	19.2	25.7	5.0	－89785.37	12243.05	117.653	
	2628	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.6	17.6	14.8	2.0	－89785.27	12242.76	117.610	
	2629	剥片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	0.5	22.1	9.0	2.0	－89784.87	12242.78	117.625	
	2630	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.9	27.5	13.8	4.0	－89784.85	12242.43	117.554	
	2632	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	30.9	40.4	37.7	18.9	－89784.93	12242.11	117.538	
	2633	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	18.2	10.3	8.0	－89784.79	12242.05	117.579	
	2634	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	14.9	37.8	35.0	10.1	－89784.89	12241.97	117.592	
	2636	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.6	30.4	22.0	6.0	－89784.95	12241.50	117.594	
	2637	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.9	18.3	17.2	6.0	－89784.83	12241.74	117.509	
	2638	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.9	18.6	18.1	3.0	－89784.60	12240.94	117.531	
	2641	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.4	10.0	6.0	4.0	－89786.40	12245.80	117.746	
	2670	剥片	8	E－006	Hor			4.3	55.8	13.5	5.0	－89793.50	12249.85	117.272	
	2679	剥片	8	D－006	Hor			2.3	20.4	27.1	4.0	－89802.75	12249.89	116.500	
	2683	剥片	9	D－007	Hor			4.8	29.0	29.8	5.0	－89805.81	12250.83	116.208	
	2684	剥片	9	D－007	Hor			6.3	30.3	38.1	7.0	－89806.42	12251.33	116.169	
	2685	剥片	9	D－006	Hor			11.1	32.4	23.0	17.0	－89808.77	12248.61	116.163	
	2686	剥片	9	F－006	Rhy		石器集中部2	1.8	27.0	20.1	8.0	－89789.08	12244.62	117.528	S－19
	2688	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	11.3	23.4	41.3	11.3	－89789.29	12246.16	117.494	
	2690	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	5.9	26.4	36.8	6.0	－89792.37	12246.31	117.323	
	2691	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	3.3	22.0	20.9	7.0	－89792.95	12246.08	117.245	
	2692	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	1.6	24.5	11.0	5.0	－89793.25	12243.80	117.194	
	2693	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	0.5	18.2	0.4	5.0	－89794.67	12244.60	117.089	
	2696	剥片	8	E－006	Hor		石器集中部2	5.0	25.2	31.0	7.0	－89796.43	12244.27	116.974	
	2700	剥片	8	D－006	Hor			9.2	35.0	51.5	4.0	－89802.22	12243.49	116.465	
	2701	剥片	8	D－006	Ob	SWHD		2.2	12.3	19.8	9.0	－89804.16	12243.21	116.486	
	2702	剥片	8	E－007	Rhy			3.4	29.3	25.0	8.1	－89792.10	12252.60	117.442	
	2703	剥片	8	F－007	Hor			0.9	14.9	0.8	6.0	－89788.72	12252.51	117.807	
	2705	剥片	10	F－007	Hor			14.3	64.4	24.4	1.0	－89787.98	12253.71	117.617	
	2707	剥片	9	G－007	Hor			1.0	9.0	19.5	4.0	－89773.18	12250.73	118.924	
	2708	剥片	9	G－007	Hor			9.5	38.9	30.7	8.0	－89772.70	12251.32	118.911	
	2719	剥片	9	G－006	Hor			2.1	24.0	11.8	6.0	－89776.07	12248.24	118.648	
	2720	剥片	9	G－006	Hor			28.7	46.4	55.0	14.3	－89778.05	12248.62	118.423	
	2723	剥片	9	G－006	Ob	SWHD	石器集中部2	1.4	25.3	17.5	5.2	－89779.42	12247.11	118.317	
	2728	剥片	9	F－006	Rhy			0.3	11.4	7.0	3.0	－89783.06	12249.36	118.096	
	2731	剥片	9	F－007	Hor			62.1	55.4	57.5	24.1	－89780.37	12250.02	118.286	
	2734	剥片	9	F－007	Hor			0.4	16.9	9.0	2.0	－89780.26	12251.54	118.459	
	2735	剥片	9	G－007	Hor			0.5	12.1	16.0	2.0	－89779.93	12252.14	118.536	
	2737	剥片	9	G－007	Hor			0.4	9.0	10.0	3.0	－89779.31	12252.24	118.453	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	2738	剥片	9	G－007	Hor			0.7	16.8	14.2	3.0	－89778.71	12251.90	118.580	
	2740	剥片	9	G－007	Hor			4.1	27.2	19.4	10.1	－89778.12	12252.14	118.546	
	2742	剥片	9	G－007	Hor			15.8	36.3	38.8	10.9	－89777.95	12251.55	118.587	
	2748	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.3	12.2	15.3	5.0	－89784.17	12246.50	117.970	
	2749	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	48.0	30.4	48.2	24.0	－89784.10	12246.23	118.026	
	2750	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	11.7	36.9	32.0	10.0	－89783.82	12246.07	117.931	
	2752	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.9	31.7	13.9	12.1	－89783.15	12246.35	118.011	
	2754	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.0	22.0	16.4	7.0	－89781.99	12246.52	118.096	
	2756	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	1.9	25.2	18.7	6.0	－89782.08	12245.98	118.048	
	2757	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.8	39.5	20.3	10.0	－89781.97	12245.20	118.200	S－22
	2758	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.6	11.0	24.5	5.0	－89782.23	12245.10	118.086	
	2759	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.1	19.7	15.4	5.0	－89782.40	12244.93	118.041	
	2761	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.2	15.5	12.8	5.0	－89781.63	12245.09	118.045	
	2762	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	1.5	12.0	24.5	8.0	－89781.39	12245.15	118.203	
	2763	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	32.8	69.2	33.7	10.8	－89781.42	12244.91	118.186	
	2764	剥片	9	F－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.5	21.0	10.0	3.0	－89781.70	12244.76	118.107	
	2765	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	2.7	11.5	21.9	9.0	－89781.88	12244.78	118.076	
	2766	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	38.5	43.0	39.7	20.7	－89781.88	12244.68	118.032	
	2767	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.9	11.9	10.2	4.0	－89782.14	12244.68	118.015	
	2768	剥片	9	F－006	FAn		石器集中部2	5.9	23.9	20.3	12.6	－89781.43	12244.35	118.079	
	2769	剥片	9	F－006	FAn		石器集中部2	24.5	45.2	32.1	17.9	－89781.48	12244.21	117.995	
	2771	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.3	19.0	29.0	7.0	－89781.58	12243.90	118.019	
	2772	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	11.1	5.0	4.0	－89781.71	12243.92	118.038	
	2774	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.0	37.9	22.0	6.0	－89782.29	12244.13	118.122	
	2775	剥片	9	F－006	FAn		石器集中部2	1.7	18.3	13.1	7.0	－89782.76	12244.80	118.048	
	2776	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	11.1	35.6	27.9	10.9	－89783.61	12244.62	117.904	
	2777	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.8	20.4	24.4	6.0	－89783.69	12244.09	117.959	
	2778	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	23.4	52.9	28.3	15.5	－89784.17	12244.13	117.866	
	2779	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.0	27.7	16.8	9.0	－89783.96	12243.64	117.810	
	2781	剥片	9	F－006	Ob	TSTY	石器集中部2	0.6	17.7	9.0	4.0	－89783.24	12243.34	117.835	
	2783	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.2	22.1	20.5	7.0	－89782.41	12242.74	117.849	
	2784	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.3	16.6	10.8	10.0	－89782.84	12242.37	117.819	
	2785	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.5	17.9	25.8	10.1	－89783.33	12242.57	117.751	
	2787	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	9.6	30.5	20.0	11.9	－89783.34	12241.54	117.738	
	2788	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.7	18.3	15.6	3.0	－89783.07	12242.12	117.728	
	2789	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.1	24.4	10.5	4.0	－89782.74	12242.13	117.787	
	2790	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	33.9	43.6	30.0	21.8	－89782.83	12242.37	117.817	
	2791	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.8	11.4	11.1	6.0	－89781.47	12241.55	117.921	
	2792	剥片	9	F－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.4	13.9	13.4	2.0	－89781.01	12241.68	117.768	
	2794	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	6.2	47.4	15.4	9.0	－89781.75	12242.91	117.937	
	2795	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.8	14.1	29.9	7.0	－89781.73	12243.04	117.991	
	2796	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.9	16.3	9.0	4.0	－89781.22	12242.90	118.081	
	2797	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.7	12.3	12.7	4.0	－89781.05	12242.96	118.085	
	2798	剥片	9	F－006	Ob	TSTY	石器集中部2	0.8	16.8	10.1	4.0	－89781.91	12243.72	118.071	
	2799	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	6.4	30.5	24.3	1.0	－89781.06	12244.14	118.026	
	2800	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.5	11.4	23.0	9.0	－89780.96	12244.01	118.135	
	2801	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.7	18.4	8.0	6.0	－89780.50	12244.70	118.181	
	2802	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.6	10.0	16.8	5.0	－89780.33	12244.54	118.235	
	2803	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	14.1	25.0	38.0	14.2	－89780.29	12244.71	118.169	
	2804	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	47.1	43.6	48.6	23.0	－89780.37	12244.90	118.205	
	2805	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.9	29.9	16.2	8.0	－89780.02	12244.87	118.188	
	2807	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.4	10.5	7.0	2.0	－89780.44	12245.36	118.273	
	2808	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	6.0	12.0	5.0	－89780.72	12245.85	118.217	
	2810	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	15.3	40.8	36.6	13.4	－89780.79	12245.68	118.249	
	2814	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	51.8	53.8	46.5	25.0	－89783.84	12247.18	118.022	
	2815	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	44.6	40.3	58.5	14.6	－89783.75	12247.66	117.899	
	2816	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.6	47.0	18.2	8.0	－89783.31	12247.43	118.187	
	2817	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.8	19.5	29.9	5.0	－89784.10	12244.49	117.867	
	2818	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	26.4	34.3	53.4	15.3	－89785.60	12243.05	117.660	
	2822	剥片	9	E－005	Hor			5.2	20.2	35.4	10.3	－89796.36	12239.41	117.162	
	2823	剥片	9	D－006	Hor			2.7	20.5	15.9	8.0	－89800.33	12245.99	116.554	
	2824	剥片	9	E－007	Hor			16.9	60.0	27.0	12.2	－89797.80	12251.17	116.850	
	2825	剥片	8	E－007	Hor			29.7	35.1	46.7	18.9	－89796.88	12251.20	116.961	
	2826	剥片	8	E－007	Hor			1.0	10.5	10.9	3.0	－89796.35	12250.51	116.989	
	2828	剥片	8	E－006	Rhy		石器集中部2	6.4	27.9	28.8	11.1	－89795.71	12248.23	117.024	
	2829	剥片	8	E－006	Hor		石器集中部2	4.2	43.8	16.9	7.0	－89794.44	12248.30	117.090	
	2830	剥片	8	E－006	Hor		石器集中部2	8.2	59.5	21.2	10.0	－89794.11	12248.33	117.140	
	2831	剥片	8	E－006	Hor		石器集中部2	1.4	9.0	25.5	6.0	－89791.39	12248.95	117.413	
	2837	剥片	9	F－007	Hor			6.3	38.3	28.1	6.0	－89784.20	12252.44	118.492	
	2840	剥片	9	F－007	Hor			3.4	14.2	33.6	6.0	－89780.42	12252.75	118.324	
	2845	剥片	10	G－006	Hor			40.0	43.2	60.6	14.9	－89776.45	12246.70	118.354	
	2846	剥片	10	G－006	Hor			9.0	28.7	31.8	10.2	－89778.84	12248.27	118.297	
	2848	剥片	9	D－006	Hor			8.6	37.0	29.0	10.0	－89800.11	12243.31	116.635	
	2851	剥片	9	D－006	Hor			7.0	25.4	32.3	9.0	－89804.32	12243.30	116.328	
	2853	剥片	9	D－006	Ob	SWHD		1.6	16.9	23.5	7.0	－89808.72	12245.69	115.936	
	2854	剥片	9	D－006	Ob	SWHD		0.9	19.4	14.5	4.0	－89807.41	12247.26	116.016	
	2855	剥片	9	D－007	Hor			1.6	14.6	21.9	6.0	－89803.87	12250.99	116.326	
	2856	剥片	9	D－006	Hor			1.1	14.8	27.1	3.0	－89803.37	12248.48	116.276	
	2857	剥片	8	D－006	Hor			3.2	18.2	32.8	5.0	－89803.32	12247.96	116.488	
	2858	剥片	10	D－006	Ob	HNHJ		1.8	21.9	12.1	8.0	－89801.66	12247.09	116.210	
	2859	剥片	9	D－006	Hor			0.4	18.0	6.0	3.0	－89801.35	12246.74	116.268	
	2861	剥片	9	D－006	Hor			5.9	25.0	22.2	7.0	－89800.82	12246.54	116.294	
	2862	剥片	9	D－006	Hor			73.9	65.3	61.9	15.5	－89800.35	12246.90	116.320	
	2867	剥片	9	E－007	Hor			3.6	28.4	21.0	5.0	－89796.01	12250.60	116.927	
	2868	剥片	9	E－007	Hor			1.6	15.6	6.0	4.0	－89796.33	12251.41	116.882	
	2869	剥片	9	E－007	Hor			42.7	50.5	41.8	15.4	－89796.16	12251.41	116.898	
	2870	剥片	9	E－007	Hor			5.6	19.5	27.1	8.0	－89796.04	12251.25	116.900	
	2871	剥片	9	E－007	Hor			71.2	63.1	62.0	14.4	－89795.96	12251.66	116.933	
	2872	剥片	9	E－007	Hor			64.1	69.3	51.3	16.0	－89795.44	12251.66	116.910	
	2875	剥片	9	E－007	Hor			88.2	74.8	49.3	21.0	－89795.45	12250.94	116.946	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（mm）	幅（mm）	厚さ（mm）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	2876	剥片	8	E－007	Ob	AGKT		0.4	7.0	14.6	5.0	－89795.32	12250.44	117.031	
	2877	剥片	8	E－007	Hor			51.4	85.5	49.0	17.9	－89794.78	12250.96	117.027	
	2879	剥片	9	E－006	Hor			12.1	30.6	30.6	11.9	－89793.30	12249.79	116.990	
	2880	剥片	8	E－006	Hor		石器集中部2	13.0	48.5	39.3	8.0	－89793.24	12247.88	117.151	
	2881	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	13.6	43.8	28.7	10.3	－89791.09	12247.76	117.299	
	2882	剥片	8	E－006	Hor		石器集中部2	3.6	34.6	12.1	7.0	－89791.14	12248.34	117.364	
	2883	剥片	8	E－007	Hor			3.4	32.0	21.7	5.0	－89792.18	12252.56	117.425	
	2885	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	4.3	40.5	13.2	8.0	－89793.70	12245.17	117.123	
	2886	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	1.8	16.6	26.2	4.0	－89793.28	12245.04	117.121	
	2887	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	9.1	17.0	51.8	18.7	－89793.02	12245.43	117.134	
	2888	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	0.9	13.4	14.8	6.0	－89793.11	12245.59	117.134	
	2890	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	9.4	44.9	21.9	8.0	－89788.70	12246.95	117.549	
	2891	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.3	35.7	25.0	9.0	－89788.42	12245.36	117.474	
	2893	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	18.0	24.5	43.4	14.5	－89787.06	12244.78	117.587	
	2894	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.5	20.5	27.1	5.0	－89786.33	12245.43	117.667	
	2895	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	26.4	43.9	33.7	15.8	－89786.93	12244.42	117.489	
	2896	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.0	20.5	21.1	8.0	－89786.88	12243.30	117.515	
	2897	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.5	25.9	24.0	9.0	－89785.59	12243.69	117.585	S－15
	2898	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	8.5	7.8	3.0	－89785.30	12243.82	117.515	
	2900	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	17.6	41.0	43.1	1.0	－89786.36	12242.99	117.492	
	2911	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	24.7	31.8	44.2	21.4	－89783.09	12243.96	117.864	
	2912	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.7	20.5	23.7	7.0	－89782.85	12244.63	117.874	
	2915	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	19.9	44.1	22.1	23.5	－89783.55	12245.21	117.839	
	2916	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.4	9.0	10.3	3.0	－89784.57	12246.31	117.853	
	2917	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.6	10.4	16.0	3.0	－89784.15	12248.16	117.852	
	2918	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	32.3	47.8	54.5	13.1	－89783.57	12246.88	117.897	
	2919	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	27.7	58.0	32.6	13.5	－89783.52	12246.96	117.906	
	2920	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.8	33.0	10.5	6.0	－89783.58	12247.17	117.902	
	2921	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.4	23.2	15.7	8.0	－89783.50	12247.55	118.058	
	2922	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.1	18.8	26.0	8.0	－89782.95	12247.35	117.908	
	2926	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	23.0	54.3	24.1	19.7	－89782.09	12246.17	118.014	
	2928	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	35.4	58.7	62.0	18.5	－89782.62	12245.76	117.926	
	2929	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	3.6	25.0	20.3	10.9	－89782.79	12245.16	117.908	
	2930	剥片	9	F－006	FAn		石器集中部2	15.7	54.7	29.0	9.0	－89782.51	12245.23	117.908	
	2931	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.2	15.9	24.9	6.0	－89782.13	12244.55	117.952	
	2932	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.7	13.2	17.5	3.0	－89781.88	12244.54	117.921	
	2933	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	11.1	23.7	35.3	13.1	－89781.49	12244.12	117.978	
	2934	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.4	28.2	18.3	10.0	－89781.31	12243.37	117.888	
	2935	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.5	38.2	26.8	10.0	－89783.62	12244.42	117.811	
	2936	剥片	9	F－006	FSS		石器集中部2	9.6	33.3	24.1	10.7	－89785.04	12245.12	117.873	
	2937	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	0.4	7.0	11.6	4.0	－89791.85	12243.52	117.286	
	2938	剥片	9	E－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.5	18.8	0.9	3.0	－89791.95	12243.74	117.274	
	2939	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	1.2	18.8	9.0	4.0	－89793.01	12243.64	117.140	
	2941	剥片	9	E－006	Ob	SWHD		0.9	10.0	21.1	3.0	－89799.09	12242.15	116.706	
	2943	剥片	11	F－005	Hor		石器集中部2	21.2	50.0	28.1	17.0	－89784.03	12239.15	117.440	
	2946	剥片	11	F－006	Hor		石器集中部2	1.1	8.0	16.0	6.0	－89780.01	12244.86	118.169	
	2947	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	15.2	22.4	50.2	12.7	－89779.60	12242.45	117.964	
	2949	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	11.6	26.3	39.9	9.0	－89779.88	12240.47	117.739	
	2950	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	21.7	24.1	57.7	15.8	－89778.94	12241.81	117.908	
	2951	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	38.9	49.7	69.0	15.2	－89778.46	12241.73	117.961	
	2952	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	18.7	23.1	60.2	13.7	－89777.89	12243.14	118.142	
	2953	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	16.7	22.9	50.1	11.6	－89777.88	12243.99	118.244	S－22
	2954	剥片	11	G－006	Hor		石器集中部2	18.7	63.2	23.2	14.7	－89777.71	12244.91	118.301	
	2958	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	0.5	16.2	12.7	2.0	－89784.16	12247.44	117.751	
	2959	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.8	34.5	35.3	6.0	－89784.65	12247.26	117.756	
	2960	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.7	28.0	27.5	10.7	－89784.92	12247.69	117.801	
	2961	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.2	11.5	16.9	7.0	－89783.10	12245.82	117.893	
	2962	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.4	22.4	21.8	10.8	－89784.90	12245.71	117.868	
	2963	剥片	9	F－006	Rhy		石器集中部2	2.0	24.2	14.1	5.0	－89784.71	12245.99	117.827	
	2964	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	12.3	21.3	45.6	13.7	－89784.50	12246.08	117.812	
	2965	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.8	10.6	17.8	5.0	－89784.46	12246.10	117.831	
	2966	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.6	9.0	10.0	5.0	－89784.55	12245.92	117.794	
	2967	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.3	12.1	24.8	5.0	－89784.73	12245.86	117.844	
	2977	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	6.7	24.6	30.1	10.7	－89787.69	12245.90	117.406	
	2978	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	17.9	34.2	38.4	13.9	－89788.13	12245.61	117.397	
	2979	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.7	21.6	26.8	6.0	－89789.74	12244.94	117.281	
	2980	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	3.0	41.8	14.7	4.0	－89790.04	12245.89	117.344	
	2981	剥片	9	E－006	Hor			4.6	26.1	29.7	6.0	－89799.58	12242.55	116.630	
	2984	剥片	9	E－006	Hor			3.7	27.9	21.7	5.0	－89796.56	12249.97	116.657	
	2985	剥片	9	E－007	Hor			15.7	31.2	35.1	15.6	－89796.47	12250.56	116.732	
	2986	剥片	9	E－007	Hor			11.1	33.7	23.8	12.1	－89795.77	12250.79	116.777	
	2987	剥片	9	E－007	Hor			6.9	34.1	31.5	9.0	－89795.70	12250.56	116.872	
	2988	剥片	9	E－007	Hor			26.5	35.4	59.6	12.3	－89795.73	12250.50	116.831	
	2990	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	3.1	12.9	24.0	9.0	－89794.11	12248.03	116.890	
	2991	剥片	9	E－007	Hor			4.1	32.8	28.0	6.0	－89792.08	12254.08	117.448	
	2992	剥片	9	F－007	Hor			3.7	23.7	16.6	8.0	－89788.63	12253.73	117.759	
	2995	剥片	9	F－007	Hor			52.1	62.8	42.3	28.5	－89785.63	12252.67	118.008	
	2996	剥片	9	F－007	Rhy			7.4	30.2	35.2	7.0	－89786.30	12251.89	118.008	
	2997	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	15.0	28.3	35.0	14.4	－89787.40	12249.50	117.602	
	2998	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.2	34.6	33.1	9.0	－89788.76	12247.74	117.513	
	2999	剥片	9	F－007	Hor			3.7	21.9	31.0	7.0	－89784.78	12251.12	118.003	
	3002	剥片	9	G－007	Hor			6.5	36.3	22.9	8.0	－89778.20	12253.61	118.755	
	3005	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.2	14.1	17.5	8.0	－89784.48	12245.84	117.788	
	3006	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	22.6	34.9	39.4	18.5	－89784.29	12246.24	117.677	
	3007	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	18.5	51.5	38.9	9.0	－89784.83	12246.40	117.806	
	3009	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.1	14.0	14.9	7.0	－89784.29	12246.73	117.775	
	3012	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	25.4	45.5	35.8	17.5	－89784.19	12247.10	117.667	
	3014	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.9	15.5	12.7	5.0	－89784.14	12245.27	117.732	
	3015	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.8	6.0	16.0	7.0	－89784.42	12245.09	117.748	
	3016	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.5	9.0	13.0	4.0	－89785.22	12245.25	117.758	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（㎜）	幅（㎜）	厚さ（㎜）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	3017	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.3	10.8	11.1	4.0	－89785.47	12246.01	117.805	
	3018	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.9	25.8	13.7	5.0	－89789.66	12243.46	117.385	
	3019	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	19.9	31.2	38.1	15.4	－89790.49	12244.99	117.261	
	3021	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.8	24.3	31.2	10.3	－89789.24	12246.46	117.351	
	3022	剥片	10	G－007	Hor			109.0	63.9	61.2	21.0	－89777.85	12250.47	118.369	
	3023	剥片	10	G－007	Hor			6.4	21.5	27.9	10.7	－89776.26	12251.93	118.657	
	3027	剥片	11	G－006	Hor			44.1	48.2	60.9	16.0	－89775.54	12245.36	118.370	
	3028	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.0	25.1	15.1	11.0	－89782.82	12241.23	117.673	
	3029	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.6	19.0	13.4	5.0	－89782.96	12241.93	117.680	
	3030	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.6	13.5	16.7	6.0	－89781.82	12241.80	117.746	
	3031	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	22.3	26.4	38.6	25.1	－89784.44	12242.93	117.830	
	3032	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	10.6	40.9	27.4	11.2	－89784.49	12243.44	117.803	
	3033	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	13.2	23.5	62.3	10.0	－89784.50	12244.35	117.722	
	3034	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.0	27.3	30.5	10.0	－89784.67	12244.45	117.721	
	3035	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.8	10.8	9.0	4.0	－89784.85	12244.19	117.702	
	3037	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.8	11.1	11.8	5.0	－89785.18	12246.16	117.675	
	3039	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.5	10.1	20.2	3.0	－89784.80	12246.29	117.664	
	3040	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.0	25.0	27.4	5.0	－89784.74	12246.66	117.580	
	3042	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.7	41.3	29.0	5.0	－89783.95	12246.91	117.791	
	3043	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.4	30.4	19.1	10.0	－89783.89	12246.62	117.800	
	3044	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	9.0	9.0	4.0	－89783.81	12246.43	117.724	
	3045	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.9	21.7	15.5	8.0	－89783.85	12246.44	117.718	
	3046	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	1.5	26.8	24.1	4.0	－89783.61	12246.12	117.770	
	3047	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	10.4	7.0	2.0	－89783.83	12246.23	117.804	
	3048	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.4	20.5	32.5	7.0	－89783.99	12245.98	117.735	
	3049	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.0	32.0	23.5	11.2	－89783.46	12245.58	117.823	
	3050	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	8.2	26.1	21.8	16.2	－89787.25	12246.85	117.361	S－24
	3051	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.7	15.8	26.9	10.0	－89787.71	12247.04	117.379	
	3052	剥片	9	F－006	SSh		石器集中部2	1.3	21.0	20.7	3.0	－89787.39	12248.06	117.444	
	3053	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	0.6	10.5	11.0	4.0	－89790.61	12244.12	117.250	
	3054	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	25.6	58.4	50.7	10.0	－89790.95	12248.61	117.173	
	3055	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	0.5	9.0	13.4	3.0	－89790.40	12248.42	117.235	
	3056	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	14.6	26.5	60.6	10.3	－89790.51	12248.79	117.233	
	3057	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	9.8	34.8	36.0	8.0	－89790.24	12248.82	117.303	
	3058	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	7.8	19.2	48.3	8.0	－89794.26	12245.88	116.899	
	3059	剥片	9	E－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.3	12.9	6.8	6.4	－89798.21	12244.65	116.658	
	3060	剥片	10	D－006	Hor			6.8	25.7	25.5	11.8	－89800.17	12244.06	116.291	
	3061	剥片	10	E－006	Ob	SWHD		0.8	17.4	16.2	3.0	－89799.91	12242.80	116.460	
	3063	剥片	9	D－006	Hor			2.4	16.1	16.7	8.0	－89801.45	12242.19	116.406	
	3064	剥片	9	D－006	Hor			1.9	13.4	28.0	5.0	－89801.20	12241.22	116.425	
	3065	剥片	10	E－007	Hor			0.6	11.7	10.0	4.0	－89797.65	12250.29	116.433	
	3066	剥片	9	E－007	Hor			41.6	59.4	51.0	14.0	－89795.36	12251.02	116.861	
	3067	剥片	10	F－007	Hor			13.9	44.9	37.8	8.0	－89789.21	12252.65	117.320	
	3068	剥片	10	F－007	Hor			10.6	56.8	24.8	7.0	－89789.29	12253.20	117.378	
	3071	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.0	24.9	19.3	5.0	－89784.38	12244.86	117.618	
	3072	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.6	7.0	5.0	3.0	－89784.72	12245.50	117.585	
	3073	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	5.0	23.1	26.0	8.0	－89794.73	12243.92	116.957	
	3074	剥片	10	F－007	Hor			51.0	74.0	40.4	13.2	－89789.71	12253.38	117.315	
	3075	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.6	19.9	15.0	4.0	－89788.60	12242.72	117.339	
	3077	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	9.8	22.3	49.0	9.0	－89792.67	12246.27	116.938	
	3078	剥片	9	E－006	Hor			22.8	49.1	37.0	11.8	－89798.20	12242.77	116.557	
	3079	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	1.4	11.9	21.2	5.0	－89793.00	12245.77	116.948	
	3081	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.6	14.7	16.6	5.0	－89787.57	12246.76	117.370	
	3083	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.0	17.6	10.7	5.0	－89782.90	12246.08	117.900	
	3084	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.0	18.7	27.9	8.0	－89783.52	12244.67	117.703	
	3085	剥片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	2.0	19.9	22.0	7.0	－89789.65	12242.25	117.288	
	3086	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	31.1	43.5	73.9	10.0	－89788.75	12244.04	117.272	
	3087	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	14.8	41.8	32.0	14.2	－89788.57	12244.06	117.258	
	3088	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	0.8	12.7	13.7	4.0	－89791.42	12246.73	117.176	
	3089	剥片	9	E－006	Hor			6.6	19.0	42.0	7.0	－89797.22	12242.55	116.661	
	3091	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.1	31.5	20.6	1.0	－89784.49	12241.97	117.743	
	3092	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.8	26.1	29.0	5.0	－89784.84	12243.22	117.730	
	3094	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	7.4	25.8	22.4	10.2	－89785.77	12248.62	117.833	
	3095	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.3	17.7	10.2	8.0	－89784.41	12242.33	117.712	
	3096	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	14.8	43.3	33.7	11.1	－89786.26	12249.27	117.660	
	3099	剥片	10	E－005	Ob	SWHD		0.7	13.4	10.5	5.0	－89797.37	12239.97	116.923	
	3101	剥片	10	F－007	Hor			8.2	48.8	24.2	9.0	－89789.04	12251.51	117.357	
	3103	剥片	10	F－007	Hor			6.4	38.1	23.8	9.0	－89786.38	12252.31	117.777	
	3104	剥片	9	F－007	Hor			1.1	17.9	13.3	4.0	－89786.90	12251.69	117.706	
	3105	剥片	9	E－007	Hor			12.8	31.6	41.0	11.7	－89791.47	12253.52	117.318	
	3108	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	25.8	41.5	33.1	20.4	－89786.13	12241.90	117.543	
	3110	剥片	10	F－007	Hor			15.7	44.0	35.1	10.0	－89787.37	12253.79	117.720	
	3111	剥片	9	F－007	Hor			6.7	19.4	41.8	8.0	－89787.10	12253.90	117.804	
	3112	剥片	9	F－007	Ob	TSTY		1.4	22.9	19.7	4.0	－89789.56	12251.84	117.392	
	3113	剥片	9	F－007	Hor			13.0	56.8	22.3	1.0	－89787.08	12253.09	117.872	
	3114	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.3	11.2	11.1	2.0	－89783.66	12243.82	117.723	
	3115	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.7	9.0	12.6	0.6	－89784.27	12243.61	117.661	
	3118	剥片	10	E－007	Hor			23.3	35.7	49.5	13.4	－89791.04	12252.73	117.167	
	3119	剥片	10	F－007	Hor			10.7	30.5	58.2	5.0	－89786.84	12252.71	117.743	
	3120	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	21.2	37.7	49.6	16.7	－89782.88	12246.49	117.796	
	3121	剥片	10	F－007	Hor			22.0	66.8	31.5	10.0	－89789.88	12251.89	117.256	
	3122	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	12.1	12.5	2.0	－89785.23	12242.16	117.493	
	3123	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	6.7	37.9	19.8	2.0	－89783.97	12242.21	117.634	
	3124	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	6.7	33.6	21.7	8.0	－89784.28	12242.58	117.591	
	3125	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	42.8	55.4	52.6	16.0	－89782.33	12245.40	117.875	
	3126	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	21.8	47.3	37.0	13.0	－89785.30	12240.79	117.619	
	3128	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.0	14.1	14.3	8.0	－89784.20	12241.52	117.723	
	3129	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	4.4	26.0	25.3	8.0	－89784.83	12244.62	117.497	
	3130	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.9	27.4	33.8	5.0	－89787.82	12243.62	117.512	
	3131	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	33.7	52.2	54.7	16.4	－89789.80	12249.43	117.291	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（mm）	幅（mm）	厚さ（mm）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	3132	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	16.4	28.3	49.6	10.7	－89790.76	12249.10	117.196	
	3133	剥片	10	F－007	Hor			5.3	21.1	27.7	7.0	－89788.93	12251.92	117.339	
	3135	剥片	10	F－007	Hor			14.1	70.1	22.0	14.4	－89787.10	12253.19	117.760	
	3136	剥片	10	E－007	Hor			11.4	50.8	27.6	10.8	－89790.47	12251.93	117.153	
	3137	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	1.5	16.4	16.9	8.0	－89785.33	12240.60	117.634	
	3140	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	6.9	38.6	20.9	9.0	－89786.80	12247.75	117.276	
	3141	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.7	16.6	13.2	7.0	－89783.60	12240.98	117.698	
	3142	剥片	10	E－006	Ob	AGKT	石器集中部2	1.0	14.8	21.0	3.0	－89796.46	12246.19	116.495	
	3143	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	14.9	40.6	21.8	3.0	－89781.90	12243.17	117.841	
	3144	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	18.1	32.3	45.4	14.2	－89781.92	12245.12	117.935	
	3145	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.9	31.9	13.9	4.0	－89781.63	12242.74	117.803	
	3146	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	8.8	21.0	44.4	10.0	－89784.06	12241.65	117.626	
	3147	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	48.5	86.0	49.7	13.5	－89785.76	12249.71	117.598	
	3148	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	13.8	38.8	33.5	12.6	－89791.57	12244.26	117.066	
	3149	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.6	24.8	15.0	4.0	－89782.11	12243.62	117.862	
	3150	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	5.1	35.3	17.1	7.0	－89782.30	12245.98	117.900	
	3151	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	18.8	38.3	41.7	14.4	－89783.92	12240.94	117.625	
	3153	剥片	10	E－007	Hor			1.1	17.1	14.0	4.0	－89793.87	12253.24	116.970	
	3154	剥片	10	F－007	Hor			1.9	17.6	18.9	6.0	－89786.69	12251.99	117.655	
	3157	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.5	19.9	18.1	4.0	－89783.85	12240.84	117.594	
	3158	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.0	10.0	14.4	4.0	－89782.52	12243.88	117.799	
	3159	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.2	10.0	22.0	5.0	－89785.02	12240.15	117.561	
	3160	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.3	12.7	14.0	1.0	－89784.92	12240.73	117.555	
	3161	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.3	8.0	14.1	1.0	－89783.20	12242.30	117.676	
	3162	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.3	9.0	11.4	4.0	－89783.73	12242.52	117.649	
	3163	剥片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.7	17.4	10.3	7.0	－89783.62	12242.99	117.678	
	3164	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	33.3	44.9	40.5	13.5	－89783.69	12242.98	117.667	
	3165	剥片	9	F－006	FAn		石器集中部2	2.1	27.7	16.0	6.0	－89782.32	12244.54	117.867	
	3167	剥片	9	E－006	Hor		石器集中部2	5.5	30.5	25.2	8.0	－89795.90	12245.25	116.972	
	3168	剥片	9	E－007	Hor			5.2	23.7	25.1	9.0	－89796.34	12250.50	116.966	
	3170	剥片	10	D－006	Ob	SWHD		2.3	23.9	14.2	6.0	－89801.08	12240.69	116.501	
	3208	剥片	10	F－007	Hor			8.4	25.1	36.2	10.5	－89787.96	12251.67	117.467	
	3212	剥片	9	F－007	Hor			0.5	10.9	14.2	2.0	－89780.73	12250.88	118.416	
	3215	剥片	10	G－006	Hor		石器集中部2	0.9	15.2	10.0	5.0	－89779.46	12247.10	118.253	
	3216	剥片	10	F－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.4	14.0	11.8	2.0	－89781.33	12244.84	118.101	
	3219	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	37.3	64.2	30.6	17.3	－89782.18	12244.19	117.868	
	3220	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	28.1	58.7	33.1	13.5	－89782.08	12245.14	117.878	
	3221	剥片	10	F－006	SSh		石器集中部2	52.8	53.2	64.1	29.5	－89783.66	12247.00	117.841	
	3222	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	34.9	48.5	37.5	17.5	－89783.80	12246.93	117.783	
	3223	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	12.8	5.0	2.0	－89784.08	12246.27	117.997	
	3224	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	1.2	13.4	12.8	7.0	－89783.85	12246.23	117.784	
	3225	剥片	10	F－006	SSh		石器集中部2	9.3	35.7	34.2	8.0	－89784.00	12246.07	117.765	
	3227	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.0	19.2	11.0	8.0	－89784.59	12246.02	117.729	
	3228	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.1	26.0	21.0	6.0	－89784.63	12245.96	117.677	
	3230	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	3.2	32.3	21.7	5.0	－89785.16	12245.20	117.647	
	3231	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	4.6	21.0	27.2	6.0	－89786.36	12245.51	117.528	
	3232	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	4.3	27.2	24.7	6.0	－89785.57	12243.70	117.587	S－15
	3233	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	0.5	11.2	10.5	4.0	－89785.92	12243.32	117.512	
	3235	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	0.5	17.0	12.0	3.0	－89785.00	12243.44	117.496	
	3236	剥片	10	F－006	FSS		石器集中部2	1.5	34.6	15.1	3.0	－89785.06	12242.67	117.485	
	3237	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	4.5	35.0	20.8	10.0	－89784.88	12242.50	117.514	
	3238	剥片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	2.2	24.3	15.5	6.0	－89784.78	12242.10	117.572	
	3240	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.5	19.0	14.6	10.0	－89784.46	12241.99	117.754	
	3241	剥片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.9	17.9	12.3	4.0	－89783.62	12241.75	117.691	S－33
	3242	剥片	10	E－006	Hor		石器集中部2	20.2	68.4	25.9	10.7	－89790.90	12248.76	117.064	
	3243	剥片	10	E－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.9	20.3	15.4	3.0	－89790.63	12244.87	117.126	
	3244	剥片	10	E－006	Hor		石器集中部2	3.9	17.7	24.7	10.9	－89790.58	12243.45	117.204	
	3245	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	15.8	42.9	47.9	13.2	－89789.26	12244.62	117.297	
	3246	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	1.4	18.8	19.5	3.0	－89788.40	12245.34	117.343	
	3247	剥片	10	E－007	Hor			10.9	41.2	28.0	9.0	－89791.26	12253.70	117.213	
	3249	剥片	10	F－007	Hor			2.0	18.3	25.9	9.0	－89786.01	12253.87	117.953	
	3252	剥片	10	F－006	FAn		石器集中部2	2.0	16.1	20.5	7.0	－89783.96	12246.31	117.728	
	3254	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	8.9	23.3	33.6	11.2	－89784.36	12242.94	117.610	
	3255	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	1.0	13.3	22.0	5.0	－89784.01	12242.99	117.596	
	3257	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	3.7	32.5	20.5	7.0	－89783.69	12242.50	117.628	
	3258	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	7.2	21.6	27.9	12.4	－89783.83	12242.17	117.644	
	3261	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	1.7	13.5	14.8	7.0	－89784.73	12241.99	117.546	
	3263	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	1.8	25.0	23.3	5.0	－89782.45	12242.75	117.826	
	3265	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	11.4	28.9	19.5	13.4	－89781.51	12241.49	117.798	
	3283	剥片	11a	F－004	Hor		石器集中部1	1.3	21.1	10.7	6.0	－89783.24	12221.56	110.687	
	3284	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	2.7	14.3	30.5	5.0	－89777.66	12222.86	110.926	
	3285	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	3.5	14.9	35.0	7.0	－89777.62	12222.80	110.922	
	3286	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	0.8	12.2	17.0	3.0	－89776.43	12223.81	111.039	
	3287	剥片	09b	G－004	Hor		石器集中部1	1.8	18.3	19.0	5.0	－89776.43	12223.81	111.039	
	3288	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.6	25.1	16.1	5.0	－89781.58	12243.90	118.019	
	3290	剥片	9	F－006	Hor		石器集中部2	2.4	16.0	19.2	4.0	－89783.09	12243.96	117.864	
	3292	剥片	10	F－006	Hor		石器集中部2	0.6	14.6	0.7	4.0	－89783.83	12242.17	117.644	
	3386	剥片	1		Hor			68.1	81.0	47.5	16.8	0.00	0.00	0.000	
	3389	剥片	8	F－004	Hor		石器集中部1	0.7	11.8	11.3	6.0	－89780.22	12220.60	111.484	
	3390	剥片	11a	G－004	Hor		石器集中部1	1.3	28.9	10.0	4.0	－89779.77	12222.60	110.894	
	172	砕片	8	G－004	Ob	不可	石器集中部1	0.1	11.5	11.7	2.0	－89779.61	12221.63	111.386	
	1372	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	7.0	9.0	1.3	－89785.12	12243.63	117.700	
	1981	砕片	8	E－003	Ob	不可		<0.1	－	－	－	－89796.98	12216.11	110.394	
	2017	砕片	09b	F－004	Ob	不可	石器集中部1	0.1	7.2	3.7	3.2	－89780.48	12222.83	111.234	
	2055	砕片	8	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.2	11.2	15.4	3.0	－89781.28	12219.96	111.370	
	2059	砕片	09a	E－003	Ob	AGKT		0.1	11.5	5.0	1.5	－89797.44	12216.92	110.593	
	2288	砕片	8	E－006	Ob	不可		<0.1	－	－	－	－89799.58	12242.36	116.792	
	2328	砕片	09a	G－004	Hor		石器集中部1	0.1	6.0	5.0	3.0	－89777.68	12220.05	111.064	
	2343	砕片	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	11.0	5.0	1.0	－89775.98	12221.13	111.308	
	2354	砕片	09a	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	8.0	11.0	2.0	－89779.45	12219.57	110.998	

図版番号	遺物番号	器種	層位	グリット	石材	Ob産地	遺構名	重量（g）	長さ（mm）	幅（mm）	厚さ（mm）	X座標（m）	Y座標（m）	Z座標（m）	接合
	2356	砕片	09a	G－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.2	11.0	11.1	1.0	－89779.44	12219.89	111.020	
	2359	砕片	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	10.7	13.5	1.0	－89779.15	12220.40	111.321	
	2363	砕片	8	F－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.2	7.0	13.0	1.0	－89780.29	12220.23	111.125	
	2365	砕片	8	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	10.0	5.0	2.0	－89780.28	12219.84	111.181	
	2369	砕片	8	F－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	7.0	14.1	2.0	－89780.67	12220.19	111.046	
	2380	砕片	09a	F－003	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	10.0	8.0	1.0	－89781.40	12219.61	110.953	
	2384	砕片	09a	E－003	Ob	AGKT		0.2	10.6	10.4	3.0	－89798.47	12216.23	110.188	
	2385	砕片	8	E－003	Ob	AGKT		0.1	5.0	10.2	1.0	－89795.89	12215.13	109.828	
	2395	砕片	8	F－004	Ob	不可	石器集中部1	0.1	5.0	7.0	1.0	－89780.08	12220.91	111.424	
	2396	砕片	8	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	12.6	10.1	1.0	－89779.67	12221.04	111.332	
	2398	砕片	8	G－004	Ob	不可	石器集中部1	0.1	7.0	6.0	1.0	－89779.68	12221.08	111.324	
	2399	砕片	09a	F－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	0.1	0.2	1.0	－89780.30	12221.04	111.075	
	2404	砕片	09a	G－003	Ob	AGKT	石器集中部1	0.1	5.0	11.6	3.0	－89779.91	12218.29	110.869	
	2406	砕片	09b	F－004	Ob	不可	石器集中部1	0.1	6.0	8.0	1.0	－89781.23	12221.76	110.947	
	2464	砕片	11a	F－003	Ob	不可		<0.1	7.0	5.0	1.0	－89788.86	12219.49	110.402	
	2475	砕片	09b	F－003	Hor		石器集中部1	0.1	4.0	6.0	1.0	－89783.61	12219.96	110.932	
	2514	砕片	09b	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	0.2	11.5	1.0	2.0	－89778.62	12222.75	111.097	
	2537	砕片	09b	G－004	Ob	AGKT	石器集中部1	0.2	8.0	15.4	2.0	－89778.16	12221.83	110.710	
	2551	砕片	09b	G－004	Ob	SWHD	石器集中部1	0.1	8.0	0.6	1.0	－89779.05	12221.34	110.733	
	2554	砕片	09b	G－004	Ob	WDTY	石器集中部1	0.2	8.0	11.0	1.0	－89778.44	12222.77	110.774	
	2583	砕片	9	E－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	14.7	0.7	2.0	－89792.40	12249.49	117.022	
	2593	砕片	8	F－006	Ob	KZOB	石器集中部2	0.1	12.2	0.6	2.0	－89789.85	12244.08	117.509	
	2594	砕片	8	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.1	10.6	0.7	1.0	－89789.85	12244.16	117.498	
	2595	砕片	8	F－006	Ob	不可	石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89789.45	12244.10	117.540	
	2601	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	0.1	5.0	9.0	2.0	－89788.25	12243.28	117.593	
	2606	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89786.40	12244.04	117.686	
	2607	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	<0.1	8.0	5.0	1.0	－89786.40	12243.89	117.662	
	2611	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	<0.1	4.0	4.0	1.0	－89785.60	12243.13	117.739	
	2617	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	0.1	6.0	7.0	1.0	－89785.23	12244.48	117.584	
	2631	砕片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	6.0	10.4	1.5	－89784.78	12242.38	117.545	
	2635	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	0.2	7.0	8.0	1.4	－89784.96	12241.80	117.596	
	2716	砕片	9	G－006	Hor			0.2	7.0	4.0	1.5	－89774.09	12245.43	118.451	
	2733	砕片	9	F－007	Ob	不可		0.2	11.8	8.4	2.8	－89780.75	12250.91	118.429	
	2753	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89783.02	12245.77	117.987	
	2770	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89781.56	12244.12	117.997	
	2773	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	5.0	4.0	1.0	－89781.77	12244.33	118.045	
	2780	砕片	9	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	15.5	4.0	1.5	－89783.10	12243.87	117.925	
	2782	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89782.76	12243.13	117.927	
	2786	砕片	9	F－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.2	9.0	8.0	2.0	－89783.64	12241.74	117.732	
	2793	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	7.0	8.0	2.0	－89781.76	12242.24	117.879	
	2806	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	4.0	5.0	0.5	－89780.19	12245.55	118.259	
	2812	砕片	9	F－006	Ch		石器集中部2	0.1	11.1	4.0	0.5	－89781.43	12246.82	118.122	
	2813	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	7.0	3.0	1.0	－89783.60	12247.05	118.065	
	2819	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	－	－	－	－89786.41	12243.83	117.652	
	2827	砕片	8	E－007	Hor			0.2	8.0	8.0	1.5	－89795.98	12250.32	117.011	
	2847	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	8.0	11.5	1.5	－89784.03	12242.91	117.736	
	2860	砕片	9	D－006	Hor			0.1	5.0	9.0	1.0	－89800.94	12246.41	116.345	
	2863	砕片	9	D－006	Hor			0.1	6.0	9.0	1.0	－89801.27	12245.68	116.278	
	2866	砕片	8	E－006	Hor			0.2	11.3	7.8	1.5	－89795.87	12249.46	116.965	
	2874	砕片	9	E－007	Hor			<0.1	－	－	－	－89795.50	12251.13	116.916	
	2910	砕片	9	F－006	Ob	不可	石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89783.42	12242.94	117.762	
	2913	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	6.0	7.0	0.4	－89783.41	12244.81	117.886	
	2914	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	5.0	4.0	0.5	－89783.27	12245.06	117.893	
	2925	砕片	9	F－006	Ob	SWHD	石器集中部2	0.1	5.0	7.0	0.5	－89783.07	12246.18	117.950	
	2927	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	1.0	10.5	2.0	－89782.27	12245.77	117.942	
	2940	砕片	9	E－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	8.0	11.5	2.0	－89792.99	12243.81	117.150	
	3004	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	5.0	10.8	1.5	－89784.82	12245.24	117.803	
	3008	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	5.0	6.0	0.5	－89784.40	12246.51	117.770	
	3011	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89784.02	12246.80	117.795	
	3082	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	11.8	5.0	2.5	－89782.63	12245.47	117.882	
	3093	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	－	－	－	－89784.10	12242.68	117.751	
	3107	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89785.69	12246.86	117.578	
	3116	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	10.1	7.5	2.0	－89784.61	12242.24	117.636	
	3117	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	7.0	4.0	0.5	－89784.01	12242.39	117.651	
	3138	砕片	9	E－007	Hor			0.1	－	－	－	－89792.66	12254.82	117.408	
	3152	砕片	10	F－006	Hor		石器集中部2	0.3	9.0	7.0	3.0	－89784.96	12242.29	117.447	
	3156	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89784.26	12242.46	117.608	
	3169	砕片	10	E－007	Ob	不可		0.1	9.0	7.0	0.5	－89790.36	12252.26	117.205	
	3209	砕片	10	F－007	Ob	TSTY		0.2	10.0	8.0	1.5	－89786.65	12251.73	117.639	
	3218	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	10.8	5.0	2.0	－89781.77	12244.31	118.030	
	3226	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89784.52	12246.07	117.738	
	3229	砕片	9	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	6.0	10.5	2.0	－89784.83	12245.31	117.646	
	3234	砕片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	14.0	8.0	1.0	－89785.23	12243.77	117.532	
	3239	砕片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	8.0	6.0	1.0	－89784.57	12242.10	117.511	
	3251	砕片	10	F－006	Ob	不可	石器集中部2	<0.1	－	－	－	－89787.99	12242.07	117.374	
	3253	砕片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	7.0	12.1	1.0	－89784.22	12244.13	117.636	
	3259	砕片	10	F－006	Ob	AGKT	石器集中部2	0.2	9.0	10.0	2.0	－89784.41	12242.00	117.632	
	3262	砕片	10	F－006	Hor		石器集中部2	0.1	7.0	8.0	0.5	－89783.14	12243.11	117.690	
	3266	砕片	10	F－006	Hor		石器集中部2	0.2	1.0	6.0	3.0	－89781.47	12241.50	117.838	
	3282	砕片	09a	F－003	Hor		石器集中部1	0.2	9.0	7.0	2.0	－89780.80	12219.87	110.936	

第４節　縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構と遺物は２層黒色土から９層明褐色土において検出されているが、その大半は４層褐色土と５層黒褐色土からの出土である。後期の遺物のみ３層下位から４層上位にかけてまとまって出土しているが、早期～中期の遺物は複数の層に混在する形で出土しているため、出土層位から時期を判断することは困難であった。そこで遺構に関しては時期ごとではなく種類別にまとめ、包含層出土の遺物に関して土器は時期別に、石器については時期の特定が困難なため器種別に分類して報告する。また、石器集中部については「３　遺構外出土の石器」にて、取り扱うこととする。

１　遺構と遺構出土の遺物

覆土や検出層より縄文時代のものと考えられる遺構は、土坑４基、小穴１基、焼土跡２基である。遺構の大半は段丘上の緩やかな緩斜面上から検出されている。いずれも遺構を構築し使用した時期を特定できるような遺物は共伴していない。

⑴　土坑（第Ⅲ－32図）

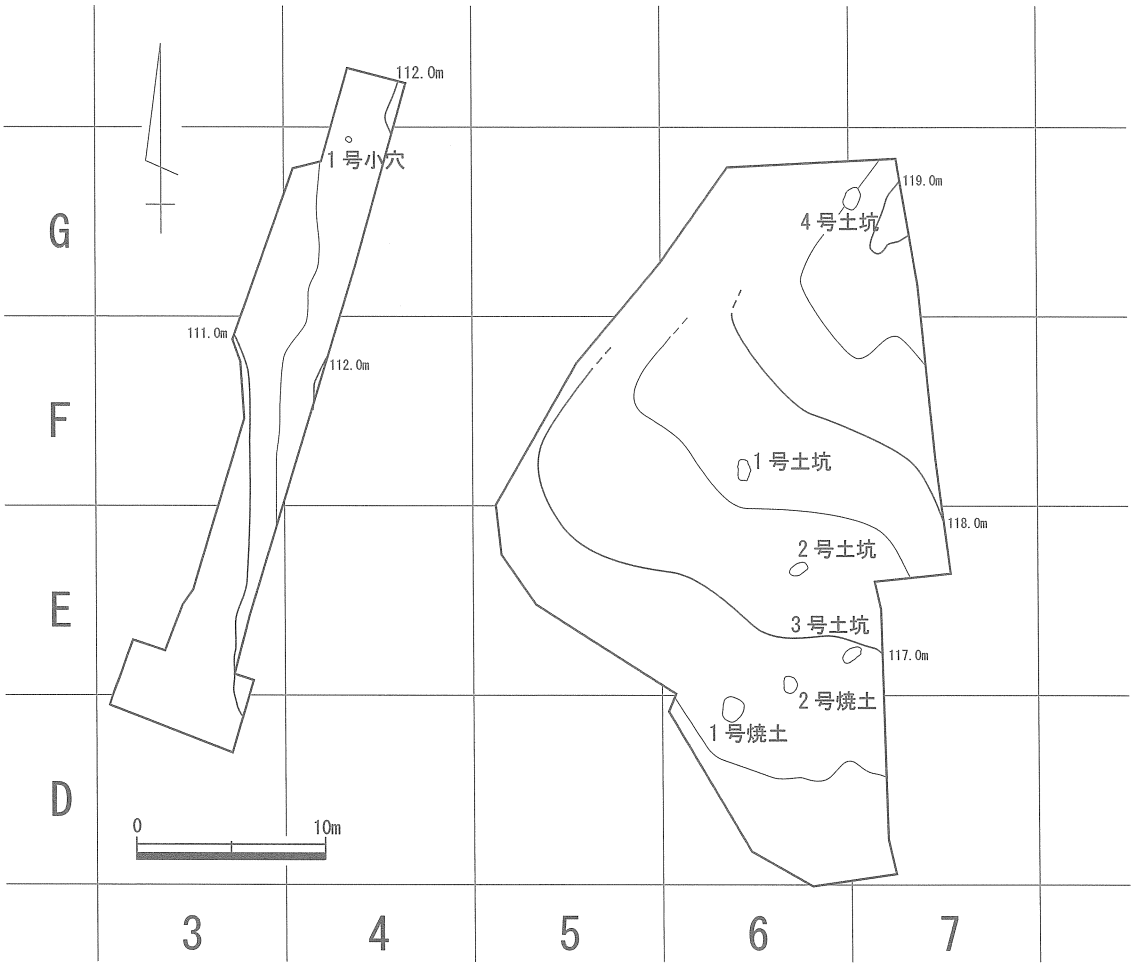
７層黒褐色土上面より４基検出された。平面形態はいずれも、開口部、底部ともに楕円形を呈し、覆土の主体は黒褐色土である。本来の掘り込み面であると考えられる５層黒褐色土もしくは６層黒褐色土との区分が非常に不明瞭であったため、７層黒褐色土上面にて遺構の検出を実施した。１号～３号は、段丘上の中央から南東にかけて分布する。１号の主軸方位が45度近く他の２基とずれるが、段丘面を横断する形で、5.5～６ｍの間隔で配置されている。２号、３号の覆土より、それぞれ天城柏峠群産の黒曜石の剥片や砕片、ホルンフェルスの剥片が出土している。４号は１号から北に14.4m離れた、段丘部の北端に位置する。他の３基に比べやや幅広だが、平面は同規模を呈する。深さはやや浅めであるが、土坑底部が本遺跡の基盤である古富士火山集塊質泥流層に達しているため、それ以上の掘削ができなかったためと思われる。覆土上位より、裏面に条痕による調整が施された縄文時代早期の条痕文系土器の胴部が出土している。検出状況や土坑の規格などから、１～４号の構築時期に時間的差はあまりないと考えられ、いずれも縄文時代早期以前に構築されたものと思われる。

⑵　小穴（第Ⅲ－32図）

谷部にて、６層黒褐色土上面より１基検出された。単独で検出されており、他遺構や遺物との直接的な関連性は見受けられない。平面形態は開口部、底部ともに不正円形で、断面形はＵ字状を呈す。覆土の１、２は大半が赤褐色や黒色のスコリアで占められ、３、４になると土壌を含むようになる。

⑶　焼土跡（第Ⅲ－32図）

掘り込みを持ち、覆土に焼土粒を含むものを焼土跡とした。５層黒褐色土上面より２基検出された。いずれも単独で検出されており、他遺構や遺物との直接的な関連性は見受けられない。平面形態、掘り方ともに不定形で判然としない。覆土に含まれる焼土粒は散漫で、覆土の中央に一部焼土が多量に含まれる部位があるものの、明確な焼成面は伴わない。

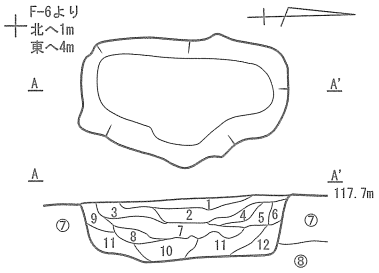


第Ⅲ－31図　縄文時代遺構配置図

第Ⅲ－６表　縄文時代遺構計測表

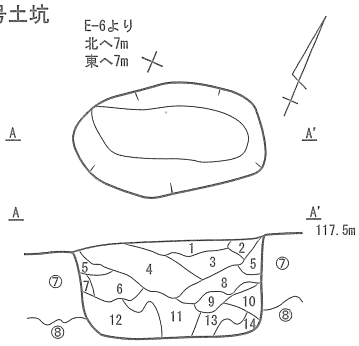
遺構名	検出層位	検出区域（グリッド）	形状	長径（m）	短径（m）	深さ（m）
1号土坑	7層黒褐色土	F－6	楕円形	1.16	0.72	0.36
2号土坑	7層黒褐色土	E－6	楕円形	1.04	0.64	0.55
3号土坑	7層黒褐色土	E－6	楕円形	1.18	0.62	0.49
4号土坑	7層黒褐色土	G－6・7	楕円形	1.22	0.81	0.42
1号小穴	6層黒褐色土	G－4	不正円形	0.34	0.31	0.73
1号焼土	5層黒褐色土	D－6	不定形	1.36	1.08	0.33
2号焼土	5層黒褐色土	E－6	不定形	0.98	0.76	0.36

1号土坑



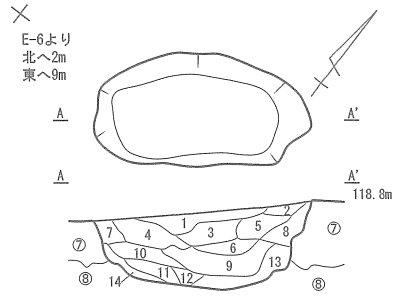
1 暗褐色土　青灰色スコリアを極少量含み、ロームブロックを含む。
2 黒褐色土　黒色スコリアとローム粒を含む。
3 黒色土　ローム粒を少量、炭化物を極少量含む。
4 褐色土　ローム粒を極少量含む。
5 黒褐色土　黒色スコリアとローム粒を極少量含む。
6 褐色土　壁の崩落土。
7 暗褐色土　ローム粒を多量、炭化物を少量含む。
8 暗褐色土　ローム粒を含み、炭化物を極少量含む。
9 褐色土　ローム粒を含み、炭化物を極少量含む。
10 褐色土　黒色スコリアと炭化物を極少量含み、ローム粒を含む。
11 褐色土　炭化物を極少量含む。
12 褐色土　ローム粒と炭化物を含む。

2号土坑



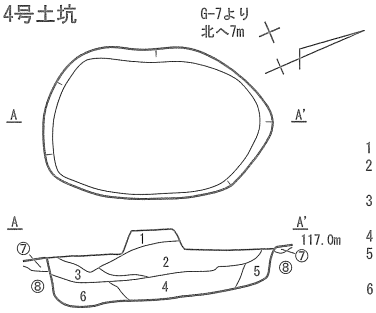
1 黒褐色土　黄色スコリア、ローム粒を少量含む。
2 褐色土　ローム粒を多量含む。
3 黒褐色土　黄色スコリア、炭化物を極少量含む。
4 暗褐色土　ローム粒を多量に含み、φ5mmの小石を含む。
5 褐色土　壁の崩落土。
6 黒褐色土　黒色スコリア、ローム粒を多量に含む。
7 褐色土　黒色スコリアを少量含む。
8 褐色土　黒色スコリアとローム粒を含む。
9 黒褐色土　黒色スコリア、ローム粒を少量含む。
10 暗褐色土　ローム粒を多量に含む。
11 褐色土　ローム粒を多量、炭化物を極少量含む。
12 褐色土　黒色スコリアを極少量、ローム粒を多量、炭化物を極少量含む。
13 11に類似するがロームの粒径が小さくなる。
14 褐色土　ローム粒を含む。

3号土坑



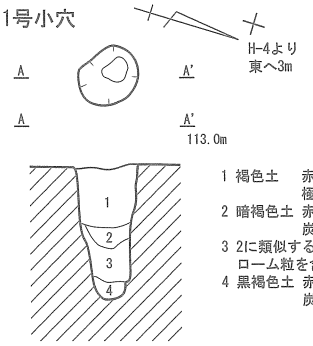
1 暗褐色土　ローム粒と炭化物を少量含む。
2 1に類似するがロームの粒径がやや大きくなる。
3 暗褐色土　黒色スコリアと炭化物を少量含み、ローム粒を含む。
4 黒褐色土　ローム粒を多量、炭化物を少量含む。
5 暗褐色土　ローム粒を含み、炭化物を少量含む。
6 黒褐色土　ローム粒を多量、炭化物を極少量含む。
7 黒褐色土　壁の崩落土。
8 褐色土　壁の崩落土。
9 暗褐色土　ローム粒を含み、炭化物を極少量含む。
10 暗褐色土　黒色スコリアとロームを少量、炭化物を極少量含む。
11 9に類似するがロームの粒径がやや大きくなる。
12 暗褐色土　ローム粒を含む。
13 暗褐色土　壁の崩落土。
14 褐色土　黒色スコリアを極少量含む。

4号土坑



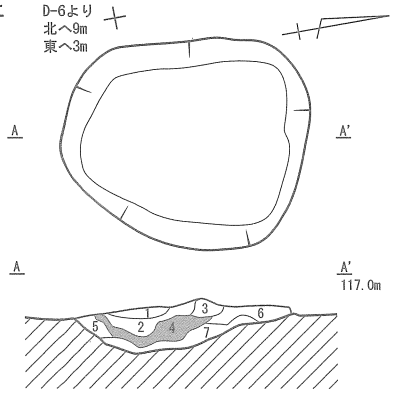
1 褐色土　ローム粒をパッチ状に含む。
2 褐色土　黄色スコリアを極少量、ローム粒を多量に含む。
3 暗褐色土　ローム粒を含み、炭化物を極少量含む。
4 黒褐色土　ローム粒を多量に含む。
5 黒褐色土　ローム粒と炭化物を極少量含む。
6 褐色土　ローム粒と炭化物を極少量含む。

1号小穴



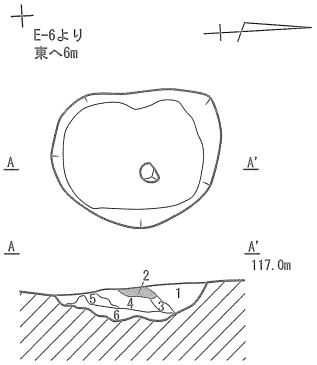
1 褐色土　赤褐色・黒色スコリアを極多量に含む。
2 暗褐色土　赤褐色・黒色スコリアを多量、炭化物を極少量含む。
3 2に類似するが、黒色スコリアが減り、ローム粒を含むようになる。
4 黒褐色土　赤褐色・黒色スコリアを含み、炭化物を極少量含む。

1号焼土

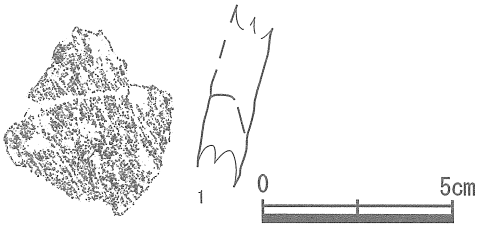


1 黒褐色土　黒色スコリアを極少量含み、焼土を含む。
2 暗褐色土　黒色・黄色スコリアと炭化物を極少量含み、焼土を含む。
3 1に類似するが、土色の褐色味がやや強く、焼土が減少する。
4 褐色土　黒色・黄色スコリアを極少量、焼土を多量に含む。
5 4に類似するが、焼土の量がやや少なくなる。
6 黒褐色土　黒色・黄色スコリアと焼土を極少量含む。
7 黒褐色土　黒色スコリアと炭化物を極少量、焼土を少量含む。

2号焼土



1 黒褐色土　黄色スコリアと焼土を多量に含み、炭化物を含む。
2 極暗褐色土　炭化物を多量、焼土を極多量に含む。
3 黒褐色土　黄色スコリアと炭化物を極少量含み、焼土を含む。
4 2に類似するが、炭化物と焼土がやや少なく、ローム粒を含むようになる。
5 黒褐色土　黒色スコリア、焼土、炭化物を含む。
6 褐色土　黄色スコリアと焼土を極少量含む。



第Ⅲ－32図　土坑・小穴・焼土跡と土坑出土遺物

２　遺構外出土の土器

下高原遺跡から出土した土器の総点数は314点と僅少なうえ、その大半が小破片である。縄文時代早期前半押型文土器～後期前半堀之内式土器までの資料が出土しており、早期後半の土器群が総数の67％を占めることから、出土量的には当遺跡の主体的な時期であったといえる。出土層位は２層黒色土～９層明褐色土となっており、標高的にも３m近いレベル差をもっているが、その大半は４層褐色土から６層黒褐色土にかけて出土している。平面的には遺構同様、段丘上の緩やかな緩斜面上からの出土が大半で、谷部からの出土はごくわずかである。土器が密集して出土するような範囲は存在せず、分布は散漫であるが、比較的段丘部南側に集中する傾向がある。同地点の同層位、同レベルに混在する形で第Ⅰ群～第Ⅳ群すべての土器が出土しているため、出土層位から時期を判断することは不可能であった。よって、ここでは出土土器について文様などの特徴から分類を行い、大まかな時期ごとに群別した。分類は以下のとおり。

第Ⅰ群　早期の土器群
　Ａ類　押型文土器群とそれに伴うもの
　Ｂ類　清水柳Ｅ類土器
　Ｃ類　野島式土器
　Ｄ類　その他条痕文土器
　Ｅ類　Ａ～Ｄに併行する早期の土器
第Ⅱ群　中期の土器
　Ａ類　加曽利Ｅ式土器
第Ⅲ群　後期の土器
　Ａ類　堀之内２式土器
第Ⅳ群　時期不明の土器
　Ａ類　縄文
　Ｂ類　沈線文
　Ｃ類　無文

(1)　第Ⅰ群　早期の土器群（第Ⅲ－36図１～第Ⅲ－38図34）

Ａ類　押型文土器群とそれに伴うもの（第Ⅲ－36図１～10）

Ａ類１種　山形文が施文される押型文土器

押型文土器の前半期に属すると考えられるもので、いずれも密接に施文されている。１～４は山形文が変形したもので、同一個体の可能性が高い。棒軸に横に３本の凹線を印刻し、その間に半単位ずつずらした山形文を印刻した原体を用いて横位に施文する。そのため、直線をまたいで横位の山形が「×」状に施文されているように見える。胎土は繊維と白色のデイサイト粒を少量含む。また、気泡状の小孔が確認でき、比重が軽い印象を受ける。２～４の器面の色調はやや紫色を帯びている。表裏とも平滑に整形されており、凹凸が少ない。酷似した原体にて施文された土器が、富士宮市の若宮遺跡より出土している。５は縦位の山形文である。胎土や器面は１～４に類似する。

Ａ類２種　縄文土器

Ａ類１種に伴うと考えられる縄文土器を本類とした。外面と口縁部内面に縄文が施されるもので、一個体（６）出土している。口縁部はわずかに外反しながら直線的に立ち上がり、口端は篦状の工具により平坦に整形されている。外面にはＬＲの縄を口縁直下は縦回転にて、その下はＬＲの縄が横回転にて施文される。内面には口縁直下にのみＬＲの縄が横回転されている。胎土はＡ類に近いが、繊維と白色

のデイサイト粒が少量になる。気泡状の小孔が確認でき、器面には細かいクラックがはしる。比重は軽い印象を受ける。

Ａ類３種　楕円文が施文される押型文土器

明確な帰属時期が判らない押型文土器で、砂質な胎土を有し、楕円文が横位に密接施文される。７はやや菱型気味の楕円が、隣接する条の楕円と並列した配置で規則的に施文されている。胎土に繊維を含まず、デイサイトなどの砂粒を多量に含む。８は縦に細長い楕円文が、不規則的に施されている。胎土に繊維を含み、デイサイト質の砂粒を少量含む。

Ａ類４種　不明土器

原体が判然としない土器である。９は原体不明の撚糸文土器である。破片のため正確な施文域は不明であるが、胴部下側は無文域となっている。施文が浅く圧痕の形状が判然としないが、網目状撚糸文の可能性も考えられる。胎土に繊維を含み、デイサイト質の砂粒を多量に含む。10は底部付近の破片である。風化が激しく圧痕の形状が判然としないものの、かすかに残る圧痕が７と同形大で胎土も非常に類似していることから、同一個体である可能性も高い。

Ｂ類　清水柳Ｅ類土器（第Ⅲ－36図11～14）

外面上半部に絡条体圧痕文を有する土器を本類とした。11～13は棒軸に細いＲの撚り紐を巻きつけた絡条体を原体に用いて横位多段に施文する。11、13は胴部内面に調整による横方向の擦痕が確認できる。繊維と白色のデイサイト粒を含み、やや砂質な印象を受ける。14は細隆起線文によって口縁部および口縁部文様帯を斜方向に区画した後、口縁部は斜方向、文様帯は左側内部のみ格子目状に沈線にて施文する。破片資料のため、口縁部文様帯内部の無文部と施文部の関係は明確ではないが、おそらく細隆起線文によって平行四辺形状の区画を作り、施文部と無文部が交互に配されていたと考えられる。残存する破片内には絡条体圧痕文が確認できないが、熱海市の大越遺跡などの類例から格子目状の沈線の下に絡条体圧痕文が入る可能性が高いため本類とした。

Ｃ類　野島式土器（第Ⅲ－36図15～第Ⅲ－37図18）

野島式土器に比定されると考えられる土器で、15～18がこれに該当する。同部上半に細隆起線文や沈線によって格子目や菱型などの幾何学的な文様を描くものである。いずれも口縁部はわずかに外反しながら直線的に立ち上がる。胎土はいずれも繊維や白色のデイサイト粒などを多く含む。15、17は他に比べ砂質である。文様構成からさらに２種にわけて報告する。

Ｃ類１種　沈線文＋細隆起線文（15、16）

15は緩やかな波状口縁を呈する土器である。口縁部と頸部に細隆起線文を各２条廻らせ、これを連結するように縦にも２条の細隆起線文を施して方形の区画を作出したもので、区画内及び頸部下には不規則的に細沈線を縦・斜位方向に充填している。また、口唇部および口縁部と頸部にかけて廻らされた細隆起線文には、さらに縦に細かくやや太めの隆起線が貼付けられ梯子状になっている。16は鋸歯状工具により斜位の細沈線を施し、その上から太く浅い沈線にて施文している。細隆起線文上の下半分には同鋸歯状工具による列点状の刺突がある。

Ｃ類２種　沈線文（17、18）

17は２本１対の竹管状工具による沈線で格子目状に施文したものである。18は文様帯と無文部分の境に緩い屈曲部を１段有する土器である。出土破片がいずれも砕片のため復元ができず文様構成などは不明であるが、条痕による縦位の調整痕が明瞭に残る表面に、太い丸棒状工具による縦・斜位の浅い沈線や篦状工具による刺突文が施文されている。器面内部にも横位の条痕による調整痕が明瞭に残っている。胎土には白色岩片や小礫などを多く含み、気泡状の小孔も多い。器面には細かいクラックがはしるが、硬質な印象を受ける。沈線と沈線の間に刺突があるものがみられないため本類とした。

第Ⅲ－33図　縄文時代土器分布図

第Ⅲ－34図　第Ⅰ群土器分布図

Ｄ類　無文・条痕文土器（第Ⅲ－37図19～第Ⅲ－38図32）

条痕文や擦痕文のみが施されている土器で、Ａ～Ｃ類に伴う無文部位と考えられる。特徴に乏しく型式や帰属時期が明らかにできないため本類に一括した。19、20は繊維を含まず、デイサイト粒や赤色粒子などを多く含み、土器の内外面に擦痕が残るものである。器面には多量の気泡状の小孔やクラックが確認できる。19の土器は非常に脆く、皮がめくれるかの様に板状に剥落して割れている。器面には丁寧な整形が施されており、含有物が多い割に砂質な印象は受けない。比重は軽い印象を受ける。調整、器厚、比重などから、Ａ類に伴う可能性が考えられる。34は胎土や色調、割れ方が33に類似するが、33ほど脆くはなく、器面に擦痕がはっきりと残る。21～31は繊維を含み、土器の内外面に条痕や擦痕が残るものである。21は厚手で繊維が多く含まれ、内外面ともに横位に近い角度で条痕が施されている。22は器厚がやや薄く、繊維の含有も少ない。23～25は厚手で繊維を多く含み、内面に残る条痕の痕跡が明瞭である。胎土がＢ類に類似しており、この無文部位と考えられる。27～29は厚手で、繊維の含有量が少量になり、白色デイサイトを多量に含み、砂質である。30、31は底部付近の破片であるが胎土がＣ類１種に類似しており、この無文部位と考えられる。32は底部付近の破片である。薄手で繊維の含有量が多い。

Ｅ類　早期の不明土器（第Ⅲ－38図33、34）

胎土や器面の調整などから早期と考えられるが、帰属先が不明である土器を本類に一括した。33、34は胎土が異なるものの、内外面ともに凹凸なく平滑に整形されている。33は条間が開いており、条の上部に粘土の盛り上がりが確認できることから、原体を転がすのではなくＲＬの縄文を押しつけて施文したと考えられる。繊維は含まないが、デイサイトなどの砂粒を多量に含む。施文、焼成は異なるものの、Ａ類３種の７の胎土に類似している。また、その他Ａ類と同様、器面は内外面とも平滑に整形されており、器厚もⅡ～Ⅳ群に比べ薄い。34はＲＬの縄文が無文部を残して施文されている。繊維とデイサイト質の細かな砂粒を多く含む。器面は内外面とも平滑に整形される。

⑵　第Ⅱ群　中期の土器

Ａ類　加曽利Ｅ式土器（第Ⅲ－38図35）

加曽利Ｅ式土器に比定されると考えられるもので、１個体出土している。口縁部はやや内傾しているもののほぼ直線的に立ち上がり、頸部はくびれる。口唇部および口縁直下から頸部にかけてＲＬの縄文を縦・横位に異方向で転がした後、波状や縦位の太く浅い沈線にて施文する。頸部以下は無文である。厚手で、白色粒子と雲母を多く含む。いずれも破片で形態、施文の詳細がつかめないため、細別型式は不明である。

⑶　第Ⅲ群　後期の土器

Ａ類　堀之内２式土器（第Ⅲ－38図36）

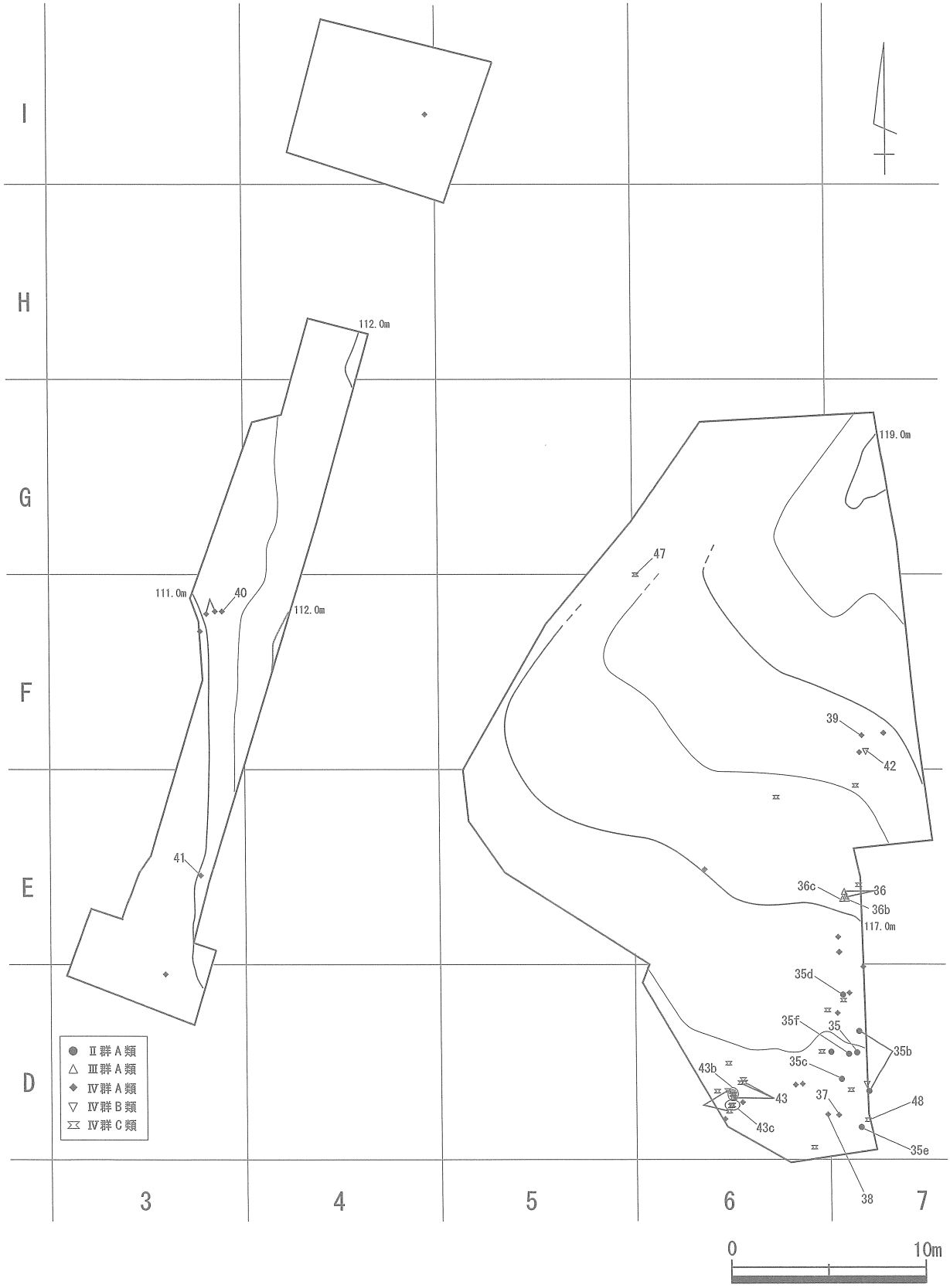
54～56は縦位に垂下する文様が描出されるもので、１個体出土している。いずれも器面の調整は表裏とも丁寧に行われている。色調は橙色を呈し、胎土には白色岩片や小礫などを含む。

⑷　第Ⅳ群　時期不明の土器

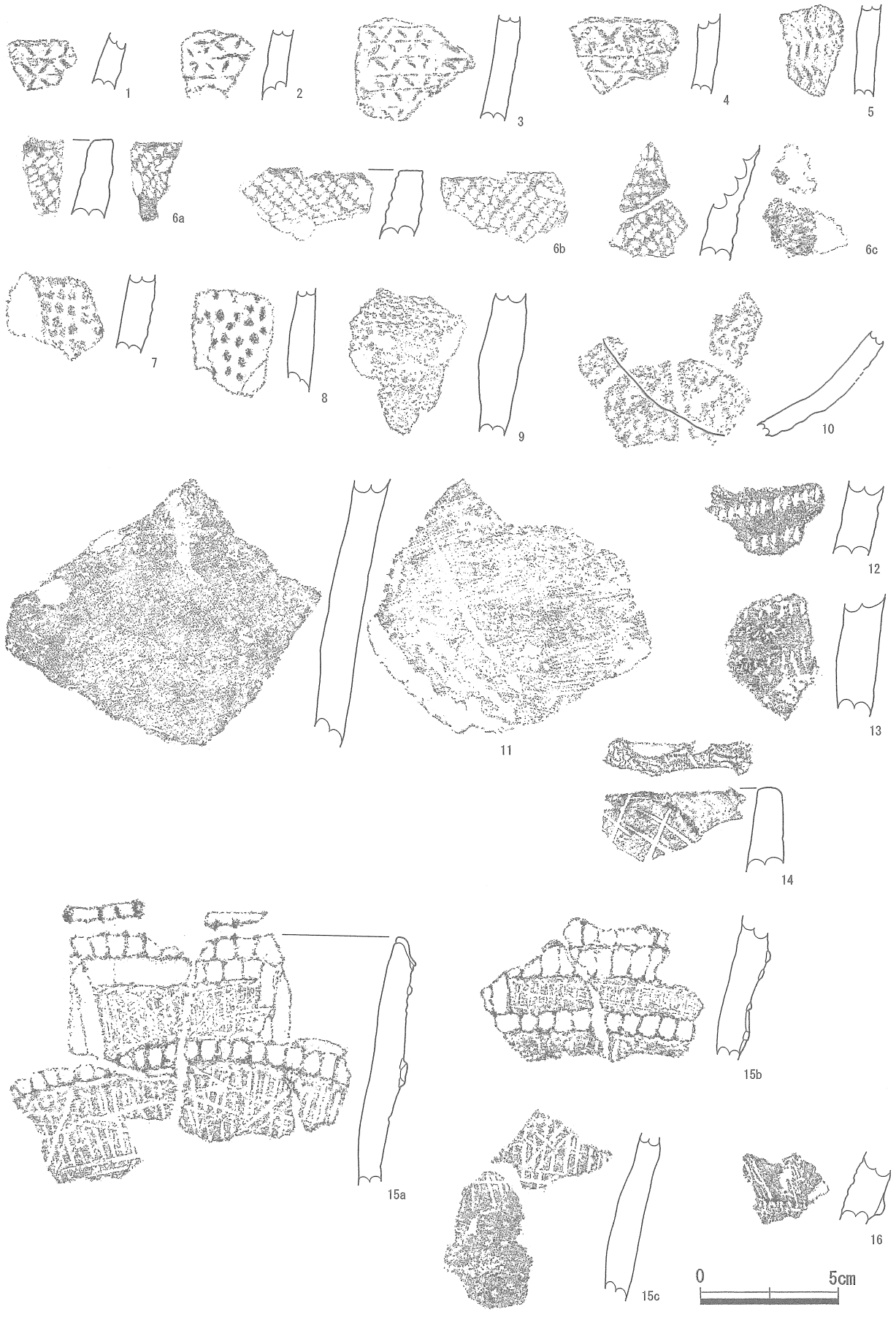
帰属時期が不明である土器を本群に一括した。

Ａ類　縄文土器（第Ⅲ－39図37～41）

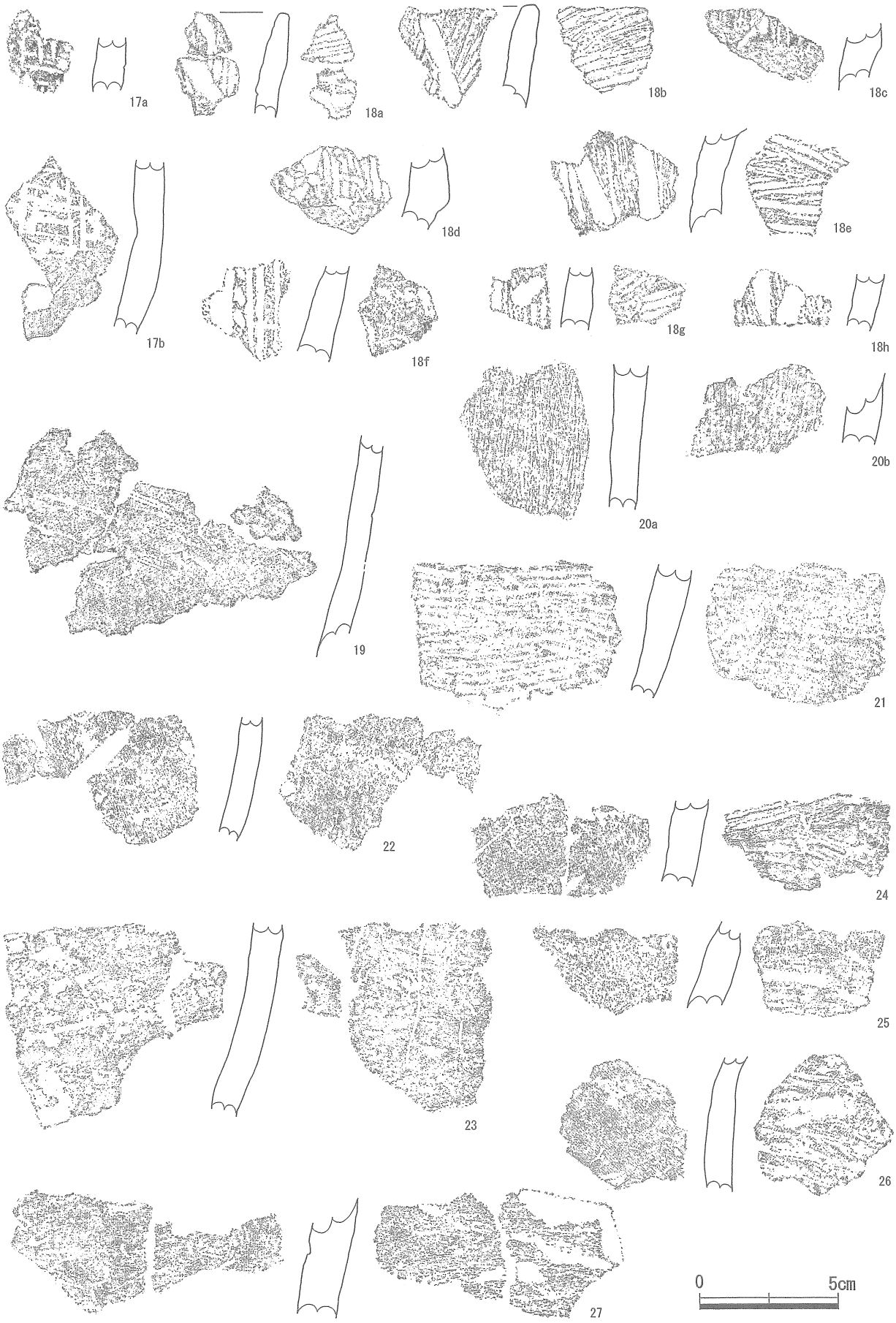
37、38はＬＲの縄文が無文部を残して横位に施文される。厚手で白色粒子や石英、雲母を多量に含み、砂質である。39は底部付近の破片で器面には細かいクラックがはしる。ＲＬの縄文を横位に施文する。40は器厚がやや薄く、砂粒を多く含むが硬質な印象を受ける。ＬＲの縄文を斜め方向に回転した後に太く浅い沈線にて施文する。41は器厚がやや薄く白色岩片を多く含む。ＲＬの縄文を横から斜め方向に回転して施文する。



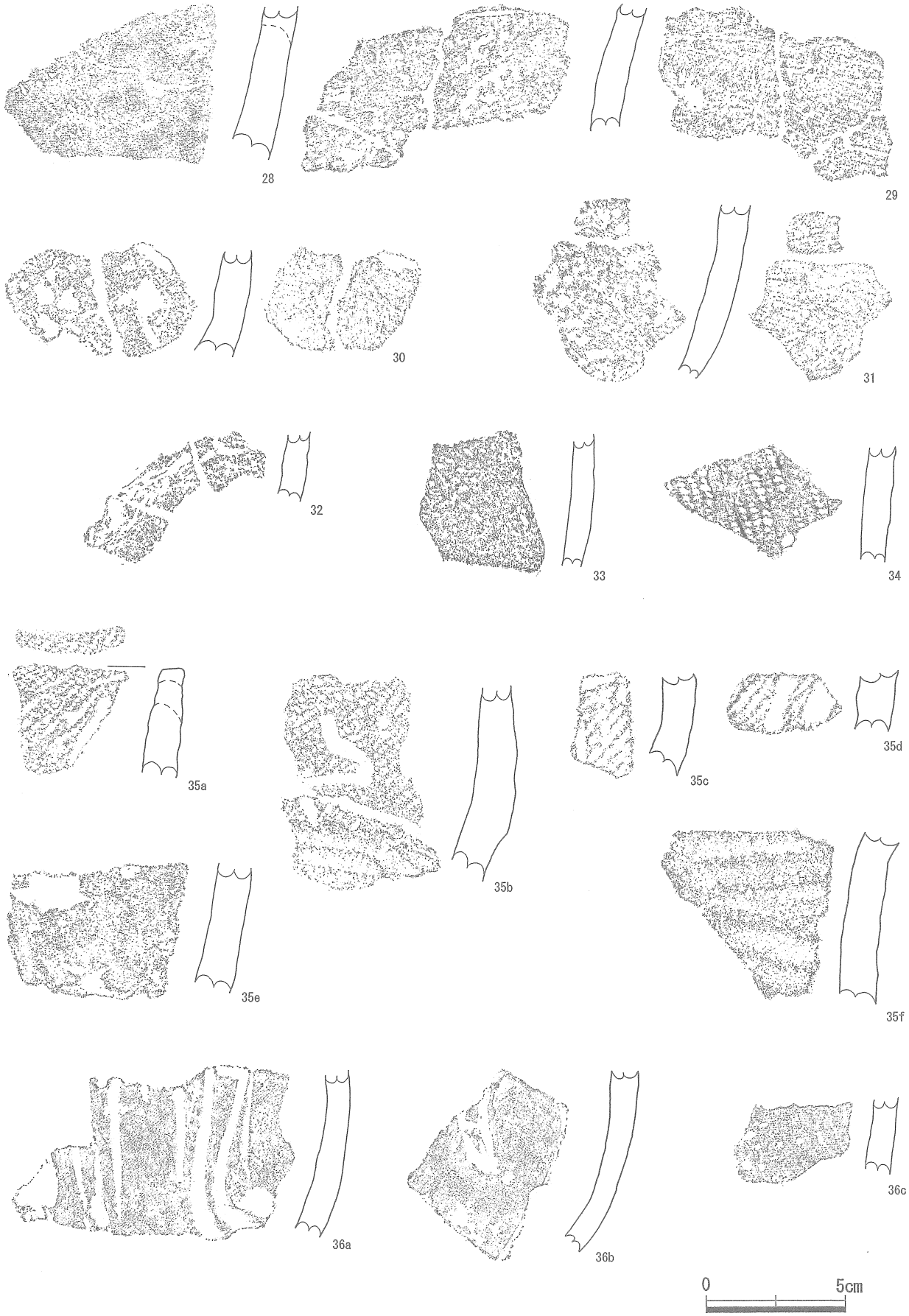
第Ⅲ－35図　第Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ群土器分布図



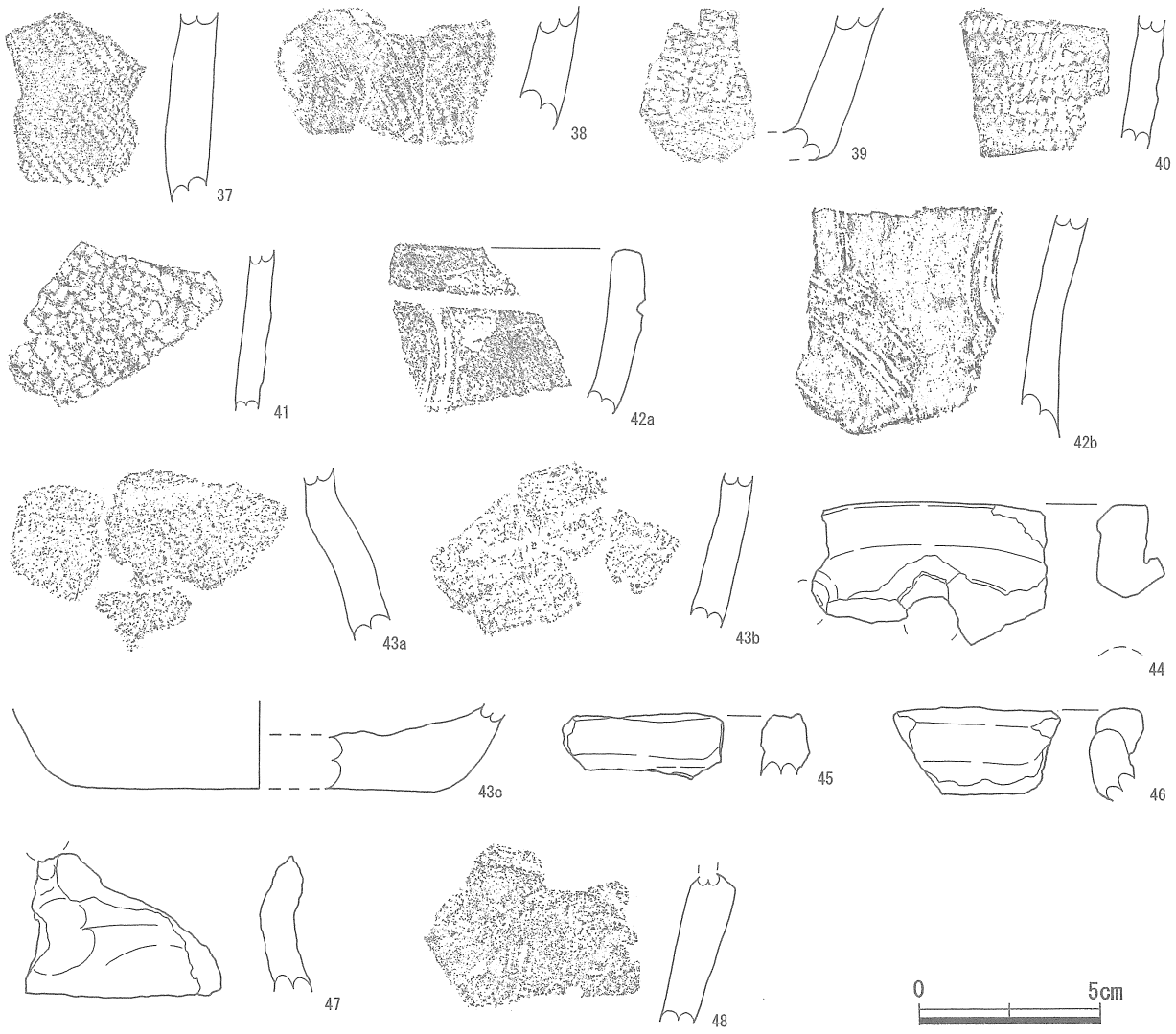
第Ⅲ－36図　第Ⅰ群Ａ・Ｂ・Ｃ類土器



第Ⅲ－37図　第Ⅰ群Ｃ・Ｄ類土器



第Ⅲ－38図　第Ⅰ群Ｄ・Ｅ類　第Ⅱ群・第Ⅲ群土器



第Ⅲ－39図　第Ⅳ群土器

Ｂ類　沈線文土器（第Ⅲ－39図42、43）

42は口縁部にやや太めの沈線を１条廻らせ、それより細い沈線にて孤状の模様が施文される。施文は整形後に施されるが、施文後に再度磨いて仕上げている。色調はにぶい黄褐色を呈し、胎土には白・黒色粒子などの砂粒を多く含む。43は42と同型式と考えられる胴部片で、同じ文様構成をもつ。

Ｃ類　無文土器（第Ⅲ－39図44～49）

44は無文の鉢形土器である。口縁部は欠損しているが、44ａの破片上部に屈曲部が確認できることから、口縁は口縁部先端で器厚を薄くしながら外反していると考えられる。色調は橙色を呈し、胎土には繊維を含まず、白・赤色粒子などの砂粒を多く含む。45～49の色調は橙色を呈し、器面の調整は表裏とも丁寧に行われている。繊維を含まず、白色粒子などの砂粒を多く含むもので、同一時期のものと考えられる。45は直径1.3㎝前後の穿孔が、1.5㎝間隔で２か所あけられている。孔は内部より穿たれており、穿孔後内面を丁寧に整形している。注口とも考えられるが、近接して２ヶ所あけられており、穿孔部周縁の張り出しも弱いことから確定し難い。破片１点の出土であるため、形態は不明である。48は形態不明の土器である。破片上部が45度近くひねられたような形状を呈する。破片下部のひねりのない部分は、内外面の調整が丁寧に施されているが、ひねられたような形状を呈する破片上部は内外面ともに整形が粗いため口縁とは考え難い。注口部とも考えられるが、破片のため器形の確証が得られず、確定できない。

第Ⅲ - ７表　縄文時代包含層出土土器観察表

挿図番号	グリッド	層位	時期	分類	色調	胎土	焼成	文様調整等
1	E－006	5	早期	ⅠA1	2.5Y 5/1	赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維少	良	外面に変形山形文を横位に密接施文
2	E－006	5	早期	ⅠA1	10YR 6/3	赤色、黒色粒子少、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に変形山形文を横位に密接施文
3	E－006	5	早期	ⅠA1	10YR 6/3	赤色、黒色粒子少、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に変形山形文を横位に密接施文
4	E－007	6	早期	ⅠA1	10YR 5/3	赤色、黒色粒子少、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に変形山形文を横位に密接施文
5	E－006	6	早期	ⅠA1	2.5Y 3/1	赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に山形文を縦位に密接施文
6	D－006	5 6	早期	ⅠA2	10YR 3/3	赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	LRの縄文を口縁内面は横回転にて、外面は縦・横回転にて施文。
7	D－006	5	早期	ⅠA3	10YR 5/4	石英少、輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	横位に楕円文を施文
8	F－006	6	早期	ⅠA3	5YR 6/6	石英、輝石少、黒色、白色粒子、白色岩片少、繊維	良	横位に楕円文を施文
9	D－007	6	早期	ⅠA4	10YR 6/4	石英、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	原体不明
10	E－006	5	早期	ⅠA4	10YR 6/4	石英少、輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	原体不明
11	G－007	5	早期	ⅠB	5YR 6/8	石英、輝石少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面にRの絡状体圧痕文、内面に擦痕
12	G－007	5	早期	ⅠB	5YR 4/4	石英少、輝石少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面にRの絡状体圧痕文
13	G－007	6	早期	ⅠB	5YR 4/6	石英少、輝石少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面にRの絡状体圧痕文、内面に擦痕
14	－	1	早期	ⅠB	5YR 5/6	石英少、輝石少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	口縁部外面に細隆起線文を斜位に張付け、格子目状の沈線で充填
15	E－006 D－007	4 5	早期	ⅠC1	5YR 5/6	石英、輝石少、黒色粒子、白色粒子多、白色岩片、繊維	良	口縁部外面に細隆起線文を縦・横位に張付け区画、格子目状の細沈線にて区画内と頸部を充填、内面に擦痕
16	E－006	4	早期	ⅠC1	2.5YR 5/8	石英、輝石、赤色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に斜位の細沈線＋太沈線、内面に条痕
17	F－007	5	早期	ⅠC2	5YR 5/6	石英、輝石少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に格子目状の沈線
18	E－006 F－007 G－007	4 5 6	早期	ⅠC2	5YR 5/6	石英、輝石、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	外面に太い沈線＋刺突、内外面に条痕
19	E－003	6	早期	Ⅰd	10YR 5/3	石英、輝石少、赤色、白色、黒色粒子	良	無文、内外面に擦痕
20	D－006	5	早期	Ⅰd	10YR 5/4	石英、輝石少、赤色、白色、黒色粒子、白色岩片	良	無文、内外面に擦痕
21	G－007	5	早期	Ⅰd	7.5YR 5/6	石英、輝石、赤色、白色粒子少、白色岩片、繊維	良	内外面条痕、外面にスス状のもの付着
22	D－007	5	早期	Ⅰd	7.5YR 5/4	輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に擦痕
23	E－006	5	早期	Ⅰd	7.5YR 6/6	輝石、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に条痕
24	E－003	5	早期	Ⅰd	5YR 5/6	石英、輝石少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に条痕
25	F－007	4	早期	Ⅰd	5YR 5/8	石英、輝石少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に条痕
26	E－006	3	早期	Ⅰd	7.5YR 5/6	輝石少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に条痕、頸部？
27	E－006	4	早期	Ⅰd	5YR 5/6	石英、輝石、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に擦痕
28	I－004	5	早期	Ⅰd	5YR 5/6	石英、輝石、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に擦痕
29	D－006	5	早期	Ⅰd	5YR 5/6	石英、輝石、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に条痕
30	D－006	4	早期	Ⅰd	5YR 5/8	石英、輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に擦痕
31	D－007	4	早期	Ⅰd	5YR 5/8	石英、輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維	良	無文、内面に擦痕
32	D－006	6	早期	Ⅰd	5YR 6/6	石英、輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片、繊維多	良	無文、内面に擦痕
33	D－006	5	早期	ⅠE	10YR 5/2	輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片少、砂質	良	外面にRLの縄文を押圧
34	D－007	6	早期	ⅠE	10YR 7/4	赤色、黒色、白色粒子、白色岩片少、繊維	良	外面に横方向のRLの縄文
35	D－007	4 5	中期	ⅡA	2.5YR 4/6	石英多、輝石多、雲母、白色粒子	良	口唇部と文様帯の地文に縦・横方向のRLの縄文、外面に波状＋縦位の太い沈線
36	E－007	3 4	後期	ⅢA	5YR 6/6	石英、輝石少、赤色、白色、黒色粒子、白色岩片	良	外面に曲線的に垂下する縦位の沈線

挿図番号	グリッド	層位	時期	分類	色調	胎土	焼成	文様調整等
37	Ｄ－007	5	不明	ⅣA	5YR 5/6	石英多、輝石、雲母、砂質	良	外面に横方向のLRの縄文
38	Ｄ－006	4	不明	ⅣA	5YR 5/8	石英多、輝石、雲母、砂質	良	外面に横方向のLRの縄文
39	Ｆ－007	4	不明	ⅣA	5YR 5/6	石英少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片	良	外面にRLの縄文、底部（平底）
40	Ｆ－003	3	不明	ⅣA	5YR 6/8	石英、輝石少、黒色、白色粒子、白色岩片	良	外面に斜方向のLRの縄文＋太い沈線
41	Ｅ－003	5	不明	ⅣA	5YR 4/6	石英多、雲母少、黒色粒子少、白色粒子多、白色岩片多	良	外面に横・斜方向のRLの縄文
42	Ｆ－007 Ｄ－007	3 4	不明	ⅣB	10YR 7/6	石英、輝石少、赤色粒子少、黒色、白色粒子、白色岩片	良	口縁部外面廻る1条の沈線＋弧状の細沈線
43	Ｄ－006	4	不明	Ⅱ4	10YR 5/4	石英少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片	良	無文、裏面に条痕文？、底部（平底）
44	－	1	不明	ⅣC	5YR 6/6	石英、輝石少、雲母少、赤色、黒色、白色粒子	良	口縁部に2ヶ所の穿孔
45	－	1	不明	ⅣC	7.5YR 7/4	石英、輝石少、雲母少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片少	良	口縁部
46	－	1	不明	ⅣC	5YR 6/8	石英、輝石少、雲母少、赤色、白色粒子、白色岩片	良	口縁部
47	Ｆ－006	8	不明	ⅣC	5YR 6/8	石英、輝石少、雲母少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片	良	無文、破片上部が45度近くひねられる
48	Ｄ－007	5	不明	ⅣC	橙色	石英、輝石少、雲母少、赤色、黒色、白色粒子、白色岩片	良	無文

３　遺構外出土の石器

包含層から出土した石器の総点数は1,639点で、この内1,473点が石器の製作や調整などに伴い副次的に作出された石核や剥片類で、166点が道具として使用されていたと考えられる石器である。石器の内訳は敲石・磨石類や石皿・台石などの植物質食料の加工に利用されたものが32％、未製品含め狩猟具である尖頭器や石鏃が19％となっており、採集・狩猟に関連した石器がその大半を占めている。剥片石器には９種類の石材が用いられているが、黒曜石（63％）とホルンフェルス（26％）がその大半を占めており、本遺跡で使用される石材のほとんどがこの２石材となっている。また、黒曜石はトゥールと石核を中心に産地分析を行った結果、天城柏峠群産の黒曜石を用いたものが44％と最も多く、諏訪星ヶ台群産が30％、神津島恩馳島群産が16％とこれに続く。

出土層位は２層黒色土～７層黒褐色土にかけてで、標高的には２ｍ以上のレベル差をもっている。その大半は５層黒褐色土と６層黒褐色土からの出土で、土器が主体的に出土するレベルよりもやや低い位置から出土する遺物が多い。段丘部には剥片類が集中する範囲が存在し、石器の製作や調整が行われていたことが窺えるが、明確な時期は不明である。集中部以外の石器も、縄文時代の遺物が出土する層にナイフ形石器をはじめ旧石器時代の遺物が混在しているため、層位をもって帰属する時代を判断することは難しい。また、土器の出土状況が前述したとおりであるため、共伴関係から時期を判断することも不可能である。そこで、器種や技術形態、石材、接合関係や母岩別分類などをもって分離することが可能な遺物は各時代に振分け、困難なものについては出土層位をもって振分けた。よって、縄文時代に帰属させた石器の中にも旧石器時代のものが未だ含まれている可能性がある。本報告では、石器を時期別でなく器種別にて報告し、末尾にて石器集中部の概要について述べることとする。

(1)　石器

尖頭器（第Ⅲ－43図１～３）

４点出土しており、そのすべてを図化した。１、２は細身の柳葉形を呈する両面調整尖頭器である。２、４は基部欠損。１は先端と基部を欠損しているが、本来は１、２同様柳葉形を呈していたと考えられる。形状が細身で、他の尖頭器と同じ縄文時代の包含層である７層からの出土であるため縄文時代の遺物として扱ったが、片面調整の尖頭器であることから旧石器時代の遺物である可能性も高い。１、２はホルンフェルス製、３は珪質頁岩製、４は蓼科冷山群の黒曜石製である。

有茎尖頭器（第Ⅲ－43図４、５）

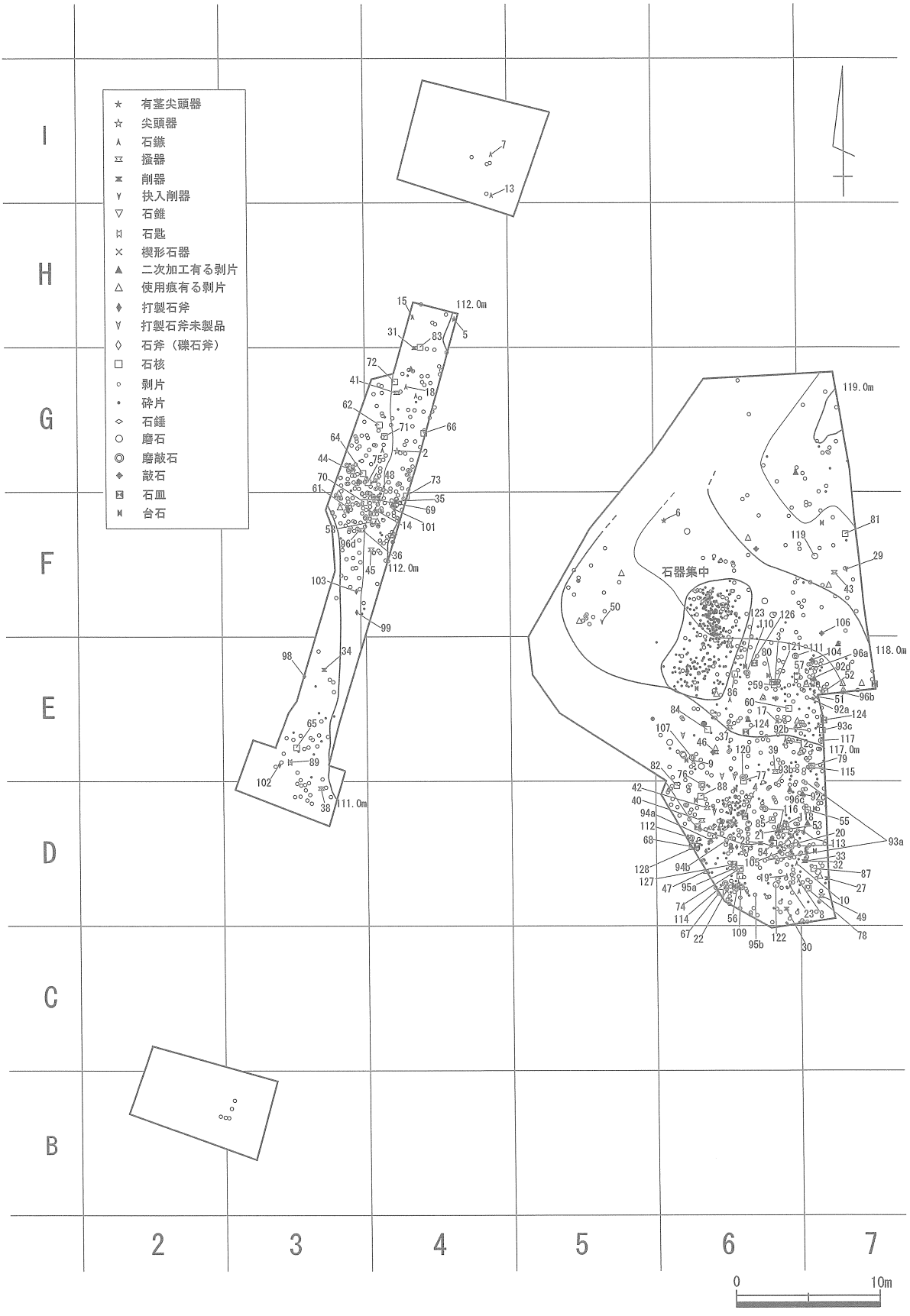
２点出土しており、そのすべてを図化した。５はホルンフェルス製で風化が著しい。茎の作り出しは明瞭である。身部の大半を欠損しているが、本来は長身であったと考えられる。６は単身で茎部が逆三角形を呈するもので、珪質頁岩製。有茎石鏃とも考えられるが、身部の縁辺が鋸歯状を呈すること、出土層位が縄文層の上位でなく旧石器の遺物が出土する下位の層からの出土であるため有茎尖頭器と考えた。

石鏃（第Ⅲ－43図７～23）

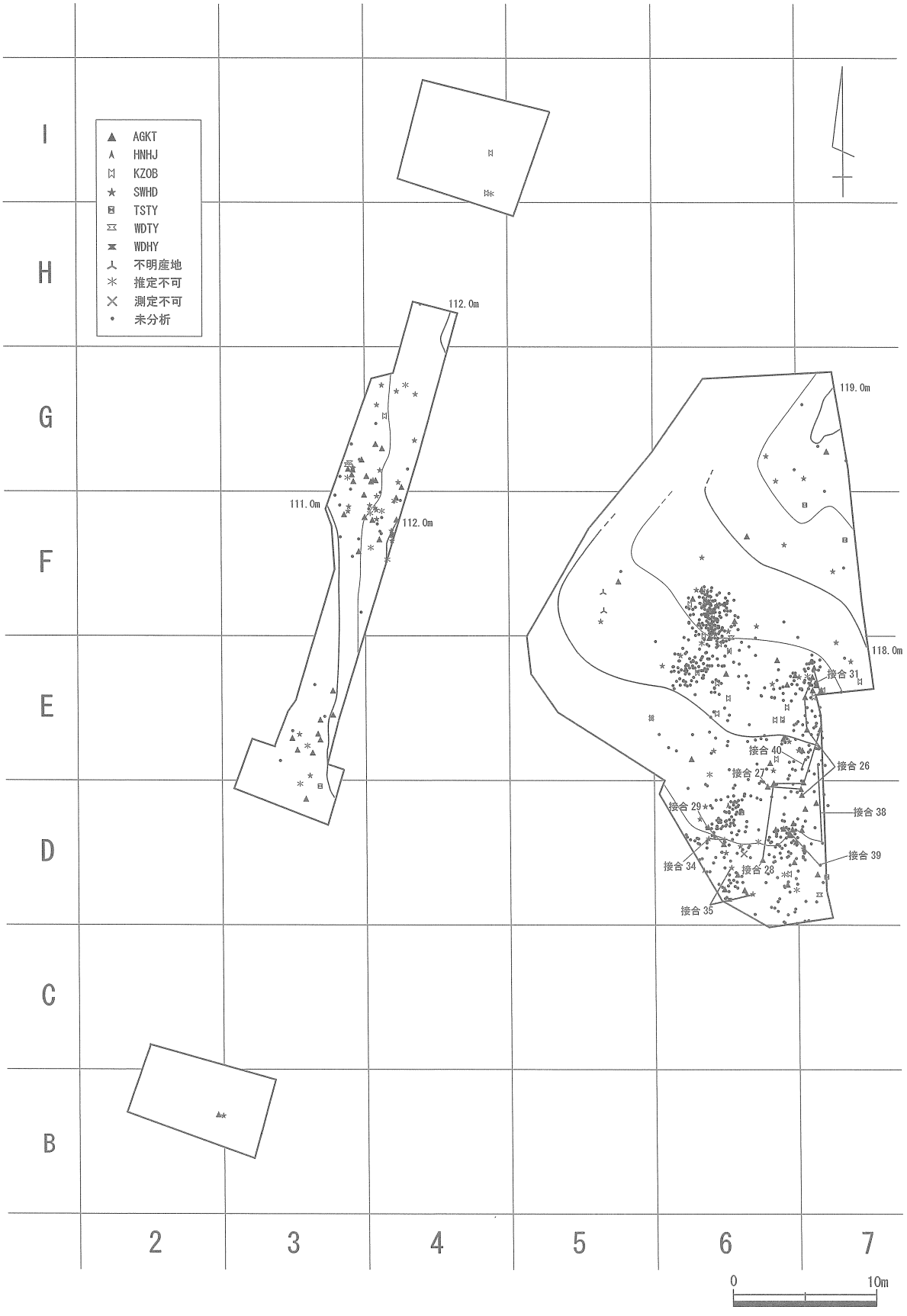
未製品、欠損品を含めて26点が出土した。このうち残存状況のよい18点を図化した。石材は黒曜石が22点と大半を占めている。産地が判別した17点のうち11点が天城柏峠群で、次いで神津島恩馳島群と諏訪星ヶ台群が各３点ずつとなっている。その他の石材は、チャートが３点、ホルンフェルスが１点出土している。ここでは、基部の形態等からⅠ類：凹基無茎鏃、Ⅱ類：平基無茎鏃、Ⅲ類：その他（欠損品、未製品）に分類して報告する。

Ⅰ類：凹基無茎鏃

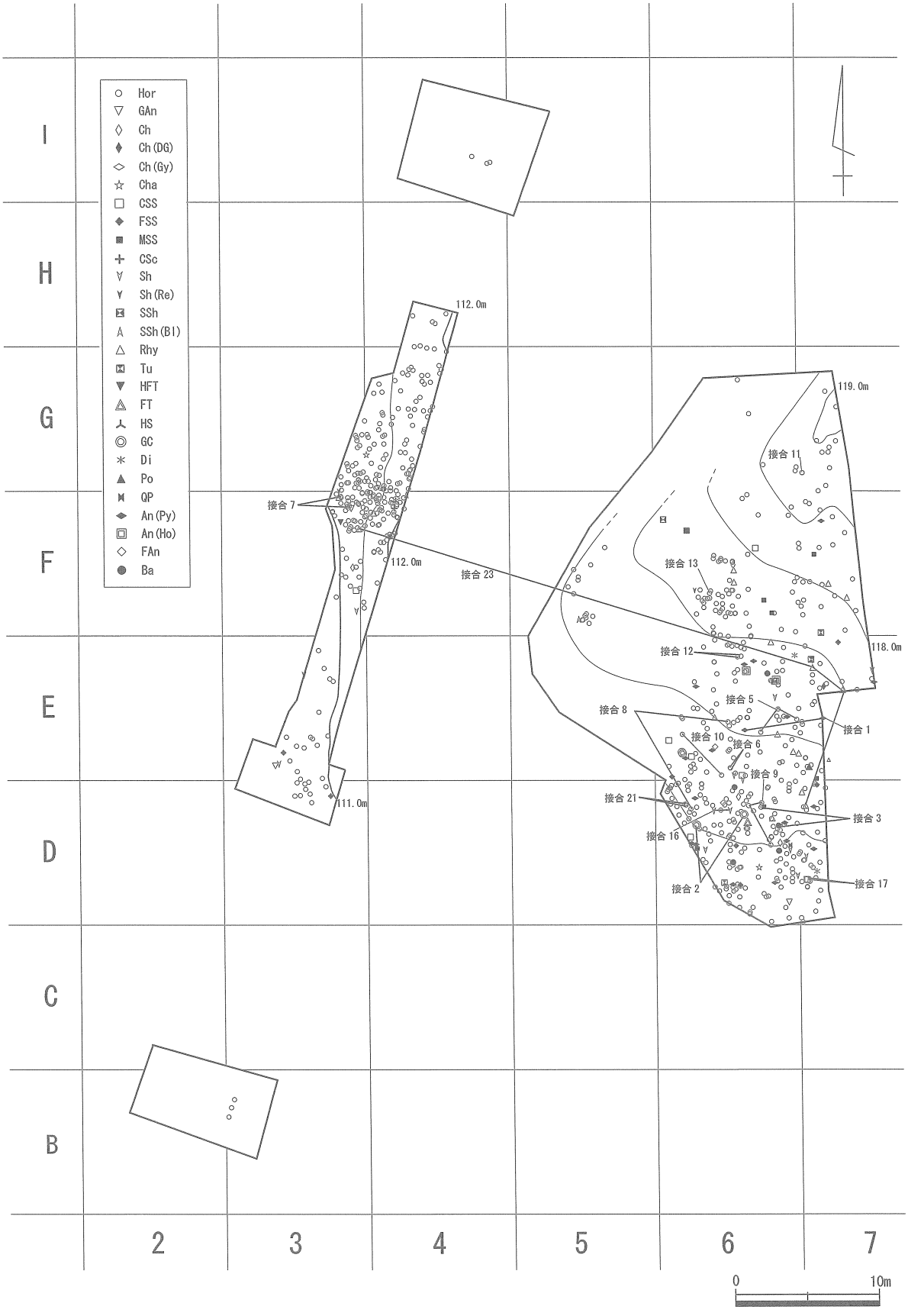
出土石鏃の大半を占め、７～14がこれに該当する。基部形状が同じ凹基無茎鏃であっても、抉りがＶ字やＵ字、弧状を呈するものなど様々なタイプが存在する。７、８の基部形状は明確なＶ字状で、脚部



第Ⅲ－40図　縄文時代　石器器種別分布図



第Ⅲ－41図　縄文時代　黒曜石産地別分布図



第Ⅲ－42図　縄文時代　その他の石材別分布図

の先端は先鋭となる。７は縁辺部を鋸歯状に整えている。８は両側縁の脚付け根部のやや上方に意図的に設けられた抉部をもつ。９～13は基部形状がU字状を呈するものである。９、10は脚部の先端が平坦で、鏃身側縁の脚部付近がやや内側に湾曲する。11も脚部の先端が平坦であるが、側縁は直線的である。12、13は脚部の末端が丸くなる。14の基部は緩やかな弧状をなし、鏃身側縁は膨らみ弧状を呈する。

Ⅱ類：平基無茎鏃

15が該当する。ホルンフェルス製で、風化が激しく稜線が判然としない。基部は凸状で全体の形状は雫状を呈する。

Ⅲ類：その他（欠損品、未製品）

16、17は欠損によって基部形状による分類が不可能なものである。18～23は未製品で、いずれも鏃の形態が未完成な器体成形段階のものである。18～21は押圧剥離による調整が施されているが、素材剥片の剥離面を多く残し、基部の抉りも未調整もしくは僅かで、器体そのものが石鏃の形態をなしていない。22、23は調整がほぼ全面に施され、平面形は比較的整っているが、器体が厚すぎるため未製品とした。

使用痕のある剥片（第Ⅲ－43図24）

剥片の一部に微細剥離痕が確認できるものである。包含層からは21点出土しており、このうち１点を図化した。24は箱根畑宿群の黒曜石製で、厚みのある横長剥片の端部に微細な剥離が存在する。急斜で分厚く、刃状を呈した剥離上にあるため掻器とも考えられるが、剥離面が小型で非常に薄いことから使用痕のある剥片と考えた。

石錐（第Ⅲ－43図25）

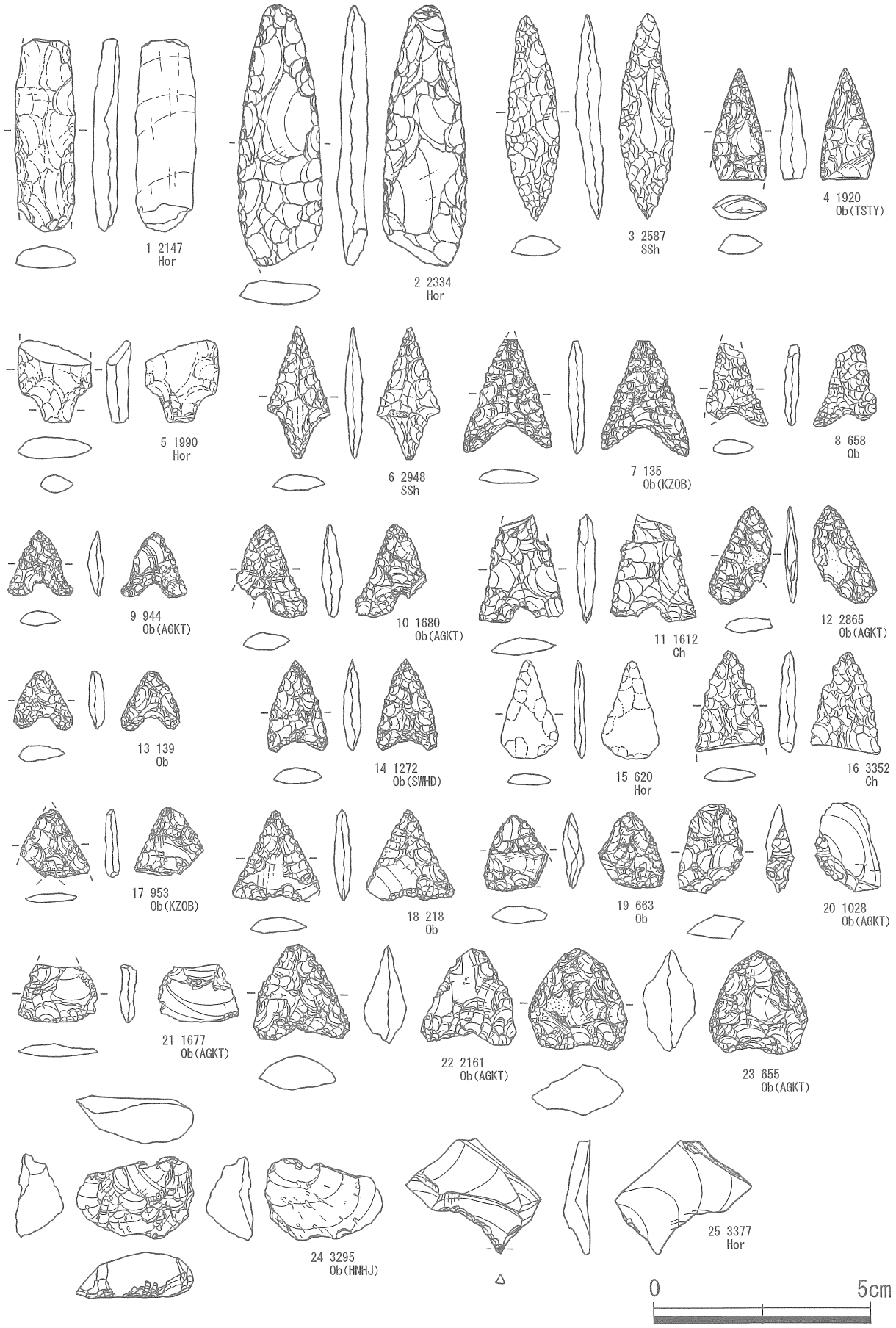
表採資料として１点採集した。縦長剥片を横位に用いる。剥片の中でもやや厚みのある打点周辺部に、主要剥離面側から平坦剥離を施してノッチ状の凹みを設け形状を整えた後、簡単な調整を加えることで断面三角形の錐部を作出している。左側縁は発掘時の破損により損失している。使用石材はホルンフェルスである。

削器（第Ⅲ－44図26～第Ⅲ－45図35）

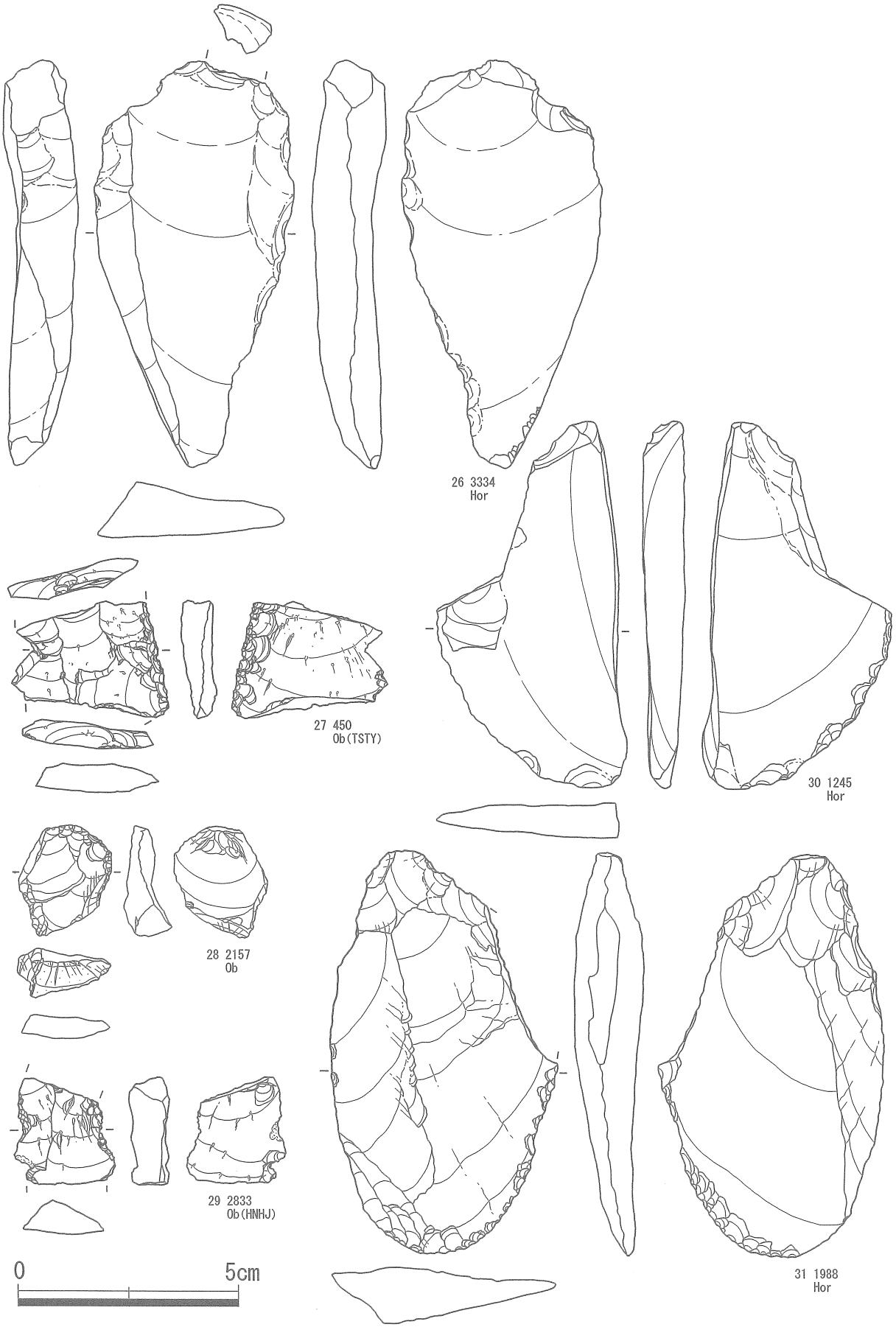
剥片の縁辺に直線的な調整を連続的に加え、鋭角な刃部を作出したものである。12点出土し、すべてを図化した。剥片素材の小型のもの（27～29、95－ａ）と、比較的大型の剥片を素材としたもの（26、30～36）がある。石材は剥片素材の小型のものが黒曜石、大型剥片を素材とするものは36の珪質頁岩以外はいずれもホルンフェルスである。

27は素材となる縦長剥片の上下を切断し、右側縁に主要剥離面および剥離面から連続した調整剥離を加えて刃部を作出している。28は厚手でやや寸詰まりの縦長剥片を素材とし、右側縁上部と左側縁下部に刃部を作出している。左側縁下部の刃部は掻器のように鈍角である。94－ａは縦長剥片の右側縁に剥離面から細かな調整剥離を加えることで刃部としている。29は抉入削器である。素材となる縦長剥片の上下を切断し、右側縁の主要剥離面側から調整剥離を加え、緩やかな抉りを作り出す。左側縁部には微細な剥離が確認できる。

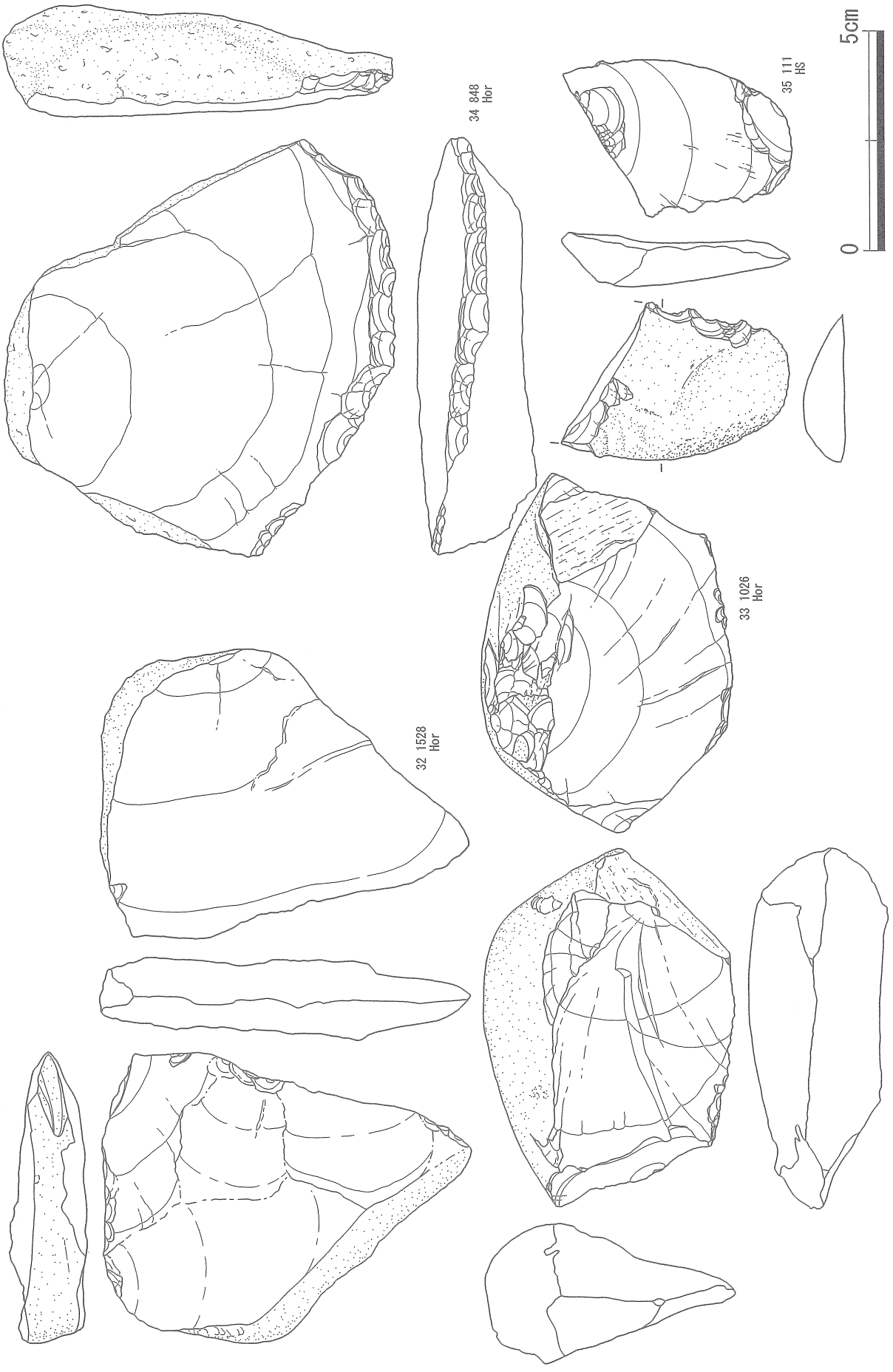
30～36は円礫を打ち割ってできた大型剥片を素材とし、このうち33～35は原礫面を残す。26、30、31は縦長剥片の端部から側縁にかけて主要剥離面および剥離面から細かな調整剥離を加えることで刃部を設置している。32は横長剥片の端部に主要剥離面から粗い剥離を加えることで簡単な刃部を設置している。33は扁平な円礫の表裏両面から大きな平坦剥離を加えることで作出された刃状の鋭利な部位を刃部としているもので、調整剥離は端部のごく一部にしか施されていない。34は貝殻状の剥片の下部に主要剥離面から、35は打点側を切断した縦長剥片の左側縁に原礫面から調整剥離を加えて刃部を作出している。



第Ⅲ－43図　縄文時代尖頭器・有茎尖頭器・石鏃・使用痕のある剥片・石錐



第Ⅲ－44図　縄文時代削器１



第Ⅲ－45図　縄文時代削器２

第Ⅲ－46図　縄文時代掻器１

掻器（第Ⅲ－46図36～第Ⅲ－47図50）

剥片あるいは石核の末端に急斜度加工により鈍角な刃部を作出したもので、外湾する刃部をもつものである。38～45などその形態や石材産地などから旧石器時代の遺物とも考えられるものが数点あるが、出土層位や分布をふまえて検討した結果、明確に区分することが難しかったため、出土層位より縄文時代に帰属する遺物として取り扱った。

15点出土し、すべてを図化した。石材は黒曜石が13点と大半を占めている。産地が判別した11点のうち７点が諏訪星ヶ台群で、天城柏峠群、神津島恩馳島群、蓼科冷山群、和田鷹山群が各１点ずつとなっており、石鏃や石核とは用いられる黒曜石の主要産地は異なる。他２点はホルンフェルス製。

38は厚みのある円形に近い剥片を素材とし、周縁に途切れることなく細かな調整剥離を施している。39～44は素材剥片の長軸部の先端に刃部が設けられたもので、38とは異なり刃部は短くなる。素材となる剥片には、不定形な縦長の剥片（39～41）や横長の剥片（43、44）、円形に近いもの（42）などが用いられているが、いずれも厚みのある剥片を素材としている。39、40は厚みのある幅広の剥片の両側縁を切断したものを素材としたもので、主要剥離面側には打瘤がそのまま残されている。43、44は長軸部の端部に設けられた刃部は急斜で分厚いが、打点側を断つように加えられた左側縁部の刃部は端部に比べやや傾斜が緩くなっている。また、43の左側縁上部にあるノッチ状の凹みには、微細な剥離痕が確認できる。36、37、45～49は素材剥片の長軸に対して横の縁辺に刃部が設けられたもので、48、49を除くいずれもが厚みの剥片を素材としている。36、37は円形に近い剥片の一辺に粗い調整を加え、分厚く急斜な刃部を作出している。45は剥片の打点側と上部を切断し、両側縁部に鈍角な刃部を作出する。左側縁の刃部は緩やかに内湾している。46は剥片の一端に主要剥離面側から調整剥離を加えて、急斜で分厚い刃部を設けている。また、打点側にあるノッチ状の凹みには、微細な剥離痕が確認できる。48、49は他と比べ小型でやや薄目の剥片を素材とする。50は石核を掻器に転用したものである。素材となる石核は原礫面を打面とし、打面転移を行いながら剥片を剥離しているもので、対向方向からの剥片剥離は行っていない。左側縁の上部から下部にかけて連続した調整剥離を裏面より施して大きく２回内湾する刃部を作出する。抉入削器とも考えられたが、削器とは異なり作出された刃部がいずれも急斜で分厚いため掻器とした。また、左側縁端部には上部から下部にかけてとは逆方向の表面側から調整剥離を施し、短いが鈍角な刃部を作出している。

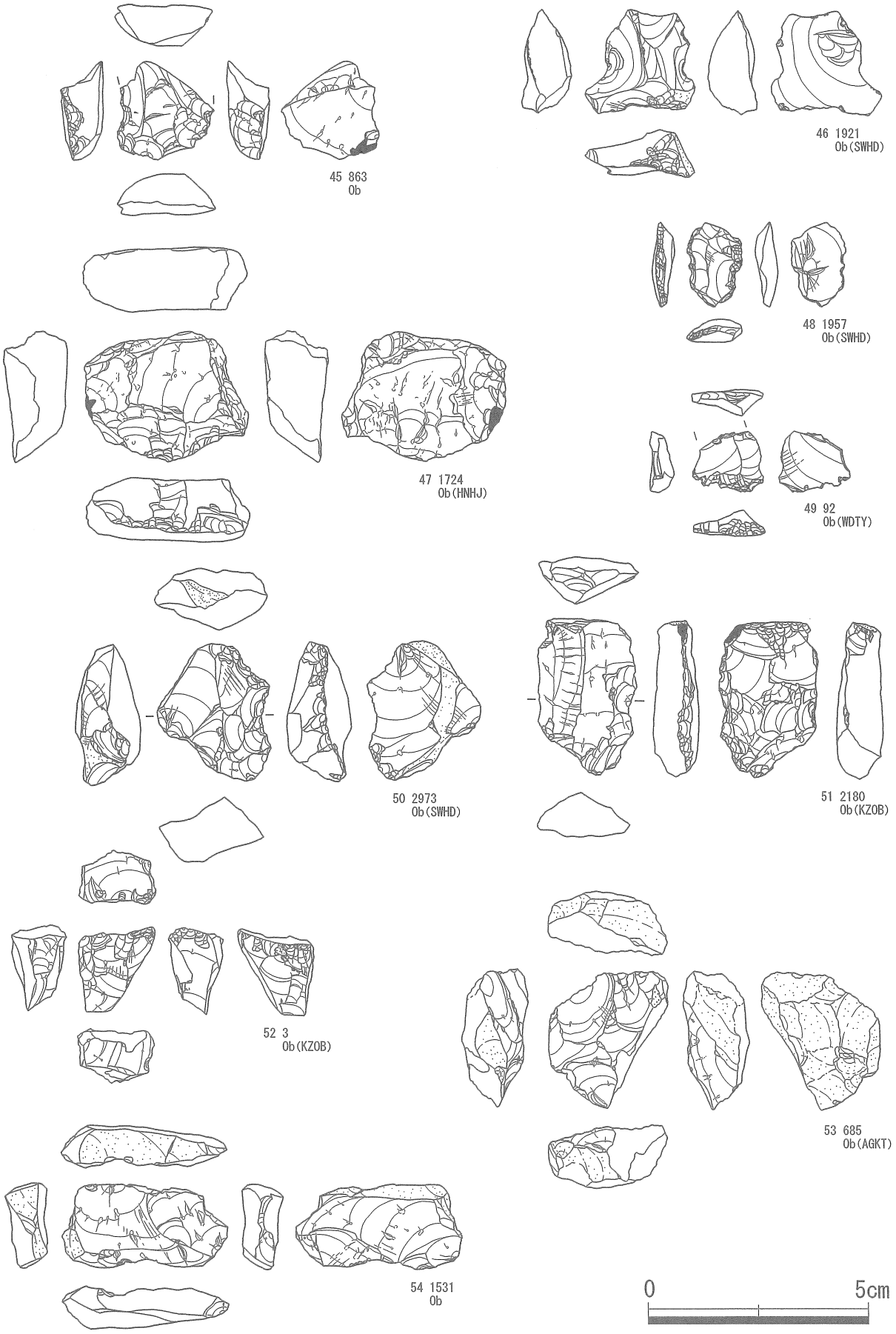
楔形石器（第Ⅲ－47図51）

比較的厚みのある剥片を素材とし、上下や左右の端部に対向する剥離が入るものである。剥片の先端側は樋状の剥離ではなく、折れや潰れに近い状態になる。１点出土している。神津島恩馳島群の黒曜石製で、衝撃により器体が半裁されたのか、下部を欠損する。長軸部分の上端に平坦面をもち、ここから対向する剥離が入る。平坦面をもたない左右の端部にも両極剥離が入る。また、左側縁上部には微細な剥離痕が確認できる。

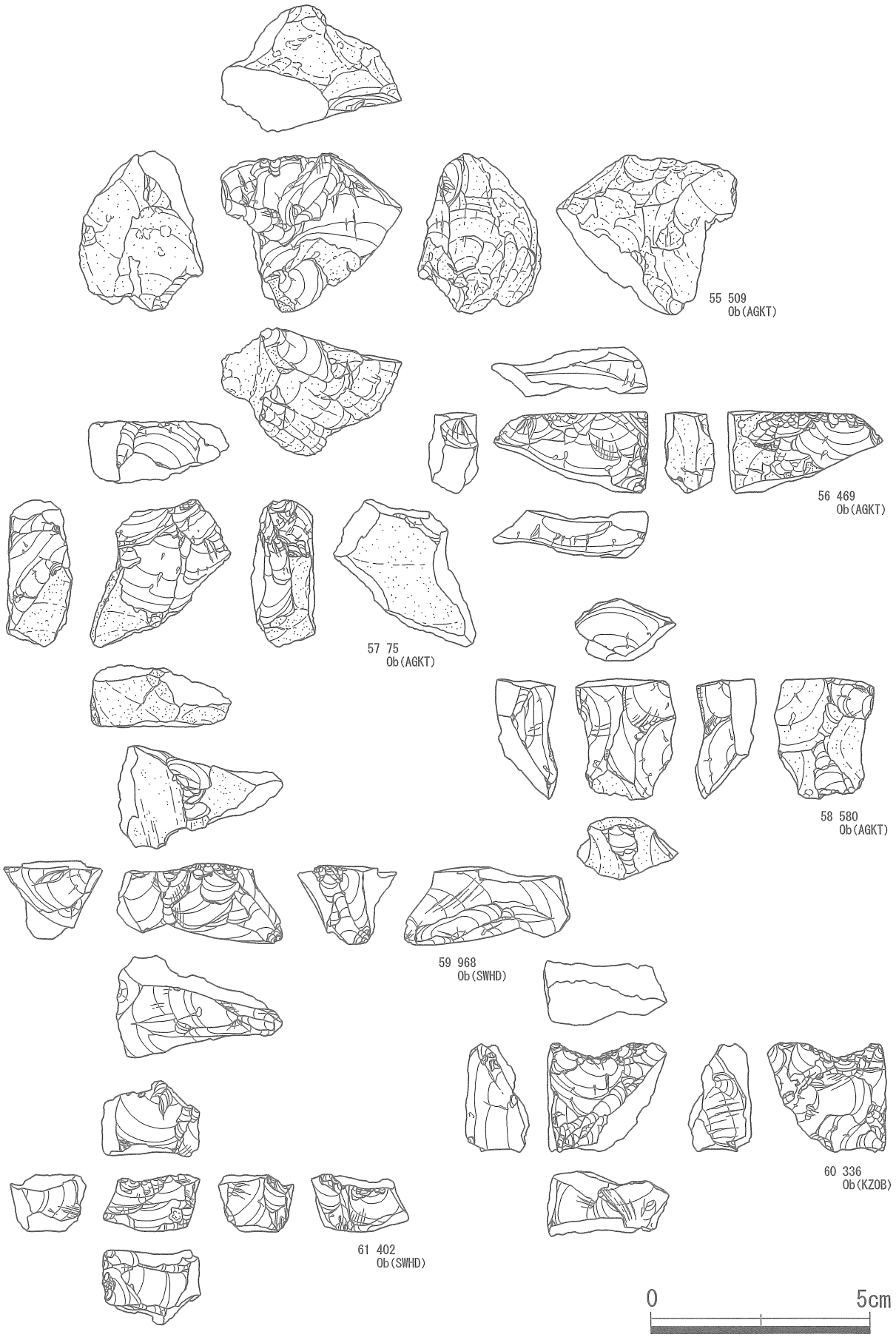
石核（第Ⅲ－47図52～第Ⅲ－55図88）

38点出土しており、このうち残存状況のよい36点を図化した。

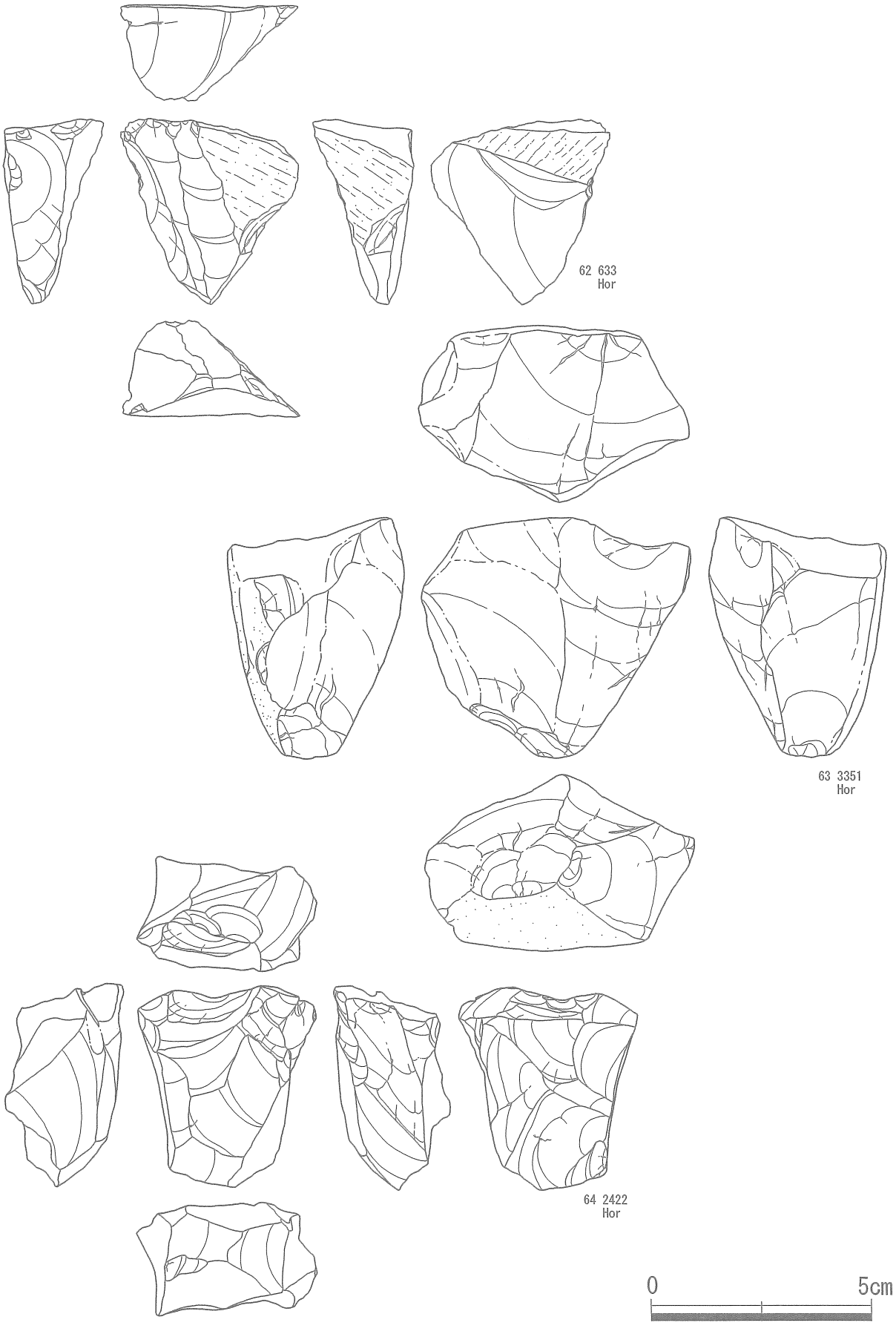
52～61は４㎝以下の小型の残核で、いずれも黒曜石製である。52は対向方向から剥片剥離を行っている。平坦面を打面とし、打面調整は行っていない。53～61、93－ｃは対向方向からの剥片剥離は行わず、平坦面や原礫面を打面とし、打面転移を行いながら剥片を剥離している。打面調整は行っていない。53～58のように原礫面を多く残すものもあり、当初より小さな原石を素材としていたと考えられる。いずれも目的とする剥片形状は不定形で小さく、用途については不明である。しかし、産地が判別した10点のうち６点が天城柏峠群で、他は諏訪星ヶ台群と神津島恩馳島群が各２点という結果が得られており、これは石鏃や剥片類の分析結果の比率とほぼ等しいことから、石鏃の製作に関連したものであると考え



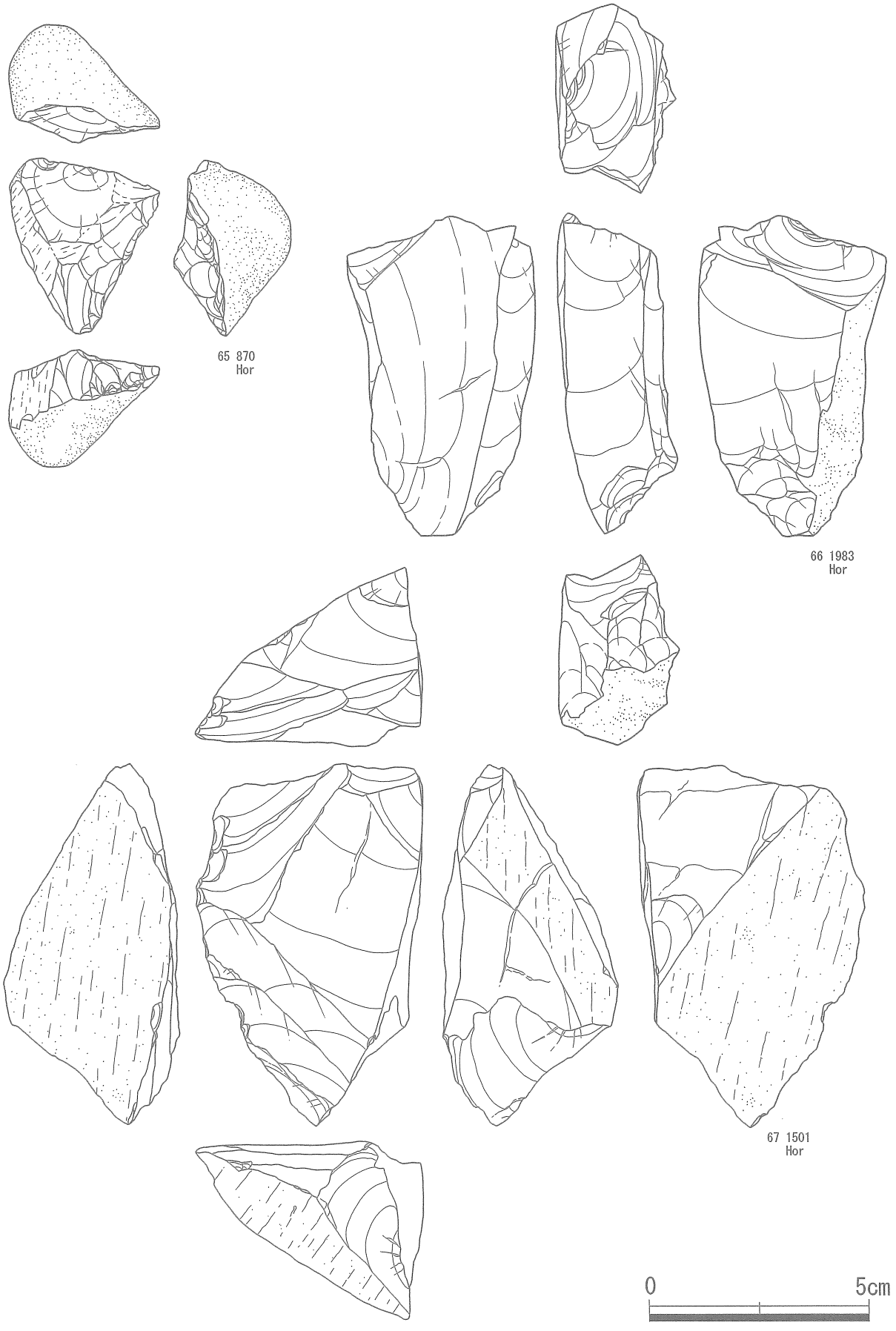
第Ⅲ－47図　縄文時代掻器２・楔形石器・石核１



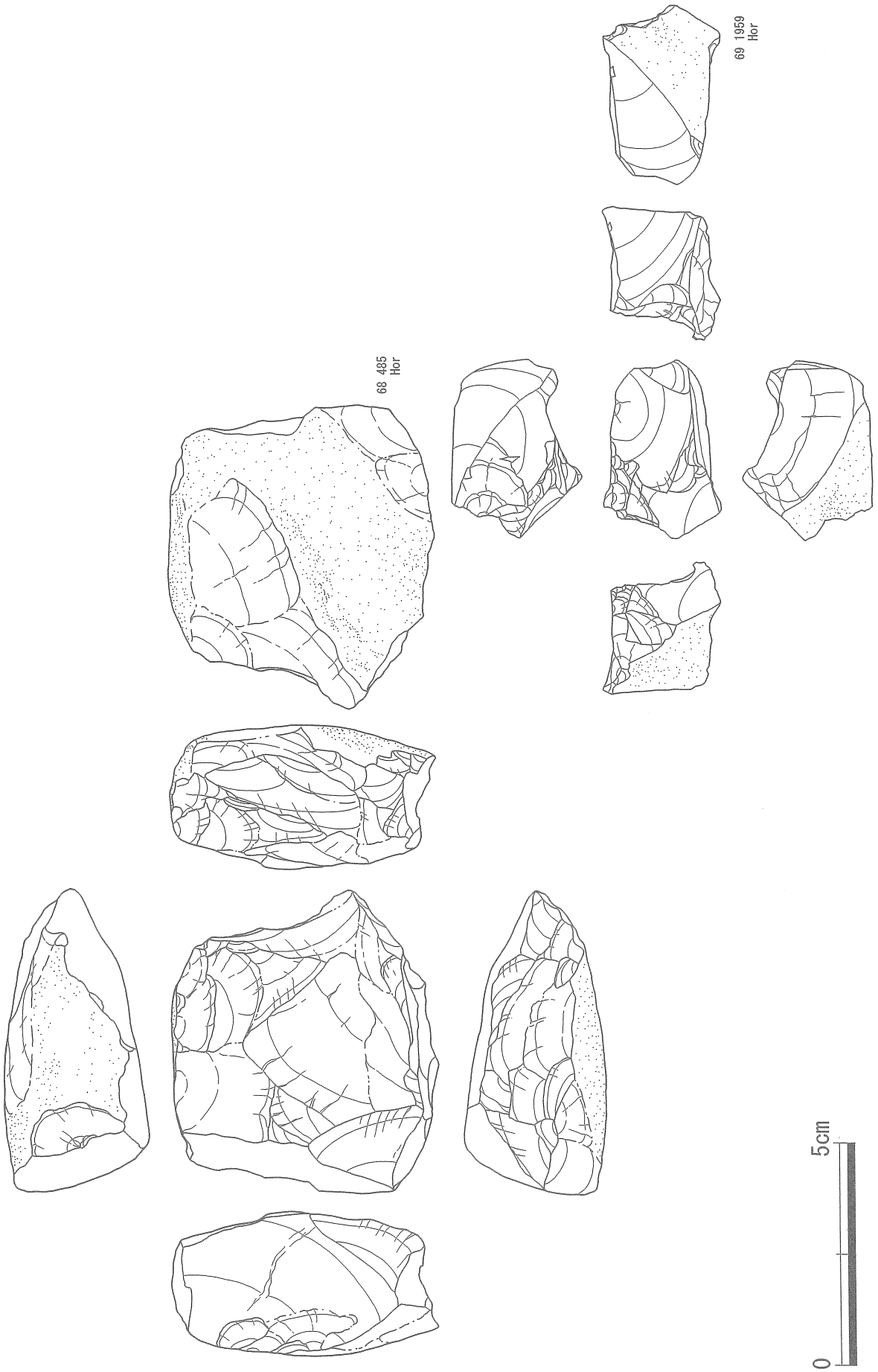
第Ⅲ－48図　縄文時代石核２



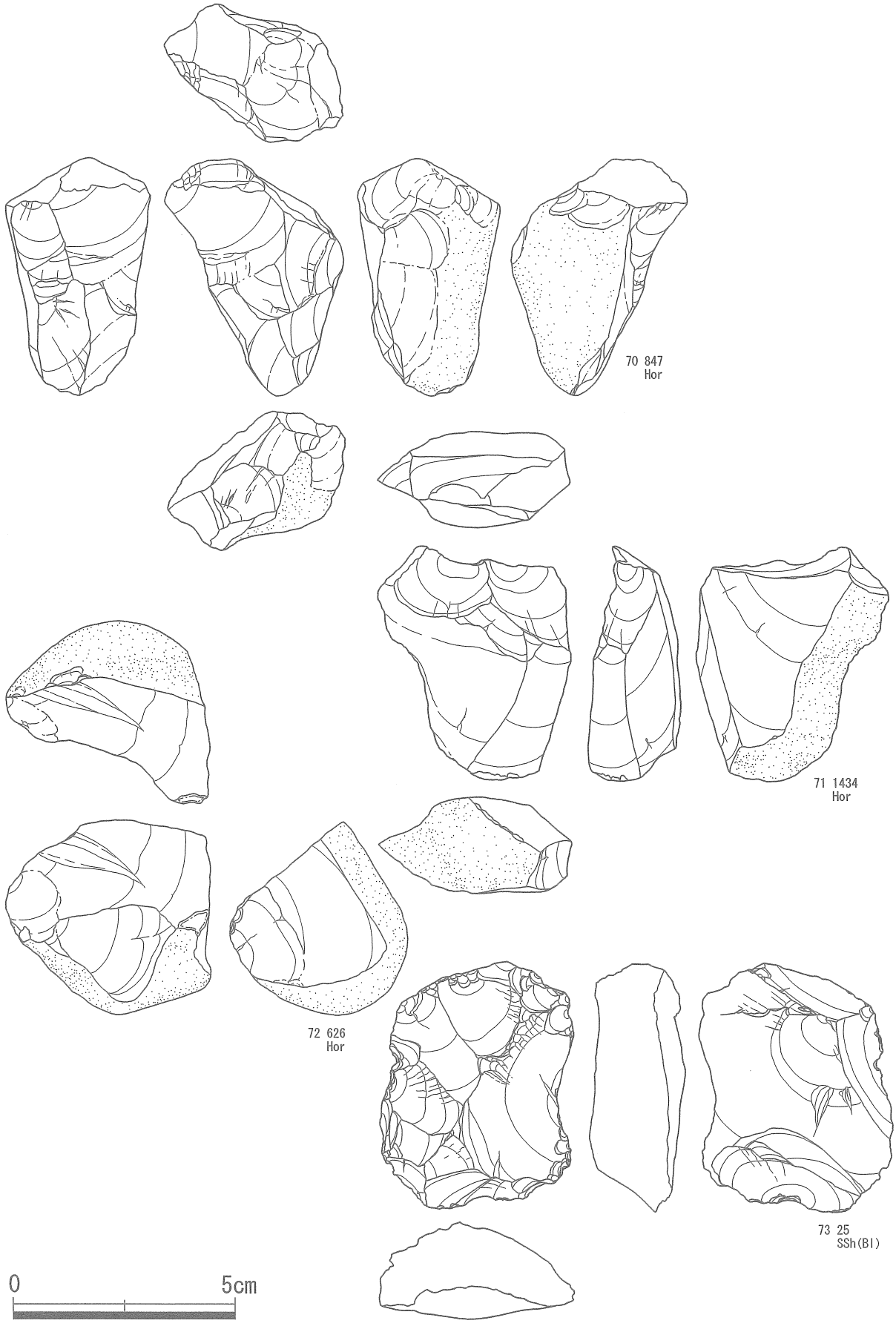
第Ⅲ－49図　縄文時代石核３



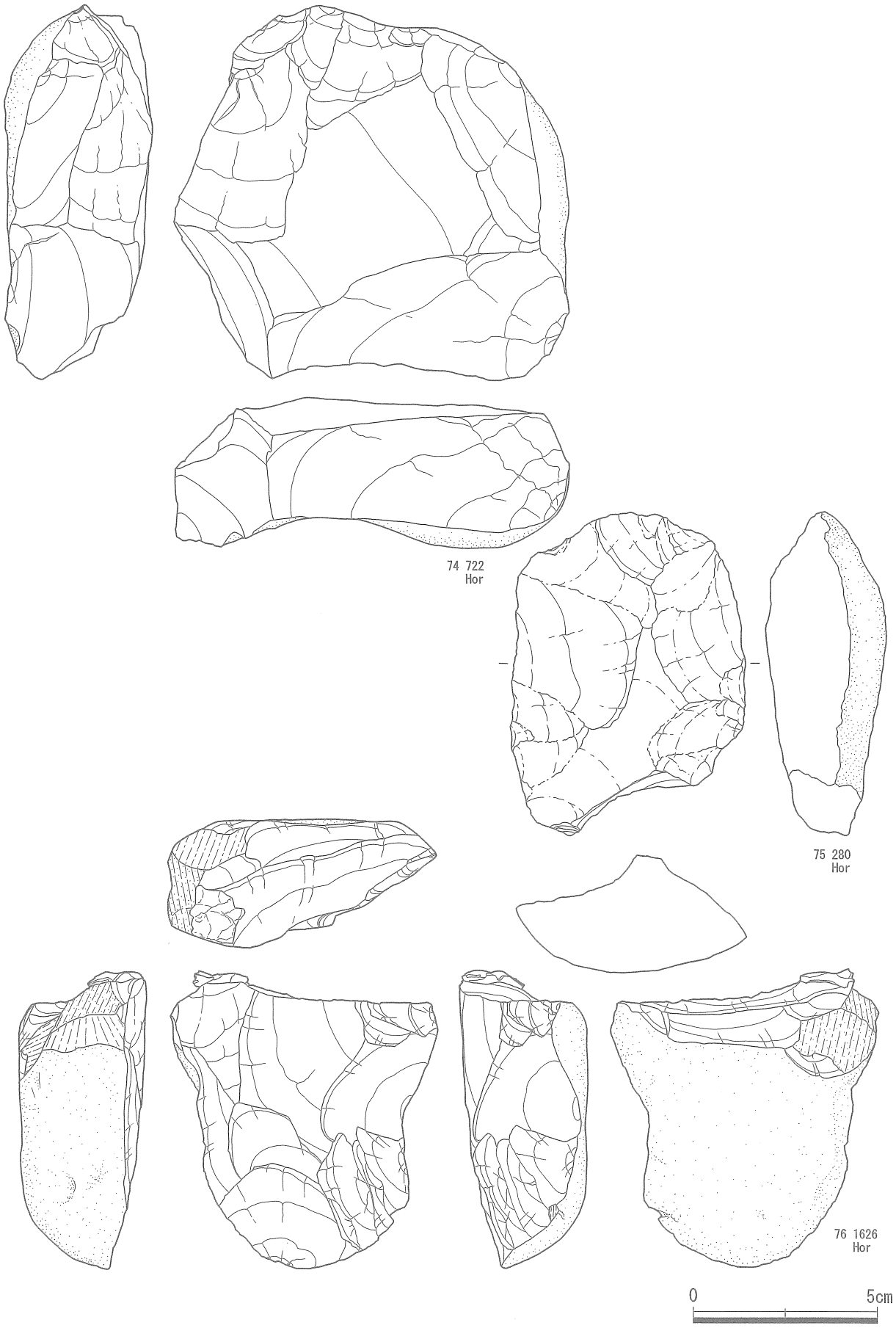
第Ⅲ－50図　縄文時代石核４



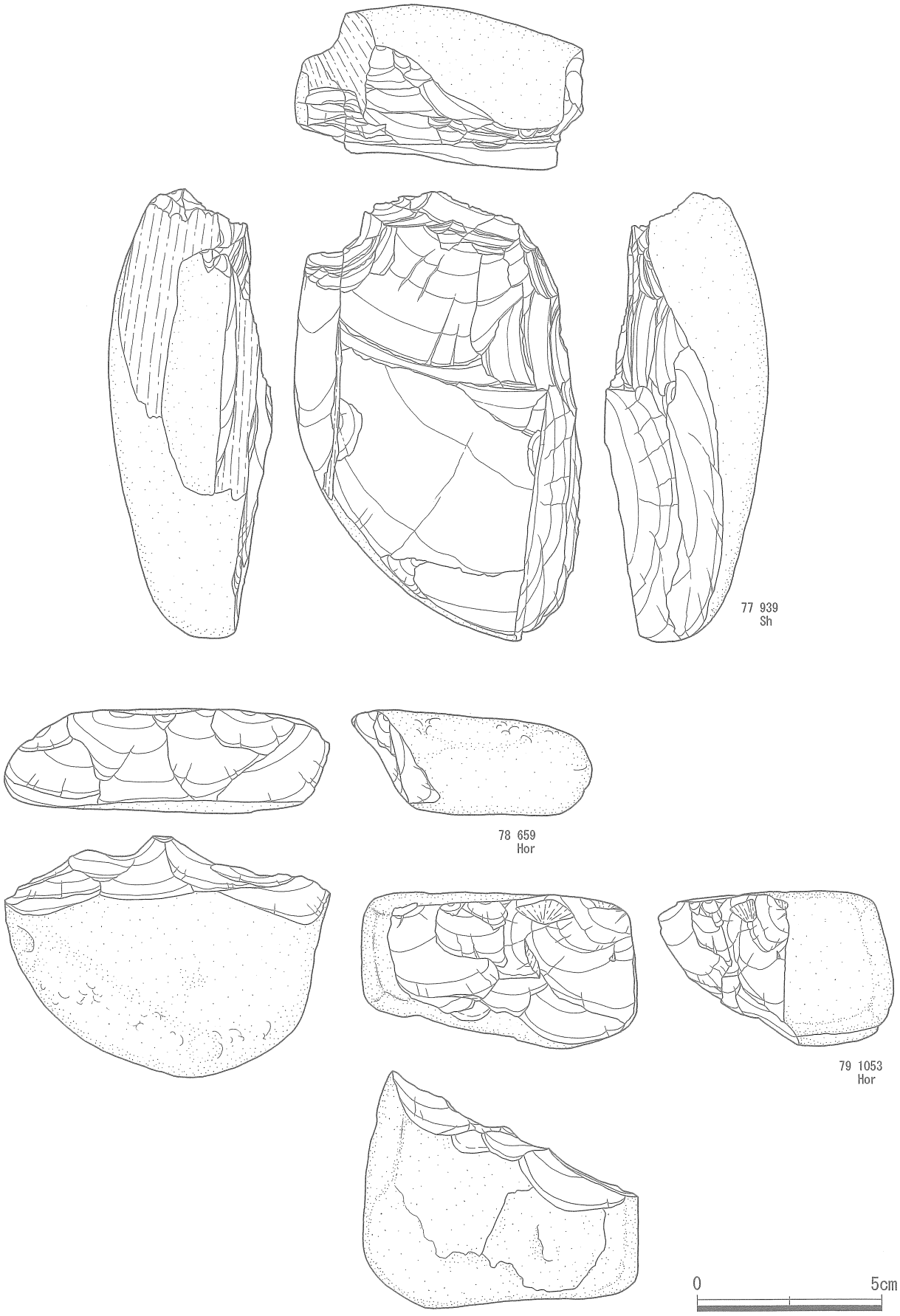
第Ⅲ－51図　縄文時代石核５



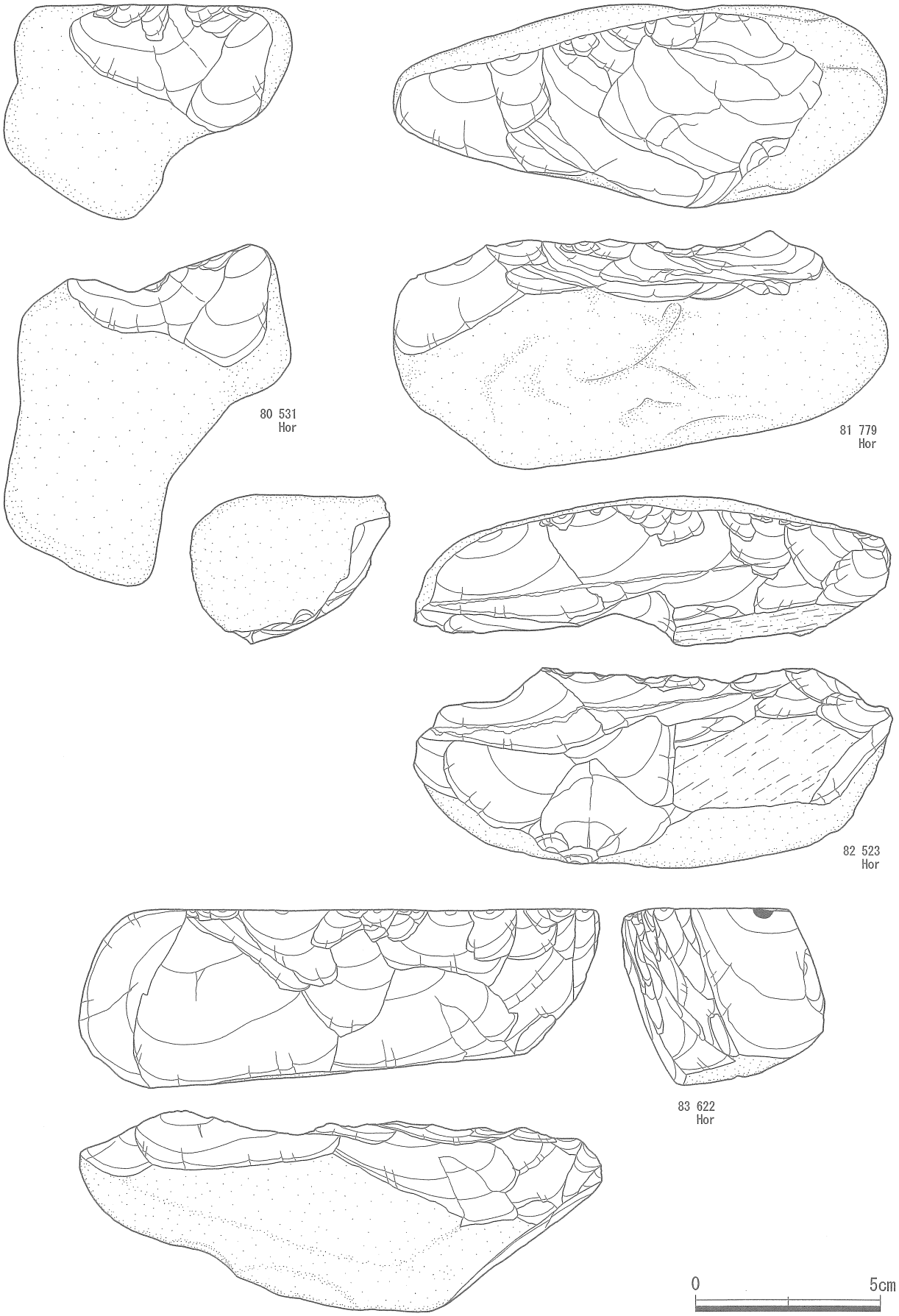
第Ⅲ－52図　縄文時代石核６



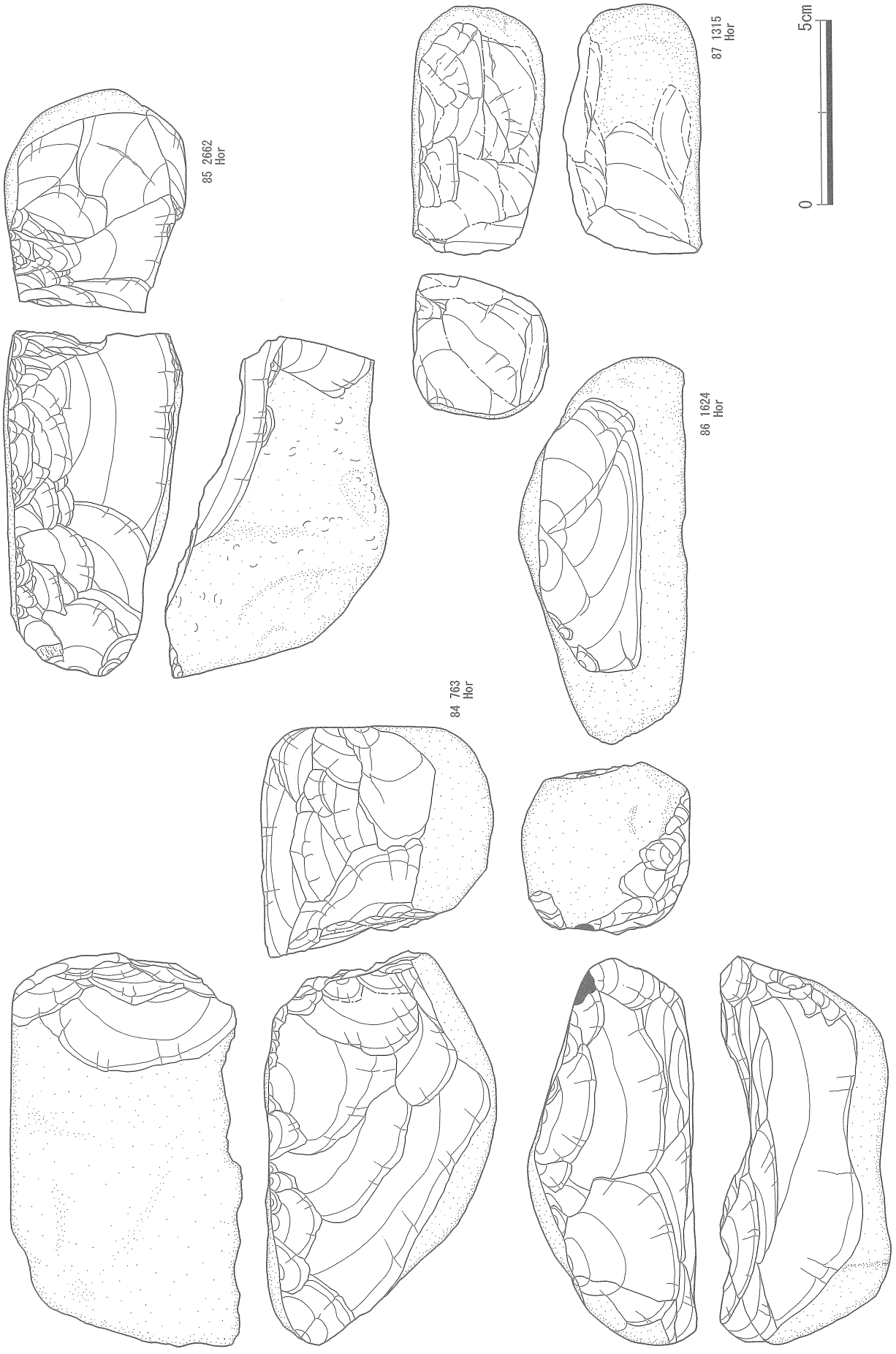
第Ⅲ－53図　縄文時代石核７



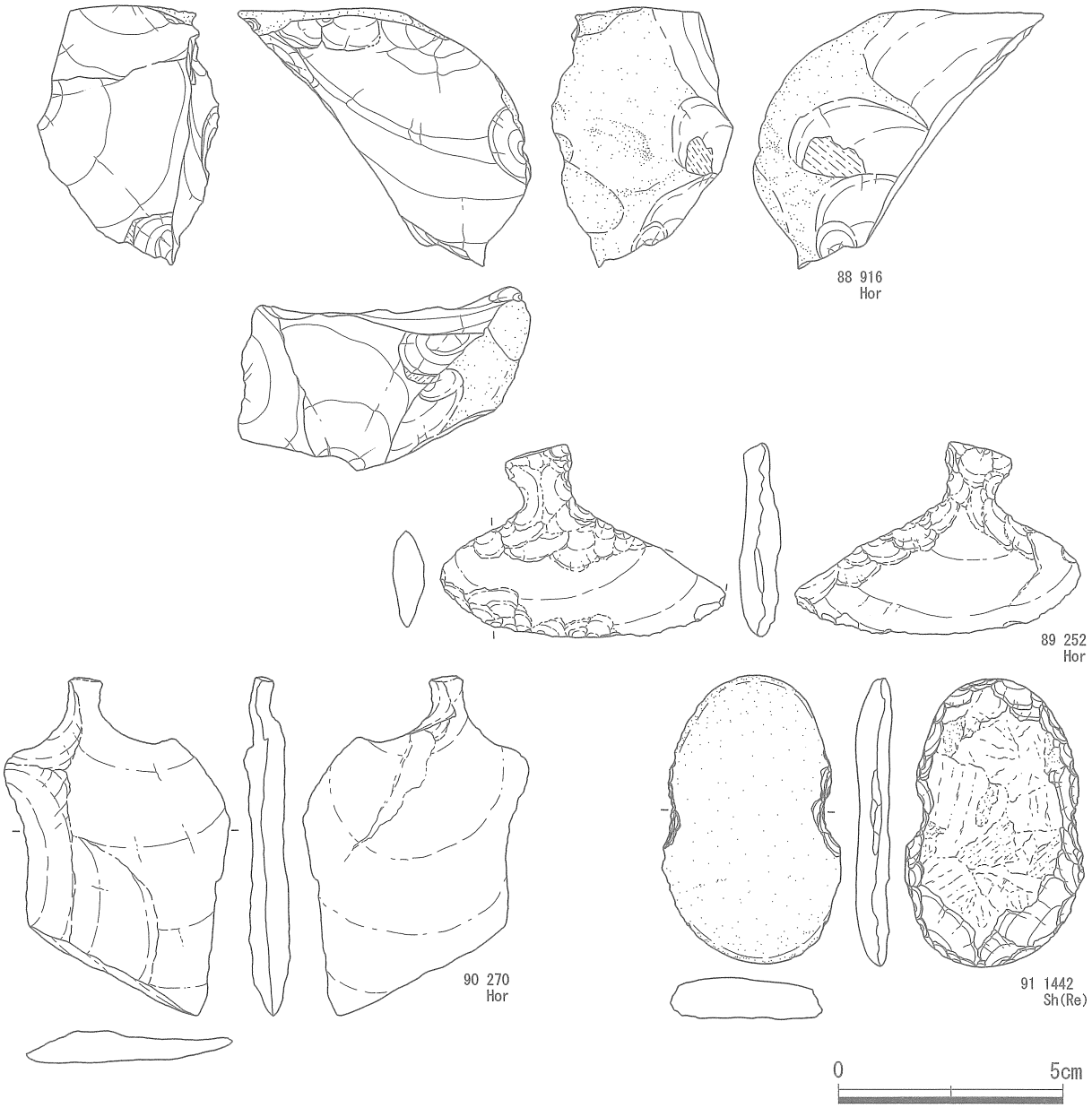
第Ⅲ－54図　縄文時代石核８



第Ⅲ－55図　縄文時代石核９



第Ⅲ－56図　縄文時代石核10

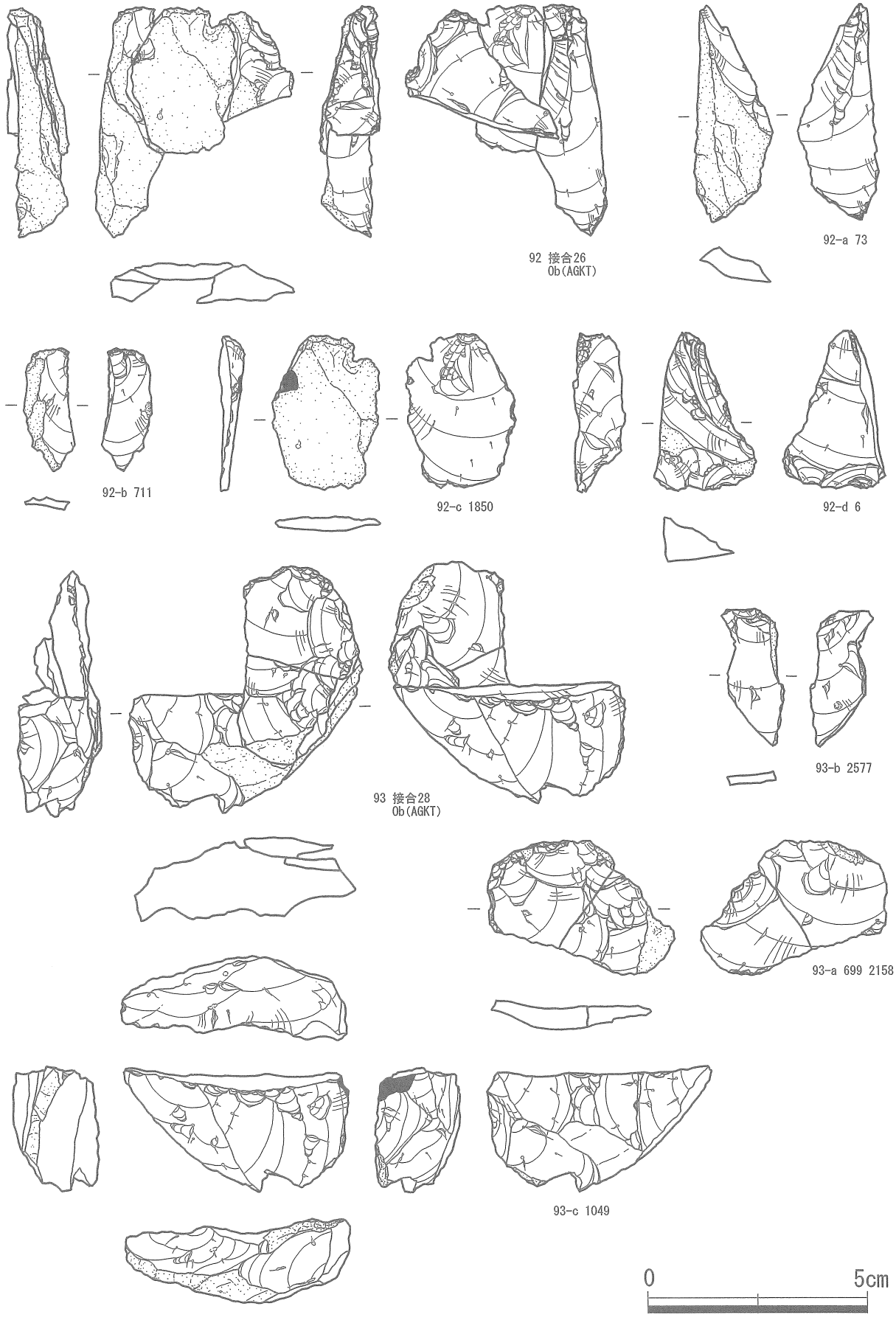


第Ⅲ－57図　縄文時代石核11・石匙・石錘

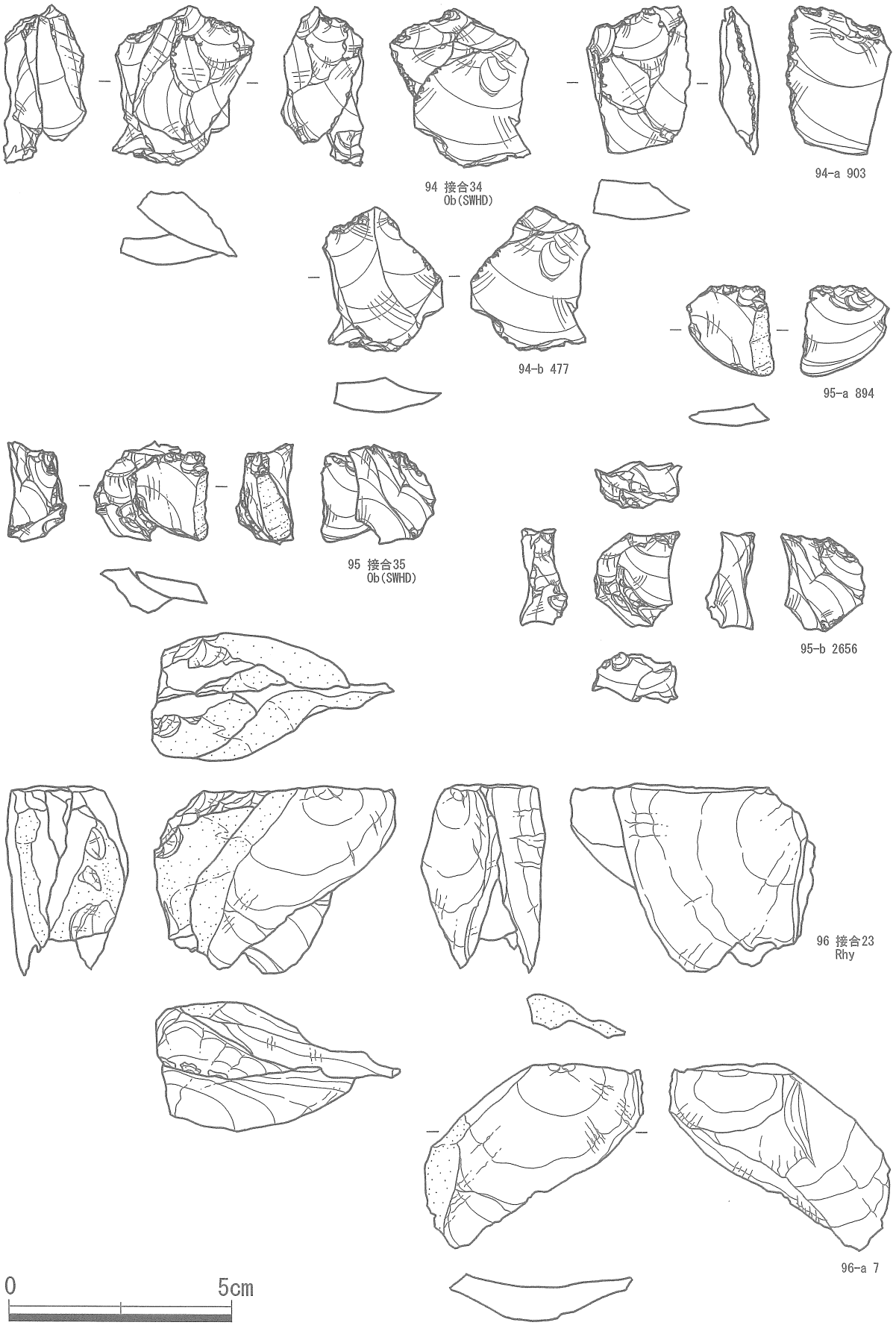
られる。

62～73は４～８㎝内の中型の石核で、石材は73の珪質頁岩を除き、いずれもホルンフェルスである。平坦面や原礫面を打面とし、打面転移を行いながら剥片を剥離している。打面調整は行っていない。73は剥片素材の石核。いずれも目的とする剥片形状は不定形で、62、63、66のように縦長の剥片を剥離しているものもあるが、その大半は比較的幅広で短い剥片を剥離している。

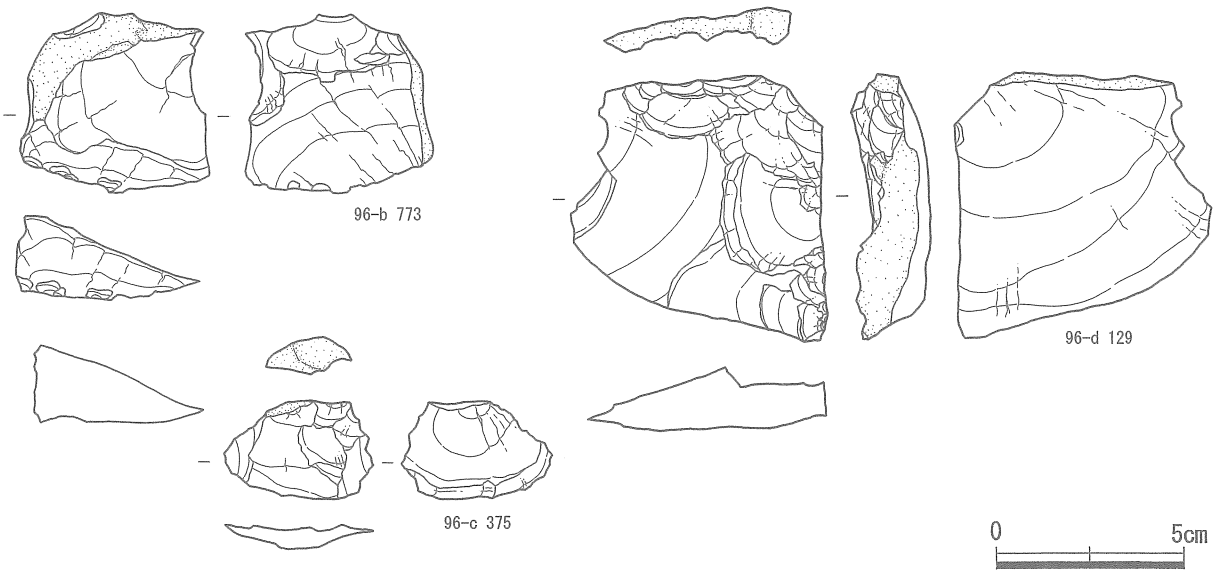
74～86は８㎝以上の大型の石核で、石材は77の頁岩を除きいずれもホルンフェルスである。円礫や亜角礫を素材にして原礫面を打面とし、比較的幅広で短い剥片を剥離している。いずれも原礫面を多く残す。打面転移を頻繁に繰り返し求心的な剥離を行っているもの（74～76）、90度もしくは180度打面転移を行っているもの（77、82～88）、打面転移を行っていないもの（78～81）がある。78、79は円礫や亜角礫の短軸側に剥離面を有するもので、旧石器時代の石核とも考えられるが、縄文時代の遺物が主体的に出土する５層黒褐色土からの出土であり、周辺の同層位から74、80～82、84、85が出土しているため縄文時代に帰属する遺物として取り扱った。



第Ⅲ－58図　縄文時代接合資料１



第Ⅲ－59図　縄文時代接合資料２



第Ⅲ－60図　縄文時代接合資料３

石匙（第Ⅲ－56図89、90）

２点出土しており、そのすべてを図化した。石材はともにホルンフェルス製である。89は横型石匙で、貝殻状の横長剥片を素材とする。つまみ部分は主要剥離面および剥離面から、刃部は主要剥離面側からの調整剥離により作られる。未調整部分を多く残す。90は縦長剥片を素材とし、打点付近に粗い調整を加えることでつまみ部分を作出している。左側縁部が刃部とも考えられるが、やや厚すぎるうえ、調整剥離も行われていないことから、成形段階で廃棄された未製品と考えられる。

石錘（第Ⅲ－56図91）

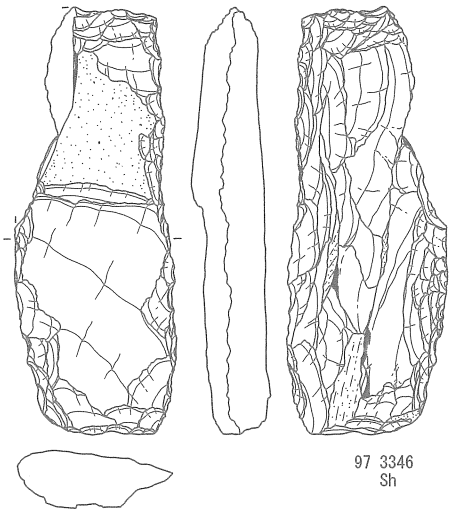
１点出土している。石材は赤色頁岩。摂理面で縦に割れた偏平な円礫を素材とし、周縁部に細かな調整剥離を行うことで形状を整えている。緊縛部分は短軸部の対峙する２片を両面から打ち欠いて作出している。重量は27.6ｇとやや軽めである。

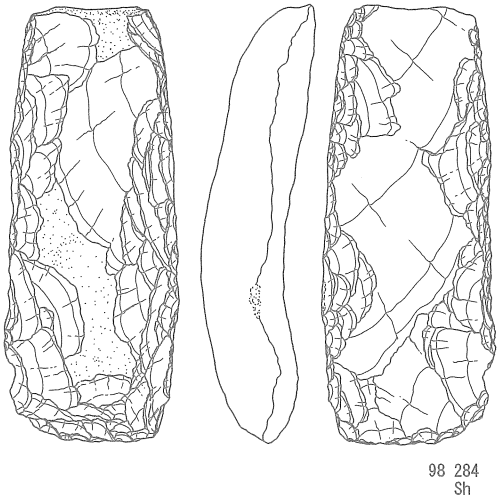
接合資料（第Ⅲ－57図92～第Ⅲ－59図96）

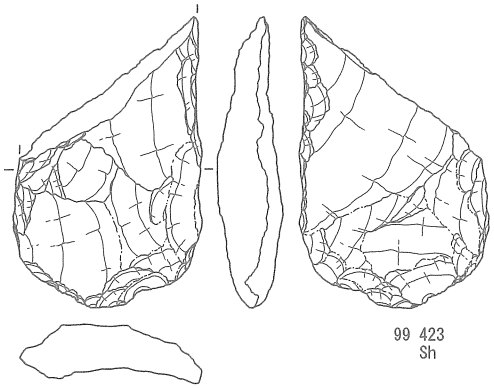
接合資料は27個体確認されており、このうち５個体を図化した。そのいずれもが包含層出土遺物間の接合で、遺構や石器集中に絡むものはない。接合92は二次加工有る剥片と３点の剥片からなる接合資料である。92－ａ、ｂ、ｃを連続的に剥離した後、打面を転移してｄを剥離している。ｄは剥離後切断され、鋭く尖る剥片の端部に二次加工が施される。切断面の一端には微細剥離痕が確認できる。93は石核と３点の剥片からなる接合資料である。93－ａ、ｂを剥離した後石核を半裁して打面を再生し、剥片剥離作業を続けている。接合94は削器と剥片の接合資料である。連続的に剥離された剥片の１点に二次加工を施し削器としている。旧石器時代の資料とも考えられるが、縄文時代の遺物が集中するＤ－６グリッドから出土で、層位も縄文時代でも上位の層にあたる４層褐色土と５層黒褐色土から出土であり、風化もあまり進行していないことなどから縄文時代に帰属する遺物として取り扱った。接合95は剥片２点の接合資料である。頻繁な打面転移を伴う石核より剥離されたもので、両剥離の剥離軸も90度近く異なる。接合96は剥片４点の接合資料である。原礫面を打面とし、同一方向から連続して剥片剥離が行われている。

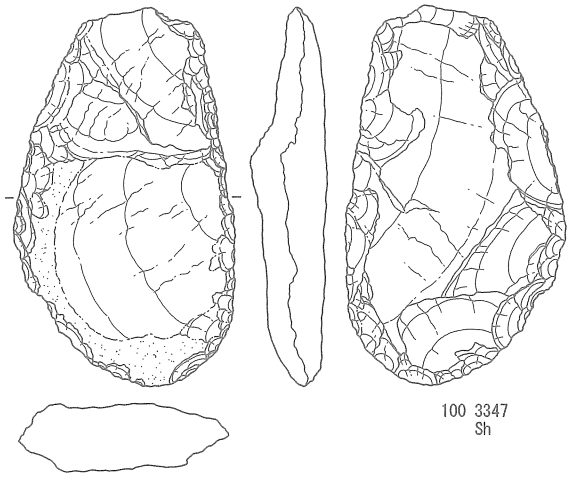
打製石斧（第Ⅲ－60図97～第Ⅲ－61図103）

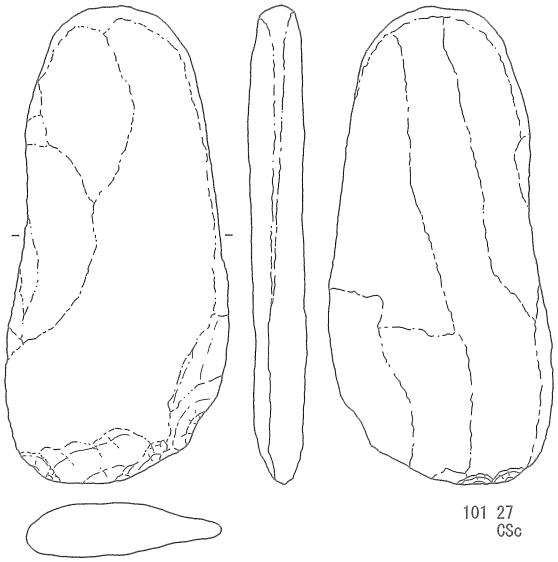
未製品、欠損品を含めて18点（16個体）が出土した。このうち残存状況のよい７点を図化した。いずれも板状に剥離した大型の剥片を素材とし、側縁部に細かな調整剥離を行うことで形状を整えている。

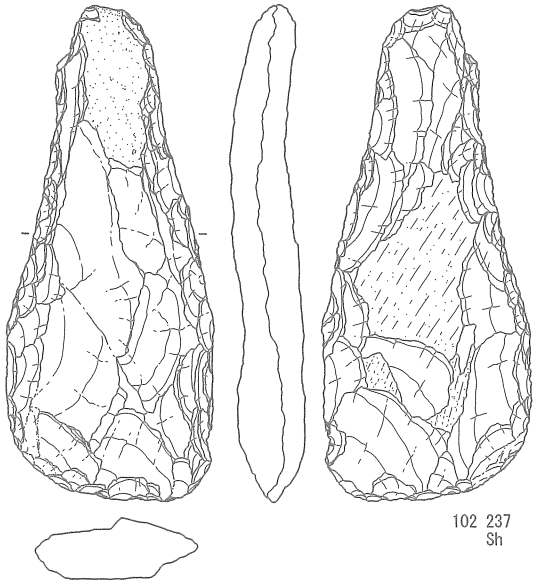




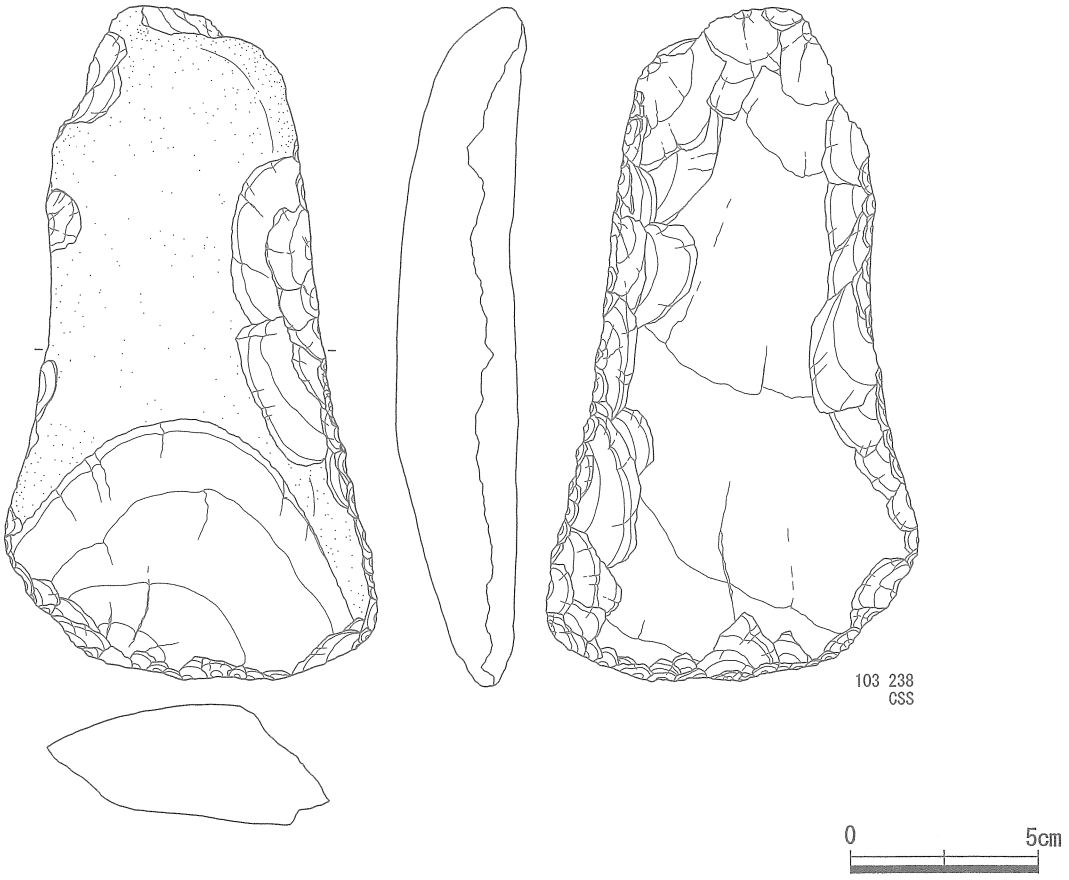








第Ⅲ－61図　縄文時代打製石斧１



第Ⅲ－62図　縄文時代打製石斧２

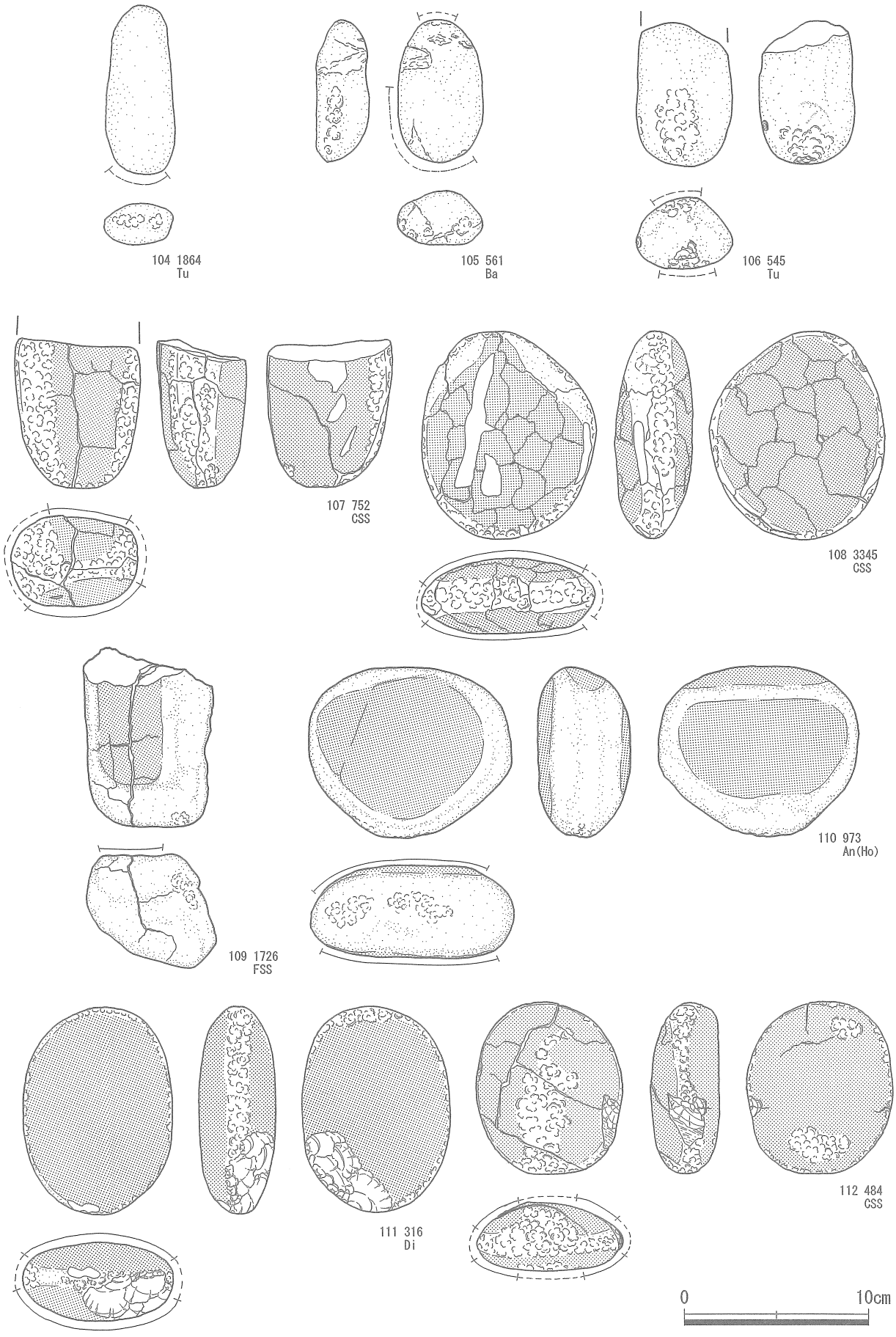
胴部には原礫面や素材の剥離面、摂理面を残すものが多い。石材は頁岩、安山岩、砂岩、ホルンフェルス、結晶片岩をはじめとする各種石材が用いられているが、頁岩が大半を占めている。

97～99は短冊形である。97、98は平刃で、表面に一部原礫面を残すが、側縁から刃部にかけてほぼ全周に細かな調整が施されている。また、98の側縁部には着柄痕と考えられるエッジの潰れがある。99は円刃で上部を欠損している。100、101は短冊形と撥形の中間的な形状を呈したもので、円刃である。100の裏面は細かな調整剥離が基部から刃部に至るまでほぼ全周に施されるが、表面刃部は原礫面に簡単な調整剥離を加えただけである。101は結晶片岩製で風化が激しいが、側縁から刃部にかけて調整が施されていることが確認できる。102、103は撥形である。102は摂理面で割れた剥片を素材とし、側縁から刃部にかけてほぼ全周に細かな調整を施している。103はやや大型の打製石斧で、円礫を打ち割って出来た厚手の剥片を素材とする。基部と側縁部には細かい調整剥離が加えられているが、刃部の調整剥離は簡単なもので、原礫面を多く残す。

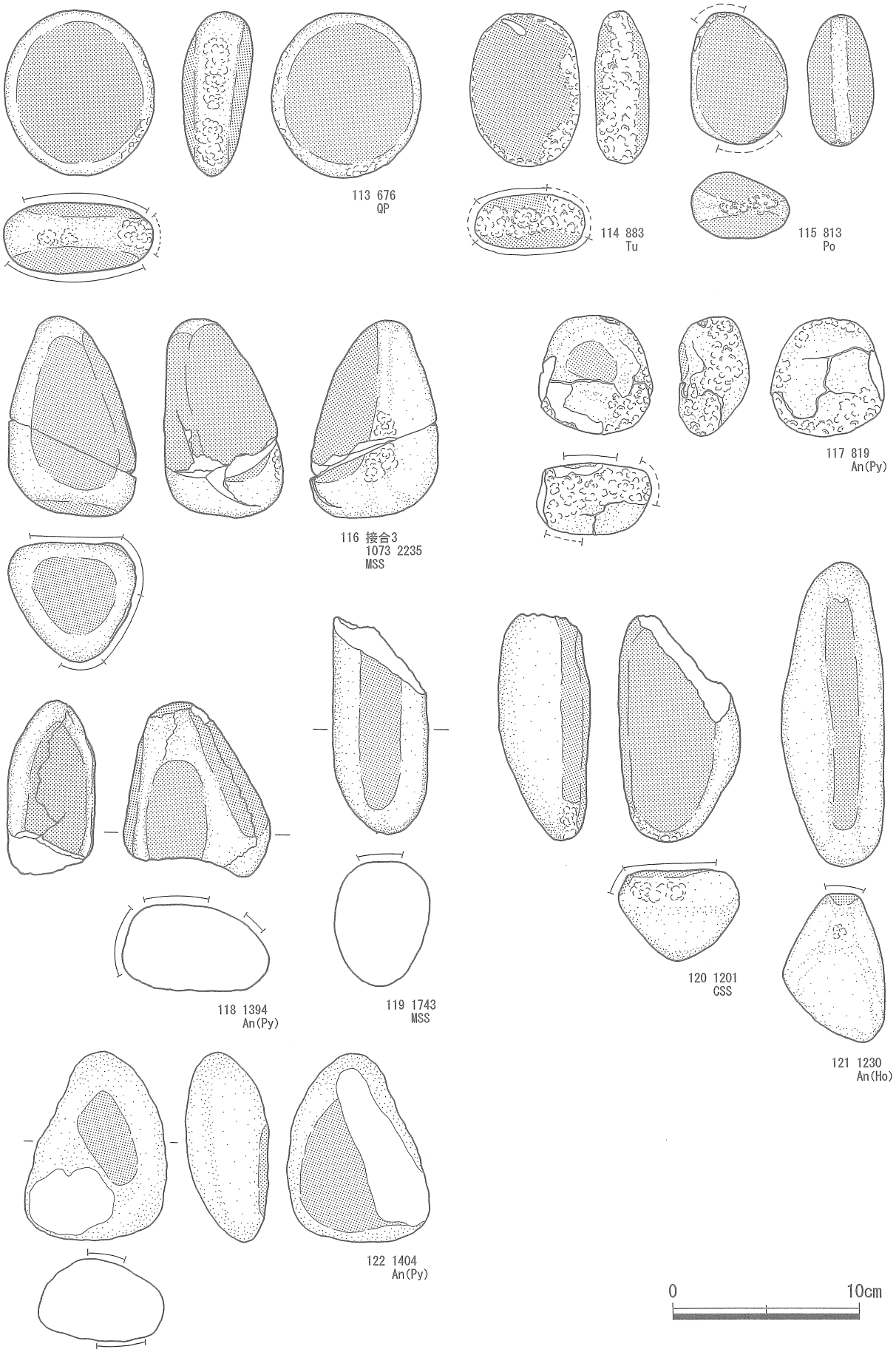
敲石・磨石類（第Ⅲ－62図104～第Ⅲ－63図122）

敲打痕のみ観察されるものを敲石、敲打痕と磨痕が観察できる複合石器を磨敲石、磨痕のみ観察されるものを磨石とした。敲石の一部には石器製作時のハンマーが含まれていると考えられるが、その他大半は植物質食料の加工に利用されていたと思われる。石材は安山岩や玄武岩、砂岩、凝灰岩をはじめとする石材各種が用いられているが、輝石安山岩と砂岩の使用例が比較的多い。また、磨石、磨敲石には比熱をしているものがいくつか見受けられ、赤化したり煤が付着したもの、割れたりひびが入ったものなども確認できる。

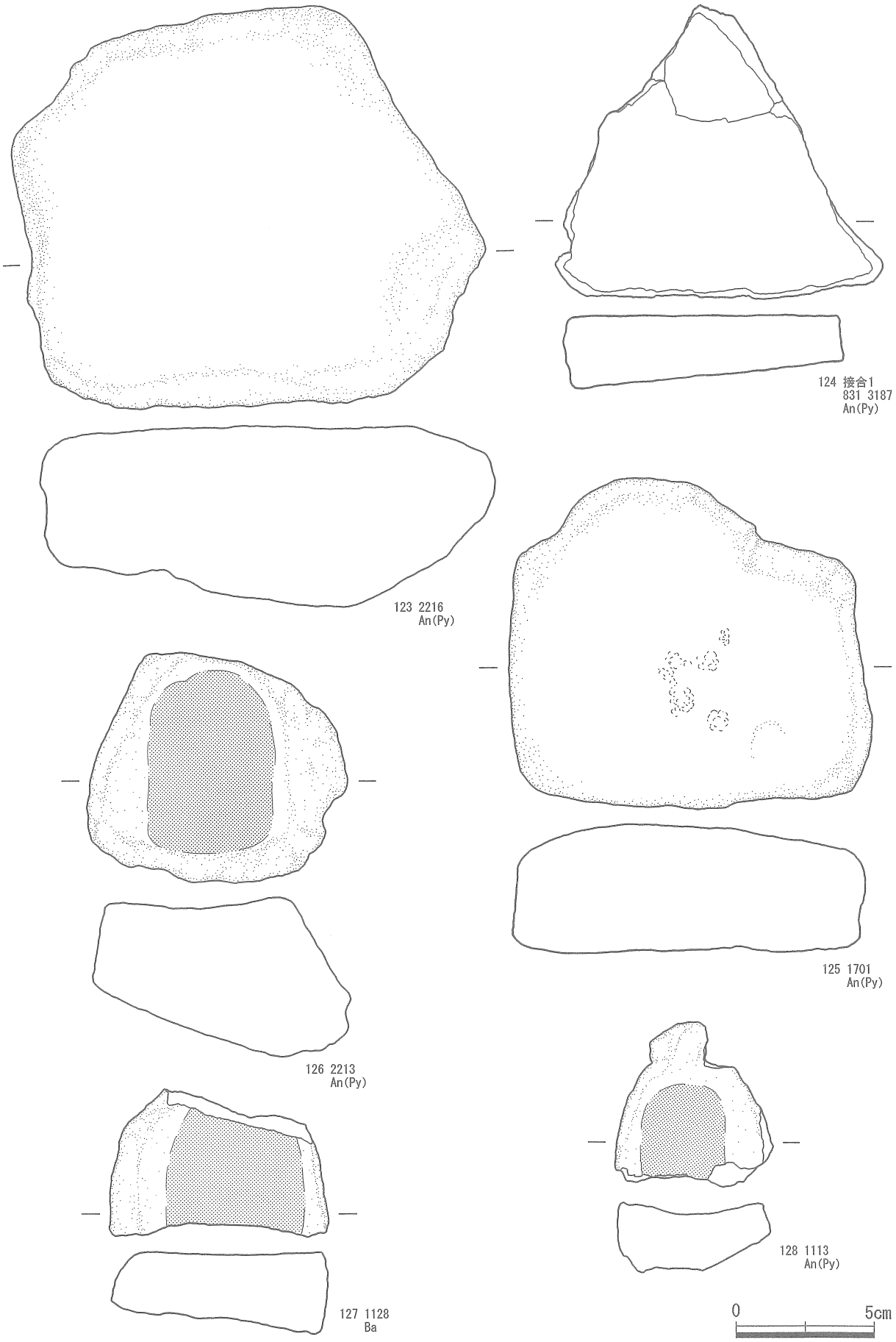
敲石は３点出土しておりそのすべてを図化した。細長い礫の上下端部にのみ敲打痕を有するもの（104）



第Ⅲ－63図　縄文時代敲石・磨石類１



第Ⅲ－64図　縄文時代敲石・磨石類２



第Ⅲ－65図　縄文時代石皿・台石

と平面形と横断面が楕円形を呈する円礫の縁辺部や平坦面に敲打痕を持つもの（105、106）がある。

磨敲石は14点出土し、このうち13点を図化した。素材とする礫は、細長い礫（107、109、120、121）や扁平な円礫（108、110～117）などであるが、いずれも礫の平坦面や縁辺部に磨痕と敲打痕を有する。このうち、112は平坦面にも敲打痕を持つ。また、116、120、121は礫の平坦面だけでなく稜線上にも磨痕を有し、敲打痕は礫の上下端部や稜線状にも認められる。

磨石は13点出土し、このうち残存状況が良好な３点を図化した。素材とする礫の石材、形状は磨敲石と同様であるが、残存状況が悪いものが多く、その大半が１／３以上を欠損している。118は平面形と横断面が楕円形を呈する円礫の平坦面および稜線上に磨痕を有する。119は細長い礫の稜線上にのみ磨痕が観察できる。122は亜円礫の平坦面に磨痕を有するが、使用後に比熱しており、ひびや剝落が見られる。

石皿・台石（第Ⅲ－64図123～128）

大型で持ち運びが困難なため、日常的には据えられた状況で使用されていたと考えられるもので、磨られた痕跡があるものを石皿、磨られた痕跡は認められないが打痕を有するものを台石とした。石皿10点、台石８点が出土しており、このうち残存状況のよい６点を図化した。いずれも扁平な自然礫を素材とし、平坦面を機能面として使用している。意図的に形状を整えたものはない。123～125は台石で、平坦面にわずかではあるが打痕を確認することができる。126～128は石皿で、台石同様使い込まれたものは見受けられず、磨られた痕が浅く凹む程度である。また、石皿、台石ともに使用頻度とは関係なく、その大半（55％）が破損した状態で出土している。使用石材は輝石安山岩、玄武岩、細礫岩の３種類で、全体の72％を輝石安山岩が占めている。

⑵　石器集中

本遺跡で縄文時代に使用されている石材は数種存在し、いずれも調査区から満遍なく出土するが、集中部を形成しているのは黒曜石のみである。小石器集中はいくつか存在するが、特に目に付く集中部はＥ－６～Ｆ－６グリッドにまたがって、長軸8.4m、短軸４ｍの範囲に分布する集中域で、平面的には旧石器時代の石器集中部１のすぐ南側に分布している。２ヶ所の小石器集中からなるが、集中間にはレベル差がほとんどなく、出土石器の組成も同様であることから時期差は存在しないものと考えられる。石器は土器が主体的に出土するレベルよりもやや低い６層黒褐色土を中心に、５～７層にかけ0.61m（平均0.3m前後）のレベル差をもって出土している。総点数は336点で、その８割以上を黒曜石が占める。黒曜石の産地同定は32点のみの実施であるが、結果は第Ⅲ－９表のとおりで、神津島恩馳島群、諏訪星ヶ台群、天城柏峠群、和田鷹山群の黒曜石が使用されている。重量0.１ｇ以下の砕片232点を除き、出土した黒曜石の総重量は28.56ｇ、平均重量は0.65ｇである。おそらく石鏃生産の跡と推測されるが、製品や石核の類は持ち出されたようで、出土した黒曜石は全て微細な剥片類である。集中部南端からは打痕を有する台石（125）が１点出土している。また、その他にチャート製の石鏃（11）、ホルンフェルス製の石匙（90）、石錘（91）が各１点出土しているが、これらは重複分布した石器と考えられる。集中域の周縁部、石器が集中する出土層位よりやや高めの位置で野島式土器などの条痕文土器が数点重複分布していることから、早期後半以前に帰属すると推測される。

（髙野穂多果）

第Ⅲ－66図　縄文時代石器集中

第Ⅲ－８表　縄文時代遺構外石器組成表

		有茎尖頭器	尖頭器	石鏃	石錐	抉入削器	削器	掻器	石核	石匙	楔形石器	使用痕の有る剥片	二次加工の有る剥片	打製石斧	打製石斧未製品	石錘	敲石	磨・敲石	磨石	石皿	台石	剥片類	合計
Ob	AGKT			11				1	6			2	1									60	81
	SWHD			3		1	1	7	2			2	1									39	56
	KZOB			4					2		1	1										22	30
	TSTY	1					1	1														2	5
	HNHJ					1		1				1										1	4
	TSHG																					1	1
	WDTY							1														3	4
	WDHY																					1	1
	不可等			4			1	1														13	19
	不明産地2																					2	2
	未分析			1					1			7	2									642	653
Hor		2	1	1	1		6	2	27	2		3	7		2							607	661
GAn																						3	3
Ch				2																		4	6
Ch(DG)																						1	1
Ch(Gy)																						1	1
Cha																						2	2
CSS														1			1	4	1			2	9
FSS														1				1				5	7
MSS																		2	5			2	9
CSc														1									1
Sh								1						9	3							4	17
Sh(Re)												1				1							2
SSh	1	1																					2
SSh(Bl)								1				1											2
Rhy												2	1									15	18
Tu																	2	1					3
HFT																						1	1
FT																			1				1
HS							1																1
GC																			2	2			4
Di																		1	1				2
Po																		1					1
QP																		1					1
An(Py)																		1	5	5	5		16
An(Ho)																		2					2
FAn												1		1									2
Ba																	1			1	2		4
合計		4	2	26	1	2	10	14	40	2	1	21	12	13	5	1	4	14	15	8	7	1433	1635

第Ⅲ－９表　縄文時代石器集中組成表

	Ob						Hor	Ch	Sh（Re）	Rhy	An（Py）	合計
	AGKT	SWHD	KZOB	WDTY	不可等	未分析						
石鏃								1				1
石錘									1			1
石匙							1					1
使用痕の有る剥片						1						1
台石											1	1
剥片類	6	8	15	1	2	250	48			1		331
合計	6	8	15	1	2	251	49	1	1	1	1	336

第Ⅲ－10表　縄文時代石器観察表

図版番号	遺物番号	枝番	器種名	層位	グリッド	石材	Ob産地	遺構名	長径(mm)	短径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)	接合	備考
Ⅲ－43－1	2147		尖頭器	07	D－006	Hor			(43.8)	13.9	6.0	4.2	－89802.917	12245.443	116.616		先端及び基部欠
Ⅲ－43－2	2334		尖頭器	08	G－004	Hor			(58.6)	19.5	(6.9)	8.4	－89777.132	12222.203	111.27		基部1/5欠
Ⅲ－43－3	2587		尖頭器	07	E－006	SSh			46.7	12.3	6.2	2.8	－89793.162	12248.327	117.283		
Ⅲ－43－4	1920		尖頭器	07	D－006	Ob	TSTY		(35.6)	(12.1)	6.0	1.3	－89802.272	12246.046	116.754		基部1/3欠
Ⅲ－43－5	1990		有茎尖頭器	09a	H－004	Hor			(18.9)	16.8	5.7	1.6	－89768.02	12226.236	111.83		刃部3/4欠
Ⅲ－43－6	2948		有茎尖頭器	11	F－006	SSh			30.2	14.0	4.3	1.0	－89781.969	12240.705	117.813		
Ⅲ－43－7	135		石鏃	05a	I－004	Ob	KZOB		(25.9)	19.8	3.9	1.1	－89756.634	12228.885	113.598		先端欠
Ⅲ－43－8	658		石鏃	05	D－006	Ob			(18.9)	(14.2)	3.6	0.6	－89806.832	12249.816	117.021		先端及び基部
Ⅲ－43－9	944		石鏃	05	E－006	Ob	AGKT		14.9	15.1	3.6	0.4	－89798.562	12242.598	117.117		
Ⅲ－43－10	1680		石鏃	06	D－006	Ob	AGKT		21.1	(16.0)	4.8	0.9	－89805.691	12249.701	116.737		基部欠
Ⅲ－43－11	1612		石鏃	07	F－006	Ch		石器集中	(24.8)	19.2	4.5	1.6	－89787.798	12245.126	117.825		先端欠
Ⅲ－43－12	2865		石鏃	08	E－006	Ob	AGKT		22.0	(14.7)	3.1	0.6	－89797.156	12248.996	116.816		1/3欠
Ⅲ－43－13	139		石鏃	03	I－004	Ob	推定不可		13.5	13.4	3.7	0.5	－89759.464	12228.897	113.907		
Ⅲ－43－14	1272		石鏃	06a	F－004	Ob	SWHD		20.6	13.4	4.1	0.8	－89781.198	12220.68	112.097		
Ⅲ－43－15	620		石鏃	05b	H－004	Hor			22.2	12.7	2.4	0.7	－89767.885	12223.357	112.571		
Ⅲ－43－16	3352		石鏃	01	－	Ch			(23.4)	(15.7)	4.0	1.1	－	－	－		基部欠
Ⅲ－43－17	953		石鏃	05	E－006	Ob	KZOB		(15.8)	(15.7)	3.1	0.5	－89795.861	12248.422	117.453		先端及び基部欠
Ⅲ－43－18	218		石鏃	03	G－004	Ob	推定不可		(20.4)	(19.8)	3.8	0.9	－89772.696	12222.854	112.983		
Ⅲ－43－19	663		石鏃	05	D－006	Ob	推定不可		17.1	(14.8)	4.7	0.8	－89806.558	12249	116.948		基部欠
Ⅲ－43－20	1028		石鏃	05	D－006	Ob	AGKT		20.4	14.9	6.5	1.3	－89804.303	12249.831	116.949		
Ⅲ－43－21	1677		石鏃	06	D－006	Ob	AGKT		14.8	18.5	2.5	0.6	－89803.434	12248.415	116.772		上端欠
Ⅲ－43－22	2161		石鏃	06	D－006	Ob	AGKT		22.2	21.4	9.2	2.6	－89807.569	12244.839	116.641		
Ⅲ－43－23	655		石鏃	05	D－006	Ob	AGKT		23.3	22.3	11.9	4.1	－89807.254	12249.219	116.952		
Ⅲ－43－24	3295		使用痕有る剥片	01	－	Ob	HNHJ		25.8	20.0	9.3	4.2	－	－	－		
Ⅲ－43－25	3377		石錐	01	－	Hor			26.2	30.7	6.2	3.0	－	－	－		
Ⅲ－44－26	3334		削器	01	－	Hor			92.6	45.7	16.9	62.4	－	－	－		
Ⅲ－44－27	450		削器	04	D－007	Ob	TSTY		(26.8)	(35.4)	(8.3)	6.7	－89806.728	12252.091	117.163		
Ⅲ－44－28	2157		削器	06	D－006	Ob	推定不可		25.1	20.7	10.8	3.5	－89804.293	12247.19	116.618		
Ⅲ－44－29	2833		抉入削器	07	F－007	Ob	HNHJ		24.3	22.1	9.1	3.8	－89785.375	12253.388	118.345		
Ⅲ－44－30	1245		削器	05	D－006	Hor			83.4	43.6	9.4	33.7	－89808.83	12248.959	116.734		
Ⅲ－44－31	1988		削器	07	G－004	Hor			91.0	51.1	16.0	59.3	－89770.021	12223.45	112.047		上縁一部欠
Ⅲ－45－32	1528		削器	06	D－007	Hor			63.5	81.7	15.5	100.9	－89805.538	12250.293	116.842		
Ⅲ－45－33	1026		削器	05	D－007	Hor			57.6	81.5	31.7	133.2	－89805.563	12250.228	116.885		下端欠？
Ⅲ－45－34	848		削器	06a	E－003	Hor			88.9	94.3	26.1	233.2	－89792.266	12217.04	111.264		
Ⅲ－45－35	111		削器	06a	F－004	HS			(51.9)	35.3	(12.0)	17.9	－89780.617	12222.101	112.126		
Ⅲ－46－36	244		掻器	04	F－003	Hor			37.8	35.8	16.9	22.0	－89782.61	12219.759	112.629		
Ⅲ－46－37	1922		掻器	07	E－006	Hor			30.5	32.8	16.8	20.5	－89796.261	12245.147	117.149		
Ⅲ－46－38	37		掻器	02c	D－003	Ob	TSTY		23.8	26.1	13.5	7.6	－89800.465	12216.763	112.348		
Ⅲ－46－39	2578		掻器	07	E－006	Ob	SWHD		30.9	15.0	12.8	5.2	－89799.345	12248.281	116.866		
Ⅲ－46－40	2140		掻器	07	D－006	Ob	SWHD		31.5	18.3	9.9	5.1	－89802.708	12243.155	116.634		
Ⅲ－46－41	591		掻器	05a	G－004	Ob	SWHD		26.0	16.9	11.7	4.5	－89773.117	12222.218	112.493		
Ⅲ－46－42	1831		掻器	06	D－006	Ob	SWHD		21.4	20.1	9.9	3.6	－89801.845	12243.53	116.802		
Ⅲ－46－43	256		掻器	04	F－007	Ob	SWHD		24.4	20.7	7.4	2.8	－89785.578	12252.528	118.793		
Ⅲ－46－44	2428		掻器	06a	G－003	Ob	AGKT		22.2	18.2	8.4	2.6	－89778.552	12219.139	111.693		上位1/4欠
Ⅲ－47－45	863		掻器	06a	F－004	Ob	推定不可		(22.2)	(22.1)	(9.6)	3.9	－89783.959	12220.375	112.155		1/2欠
Ⅲ－47－46	1921		掻器	07	E－006	Ob	SWHD		23.7	25.0	11.2	3.9	－89797.987	12244.145	117.022		
Ⅲ－47－47	1724		掻器	06	D－006	Ob	HNHJ		36.3	29.9	12.5	15.7	－89806.252	12243.418	116.669		
Ⅲ－47－48	1957		掻器	07	F－004	Ob	SWHD		19.0	12.4	5.4	0.9	－89780.373	12220.8	111.637		
Ⅲ－47－49	92		掻器	05	D－007	Ob	WDTY		13.8	16.2	5.1	0.9	－89807.951	12251.428	116.455		
Ⅲ－47－50	2973		抉入削器	02a	F－005	Ob	SWHD		31.2	25.7	14.7	8.0	－89788.979	12236.345	117.254		
Ⅲ－47－51	2180		楔形石器	06	E－007	Ob	KZOB		35.7	22.6	10.7	7.1	－89794.213	12251.164	117.528		
Ⅲ－47－52	3		石核(小型石核)	04	E－007	Ob	KZOB		21.4	17.0	10.4	3.4	－89793.818	12251.787	118.07		
Ⅲ－47－53	685		石核	05	D－006	Ob	AGKT		27.5	32.4	12.9	8.8	－89803.376	12248.964	117.014		
Ⅲ－47－54	1531		石核	06	D－006	Ob			31.0	33.1	8.3	5.3	－89804.308	12248.116	116.731		
Ⅲ－48－55	509		石核	04	D－007	Ob	AGKT		34.9	41.3	26.2	26.1	－89802.00	12250.488	117.376		
Ⅲ－48－56	469		石核	04	D－006	Ob	AGKT		18.2	34.5	9.7	6.0	－89806.563	12245.741	117.051		
Ⅲ－48－57	75		石核	05	E－006	Ob	AGKT		39.0	23.3	12.3	12.3	－89792.76	12249.853	117.468		
Ⅲ－48－58	580		石核	05b	F－004	Ob	AGKT		29.6	26.2	11.3	6.5	－89782.034	12220.499	112.384		
Ⅲ－48－59	968		石核	05	E－006	Ob	SWHD		38.1	21.6	13.3	9.9	－89793.361	12248.249	117.759		
Ⅲ－48－60	336		石核	05	E－006	Ob	KZOB		33.5	25.5	13.0	7.7	－89794.986	12249.262	117.578		
Ⅲ－48－61	402		石核	05a	F－003	Ob	SWHD		13.1	22.1	17.1	4.6	－89781.099	12218.856	112.175		
Ⅲ－49－62	633		石核	05b	G－004	Hor			39.5	39.5	21.5	27.1	－89775.341	12221.017	112.165		
Ⅲ－49－63	3351		石核	01	－	Hor			50.2	59.4	39.7	123.6	－	－	－		
Ⅲ－49－64	2422		石核	05b	G－003	Hor			45.7	45.6	22.0	44.3	－89778.688	12219.841	112.064		
Ⅲ－50－65	870		石核	06c	E－003	Hor			36.5	41.1	23.0	25.3	－89797.646	12215.083	110.843		一部剥落
Ⅲ－50－66	1983		石核	07	G－004	Hor			27.0	71.9	42.7	88.6	－89775.912	12224.069	112.097		
Ⅲ－50－67	1501		石核	06	D－006	Hor			78.5	65.1	33.0	124.0	－89807.684	12244.36	116.656		
Ⅲ－51－68	485		石核	05	D－006	Hor			68.2	60.7	31.5	161.2	－89804.533	12242.458	116.923		
Ⅲ－51－69	1959		石核	07	F－004	Hor			26.8	40.0	29.9	28.3	－89780.496	12220.711	111.504		
Ⅲ－52－70	847		石核	06a	F－003	Hor			35.6	55.0	24.5	52.0	－89780.68	12219.945	112.032		
Ⅲ－52－71	1434		石核	06b	G－004	Hor			54.0	47.6	19.9	43.2	－89776.131	12221.35	111.855		
Ⅲ－52－72	626		石核	06a	G－004	Hor			50.2	43.1	30.0	72.6	－89772.359	12222.09	112.194		
Ⅲ－52－73	25		石核	04	F－004	SSh(Bl)			55.8	43.9	21.9	50.7	－89780.256	12222.826	113.152		
Ⅲ－53－74	722		石核	05	D－006	Hor			99.9	109.6	38.7	595.2	－89806.055	12245.772	116.897		
Ⅲ－53－75	280		石核	04	G－004	Hor			88.5	64.9	32.4	191.8	－89779.323	12220.184	112.559		
Ⅲ－53－76	1626		石核	06	D－006	Hor			80.1	72.5	35.0	220.5	－89800.26	12243.184	116.946		
Ⅲ－54－77	939		石核	05	E－006	Sh			120.1	77.7	44.5	451.7	－89799.993	12246.066	117.179		
Ⅲ－54－78	659		石核	05	D－007	Hor			28.2	87.2	64.8	197.8	－89807.417	12250.48	116.992		
Ⅲ－54－79	1053		石核	05	E－007	Hor			42.2	74.5	63.8	255.2	－89798.975	12250.818	117.28		
Ⅲ－55－80	531		石核	05	E－006	Hor			57.1	77.1	92.0	329.2	－89793.167	12248.139	117.804		
Ⅲ－55－81	779		石核	05	F－007	Hor			55.4	133.2	64.5	574.0	－89782.912	12253.31	118.821		
Ⅲ－55－82	523		石核	05	D－006	Hor			40.1	128.2	53.7	333.0	－89800.305	12241.437	117.069		
Ⅲ－55－83	622		石核	05b	H－004	Hor			48.0	140.4	54.3	442.1	－89769.967	12223.866	112.562		
Ⅲ－56－84	763		石核	05	E－006	Hor			63.2	106.3	62.5	587.0	－89796.448	12243.613	117.333		
Ⅲ－56－85	2662		石核	05	D－006	Hor			48.8	92.3	59.7	332.0	－89802.683	12248.025	117.094		
Ⅲ－56－86	1624		石核	06	E－006	Hor			46.0	104.8	46.5	284.2	－89792.597	12245.537	117.558		
Ⅲ－56－87	1315		石核	06	D－007	Hor			68.1	44.2	35.6	148.2	－89806.06	12250.884	116.794		
Ⅲ－57－88	916		石核	06	D－006	Hor			63.8	72.0	45.1	146.0	－89801.038	12243.093	116.918		

図版番号	遺物番号	枝番	器種名	層位	グリッド	石材	Ob産地	遺構名	長径(mm)	短径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)	接合	備考
Ⅲ－57－89	252		石匙	04	E－003	Hor			42.9	63.3	9.4	16.8	－89798.661	12214.614	111.372		
Ⅲ－57－90	270		石匙	04	E－006	Hor		石器集中	51.0	79.5	8.4	28.9	－89790.603	12245.193	117.878		
Ⅲ－57－91	1442		石錘	07	F－006	Sh(Re)		石器集中	64.1	40.1	8.5	27.6	－89786.873	12242.853	117.754		
Ⅲ－58－92a	73		剥片	05	E－007	Ob	AGKT		49.1	18.2	8.6	4.8	－89794.271	12250.54	117.638	26	
Ⅲ－58－92b	711		剥片	05	E－007	Ob	AGKT		28.0	11.6	4.9	1.0	－89796.524	12250.65	117.671	26	
Ⅲ－58－92c	1850		剥片	06	D－007	Ob	AGKT		35.0	24.5	5.8	3.5	－89801.032	12250.25	116.916	26	
Ⅲ－58－92d	6		二次加工有る剥片	04	E－007	Ob	AGKT		35.9	23.5	11.8	6.1	－89792.883	12251.053	117.955	26	
Ⅲ－58－93a	699		剥片	05	D－007	Ob	AGKT		24.5	28.8	8.8	5.2	－89800.173	12250.373	117.369	28	
Ⅲ－58－93a	2158		剥片	05	D－006	Ob	AGKT		23.6	26.1	4.7	2.3	－89805.537	12247.49	116.923	28	
Ⅲ－58－93b	2577		剥片	05	D－006	Ob	AGKT		31.4	12.0	4.8	1.4	－89800.235	12248.31	117.206	28	
Ⅲ－58－93c	1049		石核	05	E－007	Ob	AGKT		51.7	29.1	14.9	19.4	－89796.495	12251.581	117.502	28	
Ⅲ－59－94a	903		削器	05	D－006	Ob	SWHD		33.1	23.3	9.2	6.7	－89804.061	12243.748	116.829	34	
Ⅲ－59－94b	477		剥片	04	D－006	Ob	SWHD		32.3	21.8	7.6	5.7	－89804.128	12244.85	117.047	34	
Ⅲ－59－95a	894		剥片	05	D－006	Ob	SWHD		20.3	19.5	4.7	1.9	－89806.074	12245.328	116.853	35	
Ⅲ－59－95b	2656		剥片	07	D－006	Ob	SWHD		21.6	19.1	10.8	3.1	－89807.896	12246.783	116.407	35	
Ⅲ－59－96a	7		剥片	05	E－007	Rhy			40.7	47.2	8.7	14.0	－89792.24	12250.99	118.003	23	
Ⅲ－60－96b	773		使用痕有る剥片	05	E－007	Rhy			33.5	29.7	12.9	12.9	－89793.923	12253.071	118.025	23	
Ⅲ－60－96c	375		剥片	03	D－007	Rhy			16.3	24.0	5.1	2.3	－89801.777	12250.411	117.513	23	
Ⅲ－60－96d	129		剥片	03	F－003	Rhy			43.8	43.1	12.4	21.2	－89782.623	12219.532	112.668	23	
Ⅲ－61－97	3346		打製石斧	01	－	Sh			112.9	42.9	21.3	104.3	－	－	－		刃部1/3欠
Ⅲ－61－98	284		打製石斧	05a	E－003	Sh			115.7	46.8	30.0	177.5	－89792.705	12215.666	111.743		
Ⅲ－61－99	423		打製石斧	05a	F－003	Sh			(77.5)	49.9	17.5	58.1	－89788.295	12219.331	112.509		基部2/3欠
Ⅲ－61－100	3347		打製石斧	01	－	Sh			100.3	59.4	20.5	122.4	－	－	－		
Ⅲ－61－101	27		打製石斧	04	F－004	CSc			125.6	58.8	15.6	137.6	－89781.173	12221.995	113.059		焼成痕あり
Ⅲ－61－102	237		打製石斧	04	E－003	Sh			130.9	55.8	20.1	143.1	－89798.865	12213.878	111.273		
Ⅲ－62－103	238		打製石斧	04	F－003	CSS			177.4	149.5	34.7	601.8	－89786.857	12219.31	112.538		
Ⅲ－63－104	1864		敲石	06	E－007	Tu			91.0	38.0	23.0	100.0	－89791.644	12250.903	117.927		
Ⅲ－63－105	561		敲石	04	D－006	Ba			76.0	46.0	29.0	136.9	－89804.88	12248.55	117.096		
Ⅲ－63－106	545		敲石	04	F－007	Tu			(77.0)	(52.0)	(38.0)	222.5	－89789.797	12251.608	118.245		
Ⅲ－63－107	752		磨敲石	05	E－006	CSS			(80.0)	(68.0)	(49.0)	317.8	－89798.359	12242.526	117.214		
Ⅲ－63－108	3345		磨敲石	01	－	CSS			111.0	94.0	41.0	523.7	－	－	－		
Ⅲ－63－109	1726		磨敲石	06	D－006	FSS			(97.0)	70.0	61.0	508.4	－89807.318	12245.838	116.705		1/3欠損
Ⅲ－63－110	973		磨敲石	05	E－006	An(Ho)			92.0	109.0	50.0	756.4	－89792.518	12246.385	117.657		
Ⅲ－63－111	316		磨敲石	05	E－006	Di			111.0	80.0	41.0	520.2	－89791.367	12249.754	117.858		
Ⅲ－63－112	484		磨敲石	05	D－006	CSS			92.0	79.0	37.0	372.0	－89803.925	12242.408	116.988		
Ⅲ－64－113	676		磨敲石	05	D－006	QP			88.0	80.0	38.0	364.3	－89804.532	12249.322	116.937		
Ⅲ－64－114	883		磨敲石	05	D－006	Tu			81.0	59.0	29.0	201.7	－89807.08	12244.728	116.718		
Ⅲ－64－115	813		磨敲石	05	E－007	Po			70.0	52.0	35.0	174.0	－89799.054	12250.716	117.545		
Ⅲ－64－116	1073		磨敲石	05	D－006	MSS			106.0	68.0	64.0	261.9	－89803.23	12248.558	116.961	3	
Ⅲ－64－116	2235		磨敲石	06	D－006	MSS			106.0	68.0	64.0	332.8	－89801.918	12247.525	116.906	3	
Ⅲ－64－117	819		磨敲石	05	E－007	An(Py)			63.0	61.0	38.0	186.8	－89797.211	12251.512	117.456		
Ⅲ－64－118	1394		磨石	06	D－006	An(Py)			93.0	77.0	47.0	373.2	－89803.017	12248.962	116.86		1/3欠損
Ⅲ－64－119	1743		磨石	05	F－007	MSS			116.0	51.0	71.0	575.8	－89784.459	12251.175	118.446		1/3欠損
Ⅲ－64－120	1201		磨敲石	05	E－006	CSS			121.0	65.0	49.0	448.6	－89799.745	12246.026	117.148		一部欠損
Ⅲ－64－121	1230		磨敲石	05	E－006	An(Ho)			162.0	55.0	79.0	846.4	－89793.158	12248.462	117.69		
Ⅲ－64－122	1404		磨石	05	D－006	An(Py)			100.0	71.0	47.0	341.6	－89807.162	12248.244	116.761		
Ⅲ－65－123	2216		台石	06	E－006	An(Py)			286.0	340.0	153.0	19441.8	－89792.07	12246.25	117.573		
Ⅲ－65－124	831		台石	05	E－006	An(Py)			215.5	237.0	54.0	507.7	－89796.614	12246.251	117.421	1	大半欠損
Ⅲ－65－124	3187		台石	05	E－007	An(Py)			215.5	237.0	54.0	2679.1	－89795.801	12251.699	117.538	1	
Ⅲ－65－125	1701		台石	06	E－006	An(Py)		石器集中	238.0	262.0	94.0	8061.6	－89793.592	12242.881	117.491		
Ⅲ－65－126	2213		石皿	06	E－006	An(Py)			165.5	188.0	116.0	4615.0	－89791.839	12246.896	117.516		
Ⅲ－65－127	1128		石皿	05	D－006	Ba			106.0	158.5	60.0	1468.5	－89805.749	12245.346	116.901		2/3欠損
Ⅲ－65－128	1113		石皿	05	D－006	An(Py)			119.0	114.0	54.0	744.4	－89804.511	12242.785	116.889		大半欠損
	874		石鏃	06a	G－004	Ob	SWHD		(9.3)	(12.0)	2.4	0.3	－89773.319	12223.529	112.348		1/2欠損
	1023		石鏃	05	D－006	Ob	推定不可		17.7	13.2	4.0	0.4	－89807.626	12249.845	116.864		1/2欠損
	1035		石鏃	05	D－006	Ob	AGKT		(11.0)	(7.4)	2.4	0.2	－89803.818	12249.464	116.953		大半欠損
	1296		石鏃	06	D－007	Ob	AGKT		(8.9)	(5.9)	2.4	0.1	－89803.455	12250.241	116.903		大半欠損
	1310		石鏃	06	D－007	Ob	SWHD		(16.0)	(10.1)	3.7	0.4	－89804.752	12250.343	116.853		1/2欠損
	1433		石鏃	06b	G－004	Ob	AGKT		(10.1)	(6.9)	1.9	0.1	－89777.076	12221.193	111.853		大半欠損
	1486		石鏃	06	E－006	Ob	KZOB		(14.1)	(16.6)	5.2	0.9	－89794.356	12245.179	117.425		1/2欠損
	3320		石鏃	01	－	Ob	KZOB		(9.5)	(8.3)	2.0	0.2	－	－	－		大半欠損
	3380		石鏃	01	－	Ob	AGKT		(9.2)	(4.4)	1.2	0.1	－	－	－		大半欠損
	3327		石核	01	－	Hor			52.9	72.1	26.5	145.0	－	－	－		
	736		石核	05	D－006	Hor			70.4	89.4	46.2	313.6	－89804.724	12246.14	116.974		
	475		打製石斧	04	D－006	FSS			(89.1)	84.2	30.5	286.3	－89804.549	12245.548	117.026		1/2欠損
	609		打製石斧	05	E－006	Sh			(57.5)	49.9	12.9	45.1	－89794.31	12248.344	117.681		1/2欠損
	675		打製石斧	05	D－006	Sh			(26.5)	62.6	11.2	19.3	－89804.856	12249.311	116.983		大半欠損
	746		打製石斧	05	D－006	FAn			(84.5)	67.6	29.5	155.4	－89801.583	12244.667	117.039		一部欠損
	788		打製石斧	05	D－006	Sh			(58.3)	(40.3)	10.9	31.1	－89804.844	12243.417	116.882		大半欠損
	3294		打製石斧	01	－	Sh			(99.3)	45.5	15.7	70.7	－	－	－		1/2欠損
	553		打製石斧(未製品)	04	D－006	Sh			(99.8)	(51.4)	15.8	90.1	－89802.120	12245.155	117.231	16	
	614		打製石斧(未製品)	6	E－006	Sh			(107.9)	84.1	23.0	287.2	－89799.706	12245.442	117.176		
	749		打製石斧(未製品)	05	D－006	Sh			(81.3)	(37.3)	14.9	42.2	－89802.147	12244.027	116.981	16	
	942		打製石斧(未製品)	5	E－006	Hor			63.3	61.5	16.0	84.1	－89799.670	12244.576	117.124	10	
	1547		打製石斧(未製品)	6	E－006	Hor			31.7	49.6	15.5	22.2	－89796.846	12241.891	117.213	10	
	9		使用痕有る剥片	4	E－007	Ob			14.6	30.3	10.9	3.4	－89793.274	12250.489	117.885		
	17		使用痕有る剥片	6	F－005	SSh(Bl)			83.0	27.2	10.4	20.8	－89788.883	12234.759	117.053		
	248		使用痕有る剥片	4	G－004	Hor			64.3	72.2	23.5	90.4	－89778.860	12220.768	112.722		
	272		使用痕有る剥片	3	E－006	Hor			58.3	72.8	9.0	40.2	－89795.818	12249.849	117.911	5	
	291		使用痕有る剥片	4	F－003	Ob			21.6	37.0	15.2	9.1	－89781.009	12218.238	112.286		
	326		使用痕有る剥片	4	E－006	Ob			32.7	25.5	7.4	5.1	－89794.176	12247.461	117.820		
	345		使用痕有る剥片	3	E－006	Ob			14.7	18.7	11.9	3.1	－89796.120	12249.903	117.818		
	617		使用痕有る剥片	5	D－007	Ob	AGKT		26.5	18.4	7.1	2.8	－89806.545	12251.318	116.972		
	773		使用痕有る剥片	5	E－007	Rhy			33.5	29.7	12.9	12.9	－89793.923	12253.071	118.025	23	
	843		使用痕有る剥片	06a	F－003	Sh(Re)			24.5	13.3	6.3	1.6	－89780.034	12218.158	111.760		
	1055		使用痕有る剥片	5	E－007	Hor			99.1	46.7	16.5	71.4	－89793.210	12253.036	117.886		
	1056		使用痕有る剥片	5	E－007	Ob	KZOB		27.5	32.4	11.1	7.0	－89793.201	12254.378	117.978		
	1069		使用痕有る剥片	5	E－006	FAn			24.9	24.4	4.2	2.6	－89797.702	12244.153	117.156		
	1326		使用痕有る剥片	6	D－006	Ob			24.1	27.6	6.1	3.6	－89805.176	12247.934	116.782		

図版番号	遺物番号	枝番	器種名	層位	グリッド	石材	Ob産地	遺構名	長径(mm)	短径(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	X座標(m)	Y座標(m)	Z座標(m)	接合	備考
	1623		使用痕有る剥片	6	E－006	Ob		石器集中	28.4	21.7	9.4	4.1	－89793.944	12244.246	117.426		
	1969		使用痕有る剥片	7	F－004	Ob	SWHD		24.8	22.0	8.6	5.0	－89781.965	12220.792	111.801		
	2173		使用痕有る剥片	7	E－007	Ob	SWHD		20.6	13.2	2.4	0.7	－89797.951	12250.053	116.964		
	2706		使用痕有る剥片	5	F－007	Rhy			39.5	56.4	17.7	38.1	－89786.428	12252.131	118.465		
	2751		使用痕有る剥片	7	F－006	Ob	AGKT		35.8	19.5	7.8	5.6	－89783.151	12246.541	118.168		
	54		二次加工有る剥片	05a	F－004	Hor			37.8	30.5	16.5	18.3	－89780.839	12221.873	112.581		
	235		二次加工有る剥片	3	G－004	Hor			41.3	48.0	14.0	30.0	－89771.447	12223.220	113.017		
	697		二次加工有る剥片	5	D－007	Rhy			15.1	32.9	0.9	4.3	－89800.844	12250.154	117.185		
	785		二次加工有る剥片	5	D－006	Ob			43.4	18.5	10.6	6.7	－89804.509	12245.158	116.951		
	962		二次加工有る剥片	5	E－006	Hor			55.9	73.9	16.9	90.4	－89795.701	12246.423	117.441		
	1293		二次加工有る剥片	6	D－007	Ob			29.3	21.9	0.6	3.7	－89802.863	12250.485	116.982		
	1303		二次加工有る剥片	5	D－006	Hor			37.6	81.5	23.6	73.1	－89803.934	12247.990	117.051		
	1851		二次加工有る剥片	6	D－006	Hor			56.7	82.4	27.5	118.7	－89800.548	12249.270	116.886		
	1952		二次加工有る剥片	06c	G－003	Hor			51.9	35.3	17.3	14.5	－89779.219	12219.524	111.538		
	2254		二次加工有る剥片	7	G－006	Hor			95.2	78.2	23.3	143.0	－89778.628	12249.889	118.715		
	755		磨石	5	E－006	MSS			(72.6)	(28.9)	39.6	102.3	－89798.979	12243.156	117.102		
	1111		磨石	5	D－006	An(Py)			151.0	78.0	71.0	1112.2	－89804.435	12242.496	116.827		大半欠損
	1182		磨石	5	E－006	GC			(56.0)	(60.0)	(43.0)	127.0	－89798.224	12241.923	117.214		大半欠損
	1183		磨石	5	E－006	GC			(71.0)	(45.0)	(23.0)	70.2	－89798.128	12241.870	117.229		
	1227		磨石	5	E－006	An(Py)			80.0	64.0	53.0	357.0	－89795.694	12249.197	117.445		
	1395		磨石	5	D－006	An(Py)			95.0	70.0	69.0	643.0	－89804.278	12249.086	116.853		
	1412		磨石	6	D－007	Di			(56.2)	(69.9)	51.9	248.9	－89806.293	12251.185	116.774		
	1706		磨石	6	E－006	CSS			56.0	35.0	19.0	28.8	－89797.321	12240.968	117.215		1/3欠損
	2236		磨石	6	D－006	FT			(60.0)	84.0	46.0	358.9	－89802.953	12246.380	116.829		1/2欠損
	2309		磨石	7	F－006	MSS			76.0	(80.0)	56.0	477.2	－89788.509	12248.205	117.765		1/2欠損
	822		石皿	5	E－007	An(Py)			(128.0)	165.0	69.0	1787.9	－89793.297	12255.270	118.302	10	
	1110		石皿	5	D－006	GC			(167.0)	(114.0)	69.0	1966.5	－89803.166	12242.843	116.891	10	大半欠損
	1163		石皿	5	D－006	GC			(54.0)	(105.0)	69.0	428.0	－89802.445	12246.142	117.007		3/4欠損
	833		台石	5	E－006	Ba			(140.0)	(135.0)	55.0	1503.4	－89792.699	12247.852	117.761		
	1125		台石	5	D－006	An(Py)			(174.0)	123.0	59.0	1636.0	－89807.283	12245.330	116.798		
	1169		台石	5	D－006	Ba			207.0	119.0	100.0	3345.9	－89800.565	12245.493	117.117		大半欠損
	1180		台石	5	E－006	An(Py)			(85.0)	(87.0)	(61.0)	511.6	－89798.544	12242.120	117.141		大半欠損
	1387		台石	5	D－007	An(Py)			(105.0)	74.0	58.0	560.4	－89801.911	12251.007	117.039		
	795		剥片	5	E－006	Hor			42.1	48.6	3.9	18.0	－89796.703	12247.333	117.399	5	
	955		剥片	5	E－006	Hor			41.0	25.5	4.0	4.4	－89795.107	12248.546	117.526	5	
	941		剥片	5	E－006	Hor			33.8	33.0	10.4	11.1	－89799.159	12245.190	117.154	6	
	992		剥片	5	E－006	Hor			23.8	29.2	7.1	4.6	－89799.169	12245.196	117.133	6	
	844		剥片	06a	F－003	Hor			16.8	25.2	0.6	2.5	－89780.454	12218.304	111.784	7	
	3279		剥片	06a	F－003	Hor			15.8	26.6	6.4	0.6	－89781.166	12218.794	111.875	7	
	564		剥片	5	E－006	Hor			54.3	78.0	16.8	74.4	－89795.983	12245.062	117.525	8	
	576		剥片	5	D－006	Hor			44.5	75.1	16.8	46.9	－89802.009	12242.433	116.988	8	
	606		剥片	5	D－006	Hor			16.3	29.0	17.5	12.2	－89804.502	12247.960	117.074	9	
	1545		剥片	6	D－006	Hor			30.5	28.4	19.4	19.5	－89801.782	12246.439	116.954	9	
	1674		剥片	6	D－006	Hor			45.2	52.4	16.8	52.5	－89801.579	12247.348	116.912	9	
	1645		剥片	6	G－007	Hor			25.8	42.1	4.7	6.4	－89778.766	12250.372	118.788	11	
	1884		剥片	7	G－007	Hor			(32.4)	6.9	2.3	0.8	－89778.755	12250.368	118.772	11	
	1697		剥片	6	E－006	Hor			33.2	25.0	18.5	14.4	－89791.492	12245.764	117.642	12	
	1924		剥片	6	E－006	Hor			29.9	19.7	10.1	7.5	－89791.447	12246.008	117.609	12	
	2197		剥片	7	F－006	Hor		石器集中	14.8	18.7	9.3	2.9	－89787.084	12243.862	117.618	13	
	2205		剥片	7	F－006	Hor		石器集中	12.5	13.1	5.6	0.9	－89787.082	12243.873	117.611	13	
	342	1	剥片	5	D－006	Hor			40.9	69.5	15.1	38.9	－89800.565	12247.761	117.047	17	石斧の素材剥片
	802		剥片	5	D－007	CSS			127.0	94.0	20.0	267.6	－89806.904	12250.501	117.029	17	石斧の素材剥片
	839		剥片	5	D－007	CSS			81.0	59.0	18.0	90.6	－89806.883	12250.442	117.038	21	
	2698		剥片	7	D－006	Hor			71.9	47.5	29.8	115.6	－89801.686	12242.011	116.585	21	
	2699		剥片	7	D－006	Hor			45.4	41.9	27.7	20.8	－89801.731	12242.097	116.611	27	
	340		剥片	5	D－006	Ob	AGKT		27.8	11.6	4.2	1.4	－89800.463	12247.874	117.124	27	
	698		剥片	5	D－007	Ob	AGKT		16.2	6.4	3.6	0.4	－89800.630	12250.193	117.323	27	
	476		剥片	4	D－006	Ob	AGKT		17.7	16.5	6.7	1.9	－89804.442	12244.796	117.032	29	
	527		剥片	5	D－006	Ob	AGKT		34.3	20.0	7.7	4.2	－89803.273	12243.724	117.003	29	
	100		剥片	6	E－007	Ob	AGKT		25.5	12.0	4.7	1.3	－89793.860	12251.611	117.496	31	
	1868		剥片	6	E－007	Ob	AGKT		14.1	11.3	5.0	0.8	－89792.250	12251.184	117.733	31	
	440		剥片	4	D－007	Ob			31.0	28.1	8.2	5.1	－89804.387	12251.673	117.434	38	
	1513		剥片	6	E－007	Ob			37.4	28.1	11.5	6.5	－89798.947	12251.427	117.245	38	
	686		剥片	5	D－006	Ob			31.9	10.9	6.1	2.4	－89803.303	12249.145	117.071	39	
	1842		剥片	6	D－007	Ob			12.2	20.3	2.6	0.5	－89805.909	12251.497	116.735	39	
	1044		剥片	5	E－007	Ob			16.5	15.2	9.6	1.6	－89799.258	12250.281	117.236	40	
	1847		剥片	6	E－007	Ob			18.8	17.9	8.2	2.3	－89798.612	12250.531	117.175	40	

第５節　古墳時代以降の遺物

１　土器（第Ⅲ－67図１～６）

古墳時代から古代にかけての土師器片が数点出土している。

１・２は壺の胴部片と思われる。いずれも内面にはハケ調整、外面には磨き調整が施される。外面には部分的に磨きで消しきれなかったハケ目痕が認められ、ハケ目の後に磨き調整が施されたものと思われる。古墳時代前期の壺の可能性が考えられるが、詳細な帰属時期は不明である。

３・４は古墳時代の甕の破片と思われる。いずれも薄手で胎土は粗い。３は口縁部片である。口縁端部は大きく外反する。４は頸部片である。外面にはハケ目痕が部分的に認められ、ハケ目の後にナデ調整が施されたものと思われる。外面には指頭圧痕も認められる。３・４とも断片的な資料であるため断定はできないが、口縁部の形態や薄手でハケ調整が施される点などから、古墳時代前期に出現する外来系の単純口縁台付甕である可能性が考えられる。外来系単純口縁台付甕は、三河地域の型式が在地に定着したものと考えられている。

５と６は律令期の坏の破片である。５は口縁部から底部まで部分的に残存している。復元口径11.2㎝、器高3.2㎝、復元底径7.4㎝を測る。底部外面には一部ヘラ削りの痕跡が認められ、口縁部外面には0.1㎝程の沈線が１条巡る。全体に作りが粗く、９世紀代のものと考えられる。６は底部の一部のみが残存しており、残存高1.4㎝、復元底径6.6㎝を測る。底径や器壁の厚さ、胎土などが５とよく似ており、５と同様の時期の所産であろう。

２　煙管（第Ⅲ－67図１）

１は銅製の煙管の雁首である。残存長4.2㎝、最大幅1.4㎝、最大厚1.3㎝を測る。厳密な時期比定を行うことは困難であるが、近世か近世を大きく遡らない時期の所産と考えられる。

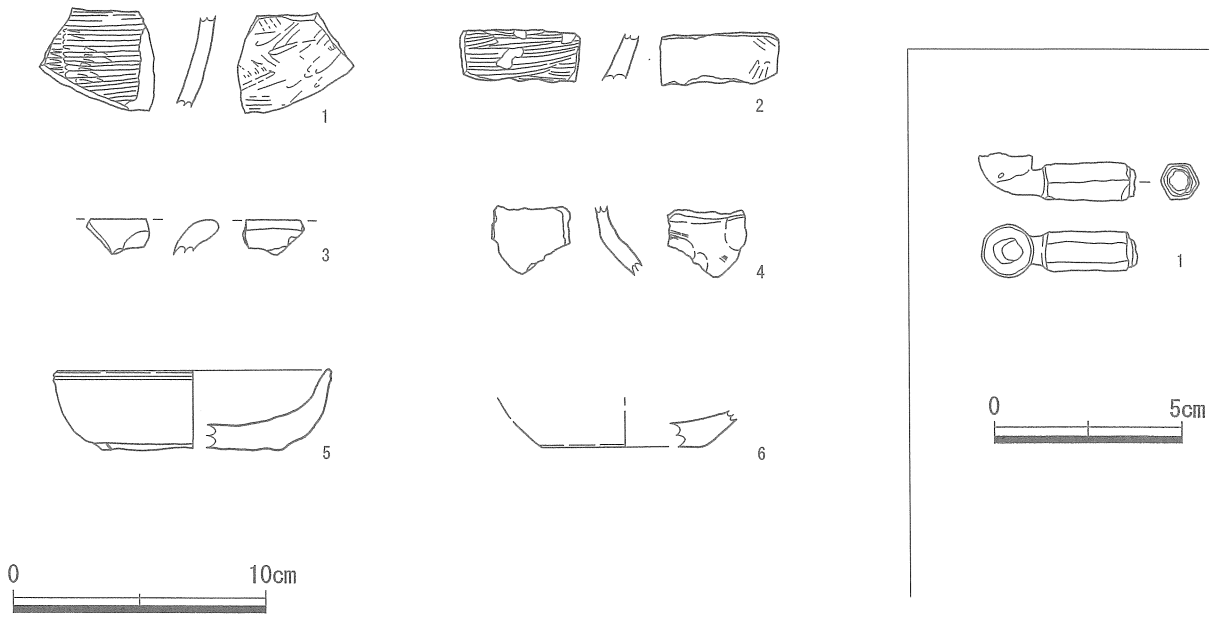
（杉山和徳）

第Ⅲ－11表　古墳時代以降の土器観察表

図版番号	遺物番号	グリッド	層位	時期	器種	残存部位	焼成	色調	胎土	文様調整等
1	71	－	2C	古墳	壺	胴部片	良	橙	黒色・赤色粒子	ハケ後磨き
2	72	－	2C	古墳	壺	胴部片	良	橙	輝石少・黒色粒子	ハケ後磨き
3	599	E－006	4	古墳	甕	口縁部片	良	明赤灰	石英・黒色・白色粒子	横ナデ
4	3316	B－002	表採	古墳	甕	頸部片	良	明赤灰	石英・黒色・白色粒子	ハケ後横ナデ・指頭圧痕
5	3330	－	表採	奈良平安	坏	口縁部～底部	良	黄橙	雲母・黒色・赤色粒子	ヘラ削り後回転横ナデ口縁部に沈線
6	3318	B－002	表採	奈良平安	坏	底部片	良	橙	白色・黒色粒子	回転横ナデ

第Ⅲ－12表　時代不明の金属製品

図版番号	遺物番号	グリッド	層位	時期	器種	計測値
1	3391	－	1	不明	キセル	全長4.2㎝　最大幅1.4㎝　高さ（1.3㎝）



第Ⅲ－67図　古墳時代以降の出土遺物

第６節　調査の成果とまとめ

下高原遺跡周辺には、『今川分限帳』に記載されている「高原城」の所在や、すぐ南側に位置する№61地点の「鍛冶ヶ窪」という地名の由来など中・近世に関わる伝承がいくつか残っており、当初はそれらに関連する遺跡を確認するための調査であった。しかし、調査の結果中・近世の遺跡ではなく、旧石器時代や縄文時代早期にまで遡る遺跡であることが判明した。以下に、各時代別にその内容を簡単に考察し、本報告のまとめとする。

１　旧石器時代

本遺跡は二側縁加工のナイフ形石器と切出形石器を主体とした石器群に礫群を伴っている。二側縁加工のナイフ形石器は、縦長剥片の打点部側を基部に用いている資料が特徴的に見られる。切出形石器は横長剥片素材を用いているものが多い。ナイフ形石器の一部には、砂川期の資料と考えられる細身の二側縁加工のナイフ形石器が確認されている。また、角錐状石器と周縁加工の尖頭器が確認されている。周縁加工の尖頭器は石刃状の縦長剥片を素材としている。両面加工の尖頭器は確認できなかった。また、細石器も検出されず、石材に黒曜石恩馳島群はほとんど確認できなかった。

スクレイパーはエンド・スクレイパーやラウンド・スクレイパーを中心に検出されている。また、石刃の末端部に加工を施したスクレイパーも確認されている。その他にはグレイバーと楔形石器が確認されている。

また、ホルンフェルスを中心に石刃状の縦長剥片が出土している。この石刃状の縦長剥片はナイフ形石器やスクレイパーの素材になっているが、接合例は確認できず、剥離した石核も出土していない。その他に幅広な剥片や横長剥片が出土しているが、こちらは遺跡内で剥片剥離を行っており、接合例が複数確認できる。また、石核も多く出土している。

石材は黒曜石（天城柏峠群、諏訪星ヶ台群）とホルンフェルスを多く用いており、その他の石材はあまり確認されていない。ナイフ形石器の半数以上をホルンフェルスが占めている。また、スクレイパーにはチャートや珪質頁岩も、わずかながら確認されている。石核では１点のみ赤玉石（碧玉）が出土しているが、剥片は確認されなかった。

以上の内容と出土層位を踏まえると、本遺跡の旧石器時代資料は石材、石器の様相ともに愛鷹・箱根地域の旧石器時代遺跡との共通性が窺える。検出されている資料の大半は二側縁加工のナイフ形石器と切出形石器を主体とした石器群であり、愛鷹箱根編年第３期ｂ段階（笹原　2005）に相当する可能性を指摘できる。しかし、その他の時期の資料も混入している可能性が挙げられる。具体的には第３期ａ段階～４期ａ段階と考えられる資料が検出されており、愛鷹基本土層の第Ⅰ黒色帯～休場層に対比できると考えられる。

本遺跡は富士宮市域では初の本格的な旧石器時代遺跡であった。周辺地域を見ても、富士山西南麓には旧石器時代遺跡は確認されていない。また、旧石器時代遺跡が多く確認されている愛鷹山麓でも、富士市の位置する南麓西側では第二東名№44地点、矢川上Ｃ遺跡（柴田他　2009）を除いて旧石器時代遺跡は確認されていない。これまで富士市・富士宮市の両地域は、旧石器時代後期に繰り返し発生した泥流のため、旧石器時代遺跡の検出は難しいと考えられてきた。そのような中で下高原遺跡が確認されたことは、当時の自然活動や生活の解明にとって、意義のあることと考えられる。

２　縄文時代

本調査において検出された遺構は土坑４基、小穴１基、焼土跡２基のみであり、住居跡など集落を想像させるような遺構や遺物を確認されていない。以下に特徴的な遺構や遺物について簡単に考察を行う。

⑴　遺構について

明確な帰属時期がわかる遺構は確認されていないが、検出層位が異なることなどからそれぞれ異なる時期に構築されたものと考えられる。

土坑は緩斜面を呈する段丘部を横断する形で３基が、北にやや外れて１基が分布している。明確な用途は不明であるが、段丘面を横断する形で同規模、同形状の土坑が検出されていること、浅いものでも遺構構築時の推定深度は80㎝以上あることなどから、落とし穴として利用されていた可能性が高い。

焼土は第４節でも述べたように、覆土に含まれる焼土粒は散漫で、密集している箇所においても土そのものが焼けているというよりは、土壌に対し焼土粒が多く混ざっているという感じを強くうける。また、平面形態、掘り方ともに不定形で、明確な焼成面をもたず、単独で出土している。これに類似する遺構は、元野遺跡をはじめ愛鷹山南麓の縄文時代の遺跡を調査していると数多く確認することができる。いずれも明確な用途は不明で、炉穴（炉跡）と断定することは困難であるが、何らかの形で人為的な影響があったことは確実で、特別な設備を設けなかったにせよ、炉としての機能を果たしていた焼土の痕跡であると考えられる。

⑵　土器について

本遺跡から出土している縄文時代早期前半の押型文土器は、出土点数は18点（７個体以下）と僅少であるが、山形文を変形させた特殊なもの（Ⅰ群Ａ類１種１～４）が出土している。これは、若宮遺跡から出土しているものに非常に酷似しており、縦位密接施文されることが多い押型文土器の前半期において、横位に施文される点でも例外的なものである。繊維を僅かに含み、器面には気泡が目立つ所謂「軽しょうな」胎土で、器面は他の土器に比べ白みが強く、やや紫色を帯びて見えるのも特徴のひとつである。また、これに伴うと考えられる縄文土器が１個体（Ⅰ群Ａ類２種）出土している。型式組成は満たしていないものの、池谷氏の編年案（2003）でいう「イラウネ段階」に該当すると推測される。

縄文時代早期後半の条痕文系土器は、196点と出土点数こそ本遺跡出土土器の大半を占めているが、いずれも砕片であることから、個体数はそれほど多くないものと思われる。Ｂ類の清水柳Ｅ類としたものには、細隆起線文を伴うものと、伴わないものが存在するが、いずれも砕片のため明確な文様構成は確認できず、時期的な差があるのかは不明である。器面は細隆起線文を伴わないものが砂質である印象を受けるのに対して、伴うものはやや光沢を帯びたような様相を呈している。胎土や器厚に関してはＣ類の野島式土器を含め、いずれも非常に類似している。

⑶　石器について

出土石器は、道具として使用されていたと考えられるものが166点、石器の製作や調整などに伴い副次的に作出された石核や剥片類が1,473点となっており、圧倒的に剥片類の占める割合が高い。トゥールの石器組成（第Ⅲ－８表）は、敲石・磨石類や台石、石皿など植物質食料の加工に使われた石材段階の石器群が最も多く、次いで石鏃や打製石斧の出土となる。これは愛鷹山南麓の遺跡をはじめ、縄文時代早期後半に属する遺跡の石器組成と大差ない結果である。しかし、愛鷹山南麓一帯ではまとまった数が普遍的に出土する礫器（円礫や亜角礫の一端を打割し、刃部を作出したもの）は本遺跡では１点も出土していない。

石材は黒曜石（63％）とホルンフェルス（26％）がその大半を占めており、使用される石材のほとんどがこの２石材である。黒曜石は産地分析を全点実施していないため情報は限定的ではあるが、天城柏峠群の黒曜石を用いたものが最も多く、諏訪星ヶ台群と神津島恩馳島群がこれに続く。これは諏訪星ヶ台群や神津島恩馳島群が主体を占める愛鷹山南麓とは異なる結果で、人の動きを考える上で非常に興味深い結果である。

石器は縄文土器が主体的に出土するレベルよりもやや低い位置から出土するものが多くなるが、この

大半は段丘部の中央付近に分布する石器集中からの出土で、石器集中からの出土を除けば土器とほぼ同様に５層黒褐色土中心の出土である。石器集中は主に黒曜石の微細な剥片からなり、その他の石材や土器も重複して分布はしているが、その数は非常に少ない。製品や石核の類が一切出土していないため作られた製品が何であるのか明らかではないが、出土した黒曜石の82％が0.１ｇ以下の砕片であることなどから、おそらく石鏃生産の跡であったと推測される。黒曜石の分析結果は石器集中以外からの出土である石鏃や石核、剥片の分析結果の比率とは異なり、神津島恩馳島群の占める割合が最も高くなっている。これは分析にかけた剥片が限定的な資料であるため断言はできないが、石器集中以外に分布する石器群とは多少の時期差が存在することを示唆しているのかもしれない。

石器集中以外に分布する石器群は、段丘部の南側に集中しており、黒曜石に関しては小石器集中がいくつか確認でき、石核や微細な剥片が出土しているほか、接合関係も確認できる。出土した黒曜石の石核はいずれも４㎝以下の小型の残核で、原礫面を残すものも多く、当初より持ち込まれた原石は小型であり、目的とする剥片の形状も小さなものであったと考えられる。産地は天城柏峠群が大半を占めており、これは黒曜石を主体的に用いる石鏃や剥片などから得られた分析結果の比率とほぼ等しく、本遺跡で石鏃の製作が行われた可能性が考えられる。石鏃に対し掻器は諏訪星ヶ台群の占める割合が高くなっているが、石材運用の形態が異なるためなのか、単に旧石器時代の遺物が混ざり込んでいるのかを、判然とさせることはできなかった。ホルンフェルスは石核が27点とまとまった出土をしているが、黒曜石のように集中部を形成していない。これは、ホルンフェルスが非常に風化しやすい石材のため、微細な剥片類が残らなかったためで、黒曜石と同じく何かしらの石器生産が行われていたものと考えられる。

本遺跡は、その遺構の内容から一般的な居住域となる可能性は低い。しかし、出土点数は少ないながらも、縄文時代草創期の有茎尖頭器や縄文時代早期から後期にかけての土器が数種出土していることから、限定された時期や期間内ではあるが、一時的に人が立ち寄り何かしらの作業を行った場であることは確実である。特に縄文時代早期には、石器集中を形成する時期から焼土跡を構築した時期まで多少の重複はあるにせよ、繰り返し人が訪れこの地を利用してきたことが窺える。本遺跡から遺跡の性格を示唆するような遺構や遺物の検出が確認されていないために、どのような場として利用されていたのか推測することは難しい。しかし、石器の中には重量感があり携行しないと言われている石皿や台石の類が遺跡の規模の割にはまとまった数の出土があり、石器の組成も集落を形成する遺跡と大差ないことなど、住居跡を伴わない遺跡の性格を考えるうえで貴重な資料を提供しているといえる。今回の報告では時間的な制約から十分な検討を行うことができず、事実記載に終始してしまった。今後、当該期における遺跡の性格や立地環境のあり方など富士山西南麓の遺跡を検討していくうえで、本報告の資料についても検証・論議されていくことを切に希望する。

＜参考文献＞

加藤晋平・鶴丸俊明　1994『石器入門辞典－先土器』柏書房
旧石器文化談話会編　2007『旧石器考古学辞典＜三訂版＞』学生社
笹原千賀子　2004「愛鷹・箱根山麓第３期の石器群－第３期から第４期へ　寺林遺跡の編年的位置－」『設立20周年記念論文集』財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
笹原芳郎　2005「愛鷹・箱根旧石器編年の現状と課題」『地域と文化の考古学Ⅰ』六一書房
静岡県考古学会シンポジウム実行委員会　1995『「愛鷹・箱根山麓の旧石器時代編年」予稿集』静岡県考古学会
高尾好之　2006「東海地方の地域編年」『旧石器時代の地域編年的研究』安斎正人・佐藤宏之編　同成社
中村雄紀　2006「後期旧石器時代後半期の居住形態の地域的様相－愛鷹・箱根第３期・第４期の遺跡群－」『東京大学考古学研究室研究紀要』第20号　東京大学考古学研究室
池谷信之　2003「縦位密接施文から異方向帯状施文へ－駿豆地方押型文土器の変遷と立野式－」『利根川』24・25

紙面の都合上、当研究所発行の調査報告書類は割愛させていただきました。

附編　分　　析

分析１

下高原遺跡（第二東名　土－２）　黒曜石産地分析

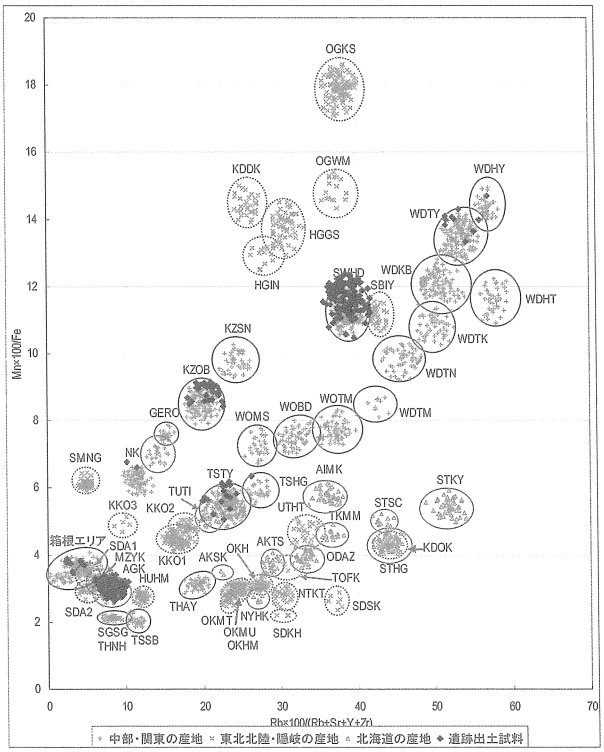
独立行政法人　沼津工業高等専門学校　名誉教授　望月　明彦

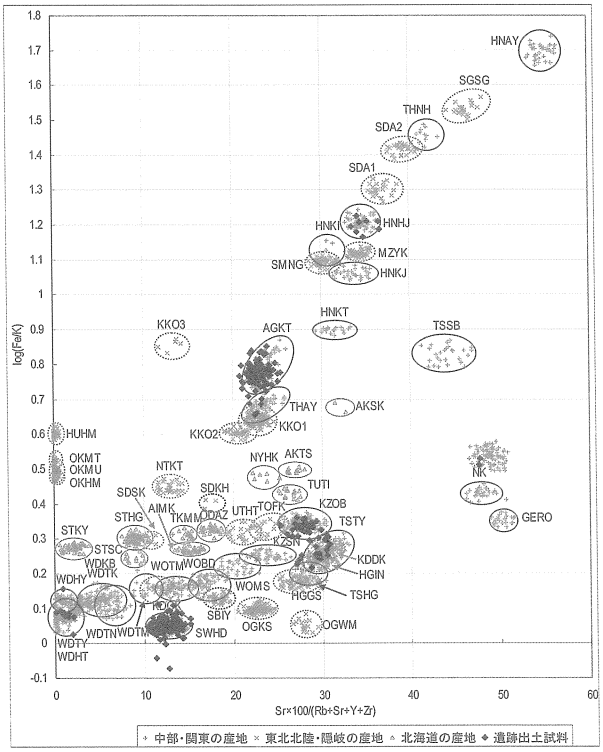
産地推定法

得られた蛍光Ｘ線スペクトル強度を元素記号で表すとする。
二つの方法とも以下の指標を用いる。
指標　　Sum＝Rb＋Sr＋Y＋Zrとする。
Rb分率＝Rb/Sum
Sr分率＝Sr/Sum
Zr分率＝Zr/Sum
Mn*100/Fe
log（Fe/K）
産地のシートに上げた黒曜石産地から、産地原石を採集し、測定する。
測定結果から上記の指標を算出する。
以上から、産地原石に関するデータベースを作成する。
下記の二つの方法で産地推定を行う。

① 判別図法（判別図のシート参照）
用いる指標　　図１　横軸：Rb分率、縦軸：Mn/Fe
図２　横軸：Sr分率、縦軸：log（Fe/K）
特長　　簡単な計算であり、誰にでも作成可能
視覚的に確認でき、分かりやすい。
推定方法　　遺跡出土試料を蛍光Ｘ線分析し、指標を計算。
指標を図にプロットする。
重なった原石産地を推定結果とする。

② 判別分析（推定結果表参照）
用いる指標　　算出された指標全て
各産地との類似度を距離で算出
特長　　既知の産地のどれに類似しているかを判別する方法である。
→　未知の産地の判別はできない。
推定方法　　判別図法では遺跡出土試料と重なっている産地を推定結果とする。
この産地は試料と２次元的に最も距離が近い。
判別分析ではこの距離を数学的にn次元で計算する。
試料と最も距離（マハラノビス距離）が近い産地を推定結果とする。
この距離から、各産地に属する確率を計算する。





産地原石判別群（SEIKO SEA－2110L蛍光Ｘ線分析装置による）

都道府県	地図№	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地（分析数）
北海道	1	白滝	八号沢群		STHG		赤石山山頂（19）、八号沢露頭（31）、八号沢（79）、黒曜の沢（6）、幌加林道（4）
			黒曜の沢群		STKY		
	2	上士幌	三股群		KSMM		十三ノ沢（16）
	3	置戸	安住群		ODAZ		安住（25）、清水ノ沢（9）
	4	旭川	高砂台群		AKTS		高砂台（6）、雨紛台（5）、春光台（5）
			春光台群		AKSK		
	5	名寄	布川群		NYHK		布川（10）
	6	新十津川	須田群		STSD		須田（6）
	7	赤井川	曲川群		AIMK		曲川（25）、土木川（15）
	8	豊浦	豊泉群		TUTI		豊泉（16）
青森	9	木造	出来島群		KDDK		出来島海岸（34）
	10	深浦	八森山群		HUHM		八森山公園（8）、六角沢（8）、岡崎浜（40）
秋田	11	男鹿	金ヶ崎群		OGKS		金ヶ崎温泉（37）、脇本海岸（98）
			脇本群		OGWM		脇本海岸（16）
山形	12	羽黒	月山群		HGGS		月山荘前（30）、朝日町田代沢（18）、櫛引町中沢（18）
			今野川群		HGIN		今野川（9）、大網川（5）
新潟	13	新津	金津群		NTKT		金津（29）
	14	新発田	板山群		SBIY		板山牧場（40）
栃木	15	高原山	甘湯沢群	高原山1群	THAY	TKH1	甘湯沢（50）、桜沢（20）
			七尋沢群	高原山2群	THNH	TKH2	七尋沢（9）、自然の家（9）
長野	16	和田（WD）	鷹山群	和田峠1群	WDTY	WDT1	鷹山（53）、小深沢（54）、東餅屋（36）、美容ライト（87）、古峠（50）、土屋橋北（83）、土屋橋西（29）、土屋橋南（68）、丁字御領（18）
			小深沢群	和田峠2群	WDKB	WDT2	
			土屋橋北群	和田峠3群	WDTK	WDT3	
			土屋橋西群	和田峠4群	WDTN	WDT4	
			土屋橋南群	和田峠5群	WDTM	WDT5	
			美容ライト群		WDHY		
			古峠群		WDHT		
		和田（WO）	ブドウ沢群	男女倉1群	WOBD	OMG1	ブドウ沢（36）、ブドウ沢右岸（18）、牧ヶ沢上（33）、牧ヶ沢下（36）、高松沢（40）
			牧ヶ沢群	男女倉2群	WOMS	OMG2	
			高松沢群	男女倉3群	WOTM	OMG3	
	17	諏訪	星ヶ台群		SWHD		星ヶ塔第1鉱区（36）、星ヶ塔第2鉱区（36）、星ヶ台A（36）、星ヶ台B（11）、水月霊園（36）、水月公園（13）、星ヶ塔のりこし（36）
				霧ヶ峰系	SWHD	KRM	
	18	蓼科	冷山群		TSTY		冷山（33）、麦草峠（36）、麦草峠東（33）、渋ノ湯（29）、美し森（4）、八ヶ岳7（17）、八ヶ岳9（18）、双子池（34）
				蓼科系		TTS	
			双子山群		TSHG		双子池（26）
			擂鉢山群		TSSB		擂鉢山（31）、亀甲池（8）
神奈川	19	箱根	芦ノ湯群	芦ノ湯	HNAY	ASY	芦ノ湯（34）
	20		畑宿群	畑宿	HNHJ	HTJ	畑宿（71）
			黒岩橋群	箱根系A群	HNKI	HKNA	黒岩橋（9）
	21		鍛冶屋群	鍛冶屋	HNKJ	KJY	鍛冶屋（30）
静岡			上多賀群	上多賀	HNKT	KMT	上多賀（18）
	22	天城	柏峠群	柏峠	AGKT	KSW	柏峠（80）
東京	23	神津島	恩馳島群	神津島1群	KZOB	KOZ1	恩馳島（100）、長浜（43）、沢尻湾（8）
			砂糠崎群	神津島2群	KZSN	KOZ2	砂糠崎（40）、長浜（5）
島根	24	隠岐	久見群		OKHM		久見パーライト中（30）、久見採掘現場（18）
			箕浦群		OKMU		箕浦海岸（30）、加茂（19）、岸浜（35）
			岬群		OKMT		岬地区（16）
その他			NK群		NK		中ッ原1G、5G（遺跡試料）、原石産地は未発見

佐々木繁喜氏提供試料（まだ地図には入れていない）

都道府県	エリア	判別群	記号	原石採取地（分析数）
青森	小泊	折腰内群	KDOK	小泊市折腰内（8）
岩手	北上川	北上折居1群	KKO1	水沢市折居（36）、花巻日形田ノ沢（36）、雫石小赤沢（22）
		北上折居2群	KKO2	水沢市折居（23）、花巻日形田ノ沢（8）、雫石小赤沢（2）
		北上折居3群	KKO3	水沢市折居（5）
宮城	宮崎	湯ノ倉群	MZYK	宮崎町湯ノ倉（54）
	色麻	根岸群	SMNG	色麻町根岸（48）
	仙台	秋保1群	SDA1	仙台市秋保土蔵（17）
		秋保2群	SDA2	仙台市秋保土蔵（35）
	塩竈	塩竈群	SGSG	塩竈市塩竈漁港（22）

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2
STH－1	3	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.64	1	KZSN	61.66	0
STH－2	37	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	3.84	1	TSHG	22.9	0
STH－3	75	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.68	1	HNKT	119.44	0
STH－4	92	和田鷹山群	WDTY	WDTY	7.46	1	WDHY	28.85	0
STH－5	135	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	13.65	1	KZSN	45.34	0
STH－6	139	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－7	200	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	15.5	1	SBIY	134.26	0
STH－8	215	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.27	1	SBIY	70.78	0
STH－9	218	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－10	256	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.49	1	SBIY	119.58	0
STH－11	293	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	8.78	1	SBIY	124.34	0
STH－12	336	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.89	1	KZSN	25.54	0
STH－13	402	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	27.65	1	SBIY	91.76	0
STH－14	450	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	10.18	0.9998	TSHG	23.08	0.0002
STH－15	469	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.25	1	HNKT	110.47	0
STH－16	509	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.66	1	HNKT	116.29	0
STH－17	535	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.88	1	SBIY	93.26	0
STH－18	580	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.39	1	HNKT	109.29	0
STH－19	591	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.72	1	WDTN	107.05	0
STH－20	645	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	8.04	1	WDTN	103.98	0
STH－21	655	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.86	1	HNKT	139.75	0
STH－22	欠番	欠番	欠番	欠番			欠番		
STH－23	663	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－24	685	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.97	1	HNKT	114.32	0
STH－25	863	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－26	874	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.93	1	SBIY	102.23	0
STH－27	903	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.5	1	SBIY	114.17	0
STH－28	944	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.87	1	HNKT	97.01	0
STH－29	953	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.21	1	KZSN	52.62	0
STH－30	968	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.83	1	SBIY	91.93	0
STH－31	1023	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－32	1028	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.81	1	HNKT	116.65	0
STH－33	1035	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.22	1	HNKT	120.2	0
STH－34	1049	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.45	1	HNKT	122.89	0
STH－35	1254	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.96	1	HNKT	104.2	0
STH－36	1272	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	18.64	1	SBIY	118.77	0
STH－37	1296	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.53	1	HNKT	137.29	0
STH－38	1310	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.33	1	SBIY	113.95	0
STH－39	1433	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.38	1	HNKT	137.67	0
STH－40	1486	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	1.6	1	KZSN	38.5	0
STH－41	1677	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.14	1	HNKT	91.41	0
STH－42	1680	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.71	1	HNKT	113.43	0
STH－43	1724	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	2.85	1	HNKI	121.18	0
STH－44	1831	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.48	1	SBIY	96.31	0
STH－45	1878	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	14.63	1	SBIY	101.18	0
STH－46	1920	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	7.22	1	TSHG	25.48	0
STH－47	1921	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	25.86	1	SBIY	116.42	0
STH－48	1957	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.46	1	SBIY	60.05	0
STH－49	1985	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－50	1993	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.5	1	WDTN	95	0
STH－51	2018	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.04	1	SBIY	106.75	0
STH－52	2049	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.98	1	SBIY	117.52	0
STH－53	2140	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.48	1	SBIY	126.66	0
STH－54	2157	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－55	2161	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.48	1	HNKT	135.9	0
STH－56	2180	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.83	1	KZSN	47.29	0
STH－57	2276	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	5.93	0.9999	TSHG	20.19	0.0001
STH－58	2294	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	3.84	1	HNKI	79.38	0
STH－59	2331	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.21	1	SBIY	110.42	0
STH－60	2375	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	21.27	1	SBIY	105.95	0
STH－61	2386	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.68	1	HNKT	165.74	0
STH－62	2409	天城柏峠群	AGKT	AGKT	12.43	1	HNKT	97.34	0
STH－63	2424	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.05	1	HNKT	151.18	0
STH－64	2428	天城柏峠群	AGKT	AGKT	24.59	1	THAY	170.21	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2
STH－65	2458	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.35	1	HNKT	116.07	0
STH－66	2459	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	17.95	1	SBIY	122.74	0
STH－67	2460	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.46	1	HNKT	144.71	0
STH－68	2461	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	2.32	1	TSHG	23.96	0
STH－69	2462	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	8.14	1	TSHG	26.26	0
STH－70	2463	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	28.81	1	SBIY	99.57	0
STH－71	2506	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.76	1	HNKT	120.23	0
STH－72	2530	天城柏峠群	AGKT	AGKT	24.62	1	THAY	192.71	0
STH－73	2578	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.32	1	SBIY	71.92	0
STH－74	2640	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.14	1	HNKT	138.74	0
STH－75	2694	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.59	1	HNKT	122.01	0
STH－76	2724	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	23.59	1	SBIY	68.11	0
STH－77	2833	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.39	1	HNKI	167.62	0
STH－78	2850	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	7.71	1	SBIY	93.59	0
STH－79	2852	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	6.42	1	HNKI	144.53	0
STH－80	2864	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.62	1	SBIY	112.84	0
STH－81	2865	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.7	1	HNKT	107.92	0
STH－82	2884	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.9	1	HNKT	81.37	0
STH－83	2973	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	16.38	1	SBIY	131.42	0
STH－84	2982	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.25	1	HNKT	107.34	0
STH－85	2983	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	2.12	1	TSHG	22	0
STH－86	2994	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	3.35	1	TSHG	19.98	0
STH－87	3059	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.03	1	SBIY	85.93	0
STH－88	3062	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	14.31	1	HNKI	56.74	0
STH－89	3080	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.89	1	HNKT	130.9	0
STH－90	3106	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.94	1	HNKT	138.61	0
STH－91	3166	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.64	1	SBIY	135.5	0
STH－92	3213	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	1.03	1	SBIY	89.98	0
STH－93	3260	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.03	1	HNKT	120.14	0
STH－94	3295	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	27.4	1	HNKI	43.73	0
STH－95	3320	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.67	1	KZSN	34.4	0
STH－96	3380	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.03	1	HNKT	84.04	0
STH－97	13	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－98	14	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	0.82	1	SBIY	86.06	0
STH－99	30	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.45	1	HNKT	157.81	0
STH－100	38	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.03	1	SBIY	65.73	0
STH－101	39	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.48	1	HNKT	108.1	0
STH－102	73	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.82	1	HNKT	120.56	0
STH－103	84	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.94	1	HNKT	137.79	0
STH－104	86	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.98	1	SBIY	90.4	0
STH－105	98	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.45	1	HNKT	104.69	0
STH－106	100	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.25	1	HNKT	114.7	0
STH－107	101	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.42	1	HNKT	91.44	0
STH－108	109	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－109	112	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.57	1	HNKT	128.19	0
STH－110	123	和田鷹山群	WDTY	WDTY	9.72	1	WDHY	37.38	0
STH－111	126	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.66	1	HNKT	126.19	0
STH－112	140	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	4.33	1	KZSN	45.17	0
STH－113	160	天城柏峠群	AGKT	AGKT	16.64	1	HNKT	167.52	0
STH－114	171	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	17.82	1	SBIY	89.93	0
STH－115	187	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.31	1	SBIY	98.25	0
STH－116	194	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－117	199	天城柏峠群	AGKT	AGKT	21.9	1	HNKT	113.35	0
STH－118	204	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－119	214	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.55	1	HNKT	107.29	0
STH－120	276	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	15.5	1	SBIY	136.85	0
STH－121	294	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.18	1	THAY	127.71	0
STH－122	337	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	9.27	1	KZSN	40.61	0
STH－123	338	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.79	1	KZSN	51.66	0
STH－124	340	天城柏峠群	AGKT	AGKT	23.67	1	HNKT	159.35	0
STH－125	360	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	1.65	1	WDTN	96.92	0
STH－126	413	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－127	415	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.47	1	HNKT	117.86	0
STH－128	433	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.39	1	SBIY	93.7	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2
STH－129	477	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.81	1	SBIY	89.35	0
STH－130	527	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.58	1	HNKT	99.49	0
STH－131	530	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.04	1	HNKT	121.49	0
STH－132	574	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	9.26	1	KZSN	32.1	0
STH－133	590	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.53	1	SBIY	110.83	0
STH－134	617	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.47	1	HNKT	105.23	0
STH－135	640	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.79	1	HNKT	148.84	0
STH－136	641	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	0.97	1	SBIY	97.79	0
STH－137	642	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	8.53	1	SBIY	112.8	0
STH－138	648	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.52	1	HNKT	142.85	0
STH－139	688	天城柏峠群	AGKT	AGKT	18.98	1	HNKT	186.57	0
STH－140	850	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.24	1	HNKT	130.76	0
STH－141	857	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－142	862	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.61	1	SBIY	110.32	0
STH－143	865	天城柏峠群	AGKT	AGKT	12.31	1	HNKT	141.76	0
STH－144	868	天城柏峠群	AGKT	AGKT	10.4	1	THAY	163.52	0
STH－145	875	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	19.73	1	SBIY	111.29	0
STH－146	878	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.28	1	HNKT	125.49	0
STH－147	898	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.6	1	SBIY	129.39	0
STH－148	963	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.14	1	KZSN	38.73	0
STH－149	977	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.89	1	HNKT	108.83	0
STH－150	1056	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	14.88	1	KZSN	49.1	0
STH－151	1270	蓼科双子山群	TSHG	TSHG	9.67	0.972	TSTY	20.68	0.028
STH－152	1275	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.1	1	HNKT	109.06	0
STH－153	1334	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.4	1	SBIY	49.3	0
STH－154	1429	天城柏峠群	AGKT	AGKT	12.44	1	HNKT	125.34	0
STH－155	1430	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－156	1431	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.64	1	HNKT	106.42	0
STH－157	1441	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.02	1	HNKT	120.49	0
STH－158	1448	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.33	1	SBIY	92.64	0
STH－159	1575	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.53	1	SBIY	110.11	0
STH－160	1590	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.41	1	SBIY	124.75	0
STH－161	1613	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	11.29	1	KZSN	38.11	0
STH－162	1616	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	3.02	1	KZSN	66.2	0
STH－163	1647	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	23.77	1	SBIY	129.55	0
STH－164	1661	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	14.81	1	KZSN	39.78	0
STH－165	1749	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.51	1	HNKT	111.97	0
STH－166	1750	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.02	1	HNKT	102.17	0
STH－167	1752	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.33	1	SBIY	145.12	0
STH－168	1871	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.15	1	WDTN	101.08	0
STH－169	1896	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	4.44	1	KZSN	30.75	0
STH－170	1897	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.07	1	HNKT	122.48	0
STH－171	1911	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－172	1912	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7	1	KZSN	53.09	0
STH－173	1927	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.36	1	SBIY	86.68	0
STH－174	1940	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.34	1	HNKT	127.6	0
STH－175	1941	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.02	1	HNKT	136.89	0
STH－176	1945	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.16	1	KZSN	34.04	0
STH－177	1956	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.79	1	HNKT	129.33	0
STH－178	1960	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	17.72	1	SBIY	121.63	0
STH－179	1969	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	1.36	1	SBIY	87.94	0
STH－180	1973	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－181	1979	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.38	1	HNKT	129.67	0
STH－182	1980	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－183	1982	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	0.69	1	SBIY	72.82	0
STH－184	1986	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.72	1	SBIY	97.08	0
STH－185	1996	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.43	1	HNKT	101.97	0
STH－186	2003	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	8.45	1	KZSN	43.43	0
STH－187	2007	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.01	1	HNKT	108.58	0
STH－188	2012	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.85	1	HNKT	135.52	0
STH－189	2031	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.64	1	HNKT	122.46	0
STH－190	2032	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.72	1	SBIY	90.19	0
STH－191	2033	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.45	1	HNKT	119.12	0
STH－192	2034	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.68	1	HNKT	112.02	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2
STH－193	2038	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.47	1	SBIY	65.77	0
STH－194	2039	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.04	1	SBIY	105.42	0
STH－195	2040	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.38	1	WDTN	88.73	0
STH－196	2044	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.07	1	SBIY	113.33	0
STH－197	2051	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.1	1	HNKT	108.21	0
STH－198	2052	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.17	1	SBIY	88.33	0
STH－199	2055	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.65	1	SBIY	72.01	0
STH－200	2058	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.07	1	SBIY	77.18	0
STH－201	2059	天城柏峠群	AGKT	AGKT	10.41	1	THAY	168.19	0
STH－202	2060	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.3	1	HNKT	135.57	0
STH－203	2063	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.59	1	HNKT	119.09	0
STH－204	2064	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－205	2065	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	1.18	1	SBIY	93.27	0
STH－206	2067	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.03	1	HNKT	114.01	0
STH－207	2068	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	6.65	1	KZSN	49.63	0
STH－208	2069	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	5.47	1	KZSN	38.34	0
STH－209	2070	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	5.2	1	KZSN	39.38	0
STH－210	2075	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.99	1	WDTN	115.75	0
STH－211	2076	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	4.17	1	KZSN	53.77	0
STH－212	2077	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	10.93	1	KZSN	50.2	0
STH－213	2099	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.86	1	HNKT	118.92	0
STH－214	2102	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.07	1	SBIY	106.83	0
STH－215	2111	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	15.47	0.9998	KZSN	30.67	0.0002
STH－216	2120	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.89	1	HNKT	152.29	0
STH－217	2122	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	7.64	1	SBIY	117.29	0
STH－218	2124	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	10.82	1	KZSN	38.96	0
STH－219	2128	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	8.1	1	KZSN	38.68	0
STH－220	2173	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	22.14	1	SBIY	88.18	0
STH－221	2193	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	11.08	1	KZSN	38.15	0
STH－222	2194	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.53	1	HNKT	94.39	0
STH－223	2252	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	3.65	1	TSHG	33.33	0
STH－224	2270	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.01	1	HNKT	129.33	0
STH－225	2287	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－226	2291	和田峠黒曜石群	WDHY	WDHY	2.29	1	WDTY	38.48	0
STH－227	2293	天城柏峠群	AGKT	AGKT	19.12	1	HNKT	65	0
STH－228	2295	測定不可	測定不可	測定不可			測定不可		
STH－229	2327	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.48	1	HNKT	117.32	0
STH－230	2340	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	19.15	1	SBIY	116.79	0
STH－231	2343	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.3	1	SBIY	56.88	0
STH－232	2346	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.04	1	SBIY	57	0
STH－233	2350	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.38	1	SBIY	68.02	0
STH－234	2354	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.33	1	SBIY	102.84	0
STH－235	2356	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	20.07	1	SBIY	55.75	0
STH－236	2358	和田鷹山群	WDTY	WDTY	7.1	1	WDHY	26.45	0
STH－237	2359	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.43	1	SBIY	90.11	0
STH－238	2360	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.01	1	WDTN	87.27	0
STH－239	2363	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	17.22	1	SBIY	150.41	0
STH－240	2365	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	8.06	1	SBIY	68.43	0
STH－241	2367	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.16	1	HNKT	140.78	0
STH－242	2369	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	15.06	1	SBIY	139.12	0
STH－243	2371	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.27	1	SBIY	88.07	0
STH－244	2372	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.88	1	HNKT	107.68	0
STH－245	2380	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.02	1	SBIY	117.98	0
STH－246	2381	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.14	1	WDTN	69.89	0
STH－247	2384	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.02	1	HNKT	123.59	0
STH－248	2385	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.26	1	HNKT	83.72	0
STH－249	2391	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	11.99	1	HNKI	91.28	0
STH－250	2393	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.62	1	SBIY	98.78	0
STH－251	2396	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	18.48	1	SBIY	69.58	0
STH－252	2399	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	15.73	1	SBIY	74.04	0
STH－253	2404	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.57	1	HNKT	110.16	0
STH－254	2407	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.33	1	SBIY	111.07	0
STH－255	2408	天城柏峠群	AGKT	AGKT	11.99	1	HNKT	145.61	0
STH－256	2411	和田鷹山群	WDTY	WDTY	2	1	WDHY	28.23	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2
STH－257	2412	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	8.11	1	SBIY	90.66	0
STH－258	2426	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	16.94	1	SBIY	73.12	0
STH－259	2429	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.57	1	HNKT	115.97	0
STH－260	2430	和田鷹山群	WDTY	WDTY	10.79	0.9877	WDHY	17.09	0.0123
STH－261	2431	和田鷹山群	WDTY	WDTY	12.07	0.7888	WDHY	12.23	0.2112
STH－262	2432	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	15.65	1	SBIY	104.02	0
STH－263	2437	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.08	1	SBIY	117.32	0
STH－264	2446	和田鷹山群	WDTY	WDTY	9.96	1	WDHY	34.32	0
STH－265	2448	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.16	1	SBIY	77.18	0
STH－266	2451	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.27	1	SBIY	69.22	0
STH－267	2452	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.74	1	SBIY	84.54	0
STH－268	2456	天城柏峠群	AGKT	AGKT	10.68	1	HNKT	179.84	0
STH－269	2457	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.95	1	HNKT	115.99	0
STH－270	2465	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	11.64	1	TUTI	37.49	0
STH－271	2477	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.81	1	SBIY	63.95	0
STH－272	2481	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.66	1	HNKT	98.86	0
STH－273	2500	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	7.48	1	SBIY	81.73	0
STH－274	2503	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	7.8	1	SBIY	110.35	0
STH－275	2514	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.03	1	HNKT	116.33	0
STH－276	2516	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.1	1	SBIY	101.84	0
STH－277	2535	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.98	1	SBIY	98.41	0
STH－278	2537	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.03	1	HNKT	136.68	0
STH－279	2541	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.71	1	HNKT	106.48	0
STH－280	2551	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.99	1	SBIY	57.97	0
STH－281	2552	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	1.44	1	SBIY	101.64	0
STH－282	2553	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.07	1	SBIY	99.77	0
STH－283	2554	和田鷹山群	WDTY	WDTY	8.08	1	WDHY	42.28	0
STH－284	2579	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.36	1	HNKT	125.32	0
STH－285	2583	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.65	1	HNKT	123.01	0
STH－286	2590	和田鷹山群	WDTY	WDTY	3.69	0.9954	WDHY	11.97	0.0046
STH－287	2591	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－288	2592	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.57	1	HNKT	120.09	0
STH－289	2593	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	8.99	1	KZSN	37.4	0
STH－290	2594	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.54	1	HNKT	82.14	0
STH－291	2599	天城柏峠群	AGKT	AGKT	10.13	1	HNKT	78.52	0
STH－292	2604	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.88	1	HNKT	135.49	0
STH－293	2605	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.45	1	HNKT	110.6	0
STH－294	2609	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.76	1	HNKT	144.22	0
STH－295	2616	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	8.12	1	TUTI	37.52	0
STH－296	2624	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.48	1	HNKT	140.13	0
STH－297	2626	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.68	1	HNKT	120.56	0
STH－298	2628	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.14	1	HNKT	91.06	0
STH－299	2629	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－300	2631	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.39	1	HNKT	132.4	0
STH－301	2635	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－302	2636	天城柏峠群	AGKT	AGKT	12.79	1	HNKT	118.98	0
STH－303	2638	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.09	1	HNKT	125.93	0
STH－304	2656	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	14.18	1	SBIY	108.89	0
STH－305	2671	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.42	1	SBIY	89.56	0
STH－306	2682	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	8.34	1	KZSN	30.34	0
STH－307	2689	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	20.9	1	SBIY	112.95	0
STH－308	2701	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.04	1	SBIY	102.77	0
STH－309	2722	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.33	1	SBIY	98.44	0
STH－310	2723	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.07	1	WDTN	120.62	0
STH－311	2729	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.14	1	SBIY	114.75	0
STH－312	2745	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	20.46	1	SBIY	100.35	0
STH－313	2751	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.7	1	HNKT	160.09	0
STH－314	2764	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	15.56	1	SBIY	38.21	0
STH－315	2777	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.57	1	HNKT	99.46	0
STH－316	2780	天城柏峠群	AGKT	AGKT	0.14	1	HNKT	110.93	0
STH－317	2781	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	14.2	1	TUTI	32.8	0
STH－318	2786	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.16	1	SBIY	77.18	0
STH－319	2788	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.26	1	HNKT	127.54	0
STH－320	2792	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	8.16	1	SBIY	67.94	0

分析番号	遺物番号	推定産地	判別図判別群	判別分析					
				候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2
STH－321	2798	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	5.56	1	TUTI	33.19	0
STH－322	2820	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.02	1	SBIY	59.03	0
STH－323	2821	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.55	1	KZSN	35.87	0
STH－324	2834	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	2.01	1	TSHG	22.72	0
STH－321	2798	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	5.56	1	TUTI	33.19	0
STH－322	2820	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.02	1	SBIY	59.03	0
STH－323	2821	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	7.55	1	KZSN	35.87	0
STH－324	2834	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	2.01	1	TSHG	22.72	0
STH－325	2849	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	1.62	1	HNKI	123.46	0
STH－326	2853	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.74	1	SBIY	91.01	0
STH－327	2854	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.3	1	SBIY	104.73	0
STH－328	2858	箱根畑宿群	HNHJ	HNHJ	7.71	1	HNKI	139.47	0
STH－329	2876	天城柏峠群	AGKT	AGKT	10.22	1	HNKT	143.62	0
STH－330	2909	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.94	1	SBIY	144.44	0
STH－331	2925	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.3	1	SBIY	55.36	0
STH－332	2938	天城柏峠群	AGKT	AGKT	10	1	HNKT	79.58	0
STH－333	2940	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.21	1	HNKT	90.56	0
STH－334	2941	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.25	1	SBIY	109.55	0
STH－335	2970	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.51	1	HNKT	100.91	0
STH－336	2971	XO	XO	XO	9.92	1	NK	29.53	0
STH－337	2972	XO	XO	XO	3.54	0.9999	NK	18.96	0.0001
STH－338	3047	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4.42	1	HNKT	116.07	0
STH－339	3061	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	7.53	1	SBIY	117.82	0
STH－340	3085	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－341	3099	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.63	1	WDTN	113.01	0
STH－342	3112	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	7.89	0.9978	TSHG	16.2	0.0022
STH－343	3114	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.71	1	HNKT	139.72	0
STH－344	3137	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.39	1	HNKT	145.24	0
STH－345	3142	天城柏峠群	AGKT	AGKT	7.72	1	HNKT	146.75	0
STH－346	3160	天城柏峠群	AGKT	AGKT	3.07	1	HNKT	98.12	0
STH－347	3161	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.62	1	HNKT	115.76	0
STH－348	3162	天城柏峠群	AGKT	AGKT	8.68	1	HNKT	169.52	0
STH－349	3163	天城柏峠群	AGKT	AGKT	4	1	HNKT	151.15	0
STH－350	3169	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－351	3170	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	3.41	1	SBIY	112.79	0
STH－352	3209	蓼科冷山群	TSTY	TSTY	6.73	0.9917	TSHG	12.38	0.0083
STH－353	3214	天城柏峠群	AGKT	AGKT	5.21	1	HNKT	114.03	0
STH－354	3216	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.93	1	WDTN	87.42	0
STH－355	3234	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.24	1	HNKT	107.78	0
STH－356	3238	天城柏峠群	AGKT	AGKT	20.7	1	HNKT	202.42	0
STH－357	3239	天城柏峠群	AGKT	AGKT	1.91	1	HNKT	98.96	0
STH－358	3241	天城柏峠群	AGKT	AGKT	9.31	1	HNKT	110.91	0
STH－359	3243	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.78	1	SBIY	104.06	0
STH－360	3253	天城柏峠群	AGKT	AGKT	13.68	1	HNKT	84.46	0
STH－361	3256	天城柏峠群	AGKT	AGKT	6.85	1	HNKT	119.66	0
STH－362	3259	天城柏峠群	AGKT	AGKT	2.44	1	HNKT	137.67	0
STH－363	3289	推定不可	推定不可	推定不可			推定不可		
STH－364	3360	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	11.94	1	SBIY	73.79	0

出土黒曜石産地組成

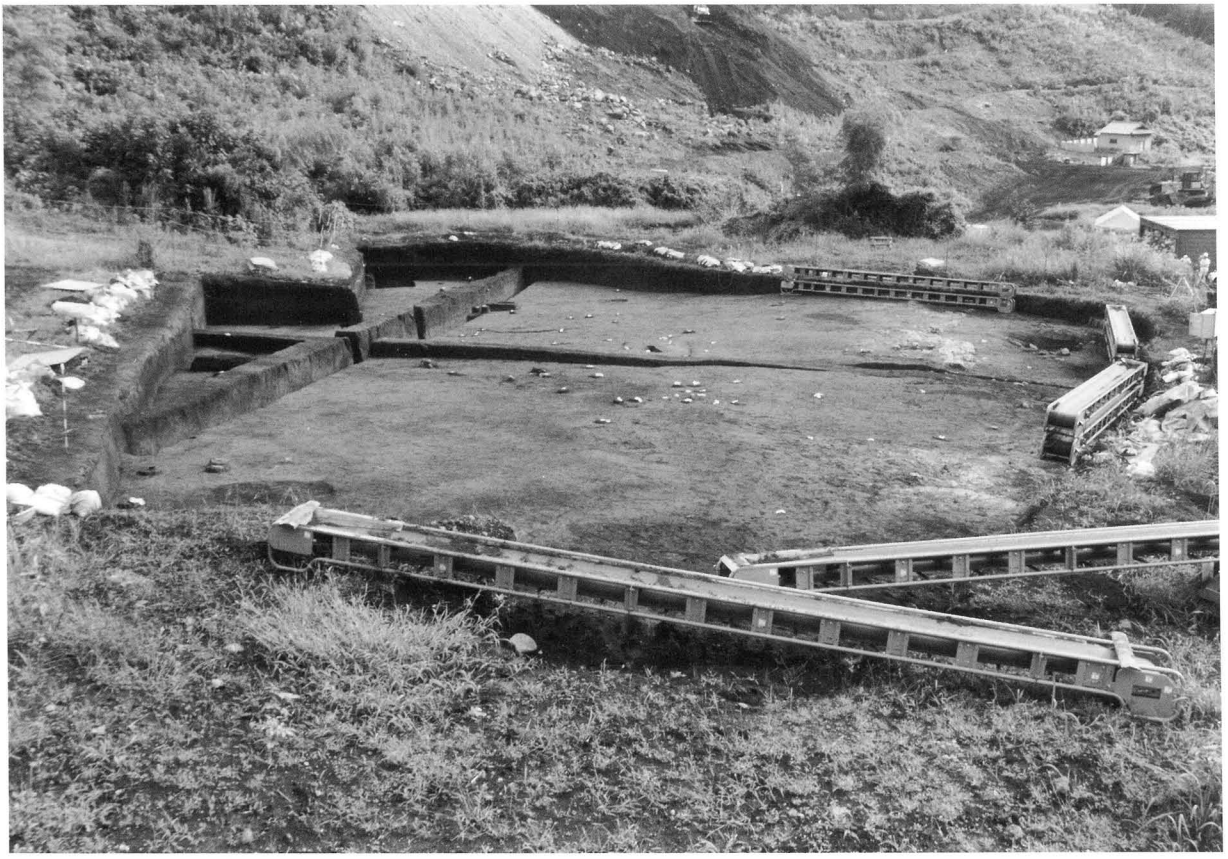
エリア	判別群	記号	試料数	%
和田（WD）	芙蓉ライト	WDHY	1	0.3
	鷹山	WDTY	9	2.67
諏訪	星ヶ台	SWHD	129	38.28
蓼科	冷山	TSTY	16	4.75
	双子山	TSHG	1	0.3
天城	柏峠1	AGKT	138	40.95
箱根	畑宿	HNHJ	9	2.67
神津島	恩馳島	KZOB	32	9.5
不明産地2	XO	XO	2	0.59
合計			337	100.01

不可など	27	
総計	364	

写　真　図　版

図版1

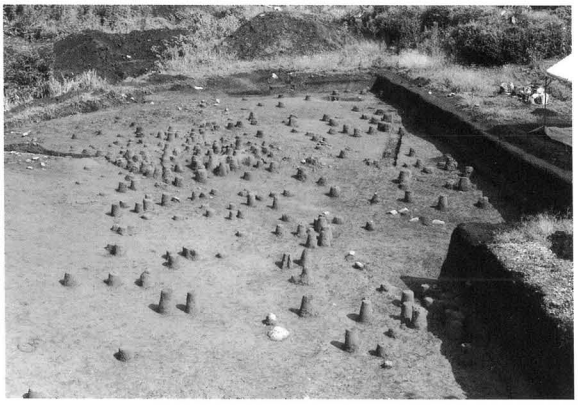
調査区遠景（西より）



段丘部縄文層完掘状況（北より）

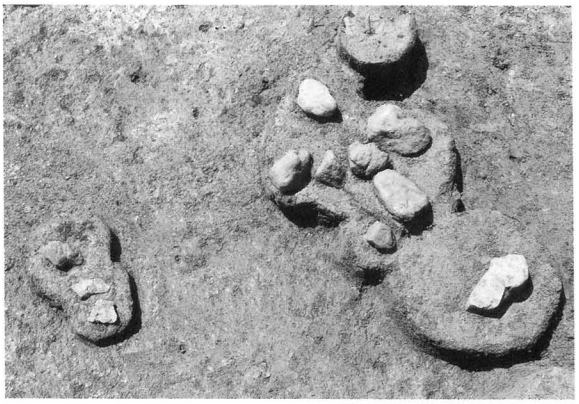
図版２

旧石器時代遺物出土状況（北より）



旧石器時代遺物出土状況（北より）

１号礫群検出状況



２号礫群検出状況

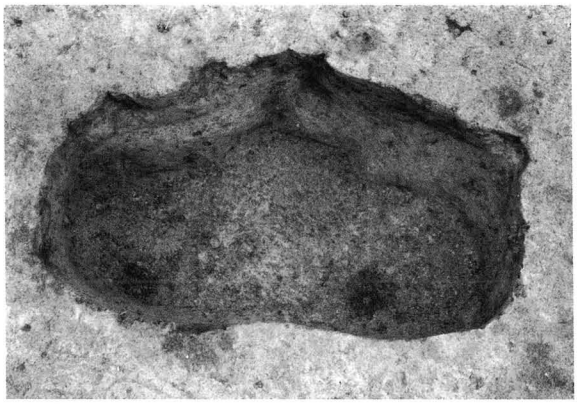
３号礫群検出状況

図版３

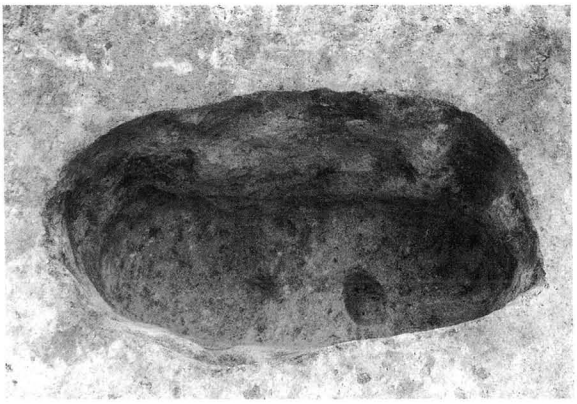
１・２・３号土坑完掘状況

縄文時代石器集中検出状況

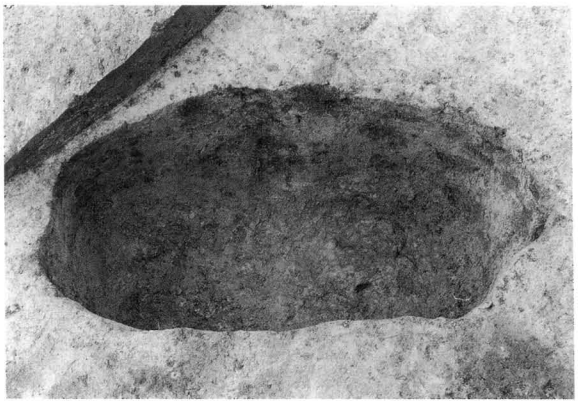
１号焼土跡半截状況



１号土坑完掘状況



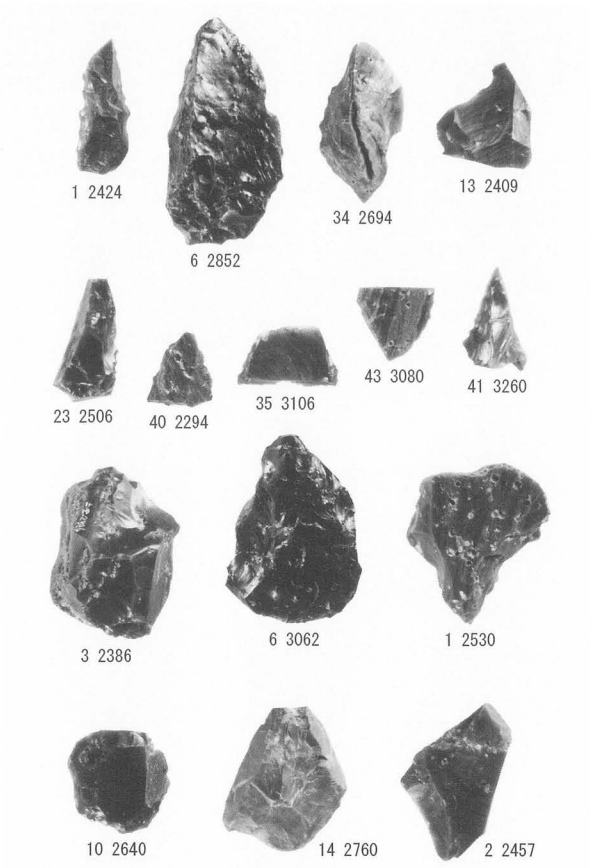
２号土坑完掘状況



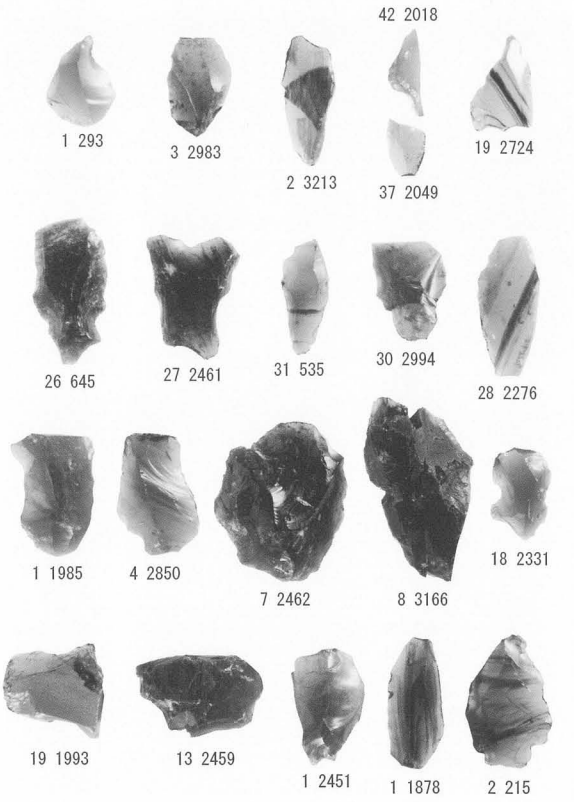
３号土坑完掘状況

４号土坑完掘状況

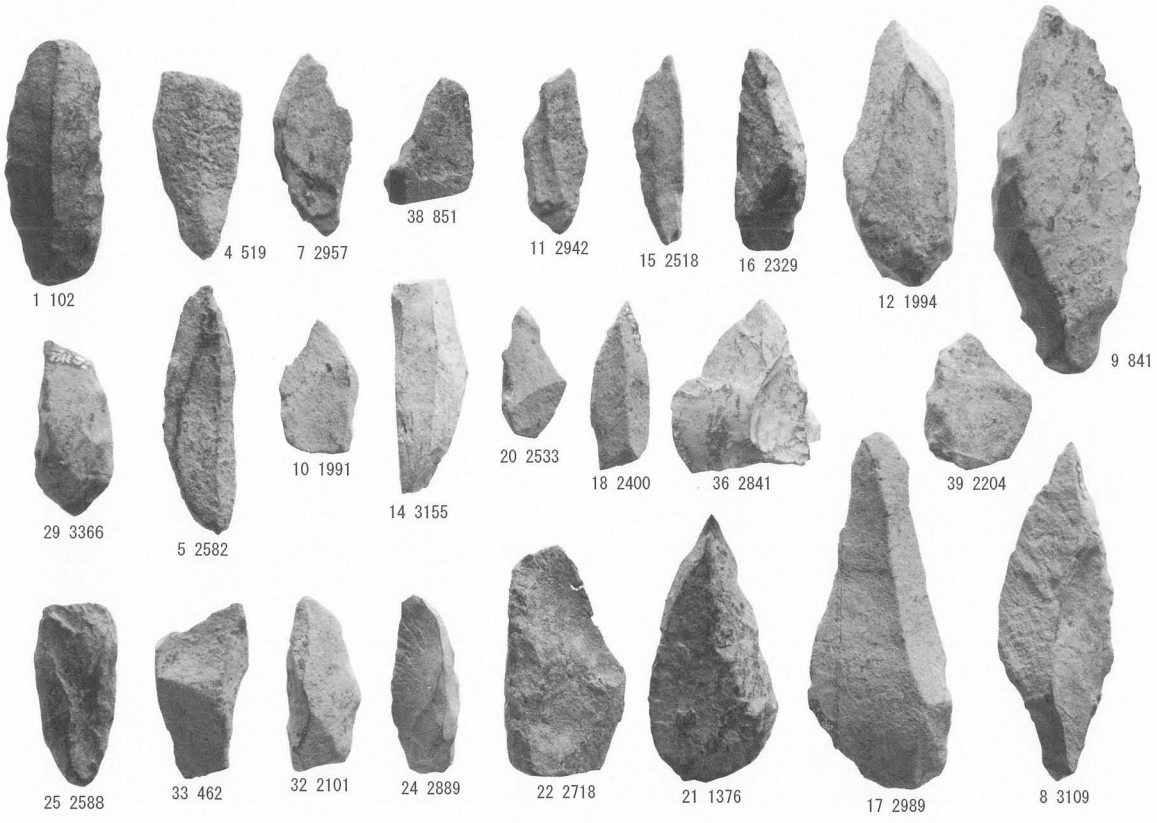
図版４



角錐状石器 ナイフ形石器 スクレイパー ドリル 楔形石器

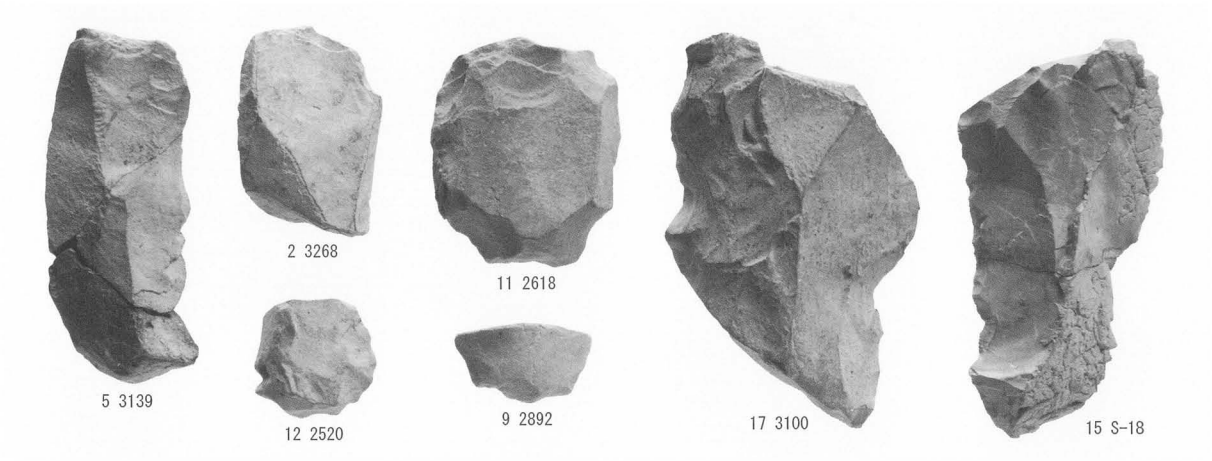


ナイフ形石器 スクレイパー 楔形石器 グレイバー

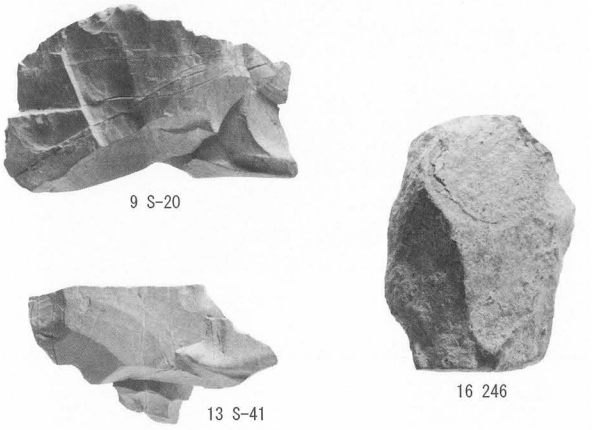


尖頭器 ナイフ形石器

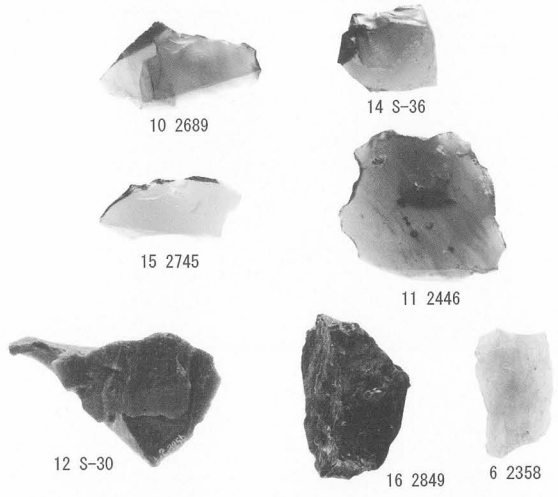
図版５



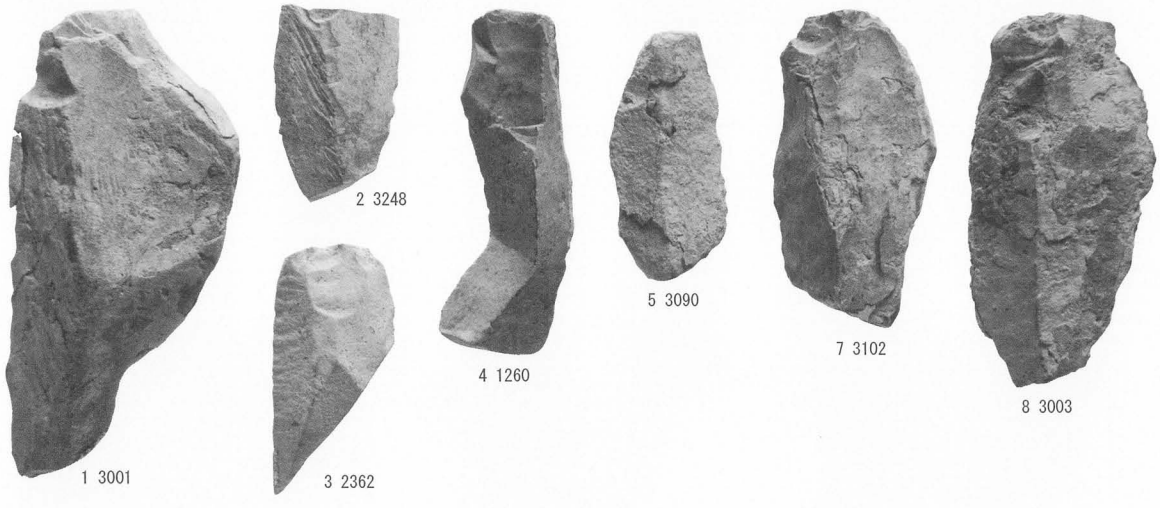
スクレイパー



剥片類 スクレイパー



剥片類



剥片類

図版６

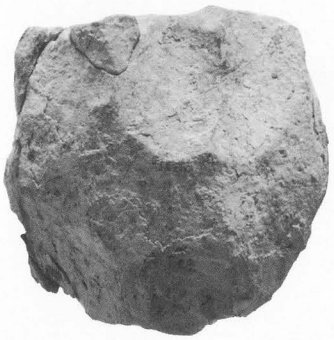
1 2375

3 2460

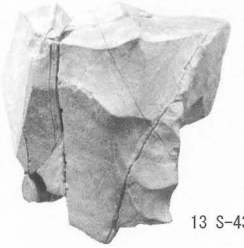
2 2755

12 2982

6 S-32



8 2842



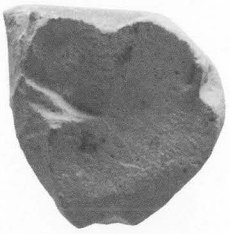
13 S-43

石核

11 2627

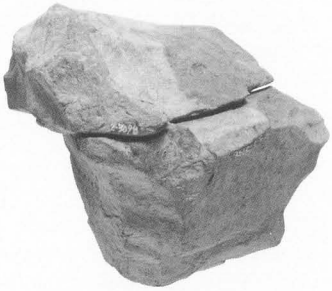
4 2726

10 2878

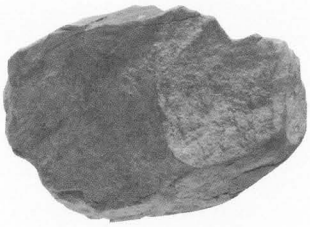


5 2337

7 2639

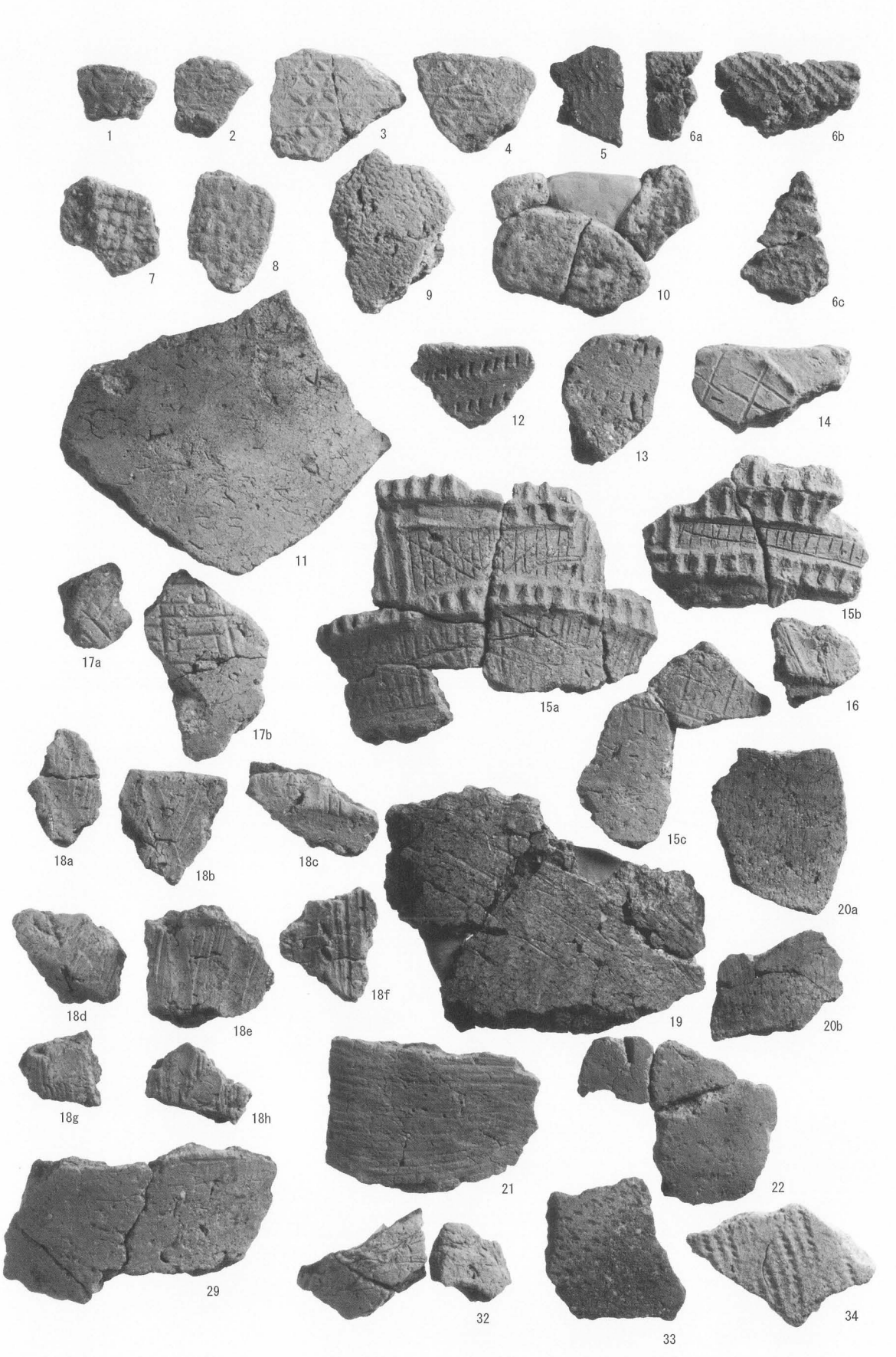


14 S-42



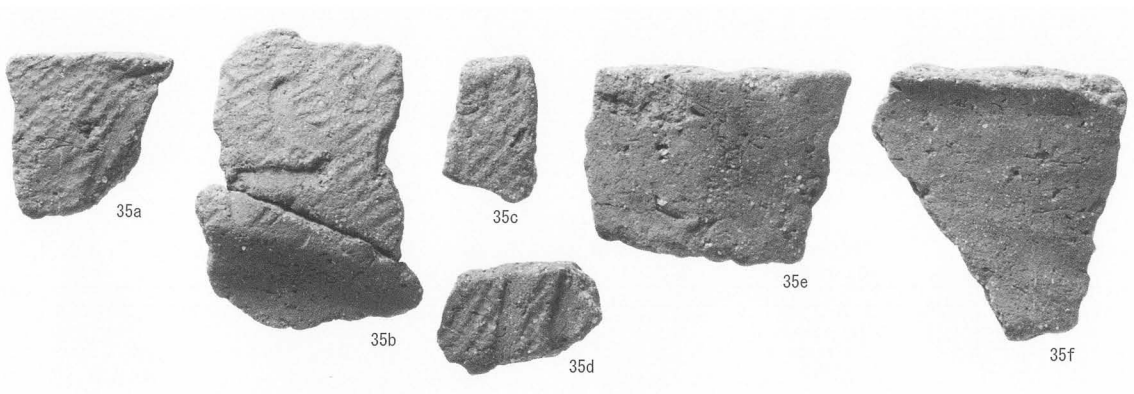
9 2955

石核

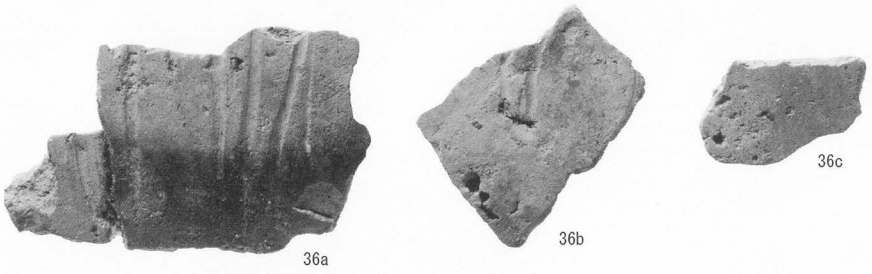

1
2
3
4
5
6a
6b
7
8
9
10
6c
12
13
14
11
15b
17a
15a
16
17b
18a
18b
18c
15c
20a
18d
18e
18f
19
20b
18g
18h
21
22
29
32
33
34

第Ⅰ群土器

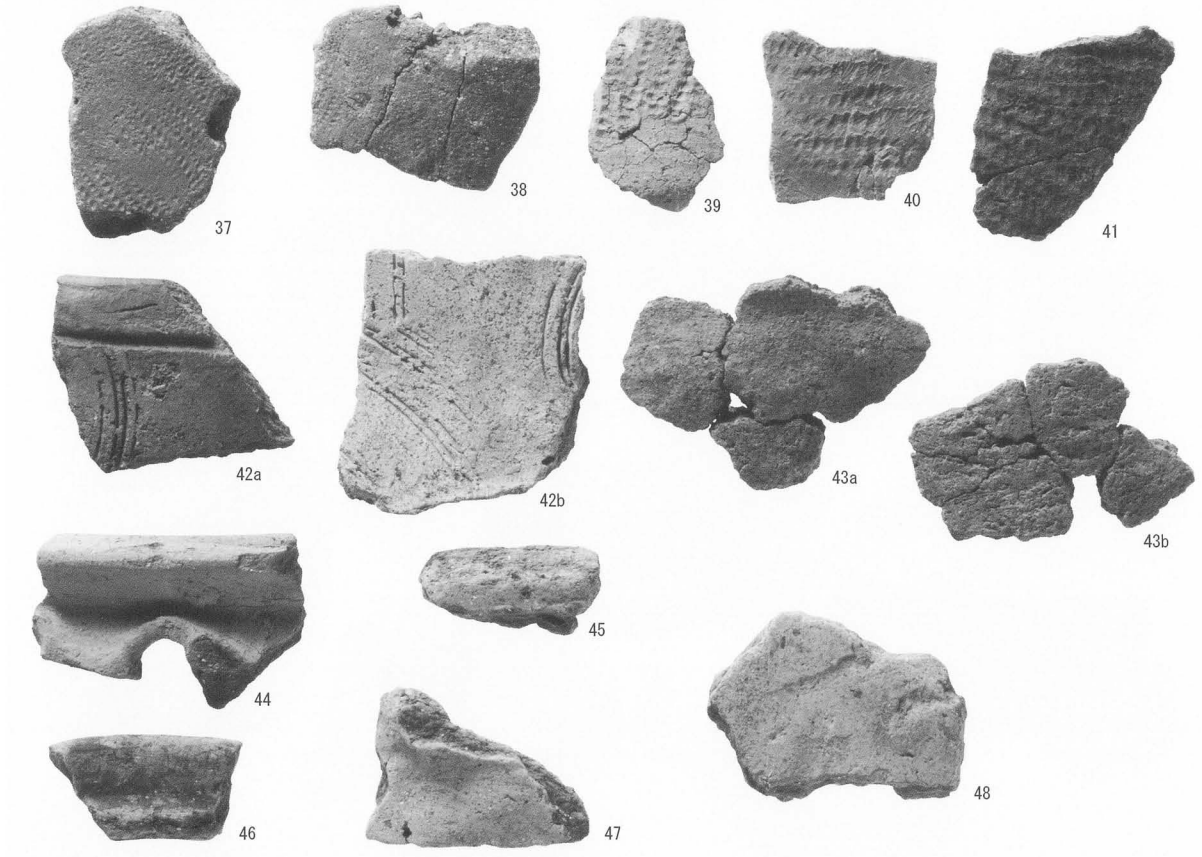
図版８



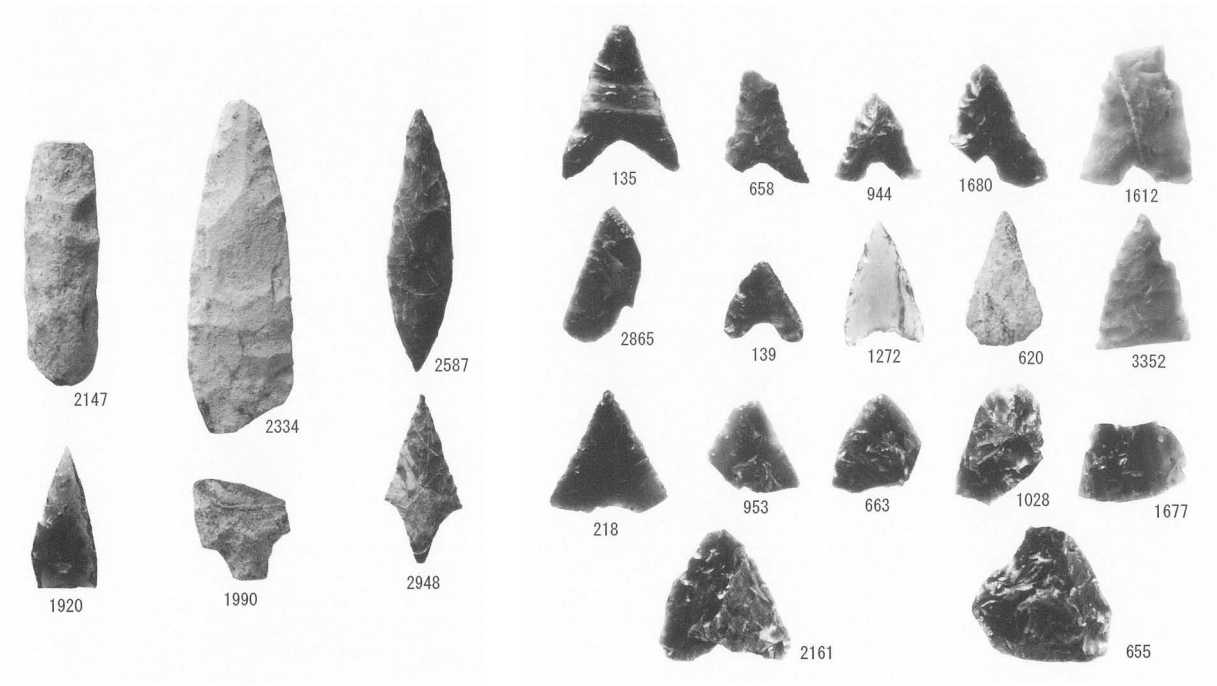
第Ⅱ群土器



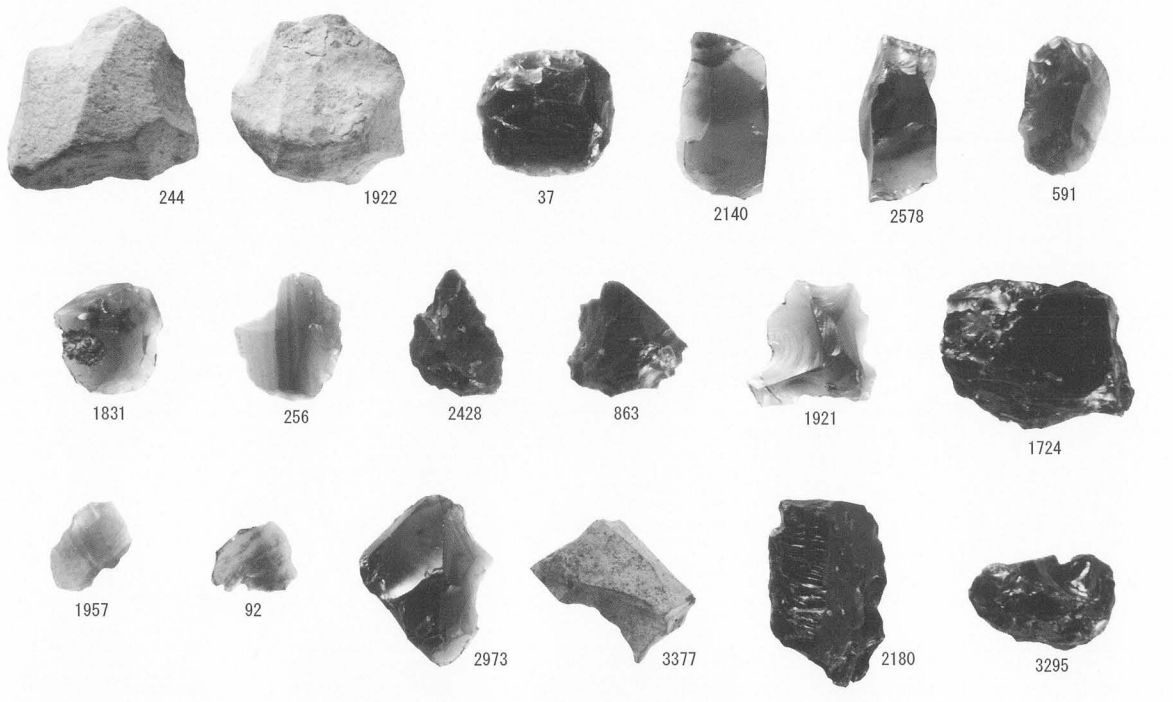
第Ⅲ群土器



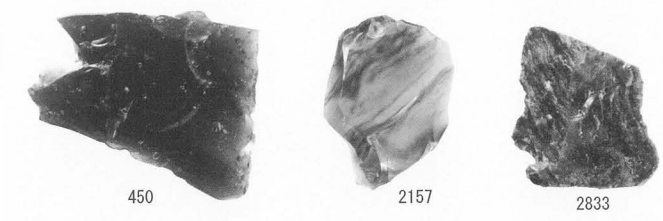
第Ⅳ群土器



尖頭器　　石鏃

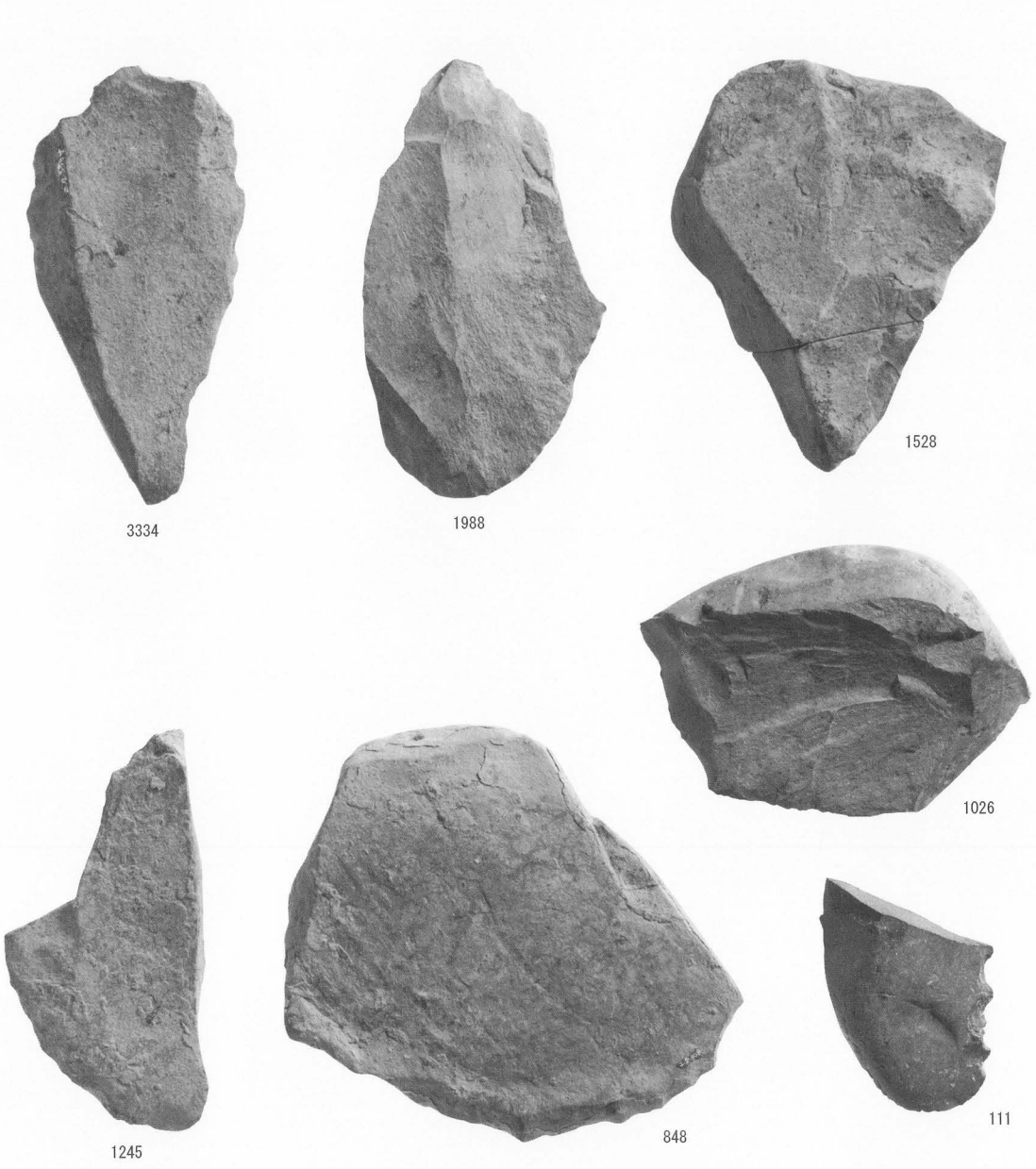


掻器・石錘・楔形石器・加工痕のある剥片

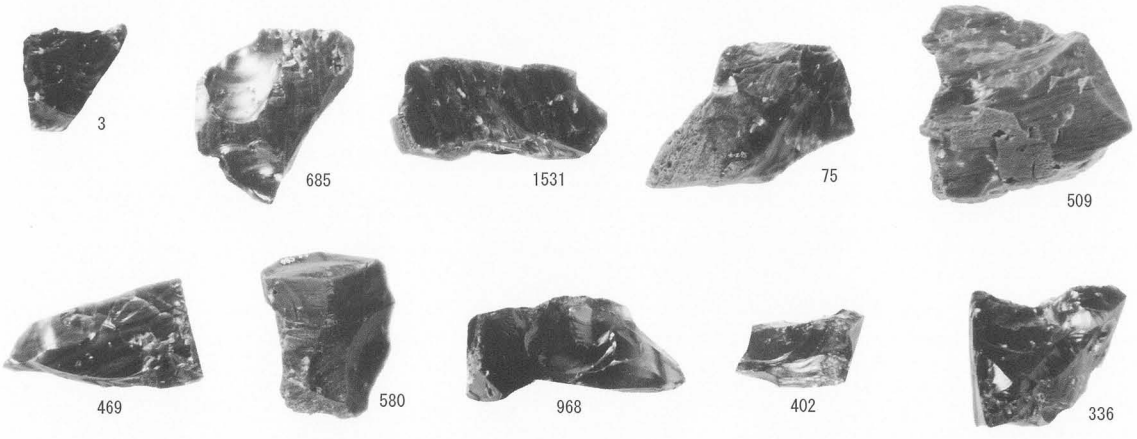


削器（１）

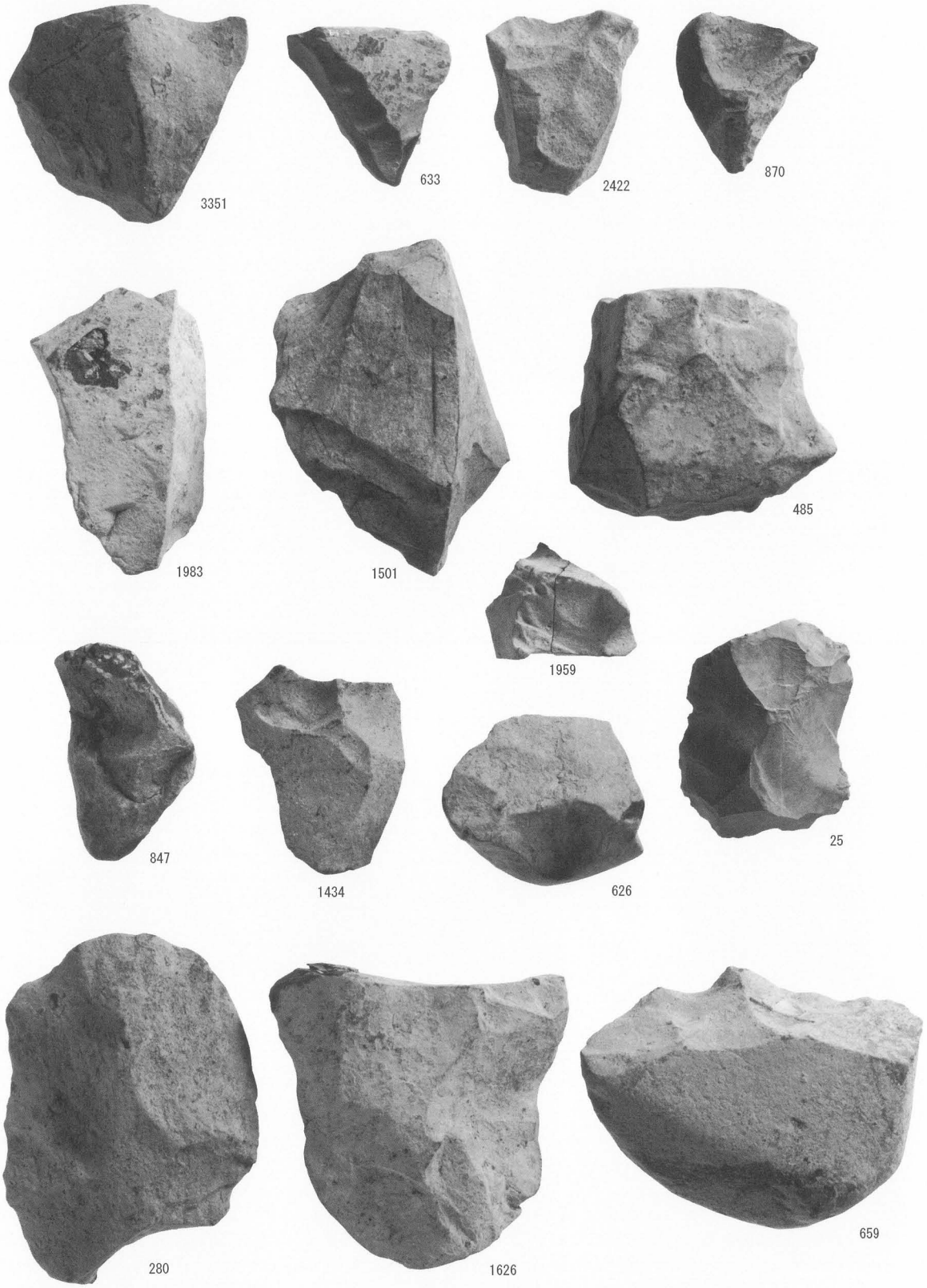
図版10


3334
1988
1528
1026
1245
848
111

削器（2）

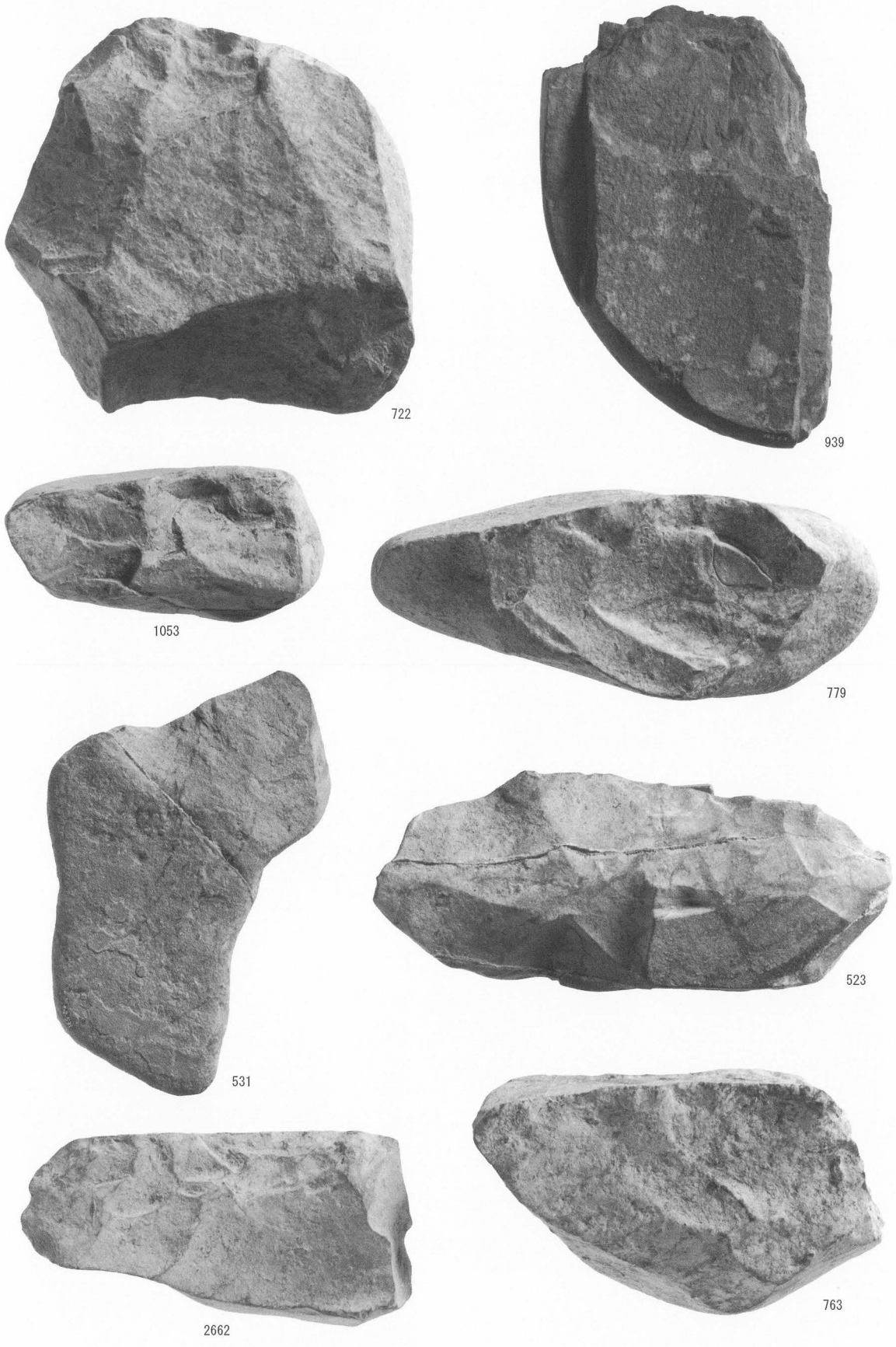

3
685
1531
75
509
469
580
968
402
336

石核（1）


3351
633
2422
870
1983
1501
485
1959
847
1434
626
25
280
1626
659

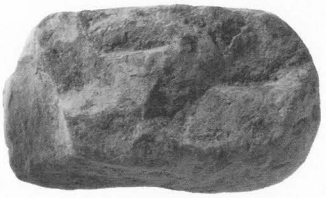
石核（2）

図版12



石核（3）

622


1315

1624

916

石核（4）

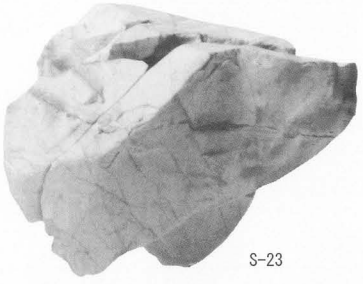
252

270

1442

S-26

S-28

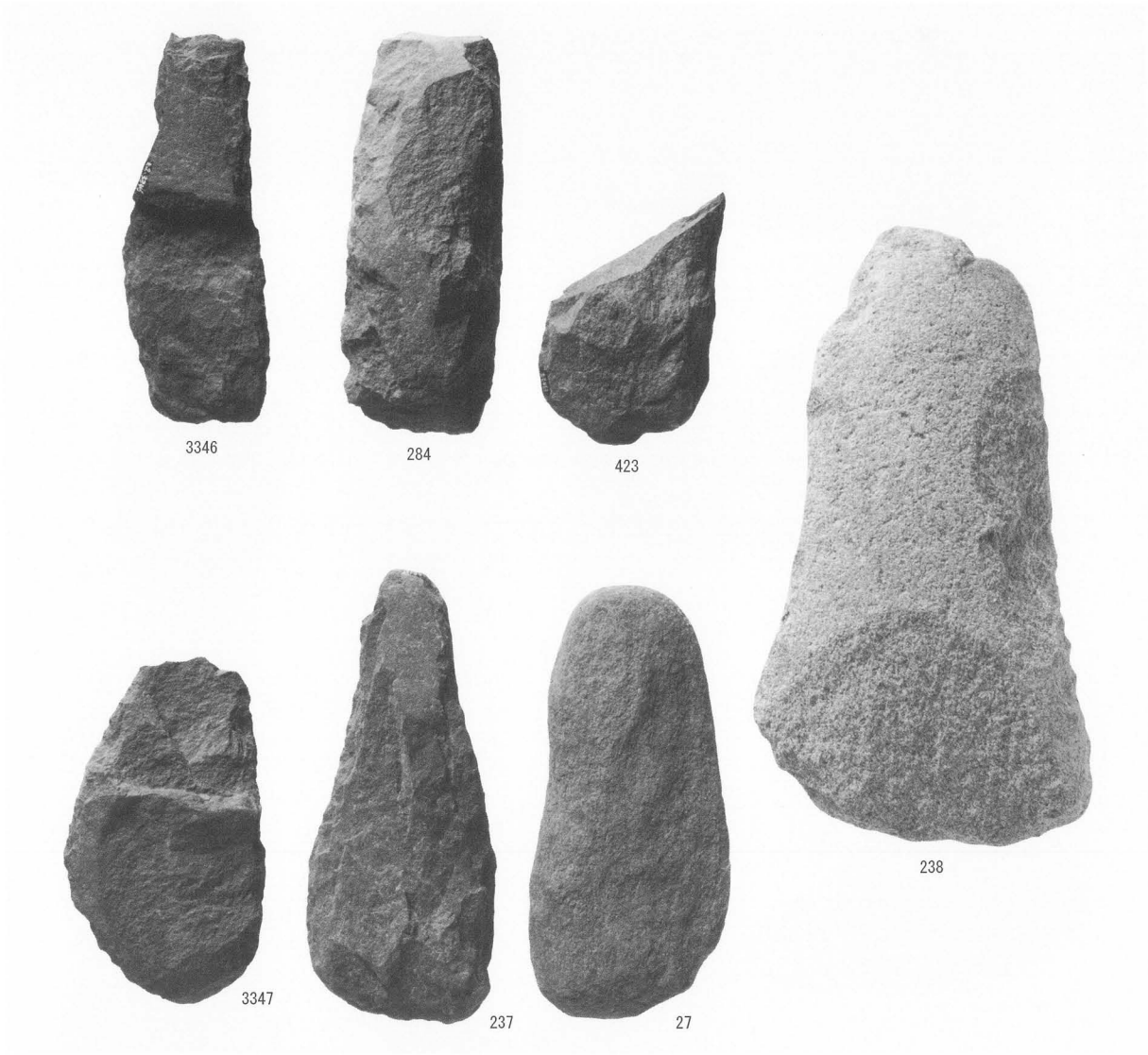

S-23

S-35

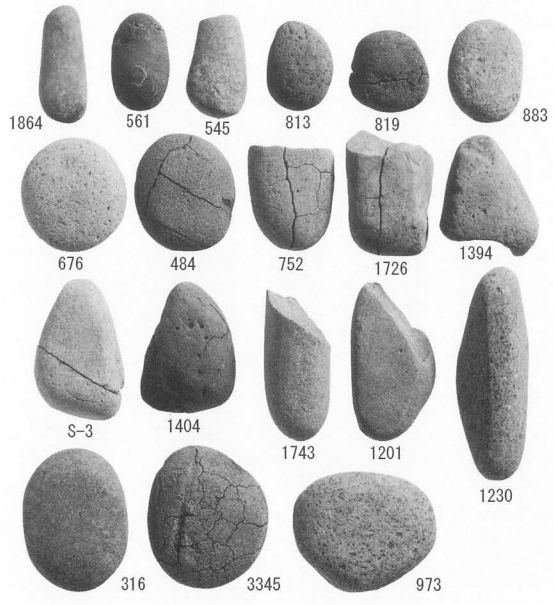
S-34

石匙・石錘・接合資料

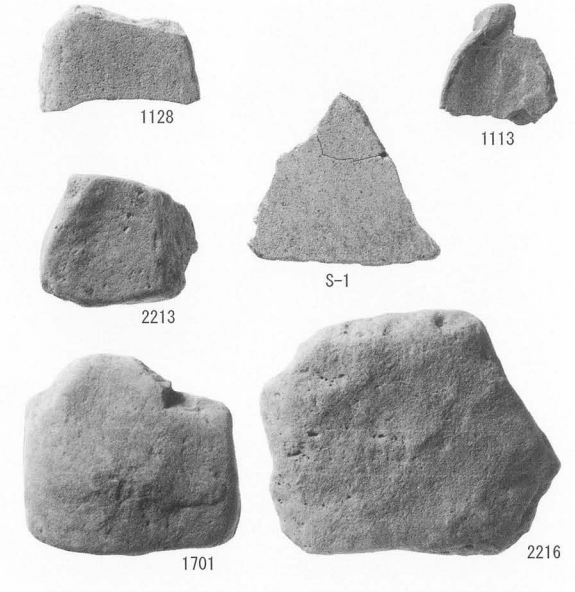
図版14



打製石斧



磨・敲石



石皿

報 告 書 抄 録

ふ り が な	しもたかはらいせき
書 名	下 高 原 遺 跡（第二東名土－２地点他）
副 書 名	第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻 次	富士宮市・富士市（旧富士川町）
シ リ ー ズ 名	静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告
シリーズ番号	第229集
編 著 者 名	髙野穂多果　岩本貴　柴田亮平　杉山和德
編 集 機 関	財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
所 在 地	〒422－8002　静岡県静岡市駿河区谷田23番20号　TEL 054－262－4261(代)
発 行 年 月 日	西暦2010年８月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		緯経度				調査期間	調査面積	調査原因
		市町	遺跡番号	世界測地系		旧日本測地系				
				北緯	東経	北緯	東経			
しもたかはらいせき 下高原遺跡	しずおかけん 静岡県 ふじのみやし 富士宮市 やまもとあざしも 山本字下 たかはら 高原753他	22207		35° 11′ 35″	138° 37′ 50″	35° 11′ 24″	138° 38′ 01″	2000年度 ５～９月	890㎡	道路建設（第二東名建設に伴う埋蔵文化財発掘調査）

所収遺跡	種 別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特記事項
下高原遺跡	散布地	旧石器時代	礫群３ 石器集中部２	石器（角錐状石器、尖頭器、ナイフ形石器、スクレイパー、彫器、ドリル、グレイバー、楔形石器、石核）	
	散布地 集落跡	縄文時代	土坑４ 小穴１ 焼土２	縄文土器（早期・中期・後期） 石器（有茎尖頭器、尖頭器、石鏃、石錐、抉入削器、削器、掻器、石核、石匙、楔形石器、打製石斧、石錘、磨敲石、敲石、磨石、石皿、台石）	
	散布地 集落跡	古墳時代以降		壺、甕、坏	

要 約

旧石器時代の遺構・遺物は、縄文時代と比べてその数は少ない。遺構は斜面部から礫群３基、石器ブロック１基が検出された。礫群に使用されている礫はいずれも10㎝前後で、３～８個の礫により構成されている。休場層の石器ブロックはホルンフェルスが大半を占めている。ナイフ型石器や尖頭器、楔形石器、礫器、敲石等の石器が出土している。

縄文時代の遺構・遺物は、富士黒色土層から出土した。文化面は生活に関わるものが主として出土する上面と、狩猟に関連した遺構が検出される下面の２面に分けられる。上面からは土器や石器等の遺物の他、焼土坑やピット、石器ブロック等の遺構も出土している。焼土坑は２基検出された。焼土は土坑内に存在するものの、明確な焼成面は存在しない。いずれも上面は１ｍ前後の楕円形を呈しており、現存の深さは30㎝前後を測る。谷部からはピットが１基出土した。ピットは直径25㎝、現存の深さは75㎝を測る。人工的に埋められており、覆土の上面から20㎝は河床等に堆積する砂（溶岩砂礫）でぎっしり埋められている。石器ブロックは斜面部の調査区中央西よりから出土している。石材は黒曜石が中心で、製品がほとんど含まれていない上に、重量の測定が不可能なほど小さなチップが大半を占めていることから、石器の製作が行われていたことが推測される。

下面になると遺物量が激減するうえ、生活用具等が全く出土しなくなり、狩猟に関連したものが出土するようになる。検出された土坑は、段上の調査区中央から東南にかけて３基が一直線上に並び、北東端のややずれた箇所に残りの１基が位置している。一直線上に並ぶ３基の土坑は、約５ｍ間隔で配置されており内２基は軸方向も同一である。土坑はいずれもほぼ同規模で、上面が60×100～110㎝の楕円形を呈し、現存の深さ30～50㎝を測る。いずれの土坑からも逆茂木痕は確認されていないが、その規模や配され方等から考えて、陥穴であると思われる。土器は条痕文や押型文、沈線文等が施された縄文時代早期のものが主流である。石器は石鏃や楔形石器、尖頭器、石匙、打製石斧、掻器、磨石、敲石、台石、礫器等が出土している。

静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第229集

下高原遺跡

第二東名土－２地点他
第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
富士宮市・富士市（旧富士川町）

平成22年８月31日

編集・発行　財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所
〒422-8002　静岡県静岡市駿河区谷田23－20
TEL　054－262－4261㈹
FAX　054－262－4266
印　刷　所　みどり美術印刷株式会社
〒410-0058　静岡県沼津市沼北町２－16－19
TEL　055－921－1839㈹